

観光統計調査業務

報 告 書

令和 2 年 3 月

沖 縄 市

目 次

第1章 業務概要	1
1-1. 業務の目的	1
1-2. 調査の概要	1
1-3. 各調査の実施方法	3
第2章 観光実態調査	10
2-1. 観光統計調査の整理	10
2-2. データ分析（携帯 GPS 調査）	21
2-3. スポーツキャンプ・合宿等のピーク期におけるデータ分析 （ASE アナリティクス）	98
第3章 継続的なデータ取得に向けた仕組みの構築	117
3-1. 旅行サイトの口コミ分析（トリップアドバイザー）	117
3-2. WEB アンケートシステムを活用した来訪者調査の実施	131
3-3. 沖縄市における宿泊実績の把握	147
第4章 マーケティング分析	151
4-1. 今年度調査結果の概要	151
4-2. 各施策の効果の検証	160
4-3. 季節ごとのターゲットと取組イメージ	164

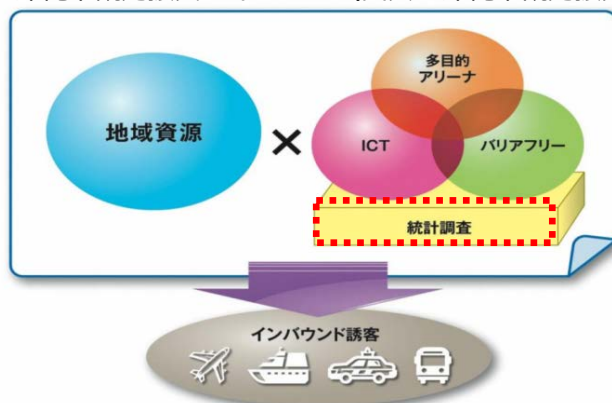
第1章 業務概要

1-1. 業務の目的

沖縄市では、観光分野及び沖縄観光を取り巻く環境が大きく変化するなか、平成29年度に策定された「沖縄市観光振興基本計画」の「第5章 施策の方向性（右図）」を踏まえた施策の具体化のための統計調査（マーケティングデータ）の整備が求められている。

本業務では、多様化する観光ニーズに対応し、より効果的な観光振興による地域活性化を目的として、沖縄市の観光客数、観光消費額、来訪者満足度等、観光の実態調査を行うとともに、昨年度結果と比較し、沖縄市の観光施策展開のための基礎資料とする。

▼沖縄市観光振興のイメージ（出典：沖縄市観光振興基本計画より）



1-2. 調査の概要

本業務にて実施した各調査の概要を次頁に示す。

なお、昨年度（平成30年度）の観光統計調査業務等の実施結果を踏まえた、今年度の各調査における実施方針は以下の通りである。

【今年度の各調査の実施方針】

- 観光統計調査の整理：昨年度との経年比較を実施
- 携帯GPS調査：県外客を対象を絞り、1年分（平成30年4月1日～平成31年3月31日）のデータを取得し、四半期ごとに分析
- スポーツキャンプ・合宿等のデータ分析：「平成30年度沖縄市スポーツ合宿等統計調査」にて実施したGPS分析を継続して実施
- 旅行サイトの口コミ分析：昨年度分析以降に投稿された201件の口コミを対象に分析
- WEBアンケートシステムを活用した来訪者調査：昨年度構築したWEBアンケートシステムを活用し来訪者調査を実施
- 沖縄市における宿泊実績の把握：昨年度作成した入力票及び集計表シートを活用し、沖縄市観光物産振興協会と連携のうえ、主要宿泊施設における宿泊実績を把握

【各調査の概要】

調査		実施概要	日本人	外国人
(1) 観光実態調査	①観光統計調査の整理	・国・県・市の観光統計について整理・分析 ・昨年度との経年比較を実施	●	●
	②データ分析（携帯 GPS 調査）	・昨年度に引き続き、KDDI の位置情報ビッグデータを活用 ・県外観光客を対象を絞った上で分析を実施（2,397 サンプルを取得） ・1 年分（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）のデータを取得し、四半期ごとの 4 期間に区分して分析。全島エイサー期間は別途抽出し分析（計 5 期間に区分） ・市内全域と主要 10 エリアの分析を実施	●	
	③スポーツキャンプ・合宿等のピーク期におけるデータ分析（ASE アナリティクス）	・スマートフォンの位置情報をもとに、調査地点間の来訪者の流入・流出を調べることができる ASE アナリティクスを活用し、スポーツキャンプ・合宿等がピークとなり、観戦者や競技者の割合が多くなる時期に動態分析を実施	●	
(2) 継続的なデータ取得に向けた仕組みの構築	①旅行サイト口コミ分析	・昨年の分析以降に、トリップアドバイザーに投稿されたデータを抽出し分析（201 件） ・口コミ内容や評価を比較分析することで、観光ニーズの変化の有無等进行分析	●	●
	②WEB アンケートシステムを活用した来訪者調査の実施	・昨年度構築した WEB アンケートシステムによるデータ取得を開始 ・QR コードを観光客が読み取る形式とし、回答促進策についても検討 ・沖縄市観光物産振興協会及び市内宿泊施設と連携し体制を構築	●	
	③沖縄市における宿泊実績の把握	・沖縄市観光物産振興協会と連携し、宿泊実績を把握	●	●



マーケティング分析

1－3．各調査の実施方法

(1) 観光実態調査

①観光統計調査の整理

国や県の観光統計を分析するとともに、沖縄市の動向と比較することで、沖縄市観光の置かれている状況の分析を行った。入込客数、観光客の属性、消費・満足度の視点から分析を行い、沖縄市観光の現状及びインバウンドを含む誘客に向けたポテンシャル等を整理した。

【検討に用いた統計資料】

◇全国観光入込客統計（観光庁）	◇宿泊旅行統計調査（観光庁）
◇旅行・観光消費動向調査（観光庁）	◇国籍／月別 訪日外客数（JNTO）
◇観光要覧（沖縄県）	◇観光統計実態調査（沖縄県）
◇外国人観光客実態調査（沖縄県）	◇主要観光施設入場者数（沖縄市）
◇宿泊実績調査（沖縄市）	◇WEB アンケート調査（沖縄市）

②データ分析（携帯 GPS 調査）

沖縄市に来訪する国内県外出身の観光客の発地場所、旅程、宿泊地、滞在時間、周遊ルート等を携帯位置情報データより把握し、マーケティングに資する分析を実施した。

具体的には、携帯端末の位置情報データから沖縄市内に 30 分以上滞在した来訪者のデータを抽出し、来訪者の属性や行動の特性を把握した。また、調査期間及び市内の観光エリア（10 箇所）を設定することで、来訪時期や来訪場所による傾向の分析を行った。

調査対象	○沖縄市内に 30 分以上滞在した国内県外居住者 ⇒ 市内居住者・通勤者、主要非観光施設（スーパー等）のみ滞在者、長期滞在者及び高頻度滞在者は除外
調査方法	OKDDI が au スマートフォンユーザーから位置情報取得の同意を得て、個人が特定できないように加工した、位置情報データ及び属性情報等を利用して分析を実施
調査期間 (データ取得期間)	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 ※以下、5 つの期間を設定し、対象期間内の詳細な分析を実施 期間 1：平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日 期間 2：平成 30 年 7 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日 期間 3：平成 30 年 10 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日 期間 4：平成 31 年 1 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 期間 5：平成 30 年 8 月 31 日～平成 30 年 9 月 2 日※エイサーまつり期間
対象データ数	2,397 人（日帰り：18 人、宿泊：2,378 人）
分析項目	①属性分析：性別・年齢層ごとの来訪者数 ②発地分析：発地（都道府県、市区町村）ごとの来訪者数 ③立寄り分析：市区町村ごと、250m メッシュごとの立寄り比率 ④旅程分析：旅程別の来訪者数、宿泊場所区分別の宿泊人泊数 ⑤宿泊地分析：市区町村ごとの宿泊人泊数 ⑥昼間滞在時間分析：昼間の滞在時間 ※沖縄市内全体（250m メッシュ）、観光エリア（10m メッシュ）ごとに分析を実施
観光エリア	①県総合運動公園/②コザ運動公園/③沖縄こどもの国/④東南植物楽園/ ⑤泡瀬漁港・パヤオ直売店/⑥プラザハウス/⑦ちゃんぷる〜市場/ ⑧コザ商店街周辺/⑨中の町周辺/⑩グランメール

③スポーツキャンプ・合宿を対象としたデータ分析（ASE アナリティクス）

市内で大型スポーツキャンプやスポーツ合宿等が実施される期間において、市内外の人々がどのような動きをしているのかを確認することを目的に、携帯電話の GPS を活用した動態調査を実施した。

調査対象	○沖縄市内外に設定した調査地点の立ち寄り者 ※ASE アナリティクスと提携したアプリをインストールしたユーザー
調査方法	○提携した大手スマートフォンアプリベンダーや位置情報データプラットフォームから位置情報を取得し、競合分析等を行うツールである ASE アナリティクスを活用し分析を実施
調査期間 (データ取得期間)	令和元年 12 月 1 日～令和 2 年 2 月 28 日 ※沖縄市内における大型スポーツキャンプやスポーツ合宿の実施期間
対象データ数	145,102 人（のべ滞在者数）
分析項目	①のべ滞在者数：月別、曜日別、時間別 ②滞在者の基礎情報：性別・年齢・出身地 ③滞在者の行動：前後の立ち寄り地点、地点間の流入・流出の状況
調査エリア	【A グループ：プロ野球キャンプ中心】 8 エリア ①コザ運動公園（しんきんスタジアム・グリーンフィールド） ②ホテルニューセンチュリー/サンライズホテル ③ホテルコザ ④中の町周辺 ⑤コザ・ミュージックタウン ⑥パークアベニュー・ゲート通り周辺 ⑦プラザハウスショッピングセンター ⑧沖縄自動車道（沖縄南）出入口
	【B グループ：スポーツ合宿中心】 8 エリア ①コザ運動公園（陸上競技場） ②コザ運動公園（体育館） ③イオンモール沖縄ライカム ④美浜アメリカンビレッジ ⑤プラザハウスショッピングセンター ⑥パークアベニュー・ゲート通り周辺 ⑦コザ・ミュージックタウン ⑧沖縄自動車道（沖縄南）出入口

（２）継続的なデータ取得に向けた仕組みの構築

①旅行サイト口コミ分析

旅行情報・投稿 WEB サイトのトリップアドバイザーにおいて「沖縄市内の観光スポットランキング」に掲載されている観光施設（19 施設）及び主要な飲食施設（1 施設）の計 20 施設に対する口コミを対象に定量的な視点を用いて分析を行った。

なお、昨年度、【平成 25 年～平成 30 年 5 月】を対象期間として、577 件の口コミを分析している。本年度は、【平成 30 年 6 月～令和元年 10 月】を対象期間として 201 件の口コミを分析し、前年度調査結果との比較を行った。

調査対象	○トリップアドバイザーに投稿されている沖縄市内の主要な観光施設、飲食施設に対する評価・口コミ・投稿者の属性 等 ⇒ 平成 30 年 6 月～令和元年 10 月に投稿された 201 件の口コミを対象
対象施設	①東南植物楽園(69) ②沖縄こどもの国(35) ③ちゃんぷる～市場(4) ④泡瀬漁港食堂/泡瀬漁港パヤオ直売所(14) ⑤プラザハウスショッピングセンター(11) ⑥コザゲート通り(10) ⑦コザ銀天街(5) ⑧沖縄市観光物産振興協会(5) ⑨泡瀬ビジュアル/泡瀬神社(6) ⑩沖縄市役所展望台(2) ⑪沖縄市戦後文化資料展示室 ヒストリート(8) ⑫比謝川(5) ⑬知花城跡(3) ⑭中部農連市場(3) ⑮沖縄市音楽資料館おんがく村(1) ⑯コザしんきんスタジアム(4) ⑰サンシティ(4) ⑱一番街商店街(5) ⑲アーケイド(4) ⑳沖縄市立郷土博物館(3) ※（ ）は投稿数
分析項目	①投稿者の属性（性別・世代・居住地・言語） ②投稿者の旅行者タイプ ③観光地ごとの評価（点数及びコメントの傾向） ④キーワード分析（出現頻度の高いキーワード、関連性を整理）

②WEB アンケートシステムを活用した来訪者調査の実施

観光客の満足度やニーズ、観光動向、消費金額を把握することを目的として、昨年度構築した WEB アンケートシステムを用いて、観光客へのアンケート調査を実施した。

市内の宿泊施設の協力のもと、アンケートページへの QR コードを掲載した名刺サイズのカードを観光客へ配布し調査を行った。なお、次年度以降の継続的なデータ取得を視野に沖縄市観光物産振興協会と連携し実施した。

調査対象	○調査期間中に沖縄市内宿泊施設に宿泊した観光客
調査期間	○令和元年 8 月 21 日より宿泊施設にて配布開始
調査箇所	①オキナワグランメールリゾート ②ホテルニューセンチュリー ③クラウンホテル ④デイゴホテル ⑤ホテルシャララ ⑥ホテルコザ ⑦サンライズ観光ホテル ⑧ホテルタイムリッチ ⑨デイリーウィークリーマンズリーマンション（ぷらり）
回収結果	国内客 178 票 海外客 5 票
調査方法	 宿泊客に QR コードを記載した名刺サイズのカードを配布 ➡  言語（日本語・英語）を選択し、アンケートに回答
質問項目	①来訪目的・観光行動：行程／目的／情報源／訪問箇所／移動手段 ②消費行動：市内での消費額（ツアー・宿泊・交通・食事 等） ③沖縄市の評価：満足度／再訪意向／推薦意向 ④基本属性：居住地（国籍）／性別・年齢・職業／来訪経験 ⑤その他

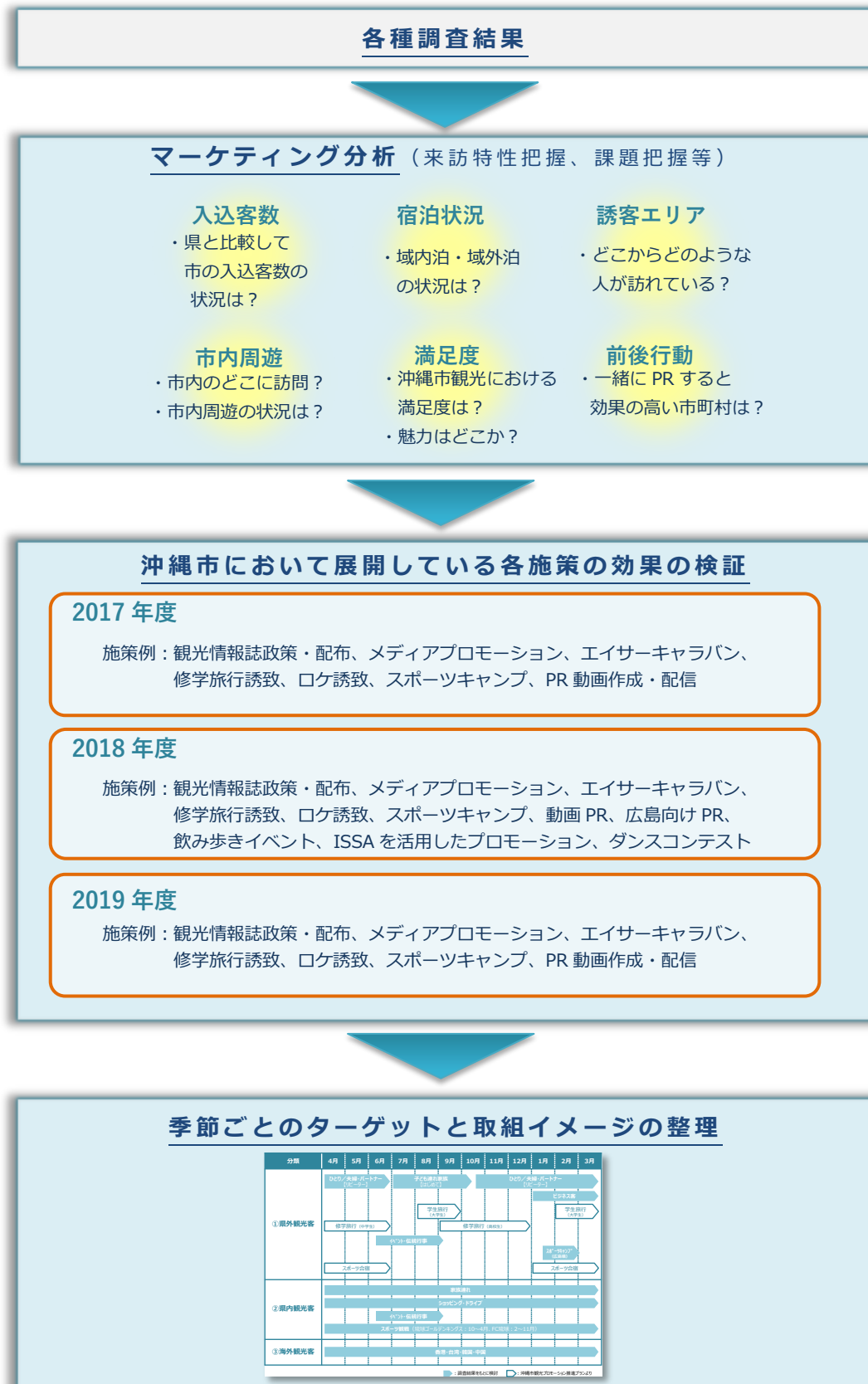
③沖縄市における宿泊実績の把握

昨年度業務で確立した手法により、沖縄市観光物産振興協会及び市内主要宿泊施設と連携し、宿泊実績の把握を目的として、各市内宿泊施設の月別の延べ宿泊客数、実人数等の基礎情報の集計・分析を行った。

調査期間	平成31年4月～令和元年12月
調査対象施設	①クラウンホテル/②ホテルシャララ/③ホテルコザ/ ④サンライズ観光ホテル/⑤ホテルタイムリッチ/ ⑥デリーマンスリーマンションぶらり/ ⑦オキナワグランメールリゾート/⑧ホテルパームツリーヒル ⑨ホテルニューセンチュリー/⑩デイゴホテル/ ⑪オリンピア観光ホテル ※⑨～⑪は年間延べ宿泊客数のみ取得
把握方法	①沖縄市観光物産振興協会より、各宿泊施設へ「調査票」(Excel)を月ごとに配布 ②各月の指定日までに、各宿泊施設にて、「調査票」を記入し、協会担当者へ送付 ③送付いただいた調査結果をもとに、とりまとめ・分析を行い、適宜結果を報告
入力票及び集計表	○宿泊施設ごとにチェックイン日、居住地、宿泊者数、部屋数、泊数を記入(客室数、収容人数は変更があれば適宜集計) 入力票に宿泊施設ごとに記入 ➡ 自動的に集計
調査項目	①延べ宿泊客数 ②実人数 ③定員稼働率 ④客室稼働率 ⑤宿泊客の出身地(国内客は都道府県、海外客は国籍)

(3) マーケティング分析

各調査結果を踏まえ、沖縄市を訪れる観光客の動態や特徴をまとめるとともに、沖縄市における観光施策の効果等を検証するなどマーケティングに資する分析を行った。



第2章 観光実態調査

2-1. 観光統計調査の整理

(1) 本調査の概要

国や沖縄県、沖縄市が公表している既存の統計データ等を用いて、沖縄市観光の現状やポテンシャル等を把握することを目的として、調査・分析を実施した。

(2) 調査の実施方針

以下に示す既存の各種統計データ及び本年度実施した各種調査結果を収集し、入込客数、観光客の属性、消費・満足度の視点から、沖縄市観光の現状や今後の可能性等を検証した。

【検討に用いた統計資料】

◇全国観光入込客統計（観光庁）	◇宿泊旅行統計調査（観光庁）
◇旅行・観光消費動向調査（観光庁）	◇国籍／月別 訪日外客数（JNTO）
◇観光要覧（沖縄県）	◇観光統計実態調査（沖縄県）
◇外国人観光客実態調査（沖縄県）	◇主要観光施設入場者数（沖縄市）
◇宿泊実績調査（沖縄市）	◇WEB アンケート調査（沖縄市）

(3) 調査・分析結果の概要

①入込客数

- ・昨年度同様、沖縄市の観光入込客数は、増加傾向にあるものの、沖縄県全体の増加率よりは緩やかである。
- ・沖縄市の市内主要宿泊施設（12 施設）の延べ宿泊者数は、平成 30 年に約 32 万人泊となっており、平成 24 年と比較すると 1.3 倍と増加傾向にある。なお、平成 29 年から平成 30 年では、ほぼ一定（微減）である。

②観光客の属性

- ・国内及び沖縄県内の外国人観光客の国籍別割合は、昨年度同様、「中国」「韓国」「台湾」が多く、沖縄県は「台湾」の割合が最も高い。
- ・沖縄市内の外国人観光客は、宿泊調査より、「台湾」「韓国」「香港」「アメリカ」が多く、県同様に「台湾」が全体の3割と最も高い。一方で、沖縄市は県と比較し、「アメリカ」の割合が多いことが特徴である。
- ・沖縄市の国内客のリピート率は、県全体よりも低い傾向にある。

③満足度

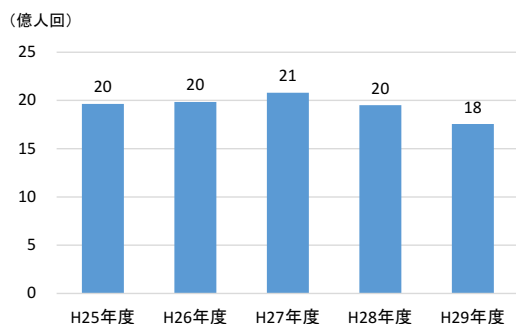
- ・沖縄市の観光全体の満足度（国内客）は、昨年度同様に、沖縄県全体と比較してやや低い。

(4) 調査・分析結果

(1) 観光入込客数の推移

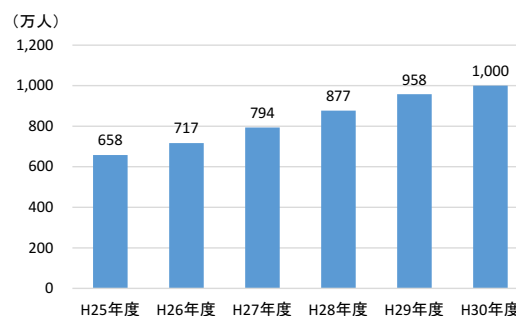
- 国内の観光入込客数（国内客・海外客）は、約 18 億人回（平成 29 年度）となっており、平成 25 年度と比較すると、5 年間で 10% 減となっている。
- 沖縄県の観光入込客数は、年間約 1,000 万人（平成 30 年度）と増加傾向にあり、平成 25 年度と比較して 1.52 倍となっている。
- 平成 30 年度の沖縄市の市内主要観光施設（14 施設）の入込客数総計は 385 万人となっており、平成 25 年から 1.15 倍である。年々増加しているものの、県の伸び率より緩やかである。

①国内



出典：全国観光入込客統計（観光庁）

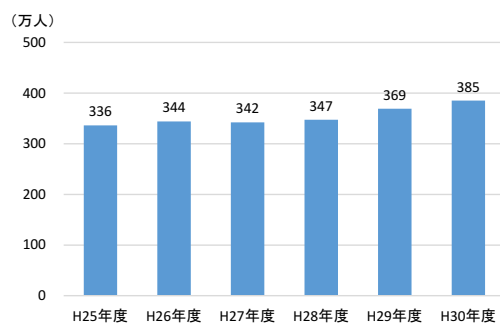
②沖縄県



出典：観光要覧（沖縄県）

※①国内の数値は、全国観光入込客統計の「日本人・観光目的」、「日本人・ビジネス目的」、「訪日外国人」の合計値をもとに比較・整理

③沖縄市（主要観光施設入場者数）



出典：沖縄市観光振興課

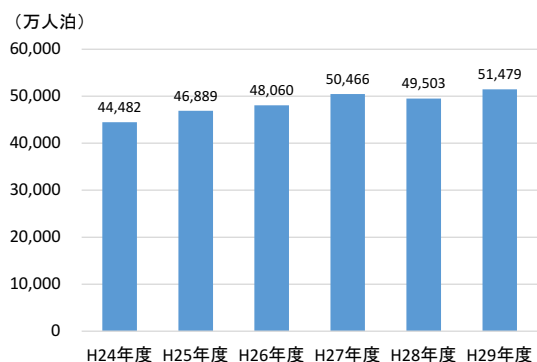
(2) 宿泊者数の推移

○国内の宿泊者数は、年間約 5.1 億人泊（平成 29 年度）となっており、平成 24 年度と比較すると 6 年間で、1.16 倍となっている。

○沖縄県の年間宿泊者数は、平成 29 年度は約 2,300 万人泊であり、平成 28 年度より 1.09 倍である。

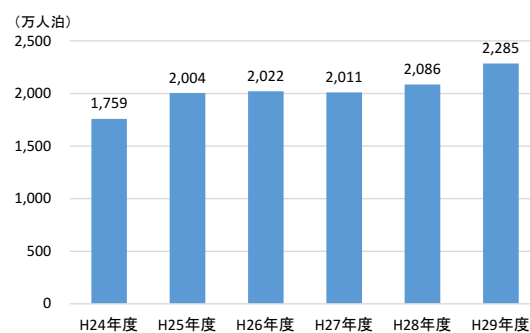
○平成 30 年の沖縄市の市内主要宿泊施設（12 施設）の延べ宿泊者数は約 32 万人泊となっており、平成 24 年からの 7 年間でみると 1.3 倍と増加傾向にある。なお、平成 29 年から平成 30 年では、ほぼ一定（微減）である。

①国内



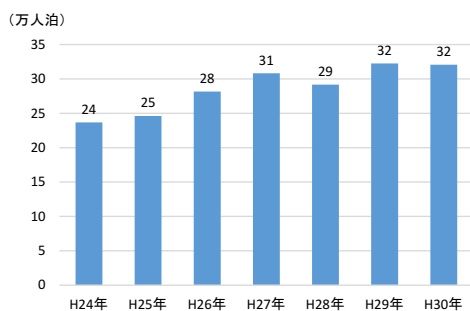
出典：宿泊旅行統計調査（観光庁）

②沖縄県



出典：宿泊旅行統計調査（観光庁）

③沖縄市 (暦年)



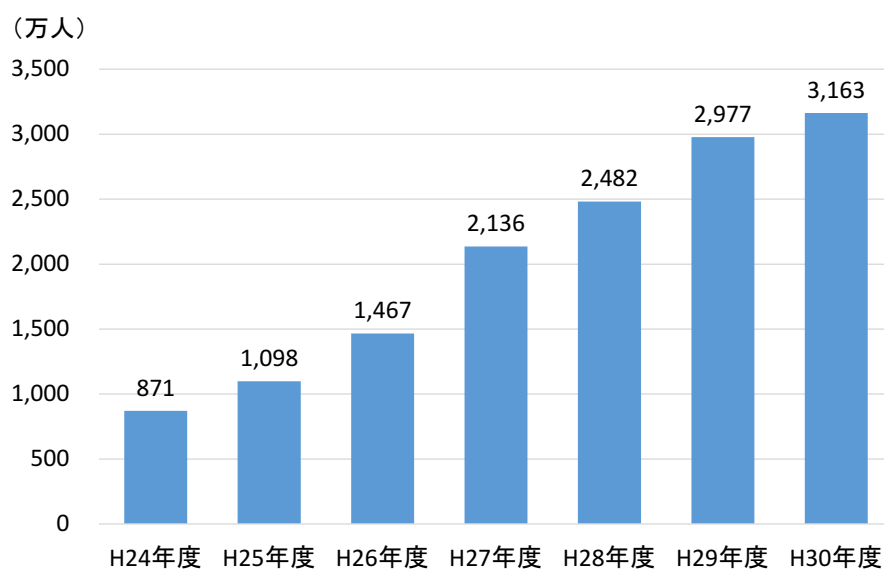
出典：沖縄市観光振興課

(3) 外国人観光客数の推移

○国内の訪日外国人観光客数は、平成 30 年度には約 3,200 万人となっており、平成 24 年度から約 3.6 倍に急増している。

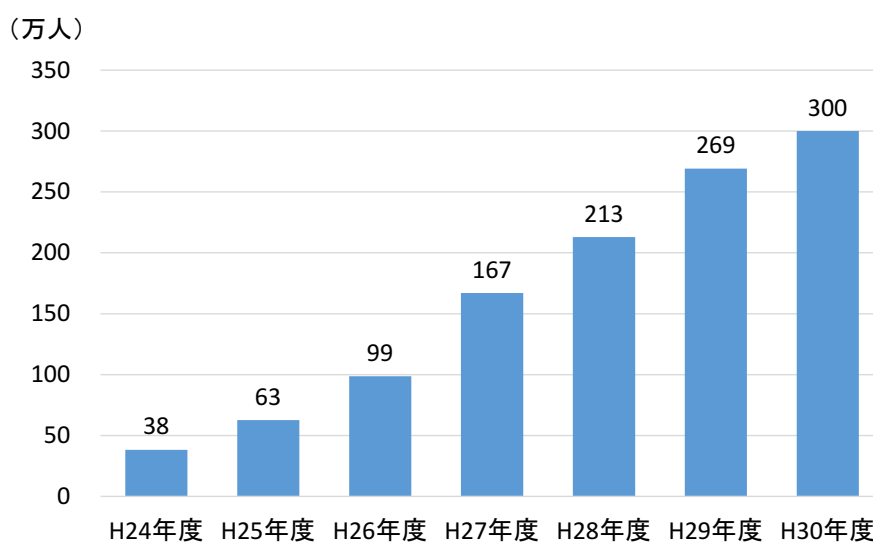
○沖縄県全体でみると、平成 30 年度の外国人観光客は 300 万人を超え、平成 24 年度からの約 7.8 倍に増加しており、国内の伸び率以上に急増している。

①国内



出典：国籍／月別 訪日外客数（JNTO）

②沖縄県



出典：観光要覧（沖縄県）

(4) 外国人観光客の国籍別割合〔平成 24 年度と平成 30 年度の比較〕

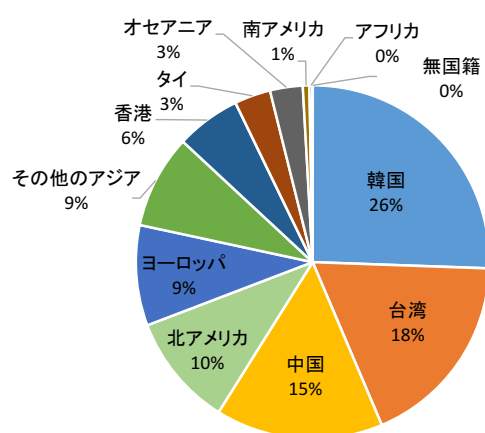
○国内を訪れる外国人観光客の国籍別割合（平成 30 年度）は、中国が 27%と最も多く、次いで「韓国」が 24%、「台湾」が 15%となっている。平成 24 年度と比較すると「中国」の割合が増えており、上位 3 カ国で全体の 6 割以上（66%）を占めている。

○沖縄県を訪れる外国人観光客の国籍別割合（平成 30 年度）は、「台湾」が 31%と最も多く、次いで「韓国」、「香港」となっている。

○沖縄市を訪れる外国人観光客の国籍別割合（令和元年 4 月～12 月）は、「台湾」が 33%と最も多く、次いで「韓国」「香港」「アメリカ」が同率で 18%である。

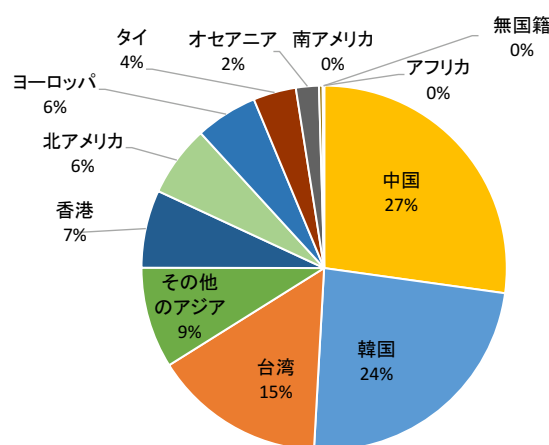
①国内

■平成 24 年度



N=8,708,300

■平成 30 年度

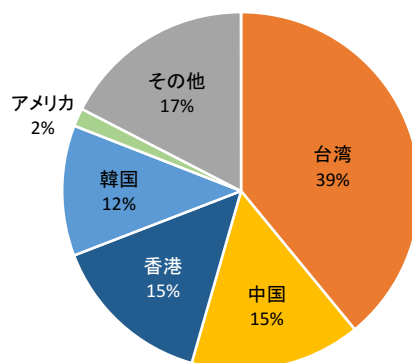


N=31,626,991

出典：国籍／月別 訪日外客数（JNTO）

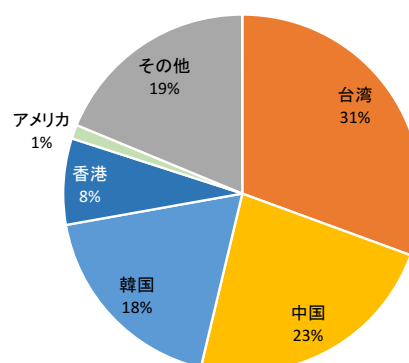
②沖縄県

■平成 24 年度



N=382,500

■平成 30 年度



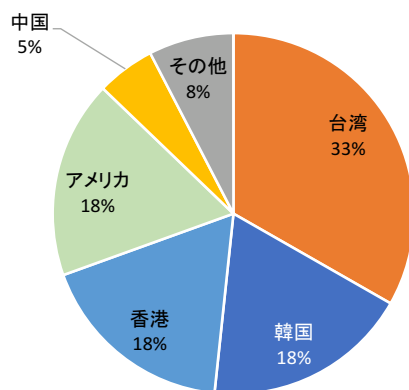
N=3,000,800

出典：観光要覧（沖縄県）

※「沖縄県」のデータは、「出入国管理統計年報（法務省）」をもとに、沖縄県が作成

③沖縄市

■令和元年 4 月～12 月



N=77,549

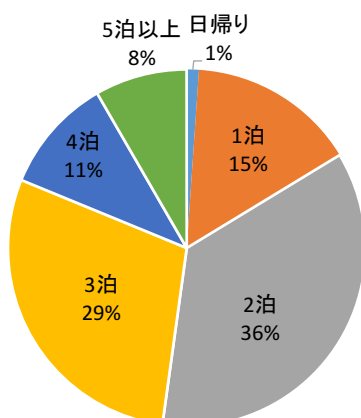
出典：令和元年度 宿泊実績調査（3-3 参照）

（5）観光客の滞在日数

○沖縄県内を訪れた観光客の滞在日数は、「2 泊」が 36%と最も多く、次いで「3 泊」が 29%となっており「2～3 泊」の滞在が全体の 6 割以上を占めている。

○沖縄市内の観光客の滞在日数をみると、「1 泊」が 38%と最も多く、次いで「2 泊」が 25%となっている。

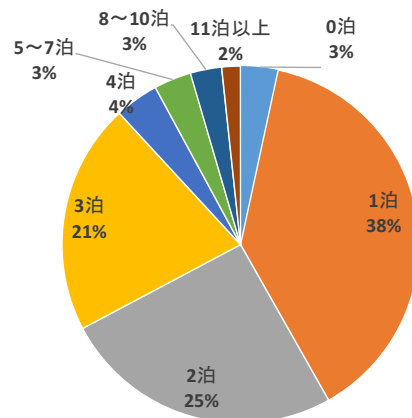
①沖縄県



N=4,362

出典：平成 30 年度観光統計実態調査（沖縄県）

②沖縄市



N=177

出典：令和元年度 WEB アンケート調査（3-2 参照）

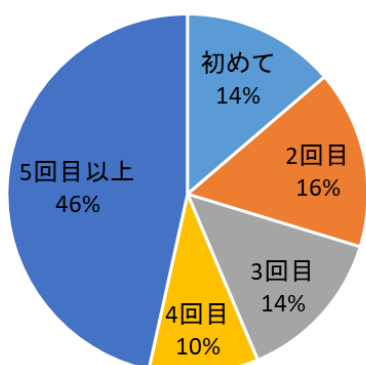
(6) 観光客の来訪回数

○沖縄県内を訪れた観光客の来訪回数は、国内客は「5 回以上」が 46%と最も多く、全体の 86%が、来訪経験が 2 回目以上とリピート率が高い。一方、国外客は 78%が「初めて」となっている。

○沖縄市内を訪れた観光客の来訪回数を見ると、国内客（県外客）は「今回が初めて」が 40%と最も多くなっている。

①沖縄県

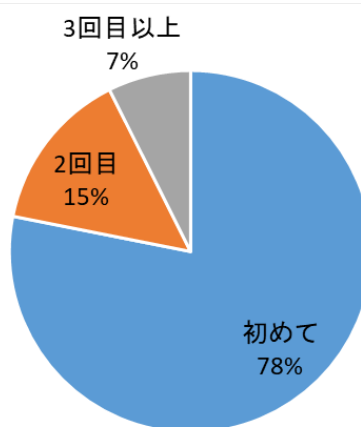
■国内客



N=4,362

出典：平成 30 年度観光統計実態調査（沖縄県）

■国外客



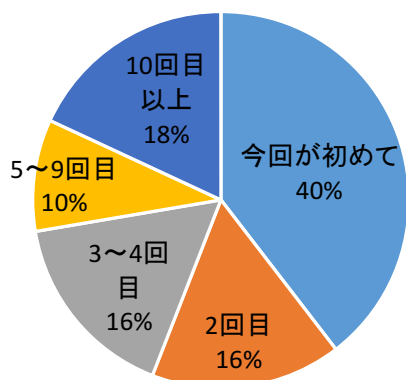
N=2,111

出典：平成 30 年度外国人観光客実態調査（沖縄県）

※「国外客」は空路調査の結果をもとに整理

②沖縄市

■国内客（県外客）



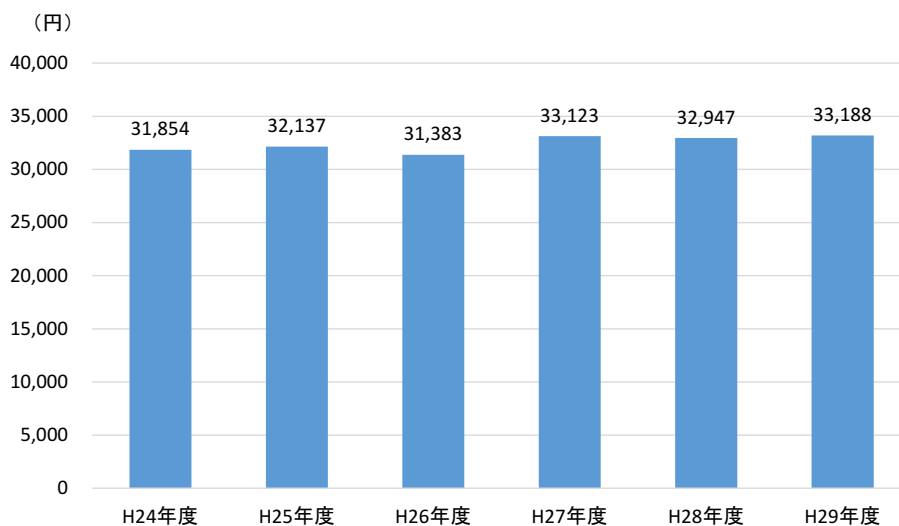
N=177

出典：令和元年度 WEB アンケート調査（3-2 参照）

(7) 観光消費額の推移

○国内の観光客一人あたりの平均消費額は 33,188 円となっており、平成 24 年度からほぼ横ばい傾向にある。沖縄県全体の観光客一人当たりの平均消費額は 72,825 円と、平成 24 年度から約 8.0%増加している。

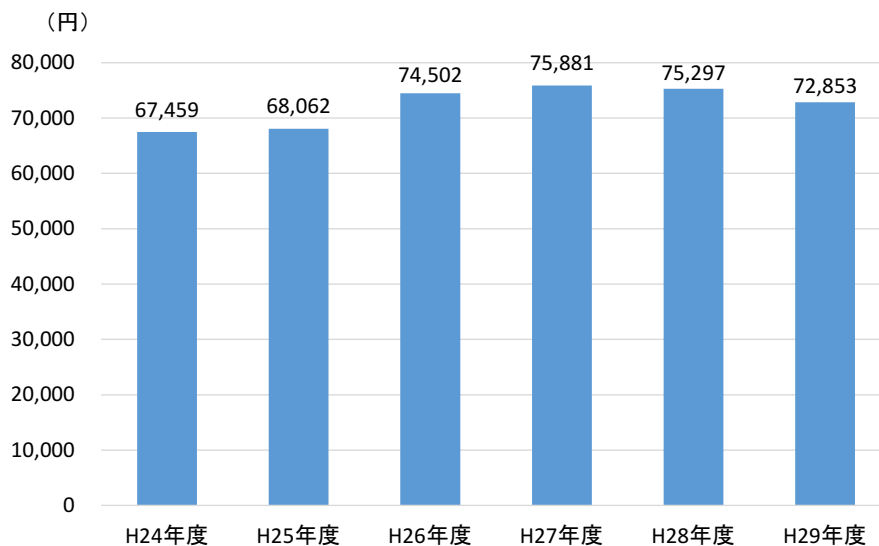
①国内（一人あたりの旅行単価）



出典：旅行・観光消費動向調査（観光庁）

※月別データの結果をもとに整理

②沖縄県（一人あたりの旅行単価）



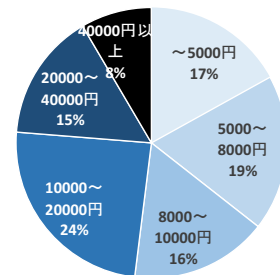
出典：観光統計実態調査（沖縄県）

③沖縄市（一人あたりの各項目の単価）

・沖縄市では、ひとりあたりの消費額として、①宿泊費、②交通費、③食事代、④お酒・ナイトエンターテインメント代、⑤お土産・買い物代、⑥施設入場料・レジャー・体験料、⑦その他の項目について、確認を行った。

1) ひとりあたりの宿泊費

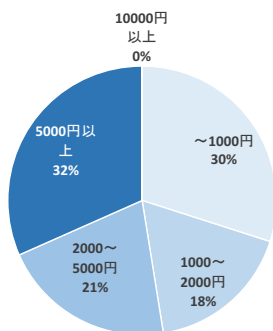
1万～2万が最も多く24%



N= 177

2) ひとりあたりの交通費

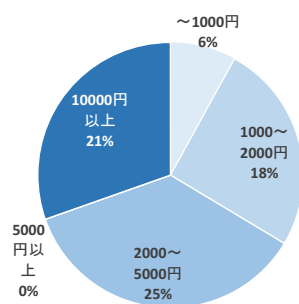
5千円以上が最も多く32%



N= 177

3) ひとりあたりの食事代

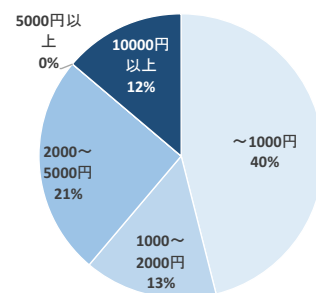
2千～5千円が最も多く25%



N= 177

4) ひとりあたりのお酒・エンターテインメント代

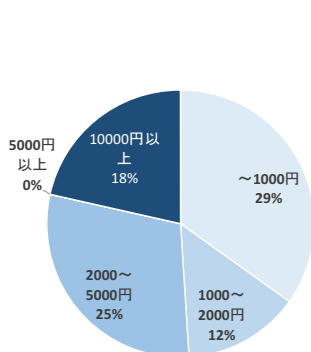
千円未満が最も多く40%



N= 177

5) ひとりあたりのお土産・買い物代

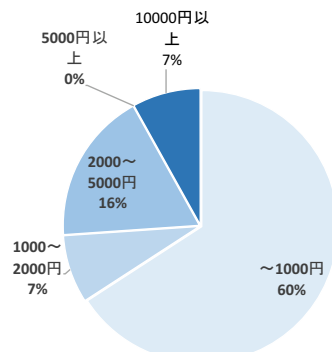
千円未満が最も多く29%



N= 177

6) ひとりあたりの施設入場料、レジャー・体験料

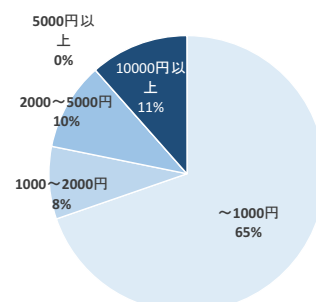
千円未満が最も多く60%



N= 177

7) その他

千円未満が最も多く65%



N= 177

出典：令和元年度 WEB アンケート調査（3-2 参照）

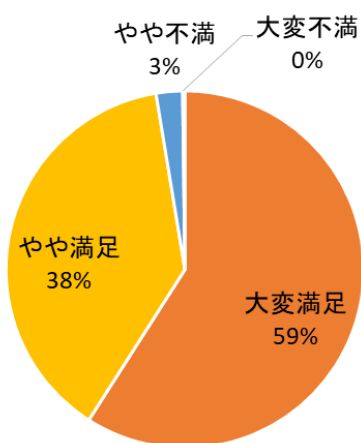
(8) 観光客の満足度

○沖縄県を訪れた観光客の満足度は、国内客は「大変満足」、「やや満足」と回答した割合は、97%となっており、国外客は86%となっている。

○沖縄市を訪れた観光客の満足度は、国内客（県外客）は、「大変満足」が49%、「やや満足」は、28%となっている。

①沖縄県

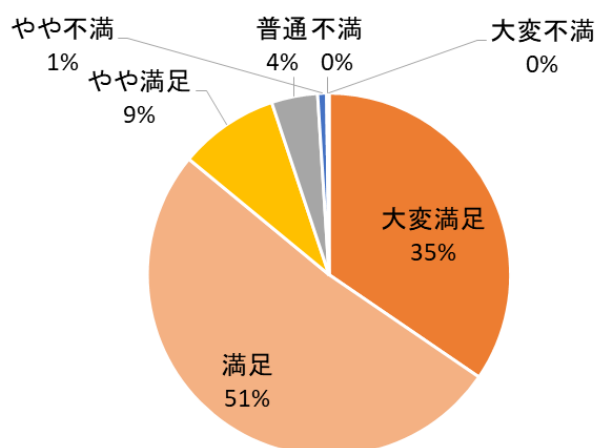
■国内客



N=2538

出典：平成30年度観光統計実態調査（沖縄県）

■国外客

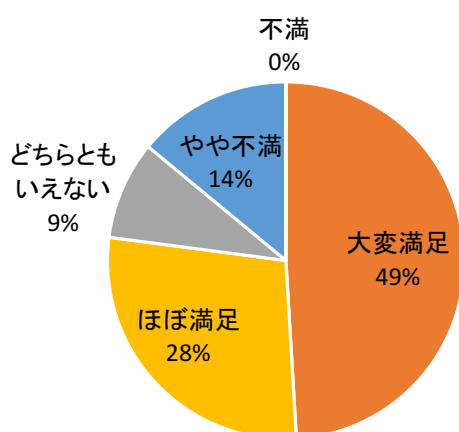


N=2106

出典：平成30年度外国人観光客実態調査（沖縄県）

※「国外客」は空路調査の結果をもとに整理

②沖縄市



N=177

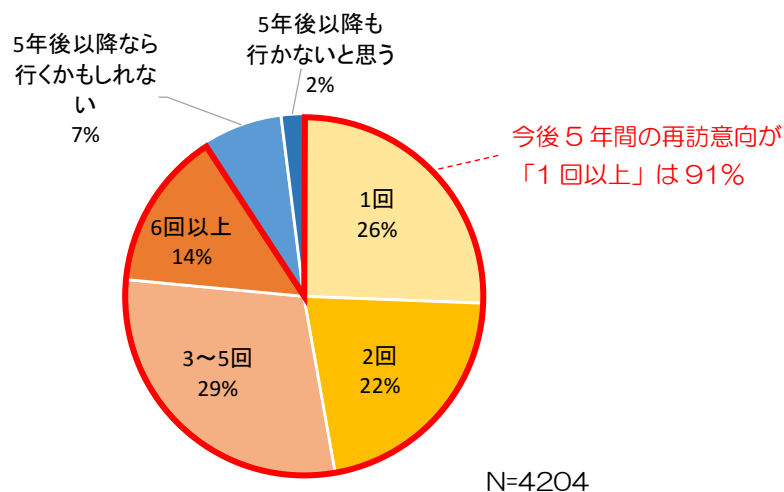
出典：令和元年度WEBアンケート調査結果（3-2 参照）

(9) 観光客の再訪意向

○沖縄県を訪れた観光客の今後の5年間の再訪傾向は「1回以上」という回答が91%と高い割合を占めている。

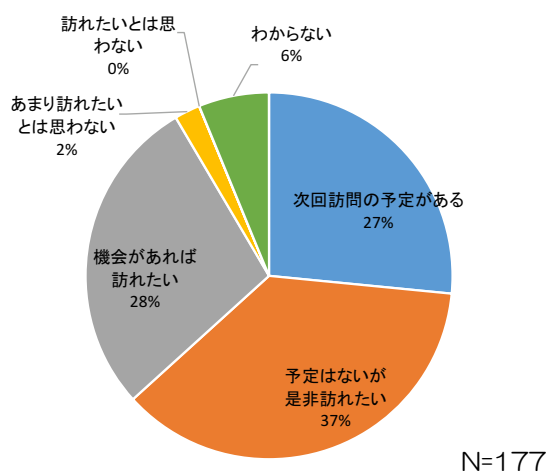
○沖縄市を訪れた国内県外客の再訪意向は「予定はないが是非訪れたい」の37%と最も多い。

①沖縄県（今後5年間の再訪意向）



出典：平成30年度観光統計実態調査（沖縄県）

②沖縄市（国内県外客）



出典：令和元年度WEBアンケート調査結果（3-2 参照）

2-2. データ分析（携帯 GPS 調査）

沖縄市に来訪する国内県外出身の観光客の発地場所、旅程、宿泊地、滞在時間、周遊ルート等を携帯位置情報データより把握し、マーケティングに資する分析を実施した。

具体的には、携帯端末の位置情報データから沖縄市内に 30 分以上滞在した来訪者のデータを抽出し、来訪者の属性や行動の特性を把握した。また、調査期間および市内の観光エリアを設定することで、来訪時期や来訪場所による傾向の分析を行った。

調査対象	○沖縄市内に 30 分以上滞在した国内県外居住者 ⇒ 市内居住者・通勤者、主要非観光施設（スーパー等）のみ滞在者、長期滞在者および高頻度滞在者は除外
調査方法	OKDDI が au スマートフォンユーザーから位置情報取得の同意を得て、個人が特定できないように加工した、位置情報データおよび属性情報等を利用して分析を実施
調査期間 (データ取得期間)	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 ※以下、5 つの期間を設定し、対象期間内の詳細な分析を実施 期間 1：平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日 期間 2：平成 30 年 7 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日 期間 3：平成 30 年 10 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日 期間 4：平成 31 年 1 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 期間 5：平成 30 年 8 月 31 日～平成 30 年 9 月 2 日 ※エイサーまつり期間
対象データ数	2,397 人（日帰り：18 人、宿泊：2,378 人）
分析項目	①属性分析：性別・年齢層ごとの来訪者数 ②発地分析：発地（都道府県、市区町村）ごとの来訪者数 ③立寄り分析：市区町村ごと、250m メッシュごとの立寄り比率 ④旅程分析：旅程別の来訪者数、宿泊場所区分別の宿泊人泊数 ⑤宿泊地分析：市区町村ごとの宿泊人泊数 ⑥昼間滞在時間分析：昼間の滞在時間 ※沖縄市内全体（250m メッシュ）、観光エリア（10m メッシュ）ごとに分析を実施
観光エリア	①県総合運動公園/②コザ運動公園/③沖縄こどもの国/④東南植物楽園/ ⑤泡瀬漁港・パヤオ直売店/⑥プラザハウス/⑦ちゃんぷる～市場/ ⑧コザ商店街周辺/⑨中の町周辺/⑩グランメール

◆データ分析（携帯 GPS 調査）の構成

次頁以降（23～96p）の携帯 GPS 調査の構成を以下に示す。

前提条件	23
・前提条件	23
・前提条件 → 沖縄市内観光エリア	26
サマリー	36
・沖縄市全体サマリー	37
・市内各観光エリアサマリー	38
沖縄市来訪者の基礎集計	48
・沖縄市来訪者数	49
・属性分析	50
・発地分析	51
・滞在メッシュヒートマップ	55
・通過メッシュヒートマップ	57
・立ち寄り分析	59
・旅程分析	61
・宿泊地分析	62
・発地都道府県別 域内泊数分解分析	69
観光エリア分析	70
・観光エリア別 来訪者数・来訪率	71
・観光エリア別 属性分析	72
・観光エリア別 発地分析	74
・観光エリア別 周遊箇所数分析	80
・観光エリア別 周遊分析	81
・観光エリア別 旅程分析	84
・観光エリア別 域内泊数分解分析	85
・観光エリア別 昼間滞在時間分析	87
Appendix（参考付録）	88
・発地分析	89
・発地都道府県別 域内泊数分解分析	94
・観光エリア別 発地分析	95

調査目的	
【沖縄市】に來訪した人（日帰り・宿泊）の観光動態調査。 沖縄市來訪者の全体傾向の把握（基礎集計）、および観光エリア単位の來訪者特徴の分析（観光エリア分析）	
調査対象	
沖縄市内に30分以上滞在した人。 ただし、沖縄市居住者・通勤者、主要非観光施設（スーパー等）のみ滞在者、長期旅程者、および高頻度來訪者を除外。 また、生活圏のデータ、沖縄県内居住者のデータは除外しております。	
調査方法	
KDDIがスマートフォンユーザーから位置情報取得の同意を得て、個人が特定できないように加工した位置情報データおよび属性情報（性別・年齢層）等を利用	
調査期間	
2018年4月1日～2019年3月31日 期間 1 : 2018年4月1日～2018年6月30日 期間 2 : 2018年7月1日～2018年9月30日 期間 3 : 2018年10月1日～2018年12月31日 期間 4 : 2019年1月1日～2019年3月31日 期間 5 : 2018年8月31日～2018年9月2日 ※エイサーまつり2018開催期間 ※但し、期間内に出発し、期間終了後7日経過前に帰着したデータを含む ※期間 5 のみ、旅程内に上記日程が含まれているユーザーのデータを使用	
調査対象ユーザー数(ウェイトバック補正後)	
2,397人(内 日帰り者 18人 宿泊者 2,378人)	
ウェイトバック補正	
KDDI許諾者数の変動及び、性年齢層の偏りのウェイトバック補正処理を各月で実施しております。 *KDDI許諾者数の変動は対象期間のKDDI許諾者数から、対象月の補正値を算出。 *性年齢層別の偏りは、最新の人口統計（平成27年国勢調査）を用いて補正値を算出。	

分析定義

判定	
来訪平日判定	旅程に1日でも休日が含まれていたら休日来訪者、旅程の全ての日が平日なら平日来訪者とする。
宿泊地判定	22時～翌日8時の間に最も長く滞在した場所を宿泊市区町村とする。但し、滞在時間が1時間未満の場合は不明とする。
宿泊場所区分判定	沖縄市内での宿泊を域内泊、沖縄市外での宿泊を域外泊とする。
昼間判定	9時00分～20時59分の間に滞在した来訪者を対象とする。
立寄り市区町村判定	旅程内に30分以上滞在した市区町村を立寄り市区町村とする。
観光エリア来訪判定	沖縄市内の10つの観光エリア対して、各観光エリアに15分以上滞在した人を来訪者とする。

集計数値

滞在時間	沖縄市来訪者及び観光エリア来訪者の平均滞在時間
平均周遊箇所数	沖縄市来訪者が観光エリアを周遊した平均箇所数
秘匿処理	来訪者数が少ない区分は、プライバシー保護の観点からブランクもしくは「****」と表示する

区分

地域	北海道	北海道
	東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
	関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
	中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
	近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
	中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
	四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
	九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
	性別	男性、女性
	年齢層	15～29歳、30～39歳、40～49歳、50歳～
属性		
来訪旅程	日帰り、宿泊(1泊、2泊以上)	
宿泊場所	域内泊、域外泊	
観光エリア	P6～15を参照	

分析内容

基礎集計

属性分析	性別・年齢層ごとの来訪者数を算出
発地分析	発地地域・都道府県・市区町村ごとの来訪者数を算出
立寄り分析	市区町村ごと・250mメッシュごとに立寄り比率を算出
旅程分析	旅程別の来訪者数 及び 宿泊場所区分別の宿泊人泊数を算出
宿泊地分析	市区町村ごとに宿泊人泊数を算出
昼間滞在時間分析	昼間の滞在時間を算出

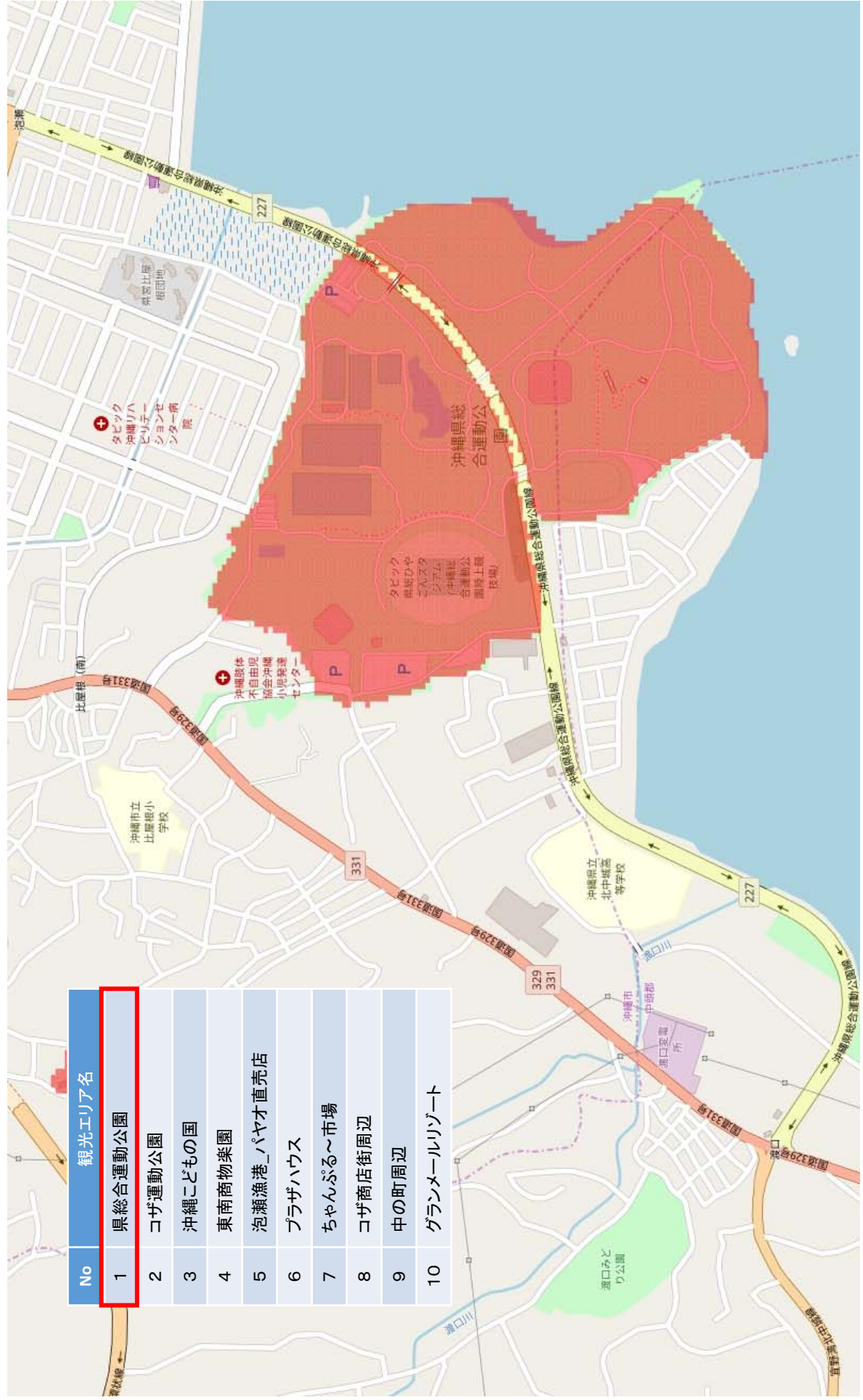
観光エリア分析

観光エリア別	属性分析	性別・年齢層ごとの来訪者数を算出
	発地分析	発地地域・都道府県・市区町村ごとの来訪者数を算出
	周遊箇所数分析	平均周遊箇所数を算出
	周遊分析	観光エリア間の周遊をルートごとに性別・年齢層ごとの周遊者数を算出
	旅程分析	旅程別の来訪者数 及び 宿泊場所区分別の宿泊人泊数を算出
	域内泊数分解分析	域内泊数を各指標により分解
	昼間滞在時間分析	昼間の滞在時間を算出

前提条件 - 沖縄市内観光エリア-

Location Trends

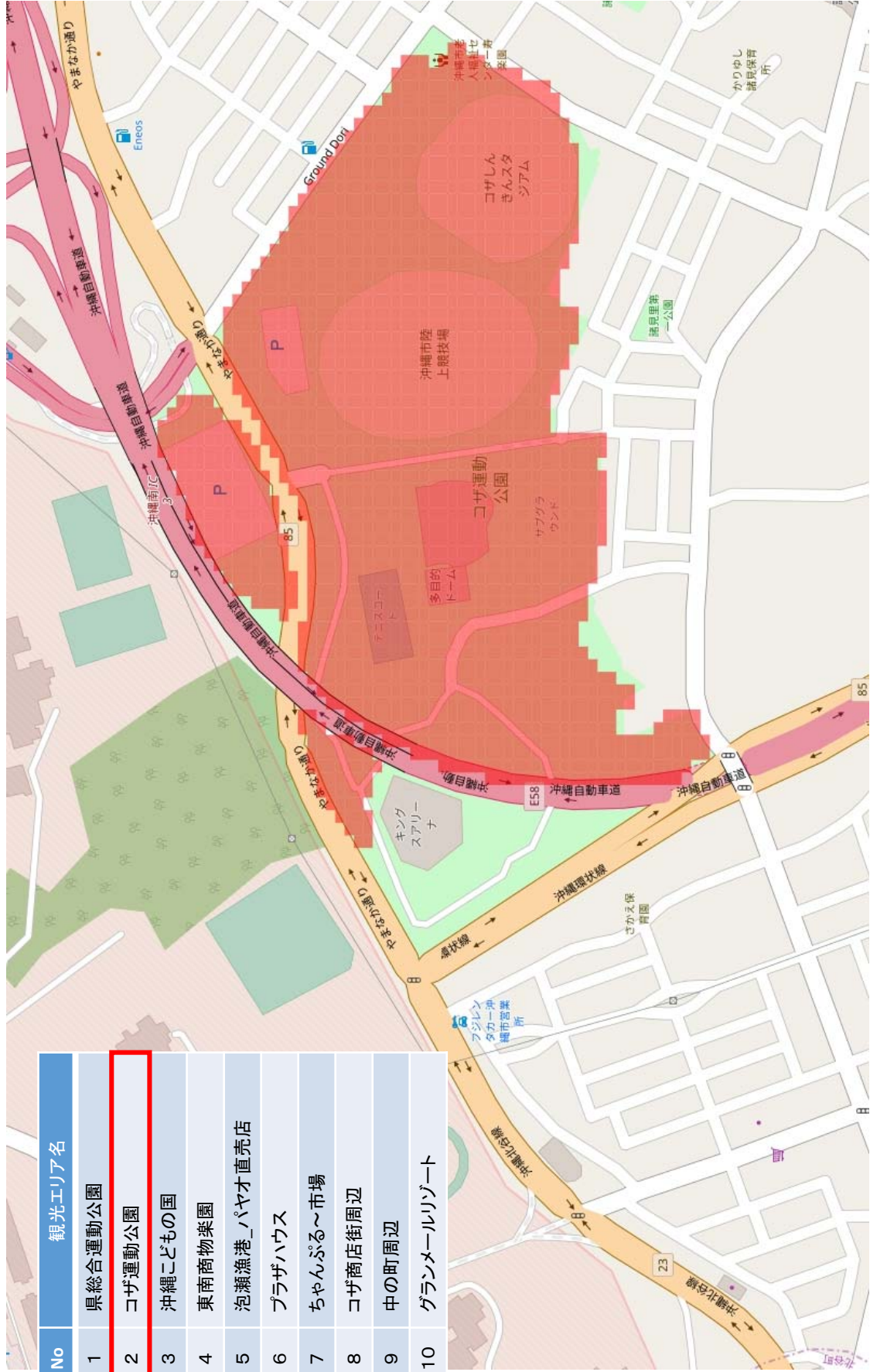
No	観光エリア名
1	県総合運動公園
2	コザ運動公園
3	沖縄こどもの国
4	東南商物楽園
5	泡瀬漁港_パヤオ直売店
6	プラザハウス
7	ちゃんぷる〜市場
8	コザ商店街周辺
9	中の町周辺
10	グランメールリゾート



前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

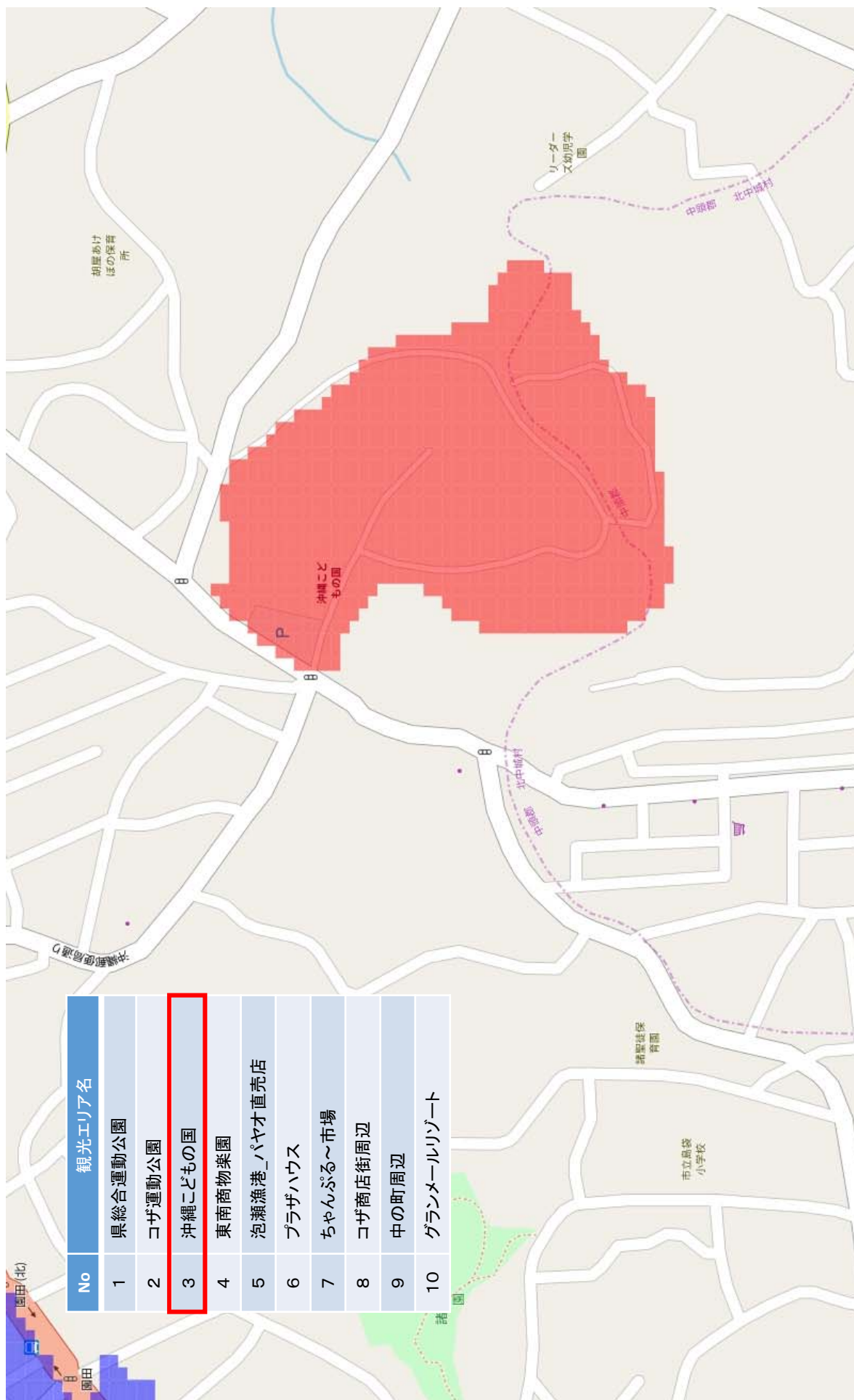
Location Trends

No	観光エリア名
1	県総合運動公園
2	コザ運動公園
3	沖縄こどもの国
4	東南商物楽園
5	泡瀬漁港_パヤオ直売店
6	プラザハウス
7	ちゃんぷる〜市場
8	コザ商店街周辺
9	中の町周辺
10	グランメールリゾート



Location Trends

No	観光エリア名
1	県総合運動公園
2	コザ運動公園
3	沖縄こどもの国
4	東南商物築園
5	泡瀬漁港_パヤオ直売店
6	ブラザハウス
7	ちゃんぶる〜市場
8	コザ商店街周辺
9	中の町周辺
10	グランメーブルリゾート

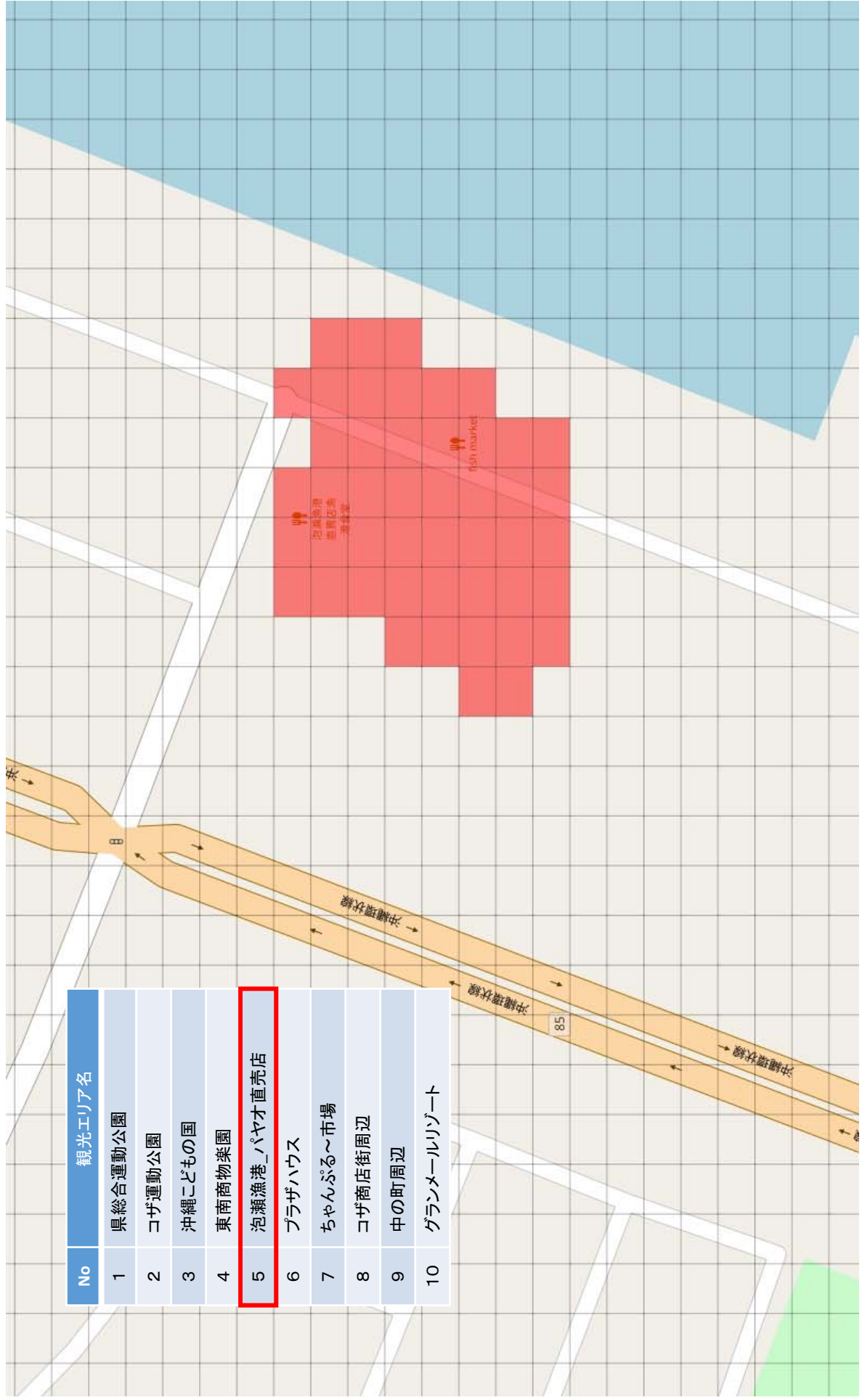


No	観光エリア名
1	県総合運動公園
2	コザ運動公園
3	沖縄こどもの国
4	東南商物楽園
5	泡瀬漁港_パヤオ直売店
6	プラザハウス
7	ちゃんぷる〜市場
8	コザ商店街周辺
9	中の町周辺
10	グランメールリゾート

前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

Location Trends

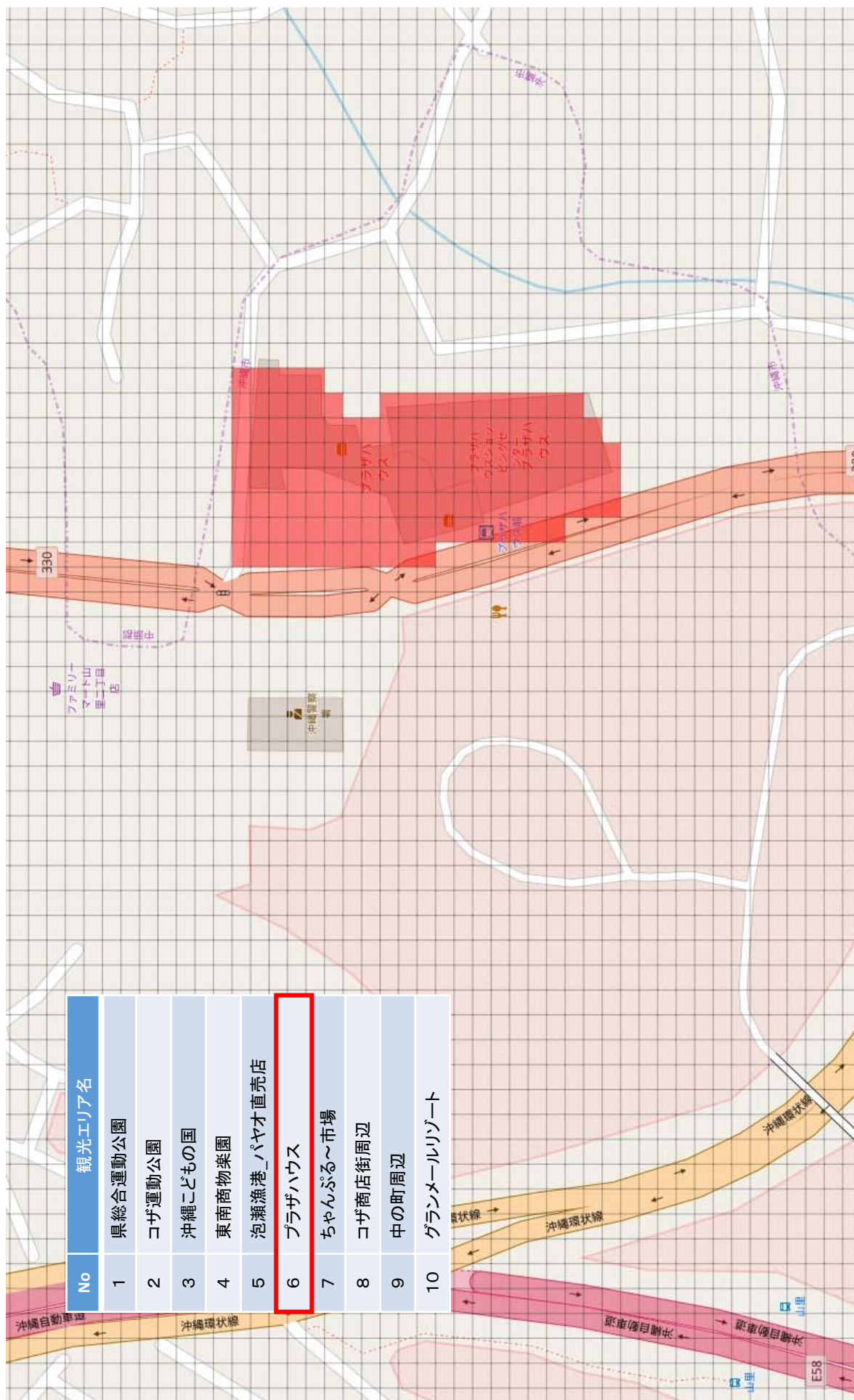
No	観光エリア名
1	県総合運動公園
2	コザ運動公園
3	沖縄こどもの国
4	東南商物楽園
5	泡瀬漁港_パヤオ直売店
6	プラザハウス
7	ちゃんぷる〜市場
8	コザ商店街周辺
9	中の町周辺
10	グランメーブルリゾート



前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

Location Trends

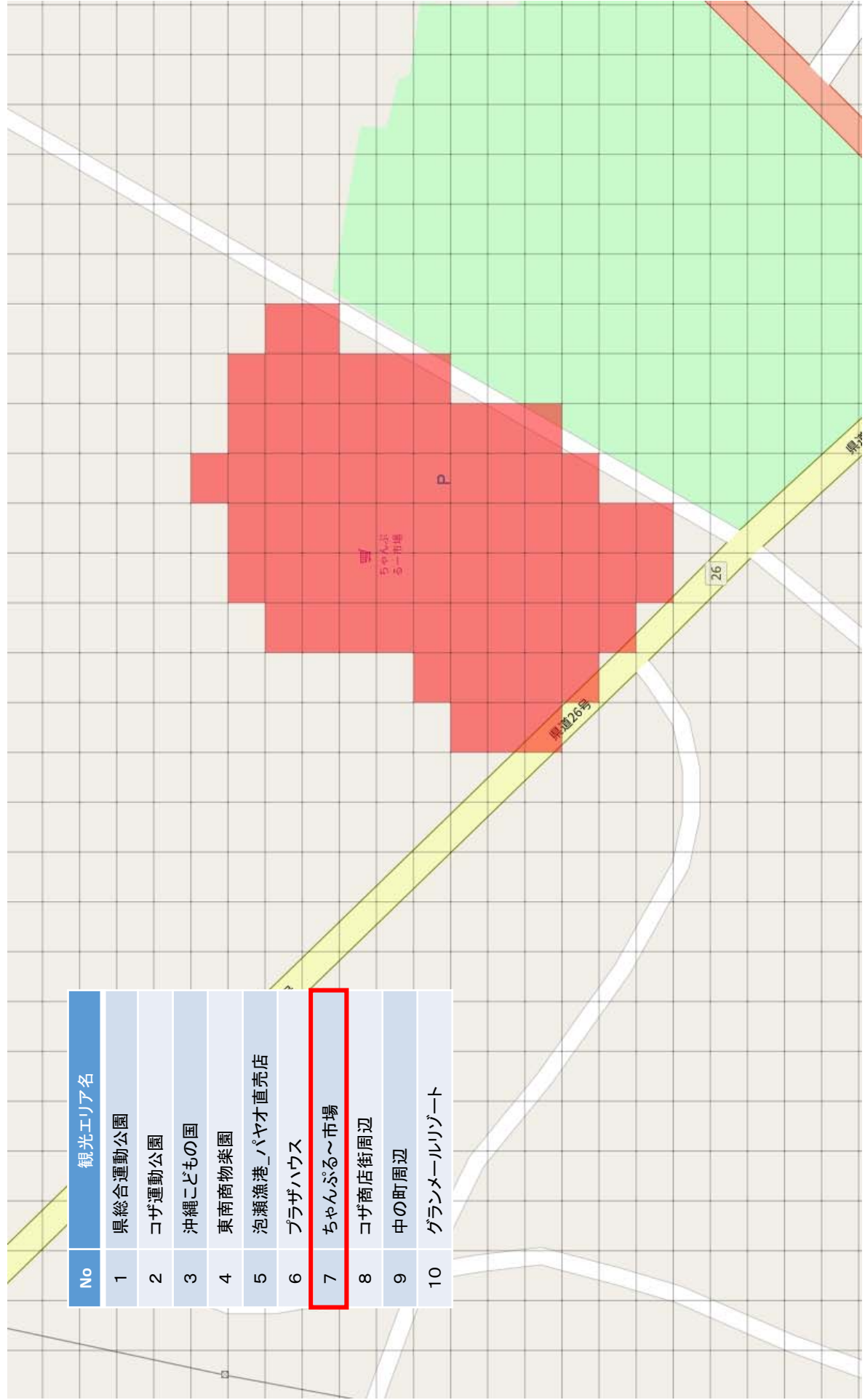
No	観光エリア名
1	県総合運動公園
2	コザ運動公園
3	沖縄こどもの国
4	東南商物楽園
5	泡瀬漁港_パヤオ直売店
6	プラザハウス
7	ちゃんぶる〜市場
8	コザ商店街周辺
9	中の町周辺
10	グランメールリゾート



前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

Location Trends

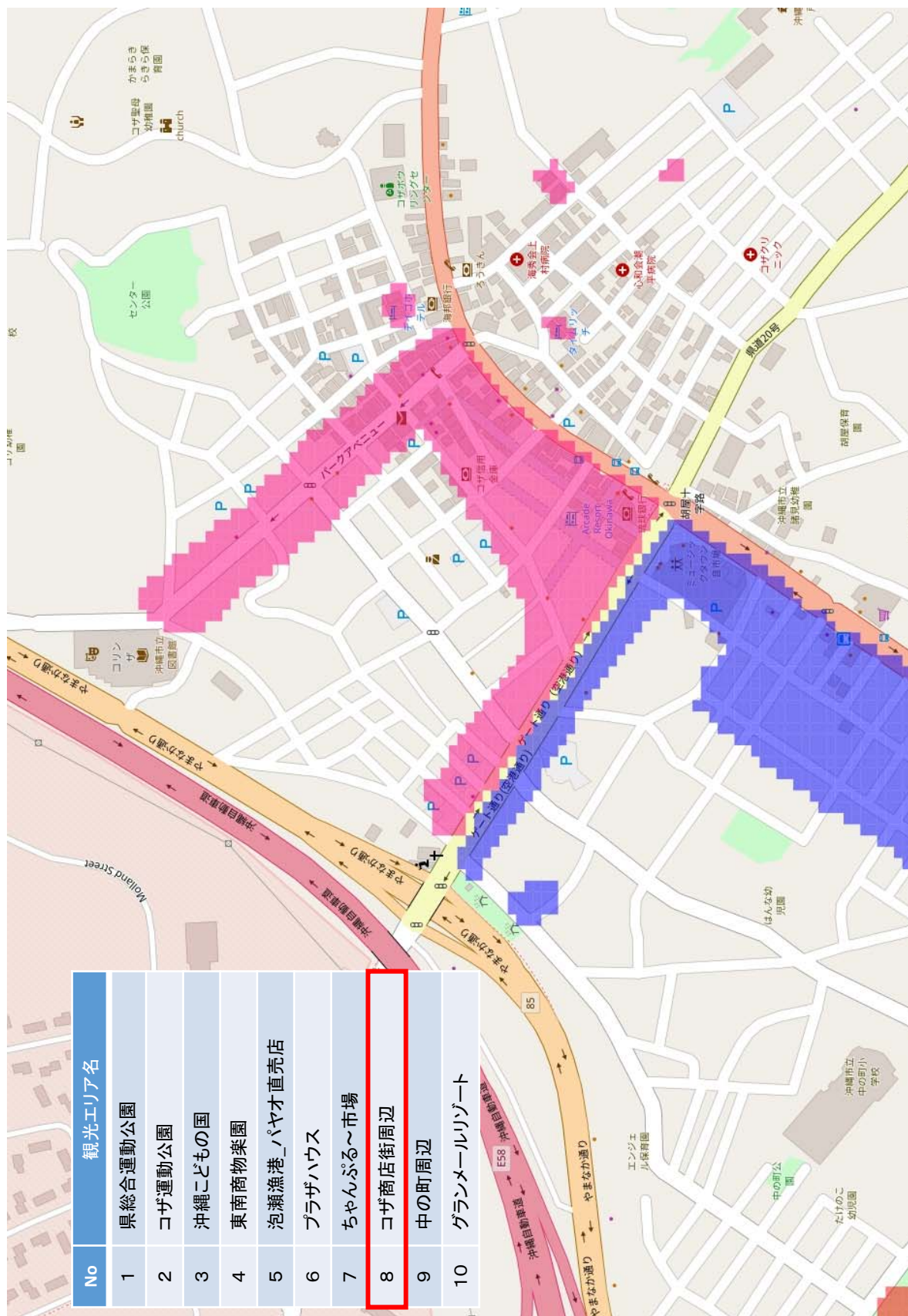
No	観光エリア名
1	県総合運動公園
2	コザ運動公園
3	沖縄こどもの国
4	東南商物楽園
5	泡瀬漁港_パヤオ直売店
6	プラザハウス
7	ちゃんぶる〜市場
8	コザ商店街周辺
9	中の町周辺
10	グランメーブルリゾート



前提条件 - 沖縄市内観光エリア-

Location Trends

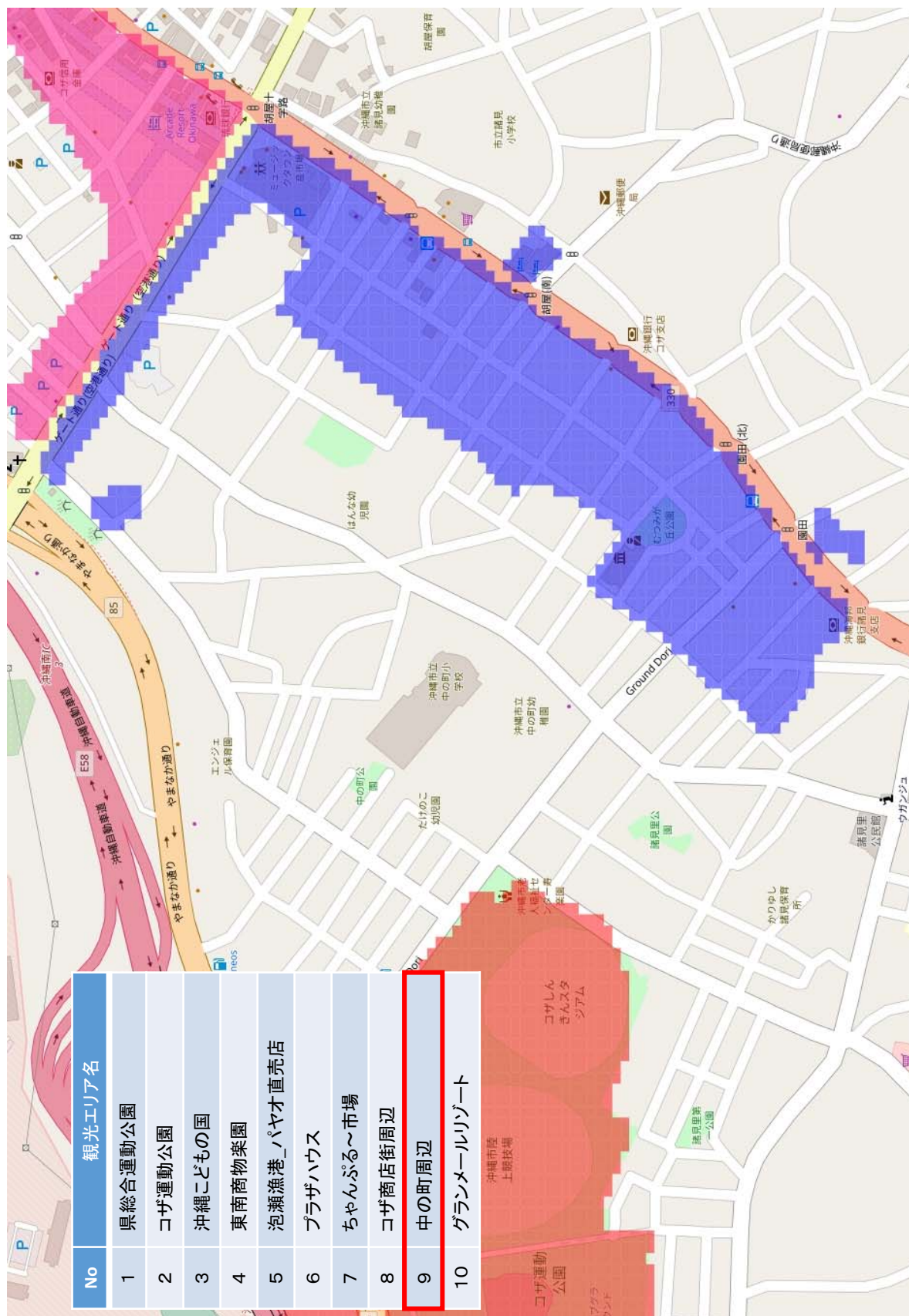
No	観光エリア名
1	県総合運動公園
2	コザ運動公園
3	沖縄こどもの国
4	東南商物楽園
5	泡瀬漁港_パヤオ直売店
6	プラザハウス
7	ちゃんぷる〜市場
8	コザ商店街周辺
9	中の町周辺
10	グランメーブルリゾート



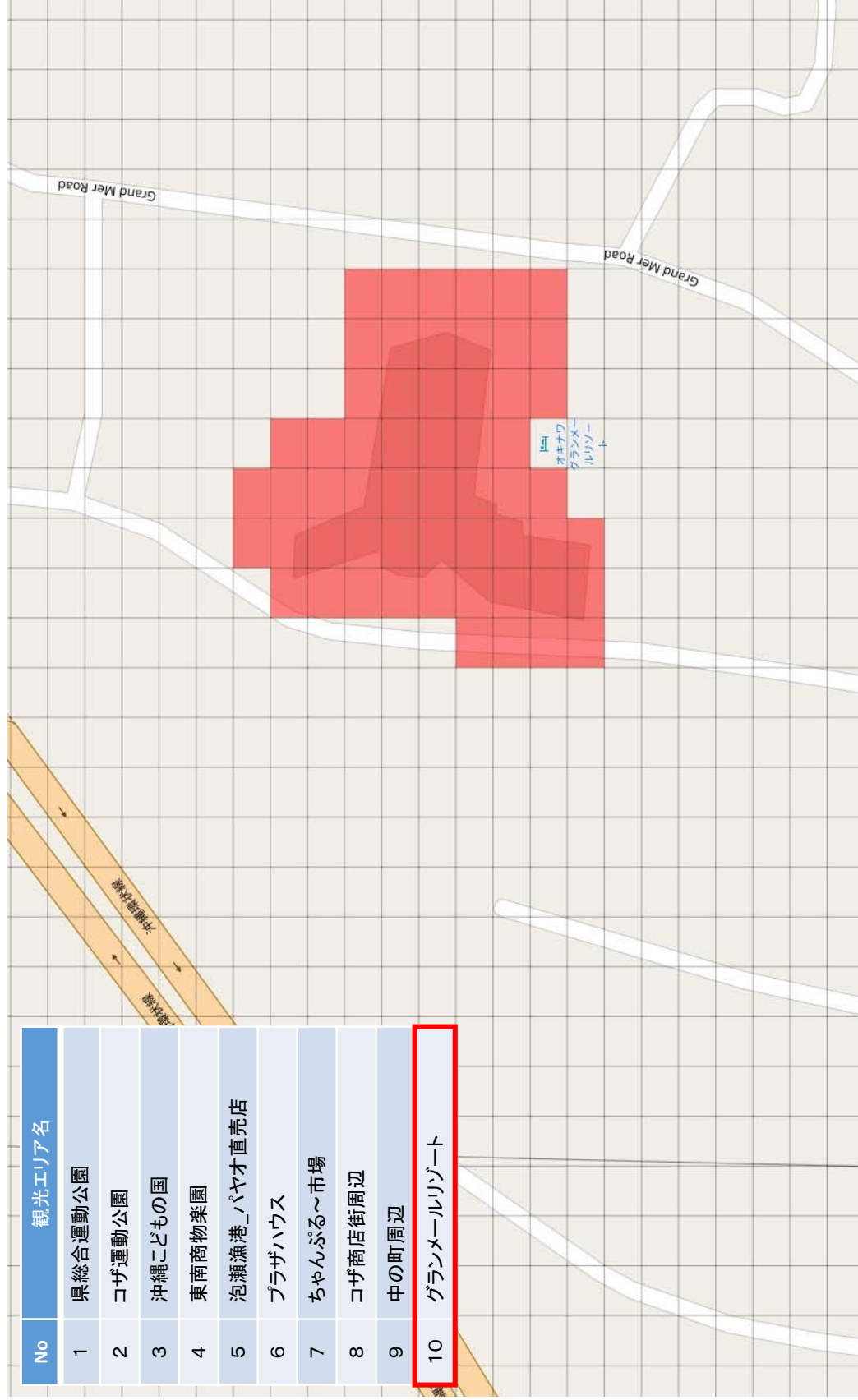
前提条件 - 沖縄市内観光エリア-

Location Trends

No	観光エリア名
1	県総合運動公園
2	コザ運動公園
3	沖縄こどもの国
4	東南商物楽園
5	泡瀬漁港_パヤオ直売店
6	プラザハウス
7	ちゃんぷる〜市場
8	コザ商店街周辺
9	中の町周辺
10	グランメールリゾート



前提条件 - 沖縄市内観光エリア-



サマリー

沖縄市の全体来訪者は2,397人。来訪者の属性は男性が50.4%、年齢層別では50歳以上が33.4%を占める。発地都道府県をみると、東京都発地者が15.7%で最も多く、市区町村別では東京都大田区、東京都江戸川区、神奈川県横浜須賀野市が多い。沖縄市来訪者の約92%が2泊以上の旅行者。宿泊旅程のうち域内（＝沖縄市内）宿泊率は16.6%。8割以上が沖縄市外へ宿泊流出している。宿泊地は那覇市が最も多く、約27%。ついで沖縄市、国頭郡恩納村が多い。立寄り市区町村は那覇市について、国頭郡本部町、国頭郡恩納村への立ち寄りが多い。観光エリアは「中の町周辺」「東南植物楽園」「グランメールリゾート」への来訪率が高い。2箇所以上の観光エリア来訪率は7%。周遊ルートは「コザ商店街周辺 ⇄ 中の町周辺」が多い。

全体来訪者	
	2,397人

属性把握		
誰が どこから来訪しているのか		
属性		
男性	15～29歳	50.4%
	30～39歳	12.8%
	40～49歳	11.0%
	50歳以上	10.3%
		16.4%
女性	15～29歳	49.6%
	30～39歳	13.7%
	40～49歳	9.3%
	50歳以上	9.6%
		17.0%
発地		
順位 都道府県名 構成比		
発地 都道府県	1 東京都	15.7%
	2 大阪府	10.2%
	3 神奈川県	10.2%
	4 愛知県	8.3%
	5 福岡県	6.8%
発地 市区町村	1 東京都大田区	1.5%
	2 東京都江戸川区	1.3%
	3 神奈川県横浜須賀野市	1.2%
	4 東京都練馬区	1.1%
	5 愛知県安城市	1.1%

宿泊傾向把握									
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか									
旅程			宿泊地（人泊数にて算出）						
日帰り率	0.8%	域内宿泊			域外宿泊				
		順位	市区町村名	宿泊率	順位	市区町村名	宿泊率		
1泊率		1	沖縄市	16.6%	1	那覇市	26.9%		
2泊以上率	92.1%	2			2	国頭郡恩納村	12.8%		
		3			3	うるま市	7.0%		
平均泊数	3.05	4			4	中頭郡北谷町	5.9%		
		5			5	名護市	4.6%		

「県総合運動公園」 サマリー



「県総合運動公園」来訪者は94人。来訪者の属性は男性が56%、年齢層別では15～29歳が35.4%を占める。発地都道府県をみると、神奈川県発地者が23.3%を占め、市区町村別では神奈川県横須賀市、東京都杉並区、兵庫県神戸市灘区が多い。旅程は2泊以上が多く89.5%で、観光エリア内第7位。平均泊数は3.04日。域内（＝沖縄県内）泊率は30.3%で観光エリア内第5位。約70%が域外へ宿泊流出している。平均滞在時間は2:41で観光エリア内第2位。

来訪者		
94人	エリア順位	8位

属性把握		
誰が どこから来訪しているのか		
属性		
男性	15～29歳	56.0%
	30～39歳	21.6%
	40～49歳	****
	50歳以上	****
	50歳以上	16.8%
女性	15～29歳	44.0%
	30～39歳	13.7%
	40～49歳	****
	50歳以上	11.0%
	50歳以上	****

発地		
順位	都道府県名	構成比
1	神奈川県	23.3%
2	東京都	14.5%
3	福岡県	****
4	兵庫県	****
5	愛知県	****
順位	市区町村名	構成比
1	神奈川県横須賀市	14.2%
2	東京都杉並区	****
3	兵庫県神戸市灘区	****
4	滋賀県大津市	****
5	福岡県筑紫野市	****

宿泊傾向把握				
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）		
日帰り率	エリア順位	域内宿泊	域外宿泊	エリア順位
****	3位	域内宿泊率	域外宿泊率	6位
1泊率	****	30.3%	69.7%	****
2泊以上率	89.5%	****	****	****
平均泊数	3.04	****	****	****

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間		観光エリア周遊		
全体	2:41	周遊指標	****	****
エリア順位	2位	平均周遊箇所数	1.29	7位
日帰り	****	2箇所以上来訪率	37.5%	2位
エリア順位	****	1箇所のみ来訪率	62.5%	9位
宿泊	2:41	****	****	****
エリア順位	2位	****	****	****

来訪率	
1 沖縄県	14.2%
2 東京都	10.8%
3 神奈川県	****
4 兵庫県	****
5 福岡県	****

「コザ運動公園」来訪者は104人。来訪者の属性は女性が54.4%、年齢層別では50歳以上が43.6%を占める。発地都道府県をみると、東京都発地者が14.1%を占め、市区町村別では茨城県境町、広島県東広島市、神奈川県川崎市幸区が多い。旅程は2泊以上が多く85.4%で、観光エリア内第10位。平均泊数は2.81日。域内（＝沖縄市内）泊率は18.7%で観光エリア内第6位。約81%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.33箇所、観光エリア内第4位。「中の町周辺」との周遊が最も多い。平均滞在時間は2:50で観光エリア内第1位。

来訪者		
104人	エリア順位	7位

属性把握		
誰が どこから来訪しているのか		
男性	属性	
	15～29歳	45.6% ****
	30～39歳	10.5% ****
	40～49歳	****
	50歳以上	21.5% ****
女性	属性	
	15～29歳	54.4% ****
	30～39歳	****
	40～49歳	13.1% ****
	50歳以上	22.0% ****
発地		
順位	都道府県名	構成比
1	東京都	14.1% ****
2	広島県	13.0% ****
3	神奈川県	11.4% ****
4	愛知県	****
5	大阪府	****
順位	市区町村名	構成比
1	茨城県境町	****
2	広島県東広島市	****
3	神奈川県川崎市幸区	****
4	東京都台東区	****
5	愛知県安城市	****

宿泊傾向把握				
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）		
日帰り率	エリア順位	域内宿泊	域外宿泊	エリア順位
	****	域内宿泊率	域外宿泊率	
1泊率	エリア順位 2位	18.7%	81.3%	5位
2泊以上率	エリア順位 10位	85.4%		
平均泊数	エリア順位 9位	2.81		

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間		観光エリア周遊		
全体	2:50	周遊指標		エリア順位
	エリア順位 1位	平均周遊箇所数	1.33	4位
日帰り	1:30	2箇所以上来訪率	25.6%	6位
エリア順位	1位	1箇所のみ来訪率	74.4%	5位
宿泊	2:52	周遊観光エリア		
エリア順位	1位	順位	来訪率	15.9% ****
		1 中の町周辺	****	
		2 グランメールリゾート	****	
		3 コザ商店街周辺	****	
		4 東南植物楽園	****	
		5 沖縄こどもの国	****	

「沖縄こどもの国」来訪者は115人。来訪者の属性は女性が61.8%、年齢層別では15～29歳が37.1%を占める。発地都道府県をみると、神奈川県発地者が15.9%を占め、市区町村別では神奈川県横浜須賀市、大分県別府市、鳥取県鳥取市が多い。旅程は2泊以上が多く97.9%で、観光エリア内第2位。平均泊数は3.54日。域内（＝沖縄市内）泊率は8.3%で観光エリア内第9位。約92%が域外へ宿泊流出している。平均滞在時間は1:36で観光エリア内第6位。

来訪者		
115人	エリア順位	6位

属性把握		
誰が どこから来訪しているのか		
男性	属性	
		38.2%
	15～29歳	10.6%
	30～39歳	13.2%
	40～49歳	****
女性	属性	
		61.8%
	15～29歳	26.5%
	30～39歳	13.7%
	40～49歳	9.5%
都道府県	発地	
		構成比
	1 神奈川県	15.9%
	2 茨城県	8.9%
	3 岡山県	****
	4 大阪府	****
市区町村	発地	
		構成比
	1 神奈川県横浜須賀市	12.5%
	2 大分県別府市	****
	3 鳥取県鳥取市	****
市区町村	発地	
		構成比
	1 神奈川県横浜須賀市	12.5%
	2 大分県別府市	****
	3 鳥取県鳥取市	****
	4 茨城県古河市	****
	5 岡山県笠岡市	****

宿泊傾向把握				
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）		
日帰り率	エリア順位	域内宿泊	域外宿泊	エリア順位
	****	域内宿泊率	域外宿泊率	
1泊率	エリア順位	8.3%	91.7%	2位
	9位			
2泊以上率	エリア順位	97.9%		
	2位			
平均泊数	エリア順位	3.54		
	3位			

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間		観光エリア周遊		
全体	エリア順位	平均周遊箇所数	周遊指標	エリア順位
	1:36	1.16		8位
日帰り	エリア順位	****	22.3%	7位

宿泊	エリア順位	1:36	77.7%	4位
	6位			
市区町村名	周遊観光エリア			来訪率
				11.6%
市区町村	順位			来訪率
	1 県総合運動公園			****
	2 グランメールリゾート			****
	3 中の町周辺			****
	4 コザ運動公園			****
	5 プラザハウス			****

「東南植物楽園」来訪者は191人。来訪者の属性は女性が63.6%、年齢層別では50歳以上が51.4%を占める。発地都道府県をみると、大阪府発地者が11.1%を占め、市区町村別では和歌山県海南市、福岡県福岡市南区、大阪府高槻市が多い。旅程は2泊以上が多く95%で、観光エリア内第6位。平均泊数は2.85日。域内（＝沖縄市内）泊率は6%で観光エリア内第10位。約94%が域外へ宿泊流出している。平均滞在時間は1:10で観光エリア内第8位。

来訪者		
191人	エリア順位	2位

属性把握		
誰が どこから来訪しているのか		
男性	属性	
		36.4%
	15～29歳	5.9%
	30～39歳	6.5%
	40～49歳	5.5%
女性	50歳以上	18.5%
		63.6%
	15～29歳	16.1%
	30～39歳	****
	40～49歳	****
都道府県	発地	
		構成比
	1 大阪府	11.1%
	2 千葉県	8.2%
	3 兵庫県	7.0%
	4 東京都	6.7%
	5 福岡県	6.6%
市区町村	市区町村名	
		構成比
	1 和歌山県海南市	****
	2 福岡県福岡市南区	****
	3 大阪府高槻市	****
	4 東京都江戸川区	****
	5 千葉県四街道市	****

宿泊傾向把握				
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
	旅程		宿泊地（人泊数にて算出）	
		エリア順位	域内宿泊	域外宿泊
	日帰り率	****	域内宿泊率	域外宿泊率
	1泊率	****	6.0%	94.0%
	2泊以上率	95.0%	10位	1位
平均泊数	2.85	エリア順位		
		8位		

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
	昼間滞在時間		観光エリア周遊	
		1:10	周遊指標	エリア順位
	全体	8位	平均周遊箇所数	10位
	エリア順位	****	2箇所以上来訪率	10位
	日帰り	****	1 箇所のみ来訪率	1位
エリア順位	1:10	周遊観光エリア		来訪率
		順位	順位	****
宿泊	8位	1	グランメーブルリゾート	****
		2	コザ運動公園	****
		3	中の町周辺	****
		4	コザ商店街周辺	****
		5	県総合運動公園	****

「泡瀬漁港_パヤオ直売店」 サマリー



「泡瀬漁港_パヤオ直売店」来訪者は11人。
 発地都道府県をみると、北海道発地者が最も多く、市区町村別では北海道浜中町、兵庫県洲本市、宮崎県東諸県郡国富町が多い。
 旅程は2泊以上が多く100%で、観光エリア内第1位。平均泊数は3.57日。
 平均周遊箇所数は1.3箇所、観光エリア内第5位。「中の町周辺」との周遊が最も多い。平均滞在時間は0:27で観光エリア内第9位。

来訪者		
11人	エリア順位	10位

属性把握		
誰が どこから来訪しているのか		
属性		
男性		****
	15～29歳	****
	30～39歳	****
	40～49歳	****
	50歳以上	****
女性		****
	15～29歳	****
	30～39歳	****
	40～49歳	****
	50歳以上	****
発地		
順位	都道府県名	構成比
1	北海道	****
2	大阪府	****
3	兵庫県	****
4	宮崎県	****
5	愛知県	****
順位	市区町村名	構成比
1	北海道浜中町	****
2	兵庫県洲本市	****
3	宮崎県東諸県郡国富町	****
4	大阪府泉佐野市	****
5	大阪府吹田市	****

宿泊傾向把握				
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）		
日帰り率	エリア順位	域内宿泊	域外宿泊	エリア順位
	****	域内宿泊率	域外宿泊率	****
1泊率	エリア順位	****	****	****
	****	****	****	****
2泊以上率	エリア順位	****	****	****
	****	****	****	****
平均泊数	エリア順位	****	****	****
	****	****	****	****

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間		観光エリア周遊		
全体	エリア順位	平均周遊箇所数	周遊指標	エリア順位
	****	****	****	****
日帰り	エリア順位	****	****	****
	****	****	****	****
宿泊	エリア順位	****	****	****
	****	****	****	****
周遊観光エリア		来訪率		
順位	順位	1 中の町周辺	2 コザ商店街周辺	3 ****
	****	****	****	****

「プラザハウス」来訪者は133人。来訪者の属性は女性が71.2%、年齢層別では50歳以上が23.1%を占める。発地都道府県をみると、神奈川県発地者が14.6%を占め、市区町村別では群馬県太田市、神奈川県横浜須賀市、大阪府守口市が多い。旅程は2泊以上が多く95.3%で、観光エリア内第5位。平均泊数は3.04日。域内（＝沖縄市内）泊率は8.7%で観光エリア内第8位。約91%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.15箇所、観光エリア内第9位。「コザ商店街周辺」との周遊が最も多い。平均滞在時間は1:11で観光エリア内第7位。

来訪者		
133人	エリア順位	5位

属性把握		
誰が どこから来訪しているのか		
男性	属性	
		28.8%
	15～29歳	****
	30～39歳	****
	40～49歳	****
女性	属性	
	50歳以上	9.1%
		71.2%
	15～29歳	19.6%
	30～39歳	28.0%
都道府県	属性	
	40～49歳	9.7%
	50歳以上	14.0%
発地		
順位	都道府県名	構成比
1	神奈川県	14.6%
2	東京都	14.3%
3	群馬県	10.0%
4	大阪府	9.4%
5	愛知県	8.1%
発地	属性	
		構成比
	1 群馬県太田市	8.2%
	2 神奈川県横浜須賀市	****
	3 大阪府守口市	****
市区町村	4 東京都文京区	****
	5 岡山県倉敷市	****

宿泊傾向把握				
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）		
日帰り率	エリア順位	域内宿泊	域外宿泊	エリア順位
	****	域内宿泊率	域外宿泊率	
1泊率	エリア順位	8.7%	91.3%	3位

2泊以上率	エリア順位			
	95.3%			
平均泊数	エリア順位			
	3.04			

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間		観光エリア周遊		
全体	1:11	周遊指標		エリア順位
		平均周遊箇所数	1.15	9位
エリア順位	7位			
日帰り	****		14.2%	8位
		2箇所以上来訪率		
エリア順位	****			
		1 箇所のみ来訪率	85.8%	3位
宿泊	1:11	周遊観光エリア		来訪率
				8.3%
エリア順位	7位			****

コザ商店街周辺				****

県総合運動公園				****

グランメーラリゾート				****

中の町周辺				****

沖縄こどもの国				****

「ちゃんぶる～市場」 サマリー



「ちゃんぶる～市場」来訪者は14人。
 発地都道府県をみると、愛知県発地者が最も多く、市区町村別では愛知県額田郡幸田町、福岡県福岡市東区、徳島県三好郡東みよし町が多い。
 旅程は2泊以上が多く96.4%で、観光エリア内第9位。平均泊数は3.64日。
 域内（＝沖縄市内）泊率は49.6%で観光エリア内第2位。約50%が域外へ宿泊流出している。
 平均周遊箇所数は1.47箇所、観光エリア内第2位。「中の町周辺」との周遊が最も多い。平均滞在時間は0:21で観光エリア内第10位。

来訪者		
14人	エリア順位	9位

属性把握		
誰が どこから来訪しているのか		
属性		
男性		****
	15～29歳	****
	30～39歳	****
	40～49歳	****
	50歳以上	****
女性		****
	15～29歳	****
	30～39歳	****
	40～49歳	****
	50歳以上	****
発地		
順位	都道府県名	構成比
1	愛知県	****
2	大阪府	****
3	福岡県	****
4	東京都	****
5	徳島県	****
順位	市区町村名	構成比
1	愛知県額田郡幸田町	****
2	福岡県福岡市東区	****
3	徳島県三好郡東みよし町	****
4	大阪府大阪市大正区	****
5	東京都江戸川区	****

宿泊傾向把握				
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）		
日帰り率	エリア順位	域内宿泊	域外宿泊	エリア順位
	****	域内宿泊率	域外宿泊率	
1泊率	****	49.6%	50.4%	9位
2泊以上率	96.4%			
平均泊数	エリア順位			
	3.64			

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間		観光エリア周遊		
全体	エリア順位	周遊指標	周遊指標	エリア順位
	0:21	平均周遊箇所数	1.47	2位
日帰り	****	2箇所以上来訪率	****	4位
エリア順位	****	1箇所のみ来訪率	****	7位
宿泊	0:21			
エリア順位	10位			
		周遊観光エリア		
		順位	来訪率	
		1 中の町周辺	****	
		2 コザ商店街周辺	****	
		3 県総合運動公園	****	
		4 グランメーブルリゾート	****	
		5		

「コザ商店街周辺」来訪者は164人。来訪者の属性は男性が55.5%、年齢層別では15～29歳が32.9%を占める。発地都道府県をみると、東京都発地者が17.3%を占め、市区町村別では東京都大田区、大阪府大阪市西区、大阪府守口市が多い。旅程は2泊以上が多く86.5%で、観光エリア内第9位。平均泊数は2.8日。域内（＝沖縄市内）泊率は40%で観光エリア内第4位。約60%が域外へ宿泊流出している。平均滞在時間は1:38で観光エリア内第5位。平均周遊箇所数は1.63箇所、観光エリア内第1位。「中の町周辺」との周遊が最も多い。

来訪者		
164人	エリア順位	4位

属性把握		
誰が どこから来訪しているのか		
属性	属性	
	割合	順位
男性	15～29歳	55.5%
	30～39歳	20.1%
	40～49歳	9.0%
	50歳以上	9.8%
	50歳以上	16.6%
女性	15～29歳	44.9%
	30～39歳	12.7%
	40～49歳	11.0%
	50歳以上	8.0%
	50歳以上	12.8%
発地		
順位	都道府県名	構成比
1	東京都	17.3%
2	大阪府	16.0%
3	福岡県	8.7%
4	千葉県	8.3%
5	岐阜県	7.3%
市区町村名		
順位	市区町村名	構成比
1	東京都大田区	6.8%
2	大阪府大阪市西区	****
3	大阪府守口市	****
4	千葉県千葉市中央区	****
5	茨城県結城市	****

宿泊傾向把握		
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか		
旅程	宿泊地（人泊数にて算出）	
	域内宿泊	域外宿泊
日帰り率	****	****
1泊率	****	****
2泊以上率	86.5%	****
平均泊数	2.80	****

滞在・周遊傾向把握		
どこに滞在し、どこを周遊しているのか		
昼間滞在時間		
全体	1:38	****
エリア順位	5位	****
日帰り	0:30	****
エリア順位	2位	****
宿泊	1:38	****
エリア順位	5位	****

観光エリア周遊		
周遊指標		
平均周遊箇所数	1.63	****
2箇所以上来訪率	50.2%	****
1箇所のみ来訪率	49.8%	****
順位	周遊観光エリア	来訪率
1	中の町周辺	36.0%
2	グランメーブルリゾート	9.1%
3	ブラザハウス	6.7%
4	県総合運動公園	****
5	コザ運動公園	****

「中の町周辺」来訪者は253人。来訪者の属性は男性が63.5%、年齢層別では50歳以上が35%を占める。発地都道府県をみると、東京都発地者が16.5%を占め、市区町村別では東京都大田区、神奈川県相模原市南区、千葉県千葉市中央区が多い。旅程は2泊以上が多く89.4%で、観光エリア内第8位。平均泊数は2.94日。域内（＝沖縄市内）泊率は44.9%で観光エリア内第3位。約55%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.47箇所、観光エリア内第4位。

来訪者		
253人	エリア順位	1位

属性把握		
誰が どこから来訪しているのか		
男性	属性	
	15～29歳	63.5%
	30～39歳	24.9%
	40～49歳	8.0%
	50歳以上	10.0%
女性	属性	
	15～29歳	20.6%
	30～39歳	36.5%
	40～49歳	8.4%
	50歳以上	5.7%
発地		
順位	都道府県名	構成比
1	東京都	16.5%
2	神奈川県	12.9%
3	福岡県	10.9%
4	愛知県	9.5%
5	千葉県	7.4%
順位	市区町村名	構成比
1	東京都大田区	4.3%
2	神奈川県相模原市南区	****
3	千葉県千葉市中央区	****
4	福岡県福岡市博多区	****
5	北海道栗山町	****

宿泊傾向把握				
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか				
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）		
日帰り率	エリア順位	域内宿泊	域外宿泊	エリア順位
	****	域内宿泊率	域外宿泊率	8位
1泊率	エリア順位	44.9%	55.1%	3位
	****	域内宿泊率	域外宿泊率	8位
2泊以上率	エリア順位	89.4%		3位
	****	域内宿泊率		8位
平均泊数	エリア順位	2.94		7位
	****	域内宿泊率		7位

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間		観光エリア周遊		
全体	エリア順位	周遊指標	周遊指標	エリア順位
	****	平均周遊箇所数	1.47	3位
日帰り	エリア順位	2箇所以上来訪率	36.2%	3位
	****	1箇所のみ来訪率	63.8%	8位
宿泊	エリア順位	2:15		4位
	****	周遊観光エリア		****
来訪率	順位	コザ商店街周辺		23.3%
	1	コザ運動公園		6.5%
	2	グランメーブルリゾート		4.3%
	3	県総合運動公園		****
	4	沖縄こどもの国		****
	5			****

「グランメールリゾート」来訪者は181人。来訪者の属性は女性が50.9%、年齢層別では50歳以上が39.2%を占める。発地都道府県をみると、大阪府発地者が17.6%を占め、市区町村別では千葉県市川市、岡山県笠岡市、大阪府寝屋川市が多い。旅程は2泊以上が多く97.1%で、観光エリア内第3位。平均泊数は3.17日。域内（＝沖縄市内）泊率は54%で観光エリア内第1位。約46%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.29箇所、観光エリア内第6位。「コザ商店街周辺」との周遊が最も多い。平均滞在時間は2:39で観光エリア内第3位。

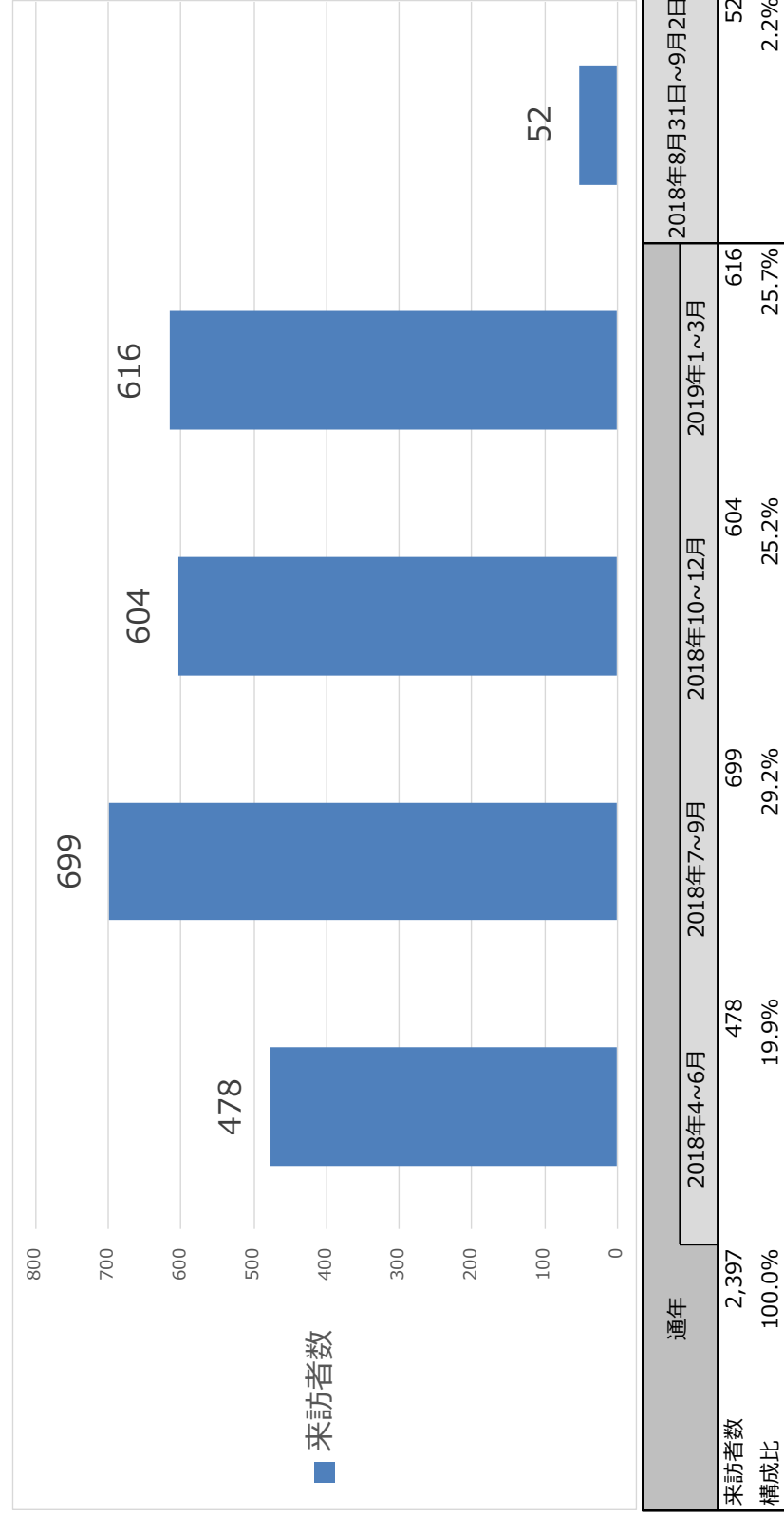
来訪者		
181人	エリア順位	3位

属性把握		
誰が どこから来訪しているのか		
男性	属性	
		49.1%
	15～29歳	19.4%
	30～39歳	6.4%
	40～49歳	7.2%
女性	50歳以上	16.1%
		50.9%
	15～29歳	7.9%
	30～39歳	9.3%
	40～49歳	10.7%
都道府県	発地	
	順位	都道府県名
	1	大阪府
	2	千葉県
	3	東京都
市区町村	4	神奈川県
	5	岡山県
	順位	市区町村名
	1	千葉県市川市
	2	岡山県笠岡市
	3	大阪府寝屋川市
	4	千葉県四街道市
	5	東京都江戸川区

宿泊傾向把握		
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか		
旅程	宿泊地（人泊数にて算出）	
		域外宿泊
	日帰り率	域内宿泊
	1泊率	域内宿泊率
	2泊以上率	域外宿泊率
平均泊数	エリア順位	エリア順位
	3位	1位
	エリア順位	8位
	97.1%	54.0%
	3.17	46.0%
滞在・周遊傾向把握	観光エリア周遊	
	どこに滞在し、どこを周遊しているのか	
	昼間滞在時間	
	全体	2:39
	エリア順位	3位
周遊指標	日帰り	****
	エリア順位	****
	宿泊	2:39
	エリア順位	3位
来訪率	周遊観光エリア	
	平均周遊箇所数	1.29
	2箇所以上来訪率	27.9%
	1箇所のみ来訪率	72.1%
	順位	順位
	1	コザ商店街周辺
	2	中の町周辺
	3	コザ運動公園
	4	東南植物楽園
	5	沖縄こどもの国

沖縄市来訪者の基礎集計

沖縄市来訪者数



性別・年齢層別 来訪者数・構成比

期間	来訪者数	男性	女性	男性				女性			
				15～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上
通年	2,397	1,208	1,188	306	263	247	392	327	223	230	408
2018年4～6月	478	236	242	56	44	53	83	61	38	47	96
2018年7～9月	699	330	369	96	78	69	85	116	87	77	90
2018年10～12月	604	340	264	82	70	71	117	78	43	40	103
2019年1～3月	616	303	313	72	71	54	106	73	55	66	119
2018年8月31日～9月2日	52	31	22	****	****	****	12	****	****	****	****



沖縄市来訪者の属性は、通年では男性がやや多く、50.4%。男女とも50歳以上の割合が高い。

期間別では、「2018年4～6月」は男女50歳以上、「2018年7～9月」は男性29歳以下と女性49歳以下が多い傾向。
「2018年10～12月」男性40歳以上が、「2019年1～3月」は女性40歳以上が、エイサーまつり期間中は男性50歳以上が多くなる傾向。

発地地域別 来訪者数・構成比

順位	発地域	通年										2018年8月31日～9月2日						
		来訪者数	構成比	2018年4～6月		2018年7～9月		2018年10～12月		2019年1～3月								
		順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比		
1	関東	978	40.8%	1	152	31.8%	1	335	48.0%	1	240	39.7%	1	251	40.7%	1	17	32.8%
2	近畿	446	18.6%	2	95	20.0%	2	115	16.4%	2	115	19.1%	2	120	19.5%	3	****	****
3	中部	368	15.4%	3	95	20.0%	3	94	13.5%	4	93	15.5%	3	85	13.8%	5	****	****
4	九州	317	13.2%	4	62	13.0%	4	88	12.6%	3	96	15.9%	4	70	11.4%	4	****	****
5	中国	128	5.3%	5	28	5.9%	5	32	4.5%	5	20	3.3%	5	48	7.9%	2	12	22.1%
-	その他	160	6.7%	-	44	9.3%	-	34	4.9%	-	40	6.6%	-	41	6.7%	-	****	****
-	計	2,397	-	-	478	-	-	699	-	-	604	-	-	616	-	-	52	-

発地都道府県別 来訪者数・構成比

順位	発地 都道府県	通年										2018年8月31日～9月2日						
		来訪者数	構成比	2018年4～6月		2018年7～9月		2018年10～12月		2019年1～3月		順位	来訪者数	構成比				
1	東京都	377	15.7%	2	57	11.9%	1	149	21.4%	1	79	13.1%	1	91	14.8%	1	10	19.5%
2	大阪府	244	10.2%	3	49	10.3%	3	64	9.1%	2	65	10.8%	3	66	10.7%	5	****	****
3	神奈川県	243	10.2%	4	34	7.1%	2	87	12.4%	5	43	7.2%	2	80	12.9%	14	****	****
4	愛知県	200	8.3%	1	67	14.1%	4	57	8.2%	6	34	5.6%	5	42	6.7%	4	****	****
5	福岡県	164	6.8%	7	24	5.1%	6	38	5.4%	3	54	8.9%	4	48	7.8%	3	****	****
6	千葉県	153	6.4%	6	26	5.5%	5	44	6.3%	4	49	8.1%	6	34	5.6%	7	****	****
7	埼玉県	103	4.3%	8	16	3.4%	7	35	5.0%	7	29	4.9%	8	23	3.8%	8	****	****
8	兵庫県	101	4.2%	5	28	5.8%	8	20	2.9%	8	27	4.4%	7	27	4.4%	6	****	****
9	北海道	64	2.7%	10	15	3.2%	11	16	2.3%	10	16	2.7%	10	17	2.7%	9	****	****
10	茨城県	48	2.0%	22	****	****	16	****	****	9	19	3.2%	12	15	2.4%	11	****	****
-	その他	699	29.2%	-	****	****	-	****	****	-	188	31.2%	-	173	28.1%	-	21	40.0%
-	計	2,397	-	-	478	-	-	699	-	-	604	-	-	616	-	-	52	-

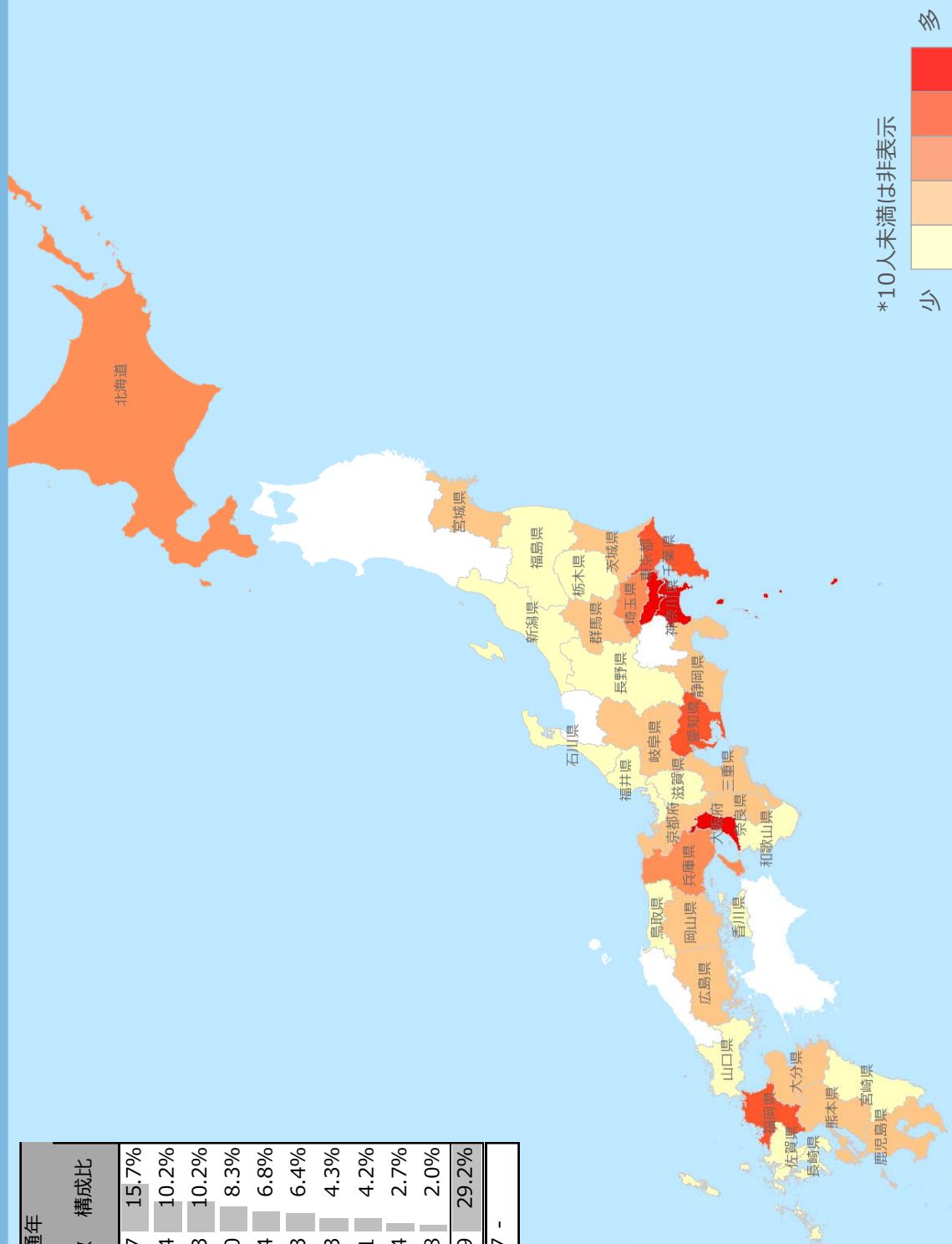
通年構成比+1%

沖縄市来訪者の発地地域は関東が4割、ついで近畿、中部発地者が多い。期間別で見ると「2018年4～6月」は近畿、中部発地者が、「2018年7～9月」は関東発地者が増加傾向。エィサーまつり期間中は中国発地者が増加傾向。

都道府県別では東京都、大阪府、神奈川県が多い。期間別では「2018年7～9月」とエィサーまつり期間中は特に東京都発地者が増加傾向。

発地都道府県別 来訪者数ヒートマップ

順位	発地 都道府県	通年 来訪者数	構成比
1	東京都	377	15.7%
2	大阪府	244	10.2%
3	神奈川県	243	10.2%
4	愛知県	200	8.3%
5	福岡県	164	6.8%
6	千葉県	153	6.4%
7	埼玉県	103	4.3%
8	兵庫県	101	4.2%
9	北海道	64	2.7%
10	茨城県	48	2.0%
-	その他	699	29.2%
-	計	2,397	-



*10人未満は非表示

少

多

発地市区町村別 来訪者数・構成比

順位	発地 市区町村	都道府県	通年										2018年8月31日～9月2日						
			来訪者数		構成比		2018年4～6月		2018年7～9月		2018年10～12月		2019年1～3月		順位	来訪者数	構成比		
1	大田区	東京都	36	1.5%	22	****	****	5	****	****	1	20	3.3%	65	****	****	-	-	-
2	江戸川区	東京都	30	1.3%	15	****	****	24	****	****	12	****	****	2	12	1.9%	-	-	-
3	横須賀市	神奈川県	30	1.2%	197	****	****	12	****	****	131	****	****	1	18	3.0%	-	-	-
4	練馬区	東京都	27	1.1%	18	****	****	10	****	****	39	****	****	3	****	****	34	****	****
5	安城市	愛知県	26	1.1%	1	11	2.3%	8	****	****	365	****	****	28	****	****	-	-	-
6	千葉市中央区	千葉県	25	1.1%	-	-	-	26	****	****	2	13	2.2%	18	****	****	-	-	-
7	板橋区	東京都	24	1.0%	23	****	****	3	10	1.5%	113	****	****	5	****	****	-	-	-
8	市川市	千葉県	22	0.9%	7	****	****	59	****	****	30	****	****	12	****	****	19	****	****
9	足立区	東京都	21	0.9%	53	****	****	9	****	****	40	****	****	13	****	****	-	-	-
10	福岡市博多区	福岡県	19	0.8%	81	****	****	39	****	****	6	****	****	30	****	****	28	****	****
11	守口市	大阪府	19	0.8%	-	-	-	13	****	****	49	****	****	9	****	****	-	-	-
12	新宿区	東京都	18	0.8%	26	****	****	21	****	****	15	****	****	43	****	****	-	-	-
13	東大阪市	大阪府	18	0.8%	87	****	****	4	****	****	94	****	****	24	****	****	46	****	****
14	豊島区	東京都	17	0.7%	138	****	****	86	****	****	3	12	2.0%	115	****	****	-	-	-
15	相模原市南区	神奈川県	16	0.6%	135	****	****	7	****	****	187	****	****	35	****	****	-	-	-
16	豊中市	大阪府	16	0.6%	103	****	****	17	****	****	51	****	****	39	****	****	-	-	-
17	東村山市	東京都	15	0.6%	8	****	****	91	****	****	-	-	-	16	****	****	-	-	-
18	港区	東京都	15	0.6%	14	****	****	48	****	****	26	****	****	245	****	****	6	****	****
19	大和市	神奈川県	15	0.6%	5	****	****	120	****	****	31	****	****	-	-	-	-	-	-
20	大分市	大分県	15	0.6%	6	****	****	93	****	****	77	****	****	79	****	****	-	-	-
-	その他		1,974	82.4%	-	396	82.9%	-	566	81.1%	-	506	83.8%	-	506	82.2%	-	47	90.9%
-	計		2,397	-	-	478	-	-	699	-	-	604	-	-	616	-	-	52	-

通年構成比+1%

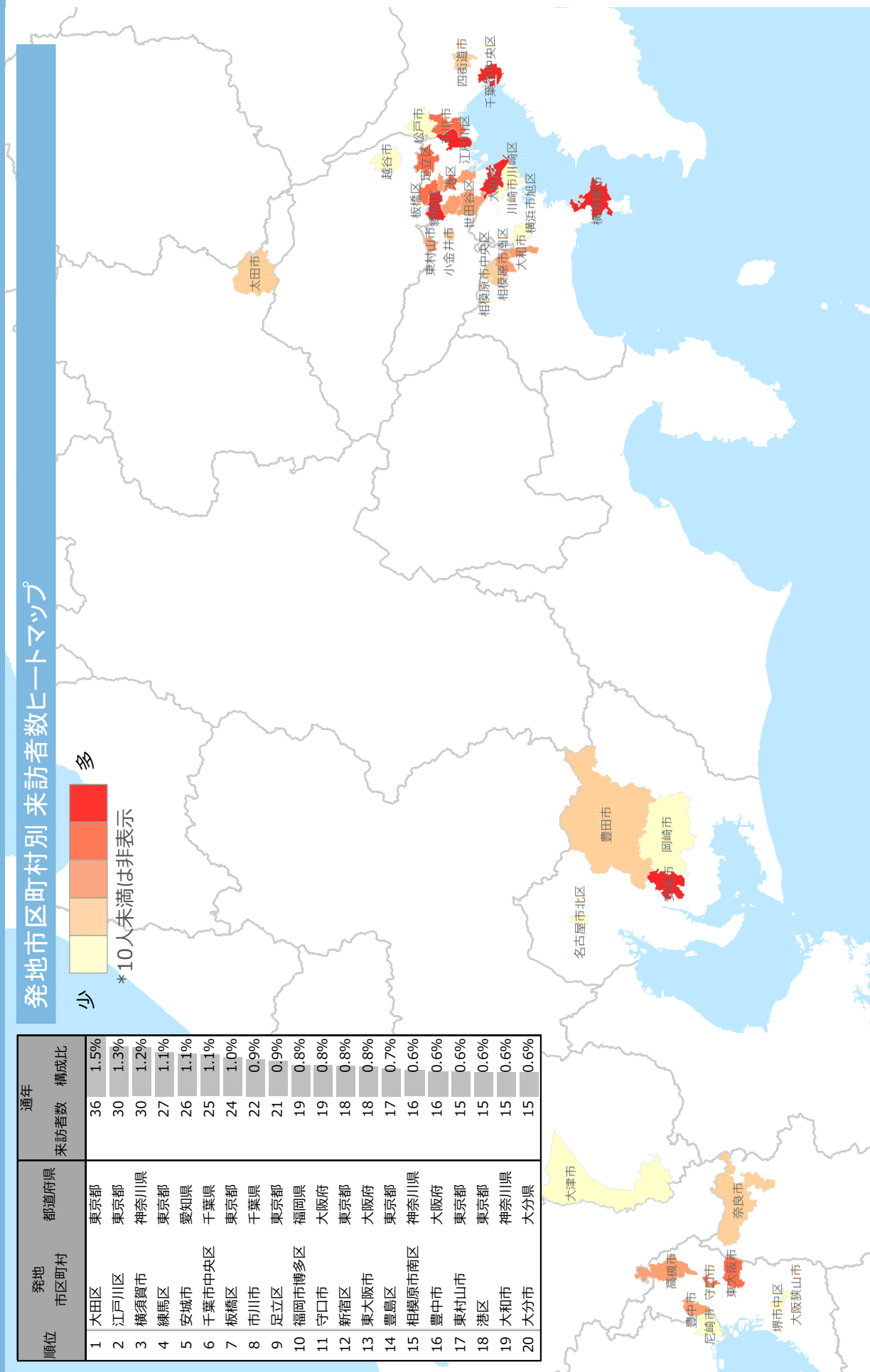
沖縄市来訪者の発地市区町村は東京都大田区、東京都江戸川区、神奈川県横須賀市が多い傾向。

発地市区町村別 来訪者数ヒートマップ

順位	発地 市区町村	通年	
		来訪者数	構成比
1	大田区	36	1.5%
2	江戸川区	30	1.3%
3	横浜賀市	30	1.2%
4	練馬区	27	1.1%
5	安城市	26	1.1%
6	千葉市中央区	25	1.1%
7	板橋区	24	1.0%
8	市川市	22	0.9%
9	足立区	21	0.9%
10	福岡市博多区	19	0.8%
11	守口市	19	0.8%
12	新宿区	18	0.8%
13	東大阪市	18	0.8%
14	豊島区	17	0.7%
15	相模原市南区	16	0.6%
16	豊中市	16	0.6%
17	東村山市	15	0.6%
18	港区	15	0.6%
19	大和市	15	0.6%
20	大分市	15	0.6%



*10人未満は非表示





通年

期間別

Location
Trends

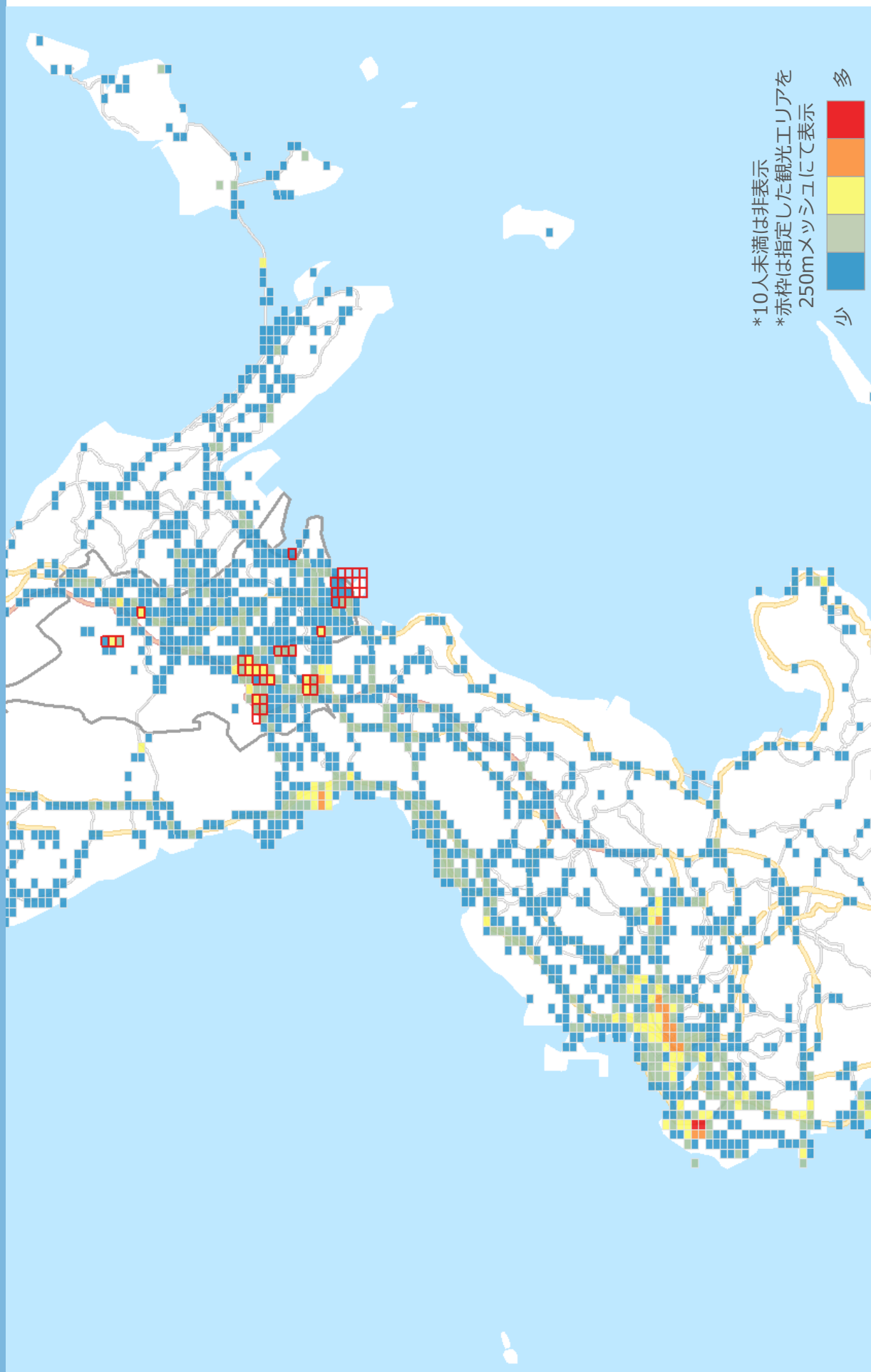


参考) 通過メッシュヒートマップ

通年

期間別

Location
Trends

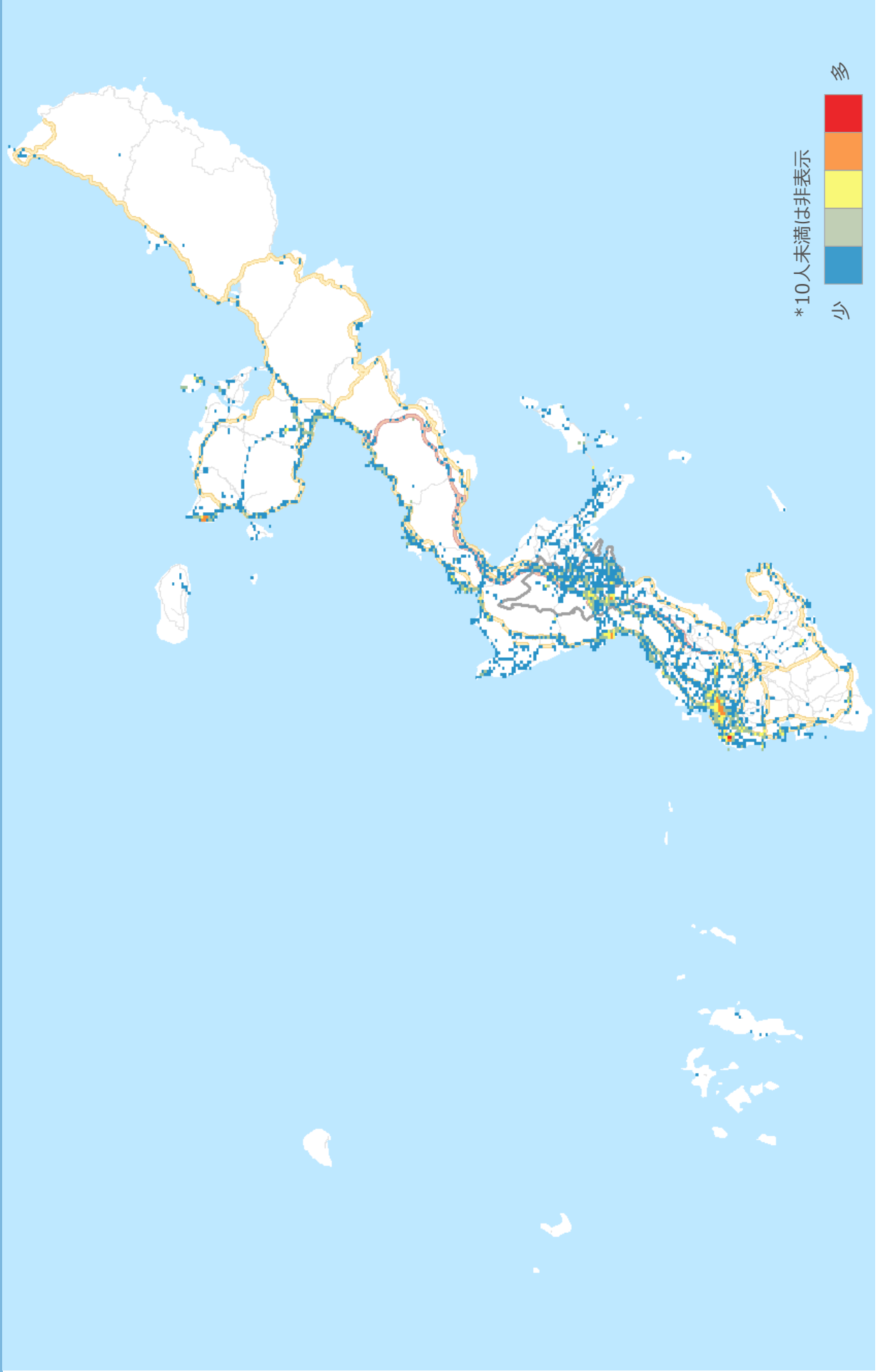


参考) 通過メッシュヒートマップ-広域-

通年

期間別

Location
Trends



市区町村別 立寄り者数・立寄り率

順位	立寄市区町村名	都道府県名	通年										2018年4～6月					2018年7～9月					2018年10～12月					2019年1～3月					2018年8月31日～9月2日				
			立寄者数	立寄率	順位	立寄者数	立寄率	順位	立寄者数	立寄率	順位	立寄者数	立寄率	順位	立寄者数	立寄率	順位	立寄者数	立寄率	順位	立寄者数	立寄率	順位	立寄者数	立寄率	順位	立寄者数	立寄率	順位	立寄者数	立寄率						
1	那覇市	沖縄県	2,299	95.9%	1	468	97.9%	1	673	96.3%	1	574	95.2%	1	584	94.7%	1	50	96.1%	1	50	96.1%	1	584	94.7%	1	50	96.1%	1	50	96.1%						
2	国頭郡本部町	沖縄県	795	33.2%	3	160	33.4%	3	223	31.9%	2	225	37.2%	4	188	30.5%	3	19	36.4%	3	19	36.4%	3	188	30.5%	4	18	35.2%	4	18	35.2%						
3	国頭郡恩納村	沖縄県	794	33.1%	2	161	33.6%	4	220	31.5%	4	189	31.4%	2	223	36.3%	7	13	24.7%	7	13	24.7%	7	223	36.3%	2	13	24.7%	7	13	24.7%						
4	大田区	東京都	739	30.8%	7	115	24.1%	2	253	36.2%	5	183	30.2%	5	188	30.5%	10	****	****	10	****	****	10	188	30.5%	5	****	****	10	****	****						
5	名護市	沖縄県	736	30.7%	4	151	31.6%	5	210	30.1%	6	175	29.0%	3	199	32.3%	2	19	37.4%	2	19	37.4%	2	199	32.3%	3	2	37.4%	2	19	37.4%						
6	中頭郡北谷町	沖縄県	700	29.2%	6	126	26.4%	8	189	27.1%	3	207	34.2%	6	178	28.9%	4	18	35.2%	4	18	35.2%	4	178	28.9%	6	13	25.7%	6	13	25.7%						
7	うるま市	沖縄県	686	28.6%	5	142	29.8%	6	205	29.4%	7	169	28.0%	7	170	27.5%	6	13	25.7%	6	13	25.7%	6	170	27.5%	7	6	25.7%	7	13	25.7%						
8	中頭郡北中城村	沖縄県	499	20.8%	9	87	18.3%	7	191	27.3%	8	124	20.5%	10	98	15.9%	5	16	31.7%	5	16	31.7%	5	98	15.9%	10	5	31.7%	5	16	31.7%						
9	南城市	沖縄県	470	19.6%	8	99	20.8%	10	111	15.8%	9	123	20.4%	8	137	22.3%	9	****	****	9	****	****	9	137	22.3%	8	9	****	9	****	****						
10	宜野湾市	沖縄県	375	15.7%	13	65	13.6%	9	148	21.1%	13	77	12.8%	13	86	13.9%	22	****	****	22	****	****	22	86	13.9%	13	22	****	22	****	****						
11	豊見城市	沖縄県	363	15.2%	10	75	15.7%	12	96	13.8%	10	96	15.8%	11	97	15.7%	8	****	****	8	****	****	8	97	15.7%	11	8	****	11	****	****						
12	糸満市	沖縄県	338	14.1%	12	70	14.7%	15	76	10.9%	11	86	14.2%	9	105	17.1%	11	****	****	11	****	****	11	105	17.1%	9	11	****	9	****	****						
13	中頭郡読谷村	沖縄県	317	13.2%	14	50	10.5%	11	98	14.0%	12	82	13.6%	12	87	14.1%	12	****	****	12	****	****	12	87	14.1%	12	12	****	12	****	****						
14	浦添市	沖縄県	254	10.6%	16	42	8.7%	13	80	11.5%	15	51	8.5%	14	81	13.1%	25	****	****	25	****	****	25	81	13.1%	25	25	****	25	****	****						
15	常滑市	愛知県	240	10.0%	11	75	15.6%	16	63	9.0%	16	50	8.4%	17	52	8.5%	13	****	****	13	****	****	13	52	8.5%	17	13	****	13	****	****						
16	国頭郡今帰仁村	沖縄県	234	9.8%	17	36	7.4%	14	77	11.1%	17	49	8.1%	15	72	11.8%	21	****	****	21	****	****	21	72	11.8%	15	21	****	21	****	****						
17	福岡市博多区	福岡県	224	9.3%	15	47	9.8%	17	56	8.1%	14	61	10.1%	16	60	9.7%	19	****	****	19	****	****	19	60	9.7%	16	19	****	19	****	****						
18	泉南郡田尻町	大阪府	139	5.8%	19	31	6.4%	19	40	5.8%	21	31	5.2%	18	37	6.0%	37	****	****	37	****	****	37	37	6.0%	18	37	****	37	****	****						
19	豊中市	大阪府	125	5.2%	18	32	6.7%	21	35	5.0%	26	22	3.6%	19	36	5.9%	17	****	****	17	****	****	17	36	5.9%	19	17	****	17	****	****						
20	中頭郡嘉手納町	沖縄県	123	5.1%	24	19	4.0%	20	37	5.4%	18	42	7.0%	24	24	3.9%	23	****	****	23	****	****	23	24	3.9%	24	23	****	23	****	****						
-	来訪者数計		2,397	-	-	478	-	-	699	-	-	604	-	-	616	-	-	52	-	-	-	-	616	-	-	52	-	-	-	-	-						
※参考値：那覇空港を除く那覇市			1,858	77.5%	-	368	76.9%	-	535	76.6%	-	454	75.2%	-	457	74.1%	-	45	86.5%	-	-	-	457	74.1%	-	45	86.5%	-	-	-	-	-					

通年構成比+1%

沖縄市来訪者の立ち寄り市区町村は、那覇市について国頭郡本部町、国頭郡恩納村、東京都大田区が多い。上位8市区町村の立ち寄り率が20%を超えており、沖縄市来訪前
後で様々立ち寄る人が多い傾向。

期間別でみると、「2018年4～6月」は那覇市以外にうるま市、南城市への立ち寄りが、「2018年7～9月」は東京都大田区、中頭郡北中城村や宜野湾町への立ち寄りが増加。
「2018年10～12月」は国頭郡本部町、中頭郡北谷町、名護市、エイサーまつり期間中は国頭郡本部町、名護市、中頭郡北谷町の立ち寄りが増
加傾向。

立寄り分析

通年

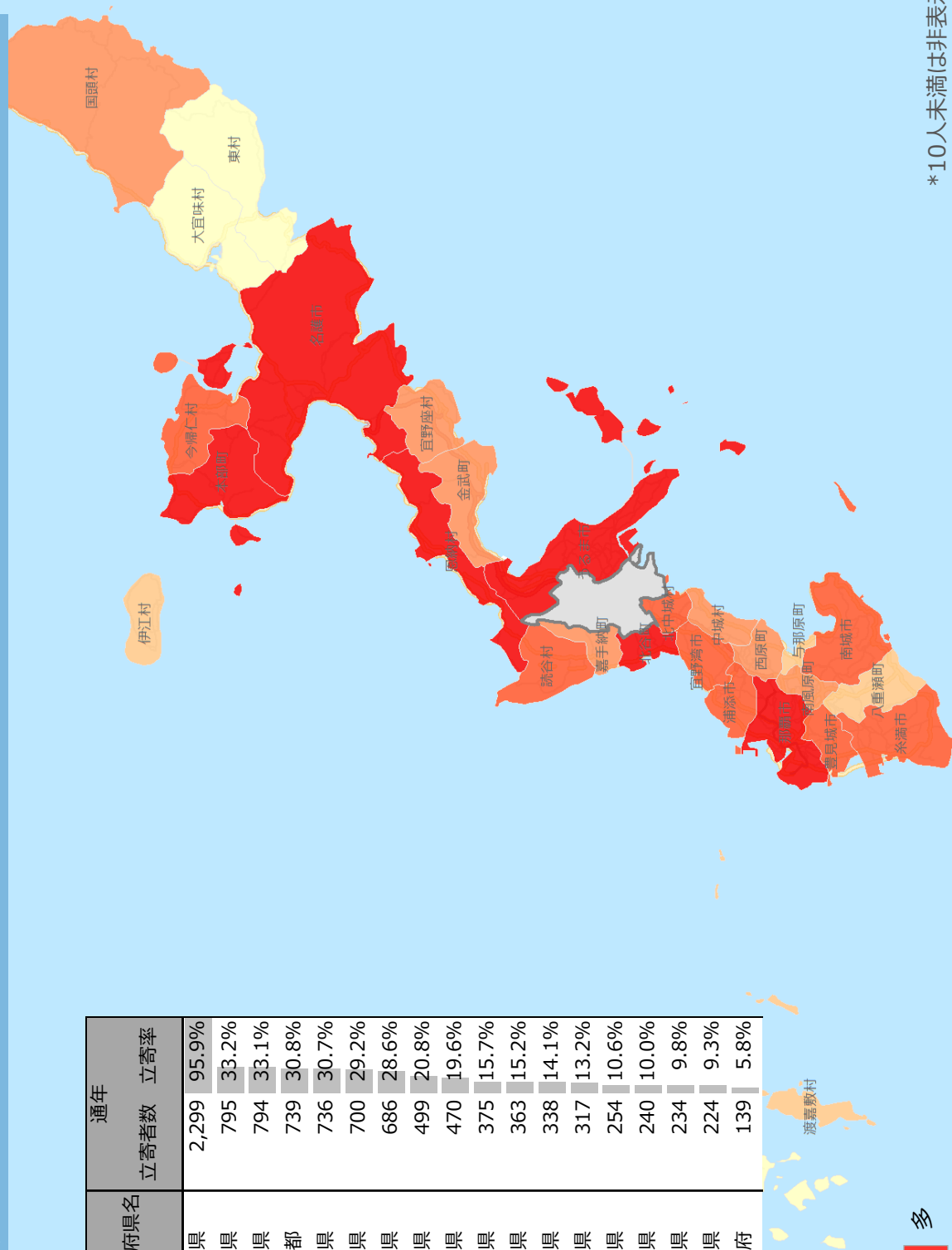
期間別

市区町村別 立寄り数・立寄り率

順位	立寄市区町村名	都道府県名	通年 立寄り数	立寄り率
1	那覇市	沖縄県	2,299	95.9%
2	国頭郡本部町	沖縄県	795	33.2%
3	国頭郡恩納村	沖縄県	794	33.1%
4	大田区	東京都	739	30.8%
5	名護市	沖縄県	736	30.7%
6	中頭郡北谷町	沖縄県	700	29.2%
7	うるま市	沖縄県	686	28.6%
8	中頭郡北中城村	沖縄県	499	20.8%
9	南城市	沖縄県	470	19.6%
10	宜野湾市	沖縄県	375	15.7%
11	豊見城市	沖縄県	363	15.2%
12	糸満市	沖縄県	338	14.1%
13	中頭郡読谷村	沖縄県	317	13.2%
14	浦添市	沖縄県	254	10.6%
15	常滑市	愛知県	240	10.0%
16	国頭郡今帰仁村	沖縄県	234	9.8%
17	福岡市博多区	福岡県	224	9.3%
18	泉南郡田尻町	大阪府	139	5.8%

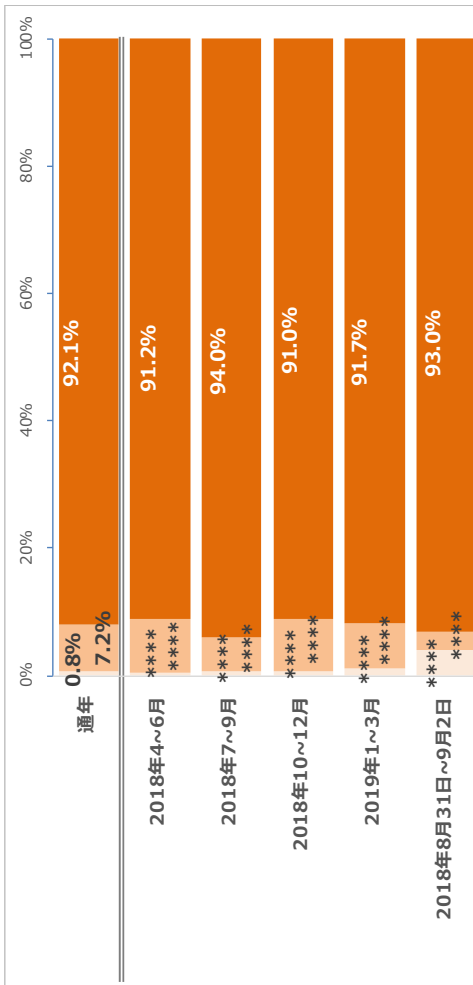
少 多

*10人未満は非表示



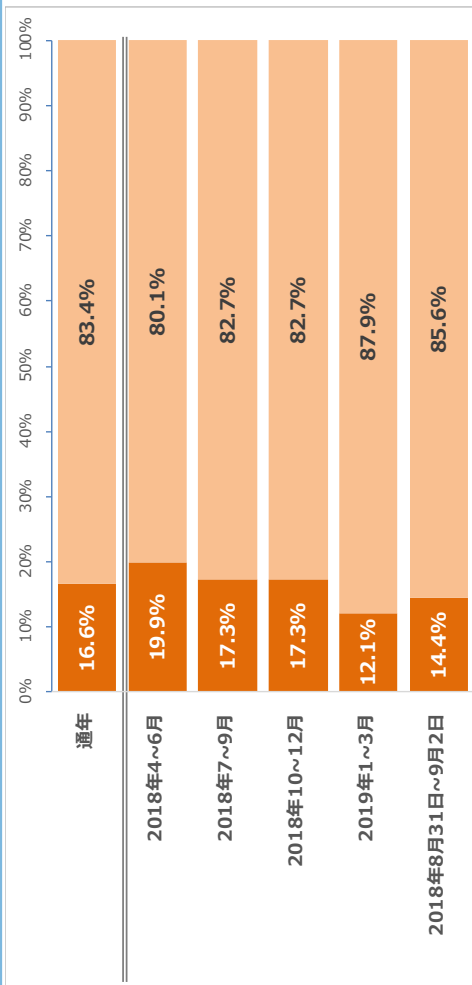
旅程別 来訪者数・構成比

期間	来訪者数	日帰り	1泊	2泊以上
通年	2,397	18	172	2,207
2018年4~6月	478	***	***	436
2018年7~9月	699	***	***	657
2018年10~12月	604	***	***	549
2019年1~3月	616	***	***	565
2018年8月31日~9月2日	52	***	***	48



宿泊場所区分別 宿泊人泊数・構成比

期間	人泊数	域内宿泊	域外宿泊
通年	7,263	1,203	6,060
2018年4~6月	1,445	287	1,158
2018年7~9月	2,373	410	1,963
2018年10~12月	1,732	299	1,433
2019年1~3月	1,713	208	1,506
2018年8月31日~9月2日	175	25	150



沖縄県来訪者の9割以上が2泊以上の旅程で来訪している。宿泊場所は8割以上が域外(＝沖縄市外)へ流出している。「2018年4～6月」は域内(＝沖縄市内)の宿泊が多くなるが、「2019年1～3月」では域外流出が増加している。

市区町村別 宿泊人泊数・構成比

順位			宿泊市区町村名			都道府県名			通年				2018年4～6月				2018年7～9月				2018年10～12月				2019年1～3月				2018年8月31日～9月2日			
									宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比	順位
1	那覇市	沖縄県	1,951	26.9%	1	405	28.0%	1	601	25.3%	1	469	27.1%	1	476	27.8%	1	65	37.2%	1	65	37.2%	1	65	37.2%	1	65	37.2%				
2	沖縄市	沖縄県	1,203	16.6%	2	287	19.9%	2	410	17.3%	2	299	17.3%	3	208	12.1%	2	25	14.4%	2	25	14.4%	2	25	14.4%	2	25	14.4%				
3	国頭郡恩納村	沖縄県	926	12.8%	3	176	12.2%	3	243	10.2%	3	206	11.9%	2	301	17.6%	4	14	8.2%	4	14	8.2%	4	14	8.2%	4	14	8.2%				
4	うるま市	沖縄県	511	7.0%	4	114	7.9%	4	242	10.2%	6	71	4.1%	6	84	4.9%	13	13	****	13	13	****	13	13	****	13	13	****				
5	中頭郡北谷町	沖縄県	431	5.9%	7	46	3.2%	5	143	6.0%	4	145	8.4%	5	96	5.6%	9	9	****	9	9	****	9	9	****	9	9	****				
6	名護市	沖縄県	337	4.6%	5	50	3.5%	6	105	4.4%	5	83	4.8%	4	98	5.7%	8	8	****	8	8	****	8	8	****	8	8	****				
7	中頭郡読谷村	沖縄県	268	3.7%	6	49	3.4%	7	96	4.1%	7	59	3.4%	7	64	3.7%	5	11	6.0%	5	11	6.0%	5	11	6.0%	5	11	6.0%				
8	国頭郡本部町	沖縄県	202	2.8%	8	45	3.1%	9	47	2.0%	9	50	2.9%	8	59	3.5%	7	7	****	7	7	****	7	7	****	7	7	****				
9	宜野湾市	沖縄県	177	2.4%	9	34	2.4%	10	44	1.9%	8	55	3.2%	9	43	2.5%	16	16	****	16	16	****	16	16	****	16	16	****				
10	中頭郡北中城村	沖縄県	152	2.1%	12	24	1.7%	8	53	2.2%	10	38	2.2%	11	37	2.1%	3	16	9.0%	3	16	9.0%	3	16	9.0%	3	16	9.0%				
11	糸満市	沖縄県	92	1.3%	25	****	12	42	1.8%	11	26	1.5%	13	****	13	****	11	11	****	11	11	****	11	11	****	11	11	****				
12	大田区	東京都	87	1.2%	18	****	11	43	1.8%	13	****	****	****	14	19	1.1%	-	-	****	-	-	****	-	-	****	-	-	****				
13	浦添市	沖縄県	83	1.1%	23	****	15	21	0.9%	16	****	****	****	10	42	2.5%	-	-	****	-	-	****	-	-	****	-	-	****				
14	南城市	沖縄県	59	0.8%	19	****	13	27	1.2%	14	16	0.9%	21	****	21	****	-	-	****	-	-	****	-	-	****	-	-	****				
15	中頭郡中城村	沖縄県	53	0.7%	-	-	16	13	0.6%	12	17	1.0%	12	22	1.3%	-	-	****	-	-	****	-	-	****	-	-	****					
16	石垣市	沖縄県	47	0.7%	11	25	1.7%	20	11	0.5%	28	****	19	****	****	14	14	****	14	14	****	14	14	****	14	14	****					
17	国頭郡今帰仁村	沖縄県	41	0.6%	14	10	0.7%	18	12	0.5%	18	****	16	****	****	-	-	****	-	-	****	-	-	****	-	-	****					
18	国頭郡国頭村	沖縄県	35	0.5%	16	****	****	22	****	****	19	****	17	****	****	12	12	****	12	12	****	12	12	****	12	12	****					
19	国頭郡伊江村	沖縄県	33	0.4%	26	****	****	39	****	****	15	15	0.9%	15	11	0.7%	-	-	****	-	-	****	-	-	****	-	-	****				
20	豊見城市	沖縄県	29	0.4%	22	****	****	21	11	0.4%	32	****	18	****	****	-	-	****	-	-	****	-	-	****	-	-	****					
-	その他		547	7.5%	-	132	9.1%	-	193	8.1%	-	128	7.4%	-	93	5.5%	-	14	8.1%	-	14	8.1%	-	14	8.1%	-	14	8.1%				
-	宿泊人泊計		7,263	-	-	1,445	-	-	2,373	-	-	1,732	-	-	1,713	-	-	175	-	-	175	-	-	175	-	-	175	-				

通年構成比+1%

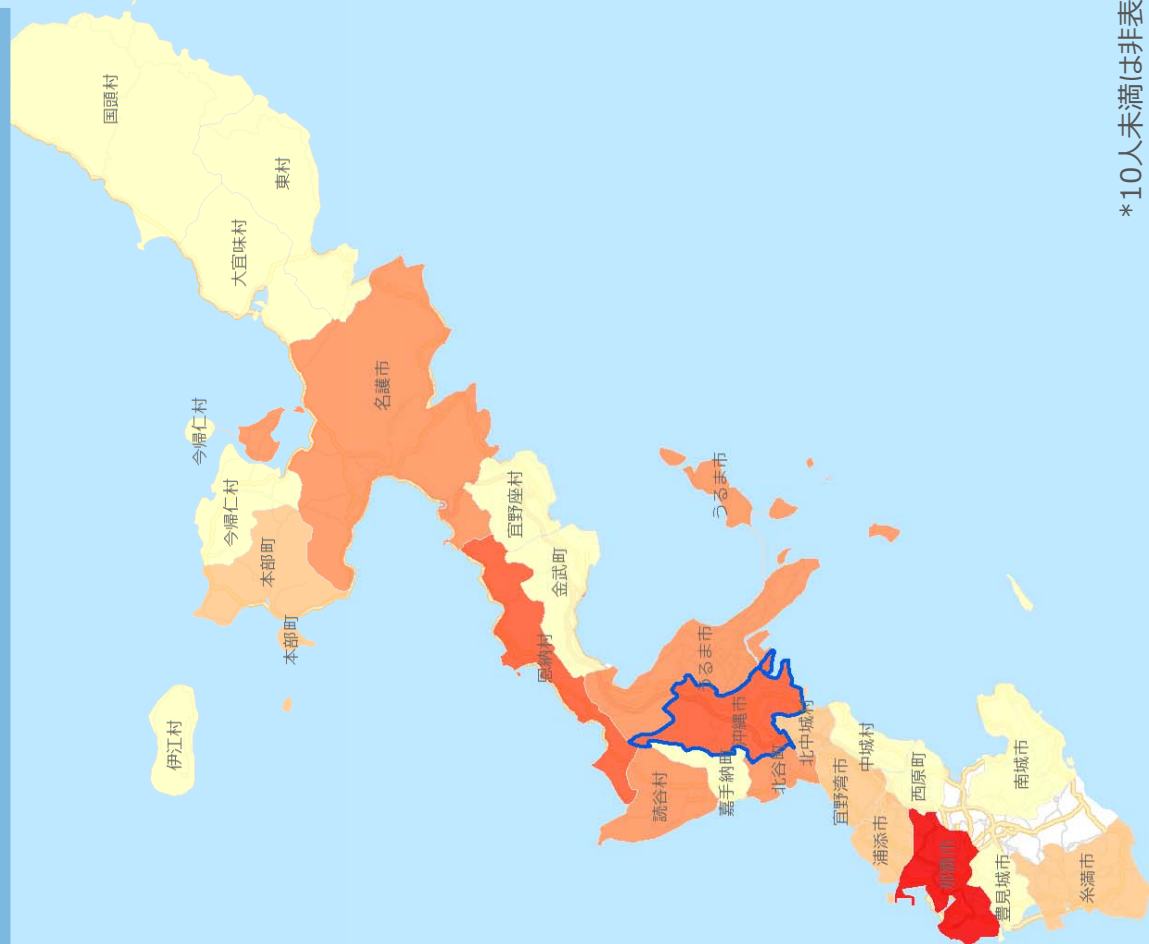
沖縄市来訪者の宿泊地は那覇市、沖縄市、国頭郡恩納村が多い。
 期間別で見ると「2018年4～6月」は那覇市と沖縄市、「2018年7～9月」はうるま市、「2018年10～12月」は中頭郡北谷町、「2018年1～3月」は国頭郡恩納村への宿泊が増加傾向。
 エイサーまつり期間では那覇市、中頭郡読谷村、中頭郡北中城村への宿泊が増加傾向。

通年

期間別

市区町村別 宿泊人泊数・構成比

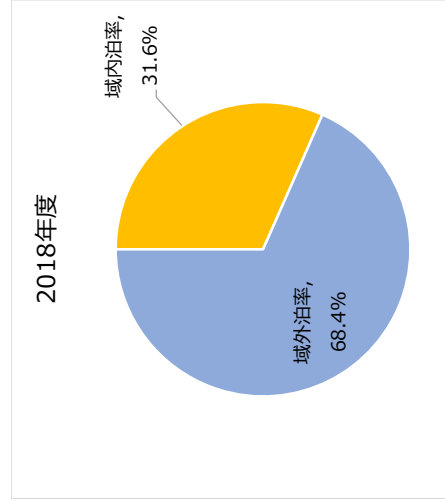
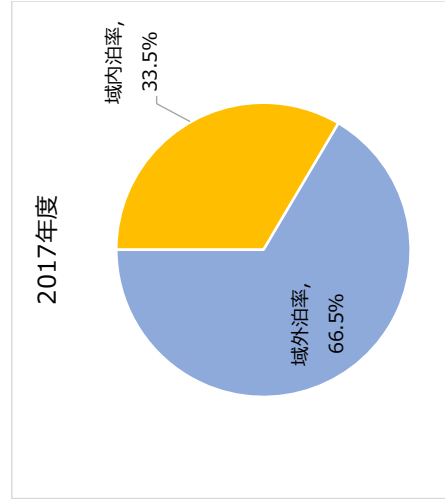
順位	宿泊市区町村名	都道府県名	通年	
			宿泊人泊数	構成比
1	那覇市	沖縄県	1,951	26.9%
2	沖縄市	沖縄県	1,203	16.6%
3	国頭郡恩納村	沖縄県	926	12.8%
4	うるま市	沖縄県	511	7.0%
5	中頭郡北谷町	沖縄県	431	5.9%
6	名護市	沖縄県	337	4.6%
7	中頭郡読谷村	沖縄県	268	3.7%
8	国頭郡本部町	沖縄県	202	2.8%
9	宜野湾市	沖縄県	177	2.4%
10	中頭郡北中城村	沖縄県	152	2.1%
11	糸満市	沖縄県	92	1.3%
12	大田区	東京都	87	1.2%
13	浦添市	沖縄県	83	1.1%
14	南城市	沖縄県	59	0.8%
15	中頭郡中城村	沖縄県	53	0.7%
16	石垣市	沖縄県	47	0.7%
17	国頭郡今帰仁村	沖縄県	41	0.6%
18	国頭郡国頭村	沖縄県	35	0.5%
19	国頭郡伊江村	沖縄県	33	0.4%
20	豊見城市	沖縄県	29	0.4%



少多

*10人未満は非表示

沖縄市60分以上滞在者 宿泊場所区分別 宿泊人泊構成比



◆ 沖縄市を訪れる県外客のうち、約3割は市内にて宿泊、約7割は市外にて宿泊している。
⇒ 60分以上の滞在者。2017年度、2018年度ともに。

◆ 2017年度の市内に宿泊した割合（域内泊率）は減少（33.5%⇒31.6%）しているが、
2017年度、2018年度の市内延べ宿泊客数はいずれも約32万人泊と横ばいであるため、
沖縄市を訪れる県外客は増加しており、増加した県外客は市外に宿泊しているものと
想定される。

(参考) 沖縄市内60分未満滞在者 宿泊地分析

Location Trends

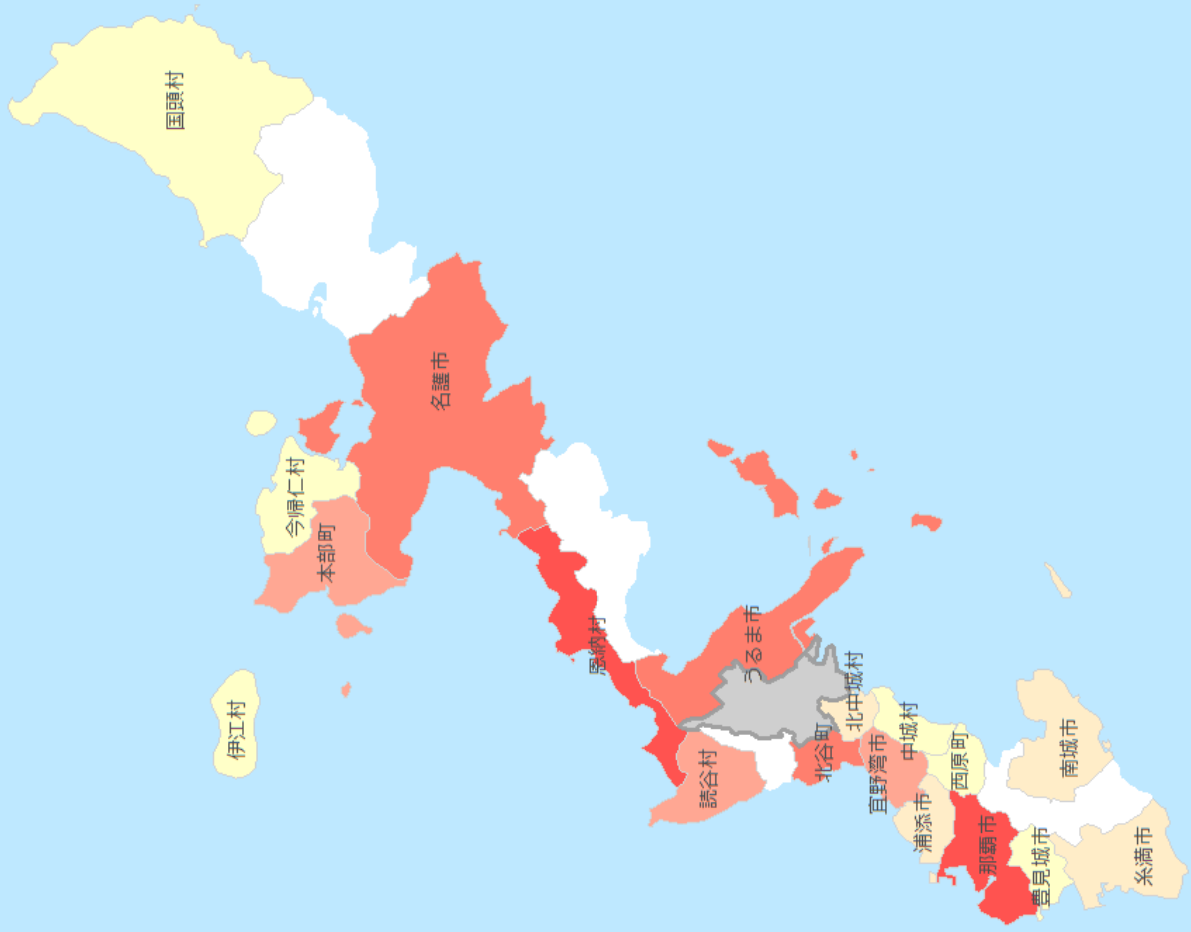
通年

期間別

順位	市区町村	宿泊人泊数	構成比
1	那覇市	1,131	32.5%
2	国頭郡恩納村	687	19.8%
3	うるま市	235	6.8%
4	中頭郡北谷町	196	5.6%
5	名護市	189	5.4%
6	中頭郡読谷村	151	4.3%
7	宜野湾市	128	3.7%
8	国頭郡本部町	94	2.7%
9	浦添市	53	1.5%
10	糸満市	52	1.5%
-	その他	558	16.1%
-	合計	3,475	100.0%

少 多

*10人未満は非表示



(参考) 沖縄市内60分未満滞在者 滞在ヒートマップ
(沖縄県全体・南部)

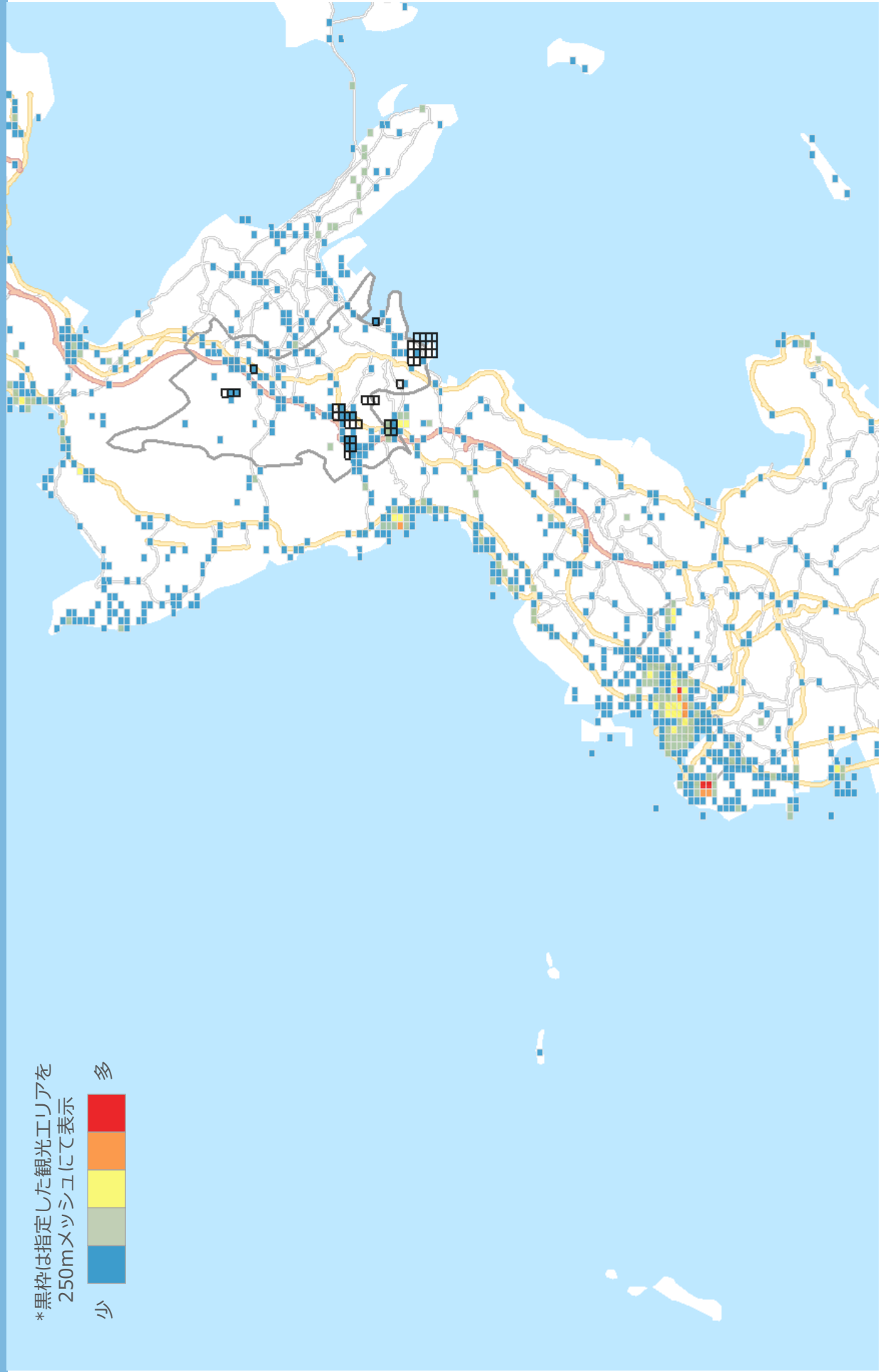
通年

期間別

● Location
● Trends

*黒枠は指定した観光エリアを
250mメッシュにて表示

少 多

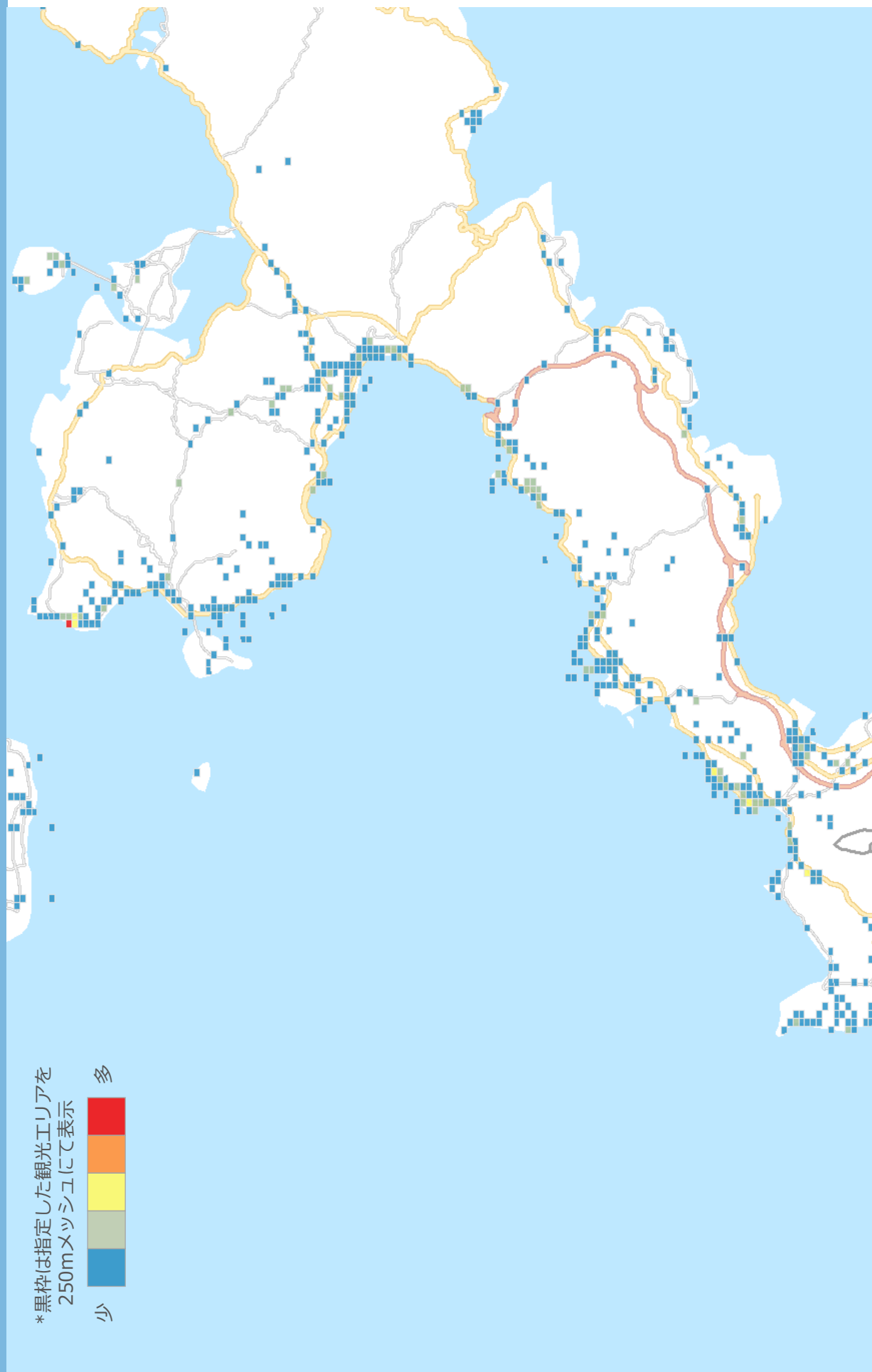


(参考) 沖縄市内60分未満滞在者 滞在ヒートマップ (沖縄県全体・中部)

通年

期間別

Location
Trends

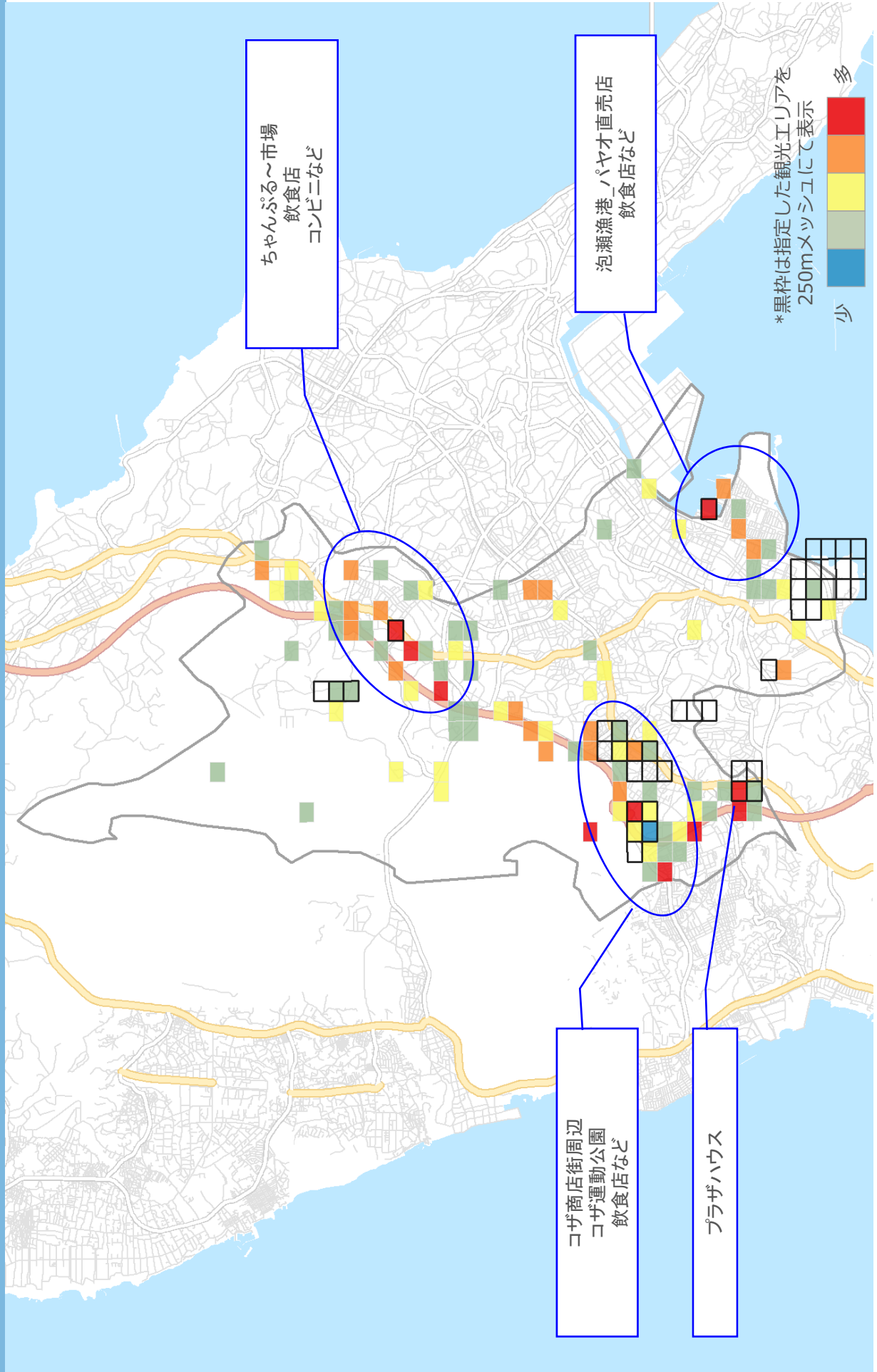


(参考) 沖縄市内60分未満滞在者 滞在ヒートマップ
(沖縄市内のみ表示)

通年

期間別

Location
Trends



発地都道府県別 域内泊数分解分析

通年

期間別



発地都道府県別 域内泊数分解分析

順位	発地 都道府県	期間	来訪者数	宿泊者数	宿泊率	宿泊人泊数	平均泊数	域内泊数	域内宿泊率
1	東京都	通年	387	376	97.3%	1,149	2.97	207	18.0%
		2018年4～6月	57	***	***	137	***	39	28.6%
		2018年7～9月	149	***	***	525	***	106	20.2%
		2018年10～12月	79	***	***	210	***	23	10.8%
		2019年1～3月	91	***	***	243	***	31	12.8%
		2018年8月31日～9月2日	10	***	***	34	***	***	***
2	大阪府	通年	247	***	***	708	***	135	19.1%
		2018年4～6月	49	***	***	170	***	21	12.4%
		2018年7～9月	64	***	***	199	***	61	30.7%
		2018年10～12月	65	***	***	164	***	26	16.0%
		2019年1～3月	66	***	***	169	***	25	15.0%
		2018年8月31日～9月2日	***	***	***	***	***	***	***
3	神奈川県	通年	244	***	***	822	***	128	15.5%
		2018年4～6月	34	***	***	100	***	31	31.4%
		2018年7～9月	87	***	***	335	***	46	13.6%
		2018年10～12月	43	***	***	144	***	24	16.6%
		2019年1～3月	80	***	***	241	***	27	11.1%
		2018年8月31日～9月2日	***	***	***	***	***	***	***
4	愛知県	通年	203	***	***	640	***	100	15.7%
		2018年4～6月	67	***	***	200	***	55	27.7%
		2018年7～9月	57	***	***	217	***	25	11.7%
		2018年10～12月	34	***	***	96	***	***	***
		2019年1～3月	42	***	***	118	***	***	***
		2018年8月31日～9月2日	***	***	***	***	***	***	***
5	福岡県	通年	168	***	***	414	***	69	16.7%
		2018年4～6月	24	***	***	55	***	14	24.6%
		2018年7～9月	38	***	***	103	***	15	14.9%
		2018年10～12月	54	***	***	136	***	14	10.5%
		2019年1～3月	48	***	***	108	***	23	21.7%
		2018年8月31日～9月2日	***	***	***	11	***	***	***

来訪者数

東京都、大阪府、神奈川県からの来訪者が多い。

期間別でみると、

東京都、神奈川県発地者は「2018年7～9月」

大阪府発地者は「2019年1～3月」

愛知県発地者は「2019年4～6月」

福岡県発地者は「2019年10～12月」

の来訪者数が多い。

宿泊率

東京都発地者の宿泊率は約97%

※日帰りのサンブルが僅少の為、宿泊者数・

宿泊率は秘匿表示となります。

表示しているデータバーは参考値としてご確

認ください。

域内宿泊率

大阪府発地者の域内泊率が最も高く19.1%。

期間別でみると、

東京都、神奈川県、愛知県、福岡県発地者は「2018

年4～6月」、

大阪府発地者は「2018年7～9月」に域内泊率が高く

なる傾向。

観光エリア分析

観光エリア別 来訪者数・来訪率



通年

期間別

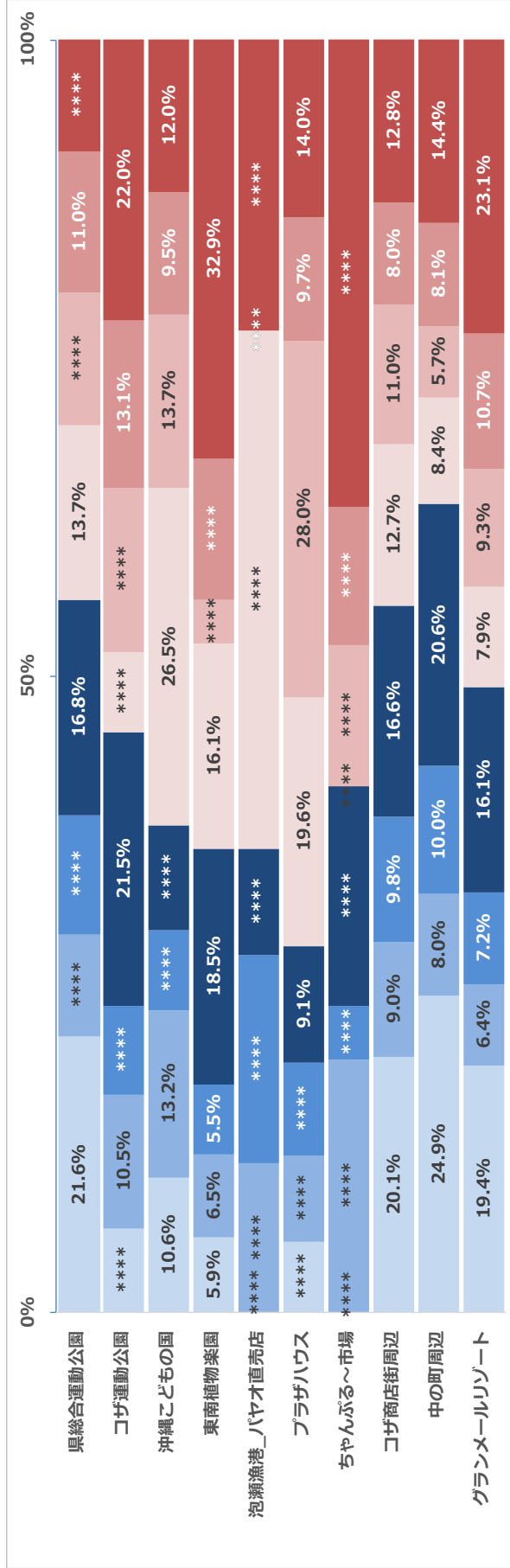
観光エリア別来訪者数・来訪率

順位	観光エリア名	全体 来訪者数	来訪率
1	中の町周辺	253	10.6%
2	東南植物楽園	191	8.0%
3	グランメールリゾート	181	7.5%
4	コザ商店街周辺	164	6.8%
5	プラザハウス	133	5.5%
6	沖縄こどもの国	115	4.8%
7	コザ運動公園	104	4.3%
8	県総合運動公園	94	3.9%
9	ちゃんぷる～市場	14	0.6%
10	泡瀬漁港_パヤオ直売店	11	0.5%
-	沖縄市来訪者 (通年)	2,397	-

「中の町周辺」の来訪者が最も多く、ついで「東南植物楽園」、「グランメールリゾート」の来訪者が多い。

観光エリア別 性別・年齢層別 来訪者数・構成比

No	観光エリア名	来訪者数	性別		男性				女性			
			男性	女性	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上
1	県総合運動公園	94	52	41	20	****	****	16	13	****	10	****
2	コザ運動公園	104	47	56	****	11	****	22	****	****	14	23
3	沖縄こどもの国	115	44	71	12	15	****	****	30	16	11	14
4	東南植物楽園	191	70	121	11	12	11	35	31	****	****	63
5	泡瀬漁港_パヤオ直売店	11	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
6	ブラザハウス	133	38	95	****	****	****	12	26	37	13	19
7	ちゃんぶる～市場	14	****	****	****	****	****	****	****	****	****	****
8	コザ商店街周辺	164	91	73	33	15	16	27	21	18	13	21
9	中の町周辺	253	161	93	63	20	25	52	21	14	20	36
10	グランメーブルリゾート	181	89	92	35	12	13	29	14	17	19	42



観光エリア別 属性分析



通年

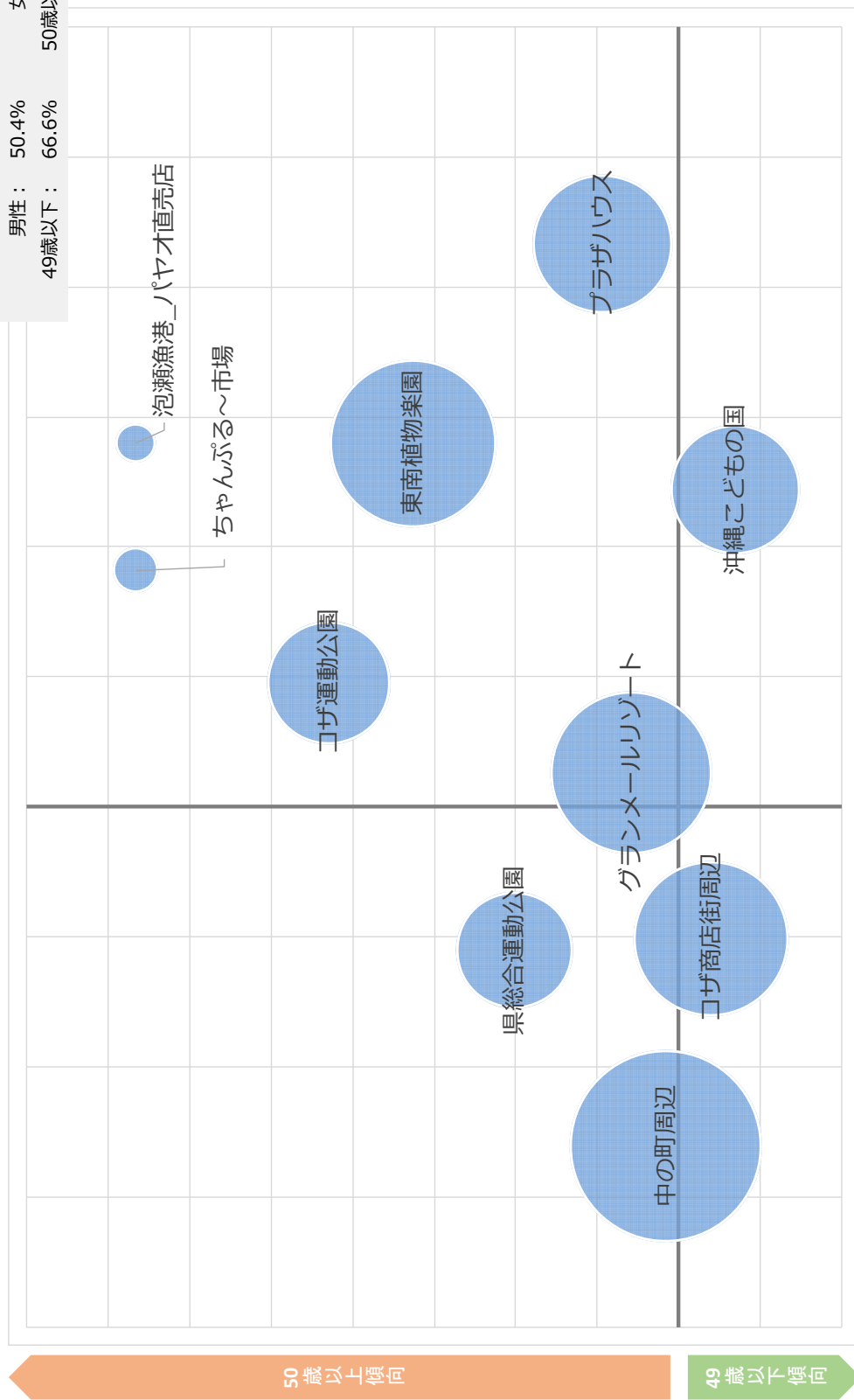
期間別

観光エリア別 属性分布

※円の大きさは来訪者数を表す

※中央値は以下の沖縄市来訪者（通年）の値とする

男性： 50.4% 女性： 49.6%
49歳以下： 66.6% 50歳以上： 33.4%



観光エリア別 発地地域別 来訪者数・構成比

■県総合運動公園

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	44	46.4%
2	近畿	18	19.2%
3	九州	14	15.0%
4	中部	12	12.8%
5	中国	****	****
-	その他	****	****
-	合計	94	100.0%

■コザ運動公園

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	42	40.6%
2	中国	19	17.8%
3	中部	13	13.0%
4	近畿	13	12.3%
5	九州	****	****
-	その他	****	****
-	合計	104	100.0%

■沖縄こどもの国

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	51	44.7%
2	中国	19	16.6%
3	九州	16	13.7%
4	近畿	13	11.0%
5	中部	****	****
-	その他	****	****
-	合計	115	100.0%

■東南植物楽園

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	近畿	55	28.8%
2	関東	47	24.7%
3	中部	27	14.2%
4	九州	25	13.1%
5	中国	17	8.7%
-	その他	20	10.5%
-	合計	191	100.0%

■泡瀬漁港_パヤオ直売店

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	北海道	****	****
2	近畿	****	****
3	九州	****	****
4	中部	****	****
5	-	-	-
-	その他	-	-
-	合計	11	100.0%

■ブラザハウス

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	67	50.5%
2	近畿	23	17.3%
3	中部	18	13.5%
4	中国	10	7.6%
5	九州	****	****
-	その他	****	****
-	合計	133	100.0%

「県総合運動公園」「コザ運動公園」「沖縄こどもの国」「ブラザハウス」は関東発地者が4割以上を占める。
「東南植物楽園」は近畿発地者が最も多く、関東発地者が続く。

観光エリア別 発地地域別 来訪者数・構成比

■ ちゃんぷる～市場

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	中部	****	****
2	九州	****	****
3	関東	****	****
4	近畿	****	****
5	四国	****	****
-	その他	****	****
-	合計	14	100.0%

■ コザ商店街周辺

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	58	35.3%
2	近畿	45	27.5%
3	中部	34	20.6%
4	九州	20	12.1%
5	東北	****	****
-	その他	****	****
-	合計	164	100.0%

■ 中の町周辺

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	107	42.2%
2	中部	49	19.2%
3	九州	41	16.1%
4	近畿	31	12.4%
5	北海道	****	****
-	その他	****	****
-	合計	253	100.0%

■ グランメーブルリゾート

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	67	37.3%
2	近畿	46	25.6%
3	中部	25	14.1%
4	九州	16	9.1%
5	中国	****	****
-	その他	****	****
-	合計	181	100.0%

「コザ商店街周辺」「中の町周辺」「グランメーブルリゾート」は関東発地者が多い。

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■ 県総合運動公園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	神奈川県	22	23.3%
2	東京都	14	14.5%
3	福岡県	****	****
4	兵庫県	****	****
5	愛知県	****	****
-	その他	36	38.8%
-	合計	94	100.0%

■ コザ運動公園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	東京都	15	14.1%
2	広島県	14	13.0%
3	神奈川県	12	11.4%
4	愛知県	****	****
5	大阪府	****	****
-	その他	47	44.9%
-	合計	104	100.0%

■ 沖縄こどもの国

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	神奈川県	18	15.9%
2	茨城県	10	8.9%
3	岡山県	****	****
4	大阪府	****	****
5	東京都	****	****
-	その他	63	54.7%
-	合計	115	100.0%

■ 東南植物楽園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	大阪府	21	11.1%
2	千葉県	16	8.2%
3	兵庫県	13	7.0%
4	東京都	13	6.7%
5	福岡県	13	6.6%
-	その他	115	60.4%
-	合計	191	100.0%

■ 泡瀬漁港_パヤオ直売店

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	北海道	****	****
2	大阪府	****	****
3	兵庫県	****	****
4	宮崎県	****	****
5	愛知県	****	****
-	その他	****	****
-	合計	11	100.0%

■ プラザハウス

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	神奈川県	19	14.6%
2	東京都	19	14.3%
3	群馬県	13	10.0%
4	大阪府	13	9.4%
5	愛知県	11	8.1%
-	その他	58	43.7%
-	合計	133	100.0%

「県総合運動公園」「沖縄こどもの国」「プラザハウス」は神奈川県発地者が最も多い。
「コザ運動公園」は東京都、「東南植物楽園」は大阪府発地者が最も多い。

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■ ちゃんぷる～市場

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	愛知県	****	****
2	大阪府	****	****
3	福岡県	****	****
4	東京都	****	****
5	徳島県	****	****
-	その他	****	****
-	合計	14	100.0%

■ コザ商店街周辺

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	東京都	28	17.3%
2	大阪府	26	16.0%
3	福岡県	14	8.7%
4	千葉県	14	8.3%
5	岐阜県	12	7.3%
-	その他	70	42.6%
-	合計	164	100.0%

■ 中の町周辺

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	東京都	42	16.5%
2	神奈川県	33	12.9%
3	福岡県	28	10.9%
4	愛知県	24	9.5%
5	千葉県	19	7.4%
-	その他	108	42.8%
-	合計	253	100.0%

■ グランメーブルリゾート

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	大阪府	32	17.6%
2	千葉県	26	14.2%
3	東京都	20	11.2%
4	神奈川県	14	7.5%
5	岡山県	12	6.6%
-	その他	78	43.0%
-	合計	181	100.0%

「コザ商店街周辺」「中の町周辺」来訪者は東京都が、「グランメーブルリゾート」は大阪府発地者が最も多い。

観光エリア別 発地市区町村別 来訪者数・構成比

■ 県総合運動公園

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	横須賀市	神奈川県	13	14.2%	1	境町	茨城県	****	****
2	杉並区	東京都	****	****	2	東広島市	広島県	****	****
3	神戸市灘区	兵庫県	****	****	3	川崎市幸区	神奈川県	****	****
4	大津市	滋賀県	****	****	4	台東区	東京都	****	****
5	筑紫野市	福岡県	****	****	5	安城市	愛知県	****	****
6	川崎市宮前区	神奈川県	****	****	6	葛飾区	東京都	****	****
7	海老名市	神奈川県	****	****	7	東大阪市	大阪府	****	****
8	高槻市	大阪府	****	****	8	飯塚市	福岡県	****	****
9	豊田市	愛知県	****	****	9	江戸川区	東京都	****	****
10	渋谷区	東京都	****	****	10	防府市	山口県	****	****
-	その他		49	52.2%	-	その他		71	68.7%
-	合計		94	100.0%	-	合計		104	100.0%

■ コザ運動公園

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	横須賀市	神奈川県	14	12.5%	1	横須賀市	神奈川県	****	****
2	別府市	大分県	****	****	2	別府市	大分県	****	****
3	鳥取市	鳥取県	****	****	3	鳥取市	鳥取県	****	****
4	古河市	茨城県	****	****	4	古河市	茨城県	****	****
5	笠岡市	岡山県	****	****	5	笠岡市	岡山県	****	****
6	袖ヶ浦市	千葉県	****	****	6	袖ヶ浦市	千葉県	****	****
7	練馬区	東京都	****	****	7	練馬区	東京都	****	****
8	日立市	茨城県	****	****	8	日立市	茨城県	****	****
9	前橋市	群馬県	****	****	9	前橋市	群馬県	****	****
10	吹田市	大阪府	****	****	10	吹田市	大阪府	****	****
-	その他		60	52.4%	-	その他		60	52.4%
-	合計		115	100.0%	-	合計		115	100.0%

■ 沖縄こどもの国

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	横須賀市	神奈川県	****	****
2	別府市	大分県	****	****
3	鳥取市	鳥取県	****	****
4	古河市	茨城県	****	****
5	笠岡市	岡山県	****	****
6	袖ヶ浦市	千葉県	****	****
7	練馬区	東京都	****	****
8	日立市	茨城県	****	****
9	前橋市	群馬県	****	****
10	吹田市	大阪府	****	****
-	その他		60	52.4%
-	合計		115	100.0%

■ 泡瀬漁港、バヤオ直売店

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	海南市	和歌山県	****	****	1	浜中町	北海道	****	****
2	福岡市南区	福岡県	****	****	2	洲本市	兵庫県	****	****
3	高槻市	大阪府	****	****	3	東諸県郡国富町	宮崎県	****	****
4	江戸川区	東京都	****	****	4	泉佐野市	大阪府	****	****
5	四街道市	千葉県	****	****	5	吹田市	大阪府	****	****
6	千葉市中央区	千葉県	****	****	6	名古屋市中村区	愛知県	****	****
7	名取市	宮城県	****	****	7	鹿児島市	鹿児島県	****	****
8	浜松市南区	静岡県	****	****	8	東大阪市	大阪府	****	****
9	中能登町	石川県	****	****	9	大阪府浪速区	大阪府	****	****
10	水戸市	茨城県	****	****	10	守山市	滋賀県	****	****
-	その他		135	70.6%	-	その他		****	****
-	合計		191	100.0%	-	合計		11	100.0%

■ プラザハウス

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	太田市	群馬県	****	8.2%
2	横須賀市	神奈川県	****	****
3	守口市	大阪府	****	****
4	文京区	東京都	****	****
5	倉敷市	岡山県	****	****
6	千歳市	北海道	****	****
7	川崎市宮前区	神奈川県	****	****
8	豊田市	愛知県	****	****
9	相模原市緑区	神奈川県	****	****
10	茅ヶ崎市	神奈川県	****	****
-	その他		83	62.4%
-	合計		133	100.0%

「県総合運動公園」「沖縄こどもの国」は神奈川県横須賀市発地者が多い。

「プラザハウス」は群馬県太田市発地者が多い。

観光エリア別 発地市区町村別 来訪者数・構成比

■ちゃんぷる〜市場

■コザ商店街周辺

■中の町周辺

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	額田郡幸田町	愛知県	****	****	1	大田区	東京都	****	6.8%	1	大田区	東京都	****	4.3%
2	福岡市東区	福岡県	****	****	2	大阪市西区	大阪府	****	****	2	相模原市南区	神奈川県	****	****
3	三好郡東みよし町	徳島県	****	****	3	守口市	大阪府	****	****	3	千葉市中央区	千葉県	****	****
4	大阪市大正区	大阪府	****	****	4	千葉市中央区	千葉県	****	****	4	福岡市博多区	福岡県	****	****
5	江戸川区	東京都	****	****	5	結城市	茨城県	****	****	5	栗山町	北海道	****	****
6	柏市	千葉県	****	****	6	神戸市垂水区	兵庫県	****	****	6	杉並区	東京都	****	****
7	飯塚市	福岡県	****	****	7	多賀城市	宮城県	****	****	7	羽島市	岐阜県	****	****
8	大阪市旭区	大阪府	****	****	8	瑞穂市	岐阜県	****	****	8	額田郡幸田町	愛知県	****	****
9	大田区	東京都	****	****	9	福井市	福井県	****	****	9	江戸川区	東京都	****	****
10	長崎市	長崎県	****	****	10	狛江市	東京都	****	****	10	横浜市鶴見区	神奈川県	****	****
-	その他		****	****	-	その他		108	66.1%	-	その他		187	73.9%
-	合計		14	100.0%	-	合計		164	100.0%	-	合計		253	100.0%

■グランメーラリゾート

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	市川市	千葉県	****	****
2	笠岡市	岡山県	****	****
3	寝屋川市	大阪府	****	****
4	四街道市	千葉県	****	****
5	江戸川区	東京都	****	****
6	八尾市	大阪府	****	****
7	東大阪市	大阪府	****	****
8	神戸市垂水区	兵庫県	****	****
9	習志野市	千葉県	****	****
10	瑞穂市	岐阜県	****	****
-	その他		124	68.6%
-	合計		181	100.0%

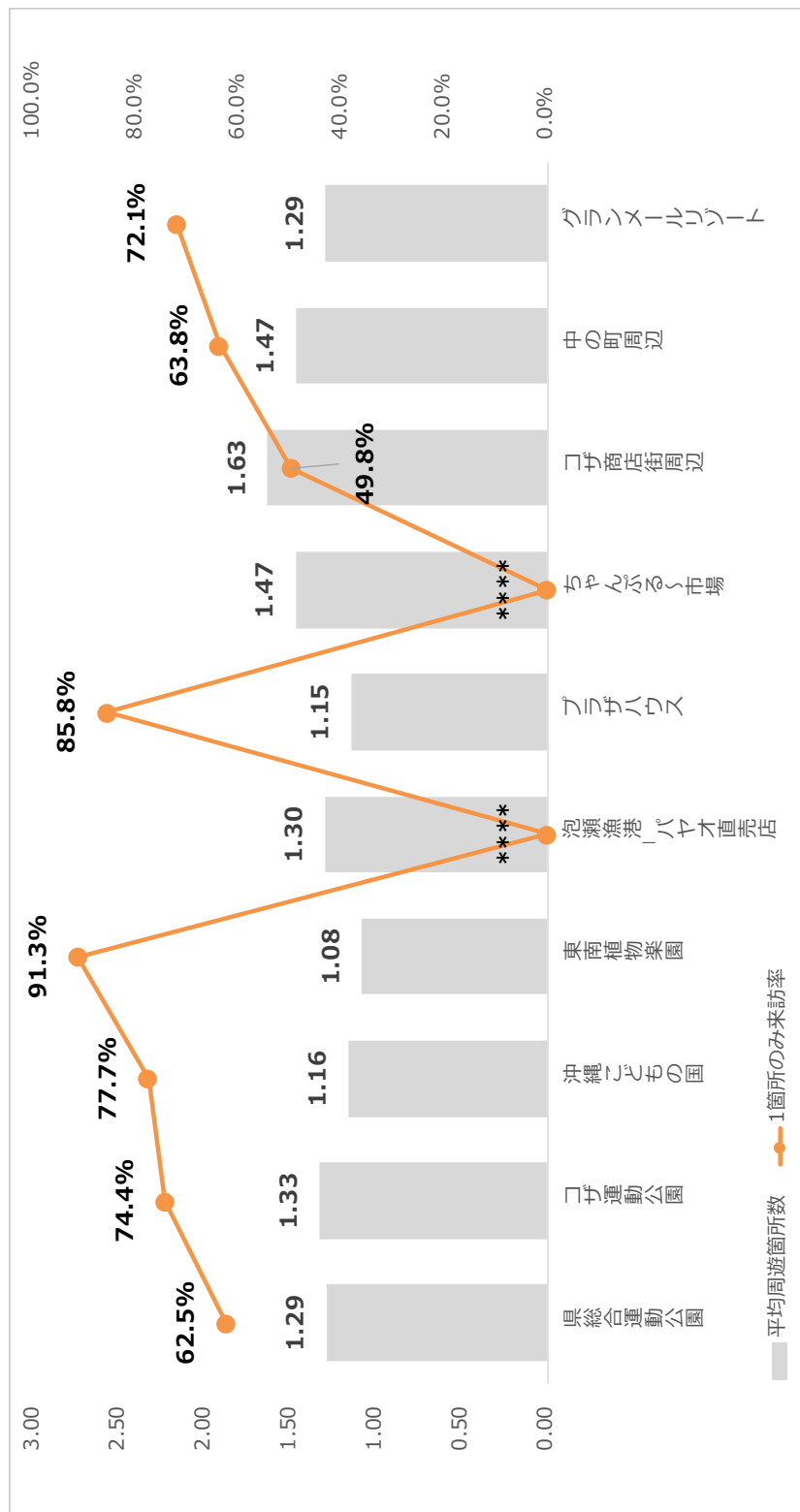
「コザ商店街周辺」「中の町周辺」「東京都大田区発地者が多い。

観光エリア別 周遊箇所数分析

通年

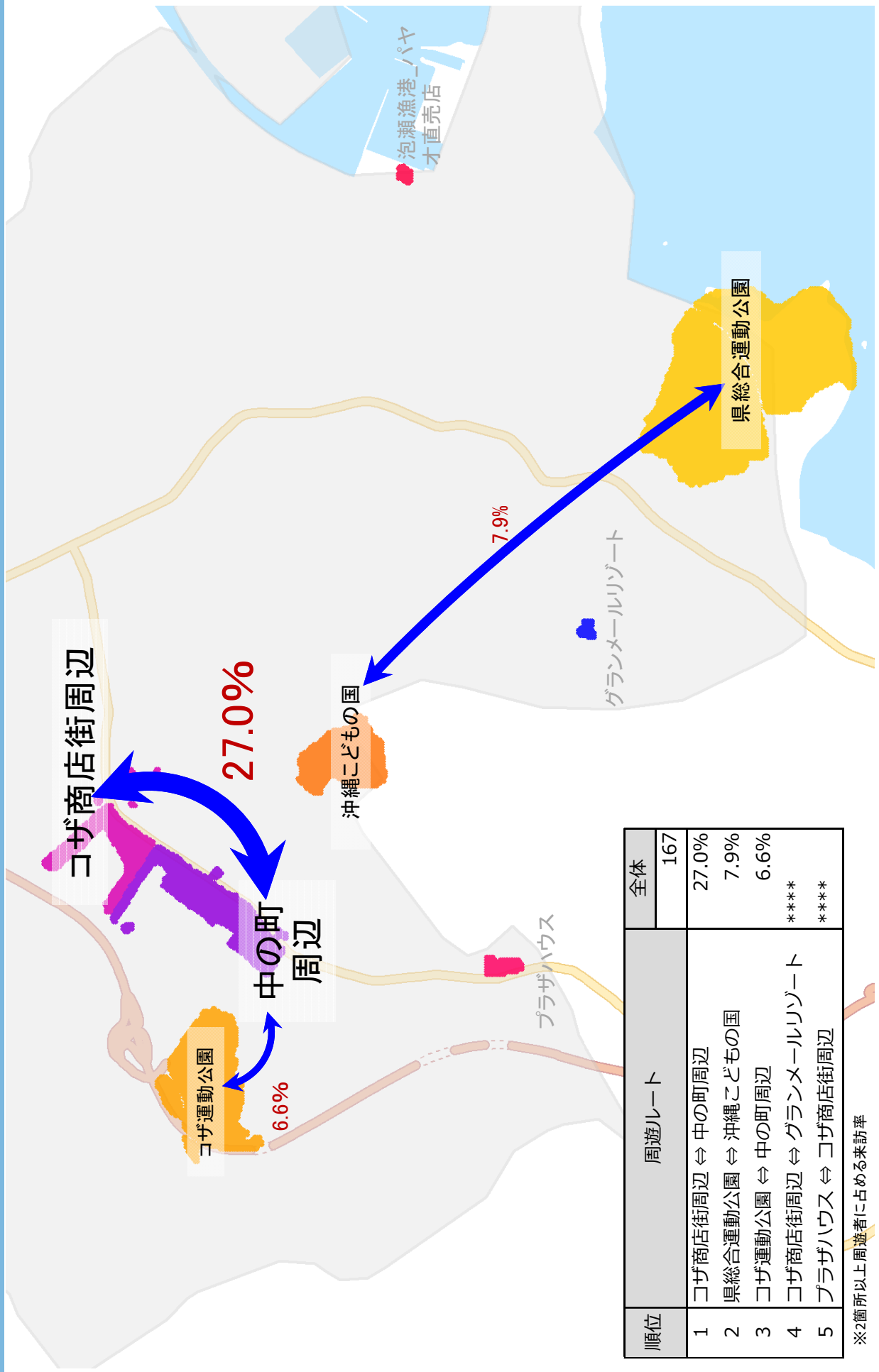
期間別

観光エリア別 平均周遊箇所数・1箇所のみ来訪率



「東南植物楽園」「ブラザハウス」は1箇所のみ来訪率が高く、観光エリアの周遊傾向は低い。

「コザ商店街周辺」「県総合運動公園」「中の町周辺」は他観光エリアと比較して周遊傾向が高い。



性別・年齢層別 周遊ルートランキング

順位	周遊ルート	全体	男性	女性	49歳以下	50歳以上
		167	85	83	119	49
1	コザ商店街周辺 ⇄ 中の町周辺	27.0%	36.1%	17.6%	26.2%	28.9%
2	県総合運動公園 ⇄ 沖縄こどもの国	7.9%	****	****	****	****
3	コザ運動公園 ⇄ 中の町周辺	6.6%	****	****	****	****
4	コザ商店街周辺 ⇄ グランメールリゾート	****	****	****	****	****
5	ブラザハウス ⇄ コザ商店街周辺	****	****	****	****	****
6	東南植物楽園 ⇄ グランメールリゾート	****	****	****	****	****
7	県総合運動公園 ⇄ 中の町周辺	****	****	****	****	****
8	県総合運動公園 ⇄ グランメールリゾート	****	****	****	****	****
9	コザ運動公園 ⇄ グランメールリゾート	****	****	****	****	****
10	コザ商店街周辺 ⇄ 中の町周辺 ⇄ グランメールリゾート	****	****	****	****	****
11	沖縄こどもの国 ⇄ グランメールリゾート	****	****	****	****	****
12	中の町周辺 ⇄ グランメールリゾート	****	****	****	****	****
13	沖縄こどもの国 ⇄ 中の町周辺	****	****	****	****	****
14	県総合運動公園 ⇄ ブラザハウス	****	****	****	****	****
15	コザ運動公園 ⇄ コザ商店街周辺 ⇄ 中の町周辺	****	****	****	****	****
16	ブラザハウス ⇄ グランメールリゾート	****	****	****	****	****
17	県総合運動公園 ⇄ コザ商店街周辺 ⇄ 中の町周辺	****	****	****	****	****
18	コザ運動公園 ⇄ 沖縄こどもの国 ⇄ グランメールリゾート	****	****	****	****	****
19	コザ運動公園 ⇄ 東南植物楽園 ⇄ 中の町周辺	****	****	****	****	****
20	ちゃんぷる〜市場 ⇄ 中の町周辺	****	****	****	****	****
	その他	10.5%	****	****	****	****

「コザ商店街周辺 ⇄ 中の町周辺」の周遊が最も多い。

観光エリア間 周遊率

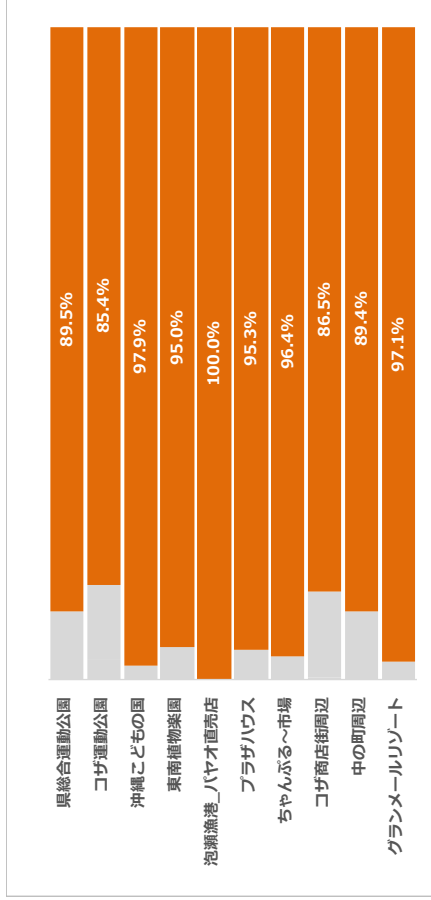
NO	観光エリア名	来訪者数	2箇所以上 来訪率	平均周遊 箇所数	周遊先観光エリア名									
					県総合運動 公園	コザ運動公 園	沖縄こども の国	東南植物楽 園	泡瀬漁港、パ ヤオ直売店	ブラザハウ ス	ちゃんぶる ～市場	コザ商店街 周辺	中の町周辺	グランメー ルリゾート
1	県総合運動公園	94	37.5%	1.29		****	14.2%	****	****	****	****	****	10.8%	****
2	コザ運動公園	104	25.6%	1.33	****		****	****	****	****	****	****	15.9%	****
3	沖縄こどもの国	115	22.3%	1.16	11.6%	****		****	****	****	****	****	****	****
4	東南植物楽園	191	8.7%	1.08	****	****	****		****	****	****	****	****	****
5	泡瀬漁港、パヤオ直売店	11	****	1.30	****	****	****	****		****	****	****	****	****
6	ブラザハウス	133	14.2%	1.15	****	****	****	****	****		****	8.3%	****	****
7	ちゃんぶる～市場	14	****	1.47	****	****	****	****	****	****		****	****	****
8	コザ商店街周辺	164	50.2%	1.63	****	****	****	****	****	6.7%	****		36.0%	9.1%
9	中の町周辺	253	36.2%	1.47	4.0%	6.5%	****	****	****	****	****	23.3%		4.3%
10	グランメーメルリゾート	181	27.9%	1.29	****	****	****	****	****	****	****	8.3%	6.0%	

周遊率が最も高い
周遊率が2番目に高い

「県総合運動公園」来訪者は、「沖縄こどもの国」との周遊率が高い
「コザ運動公園」「コザ商店街周辺」来訪者は、「中の町周辺」との周遊率が高い
「沖縄こどもの国」来訪者は「県総合運動公園」との周遊率が高い
「ブラザハウス」「中の町周辺」「グランメーメルリゾート」来訪者は「コザ商店街周辺」との周遊率が高い

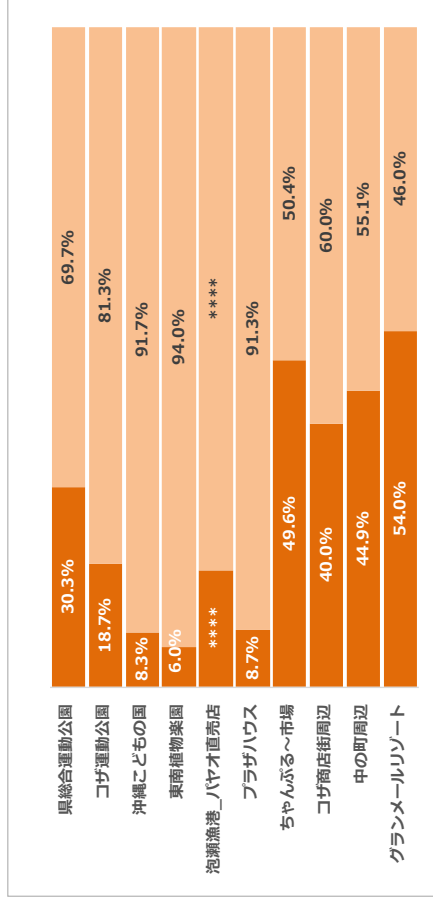
観光エリア別 旅程別 来訪者数・構成比

No	観光エリア名	来訪者数	日帰り	1泊	2泊以上
1	県総合運動公園	94	****	****	84
2	コザ運動公園	104	****	****	89
3	沖縄こどもの国	115	****	****	112
4	東南植物楽園	191	****	****	182
5	泡瀬漁港_パヤオ直売店	11	****	****	11
6	ブラザハウス	133	****	****	126
7	ちやんぷる〜市場	14	****	****	14
8	コザ商店街周辺	164	****	****	142
9	中の町周辺	253	****	****	227
10	グランメールリゾート	181	****	****	175



観光エリア別 宿泊場所区分別 宿泊人泊数・構成比

No	観光エリア名	人泊数	域内宿泊	域外宿泊
1	県総合運動公園	285	86	199
2	コザ運動公園	283	53	230
3	沖縄こどもの国	406	34	372
4	東南植物楽園	545	33	512
5	泡瀬漁港_パヤオ直売店	40	****	****
6	ブラザハウス	403	35	368
7	ちやんぷる〜市場	53	26	27
8	コザ商店街周辺	456	183	274
9	中の町周辺	744	334	410
10	グランメールリゾート	572	309	263



■ いずれの観光エリアも2泊以上の傾向が強い

■ 域内泊傾向が強い...「県総合運動公園」「コザ運動公園」「泡瀬漁港_パヤオ直売店」「中の町周辺周辺」「コザ商店街周辺」「グランメールリゾート」

■ 域外泊傾向が強い...「沖縄こどもの国」「東南植物楽園」「ブラザハウス」

観光エリア別 域内泊数分解分析



通年

期間別

観光エリア別 域内泊数分解分析

No	観光エリア名	来訪者数	宿泊者数	宿泊率	宿泊人数	平均泊数	域内泊数	域内宿泊率
1	県総合運動公園	94	****	****	285	****	86	30.3%
2	コザ運動公園	104	****	****	283	****	53	18.7%
3	沖縄こどもの国	115	****	****	406	****	34	8.3%
4	東南植物楽園	191	****	****	545	****	33	6.0%
5	泡瀬漁港_パヤオ直売店	11	****	****	40	****	****	****
6	プラザハウス	133	****	****	403	****	35	8.7%
7	ちゃんぷる〜市場	14	****	****	53	****	26	49.6%
8	コザ商店街周辺	164	****	****	456	****	183	40.0%
9	中の町周辺	253	****	****	744	****	334	44.9%
10	グランメーブルリゾート	181	****	****	572	****	309	54.0%

来訪者数

「中の町周辺」が最も多く、ついで「東南植物楽園」「グランメーブルリゾート」が多い

宿泊率

※日帰りのサンプルが僅少の為、宿泊者数・宿泊率は秘匿表示となります。
表示しているデータバーは参考値としてご確認ください。

域内宿泊率

「グランメーブルリゾート」の域内泊率が最も高く、ついで「ちゃんぷる〜市場」、「中の町周辺」の域内宿泊率が高い。

「沖縄こどもの国」「東南植物楽園」は特に域内宿泊率が低く宿泊者の9割以上が沖縄市外へ宿泊流出している。

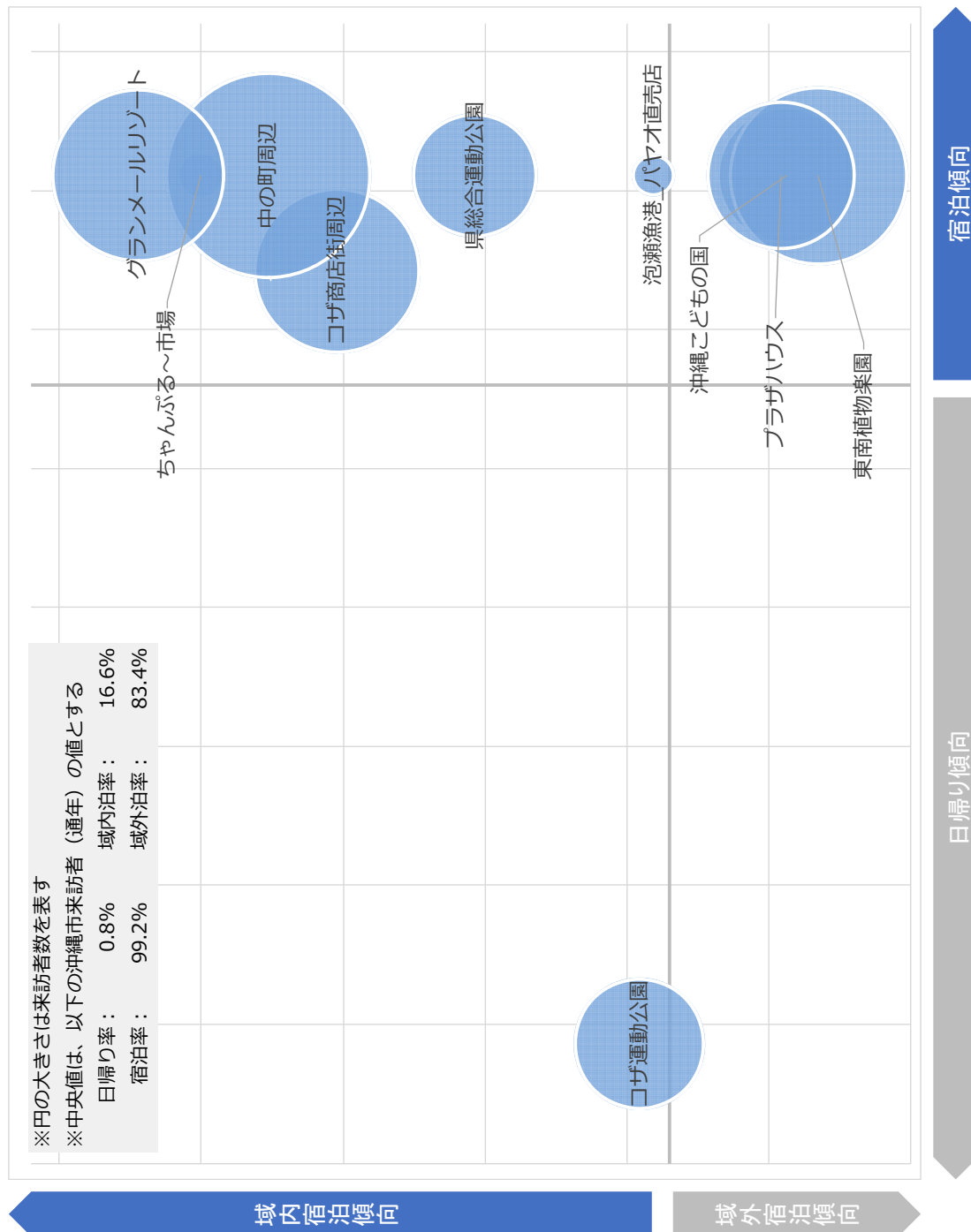
観光エリア別 域内泊数分解分析



通年

期間別

観光エリア別 域内泊数分解分析



観光エリア別 昼間滞在時間分析



通年

期間別

観光エリア別 旅程別 昼間滞在時間分析

観光エリア名	来訪者数	全体	日帰り	宿泊
全体来訪者	2,397	2:04	1:40	2:04
いずれかの観光エリア来訪者	1,073	1:57	1:15	1:57
県総合運動公園	94	2:41	***	2:41
コザ運動公園	104	2:50	1:30	2:52
沖縄こどもの国	115	1:36	***	1:36
東南植物楽園	191	1:10	***	1:10
泡瀬漁港_パヤオ直売店	11	0:27	***	0:27
プラザハウス	133	1:11	***	1:11
ちゃんぷる〜市場	14	0:21	***	0:21
コザ商店街周辺	164	1:38	0:30	1:38
中の町周辺	253	2:15	***	2:15
グランメールリゾート	181	2:39	***	2:39

沖縄市来訪者（通年）の昼間滞在時間は2時間4分。
観光エリア別では、「コザ運動公園」の滞在時間が最も長く2時間50分。
次いで「県総合運動公園」、「グランメールリゾート」の滞在時間が長い。

Appendix

発地都道府県別 来訪者数・構成比

■2018年4~6月				■2018年7~9月				■2018年10~12月				■2019年1~3月				■2018年8月31日~9月2日			
順位	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計	478	100.0%	-	来訪者計	699	100.0%	-	来訪者計	604	100.0%	-	来訪者計	616	100.0%	-	来訪者計	52	100.0%
1	愛知県	67	14.1%	1	東京都	149	21.4%	1	東京都	79	13.1%	1	東京都	91	14.8%	1	東京都	10	19.5%
2	東京都	57	11.9%	2	神奈川県	87	12.4%	2	大阪府	65	10.8%	2	神奈川県	80	12.9%	2	岡山県	****	****
3	大阪府	49	10.3%	3	大阪府	64	9.1%	3	福岡県	54	8.9%	3	大阪府	66	10.7%	3	福岡県	****	****
4	神奈川県	34	7.1%	4	愛知県	57	8.2%	4	千葉県	49	8.1%	4	福岡県	48	7.8%	4	愛知県	****	****
5	愛知県	28	5.8%	5	千葉県	44	6.3%	5	神奈川県	43	7.2%	5	福岡県	42	6.7%	5	大阪府	****	****
6	千葉県	26	5.5%	6	福岡県	38	5.4%	6	愛知県	34	5.6%	6	千葉県	34	5.6%	6	兵庫県	****	****
7	福岡県	24	5.1%	7	埼玉県	35	5.0%	7	埼玉県	29	4.9%	7	兵庫県	27	4.4%	7	千葉県	****	****
8	埼玉県	16	3.4%	8	兵庫県	20	2.9%	8	兵庫県	27	4.4%	8	埼玉県	23	3.8%	8	埼玉県	****	****
9	宮城県	15	3.2%	9	岡山県	20	2.9%	9	茨城県	19	3.2%	9	広島県	20	3.3%	9	北海道	****	****
10	北海道	15	3.2%	10	鹿児島県	16	2.3%	10	北海道	16	2.7%	10	北海道	17	2.7%	10	静岡県	****	****
11	広島県	14	3.0%	11	北海道	16	2.3%	11	静岡県	16	2.6%	11	山口県	16	2.7%	11	茨城県	****	****
12	大分県	13	2.7%	12	大分県	13	1.8%	12	群馬県	15	2.4%	12	茨城県	15	2.4%	12	宮城県	****	****
13	水府県	12	2.4%	13	奈良県	13	1.8%	13	岐阜県	12	2.1%	13	三重県	15	2.4%	13	広島県	****	****
14	鳥取県	11	2.2%	14	熊本県	11	1.5%	14	熊本県	12	1.9%	14	宮城県	13	2.2%	14	神奈川県	****	****
15	京都府	****	****	15	静岡県	****	****	15	滋賀県	****	****	15	京都府	10	1.7%	15	岐阜県	****	****
16	宮城県	****	****	16	茨城県	****	****	16	鹿児島県	****	****	16	岡山県	10	1.7%	16	愛媛県	****	****
17	岐阜県	****	****	17	佐賀県	****	****	17	佐賀県	****	****	17	大分県	****	****	17	大分県	****	****
18	静岡県	****	****	18	広島県	****	****	18	三重県	****	****	18	岐阜県	****	****	18	香川県	****	****
19	奈良県	****	****	19	静岡県	****	****	19	長野県	****	****	19	熊本県	****	****	19	群馬県	****	****
20	熊本県	****	****	20	福井県	****	****	20	岡山県	****	****	20	滋賀県	****	****	20	鹿児島県	****	****
21	大分県	****	****	21	滋賀県	****	****	21	京都府	****	****	21	群馬県	****	****	21	長野県	****	****
22	茨城県	****	****	22	長崎県	****	****	22	石川県	****	****	22	新潟県	****	****	22	奈良県	****	****
23	鹿児島県	****	****	23	香川県	****	****	23	香川県	****	****	23	静岡県	****	****	23	山口県	****	****
24	佐賀県	****	****	24	栃木県	****	****	24	香川県	****	****	24	鹿児島県	****	****	24	京都府	****	****
25	山形県	****	****	25	群馬県	****	****	25	愛媛県	****	****	25	長崎県	****	****	25	滋賀県	****	****
26	長野県	****	****	26	三重県	****	****	26	栃木県	****	****	26	奈良県	****	****	26	-	-	-
27	山口県	****	****	27	山口県	****	****	27	鳥取県	****	****	27	佐賀県	****	****	27	-	-	-
28	山口県	****	****	28	宮城県	****	****	28	福島県	****	****	28	富山県	****	****	28	-	-	-
29	高知県	****	****	29	長野県	****	****	29	奈良県	****	****	29	長野県	****	****	29	-	-	-
30	和歌山県	****	****	30	山口県	****	****	30	広島県	****	****	30	石川県	****	****	30	-	-	-
31	三重県	****	****	31	徳島県	****	****	31	山形県	****	****	31	栃木県	****	****	31	-	-	-
32	愛媛県	****	****	32	青森県	****	****	32	新潟県	****	****	32	宮城県	****	****	32	-	-	-
33	香川県	****	****	33	福島県	****	****	33	宮城県	****	****	33	香川県	****	****	33	-	-	-
34	福島県	****	****	34	山梨県	****	****	34	山口県	****	****	34	山梨県	****	****	34	-	-	-
35	岡山県	****	****	35	和歌山県	****	****	35	宮城県	****	****	35	徳島県	****	****	35	-	-	-
36	岩手県	****	****	36	秋田県	****	****	36	大分県	****	****	36	大分県	****	****	36	-	-	-
37	新潟県	****	****	37	秋田県	****	****	37	和歌山県	****	****	37	福島県	****	****	37	-	-	-
38	福井県	****	****	38	富山県	****	****	38	富山県	****	****	38	福井県	****	****	38	-	-	-
39	山梨県	****	****	39	山梨県	****	****	39	山梨県	****	****	39	鳥取県	****	****	39	-	-	-
40	滋賀県	****	****	40	愛媛県	****	****	40	福井県	****	****	40	秋田県	****	****	40	-	-	-
41	栃木県	****	****	41	-	****	****	41	高知県	****	****	41	山形県	****	****	41	-	-	-
42	-	-	-	42	-	-	-	42	秋田県	****	****	42	岩手県	****	****	42	-	-	-
43	-	-	-	43	-	-	-	43	岩手県	****	****	43	愛媛県	****	****	43	-	-	-
44	-	-	-	44	-	-	-	44	-	-	-	44	-	-	-	44	-	-	-
45	-	-	-	45	-	-	-	45	-	-	-	45	-	-	-	45	-	-	-

発地市区町村別 来訪者数・構成比

■通年

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		2,397	100.0%
1	大田区	東京都	36	1.5%
2	江戸川区	東京都	30	1.3%
3	槻須賀市	神奈川県	30	1.2%
4	練馬区	東京都	27	1.1%
5	安城市	愛知県	26	1.1%
6	千葉市中央区	千葉県	25	1.1%
7	板橋区	東京都	24	1.0%
8	市川市	千葉県	22	0.9%
9	足立区	東京都	21	0.9%
10	福岡市博多区	福岡県	19	0.8%
11	守口市	大阪府	19	0.8%
12	新宿区	東京都	18	0.8%
13	東大阪市	大阪府	18	0.8%
14	豊島区	東京都	17	0.7%
15	相模原市南区	神奈川県	16	0.6%
16	豊中市	大阪府	16	0.6%
17	東村山市	東京都	15	0.6%
18	港区	東京都	15	0.6%
19	大和市	神奈川県	15	0.6%
20	大分市	大分県	15	0.6%
21	杉並区	東京都	14	0.6%
22	高槻市	大阪府	14	0.6%
23	世田谷区	東京都	14	0.6%
24	奈良市	奈良県	14	0.6%
25	太田市	群馬県	13	0.6%
26	四街道市	千葉県	13	0.6%
27	相模原市中央区	神奈川県	13	0.6%
28	福岡市南区	福岡県	13	0.5%
29	高松市	香川県	13	0.5%
30	小金井市	東京都	13	0.5%
31	豊田市	愛知県	12	0.5%
32	松戸市	千葉県	12	0.5%
33	北九州市八幡西区	福岡県	12	0.5%
34	大津市	滋賀県	12	0.5%
35	横浜市区	神奈川県	12	0.5%
36	名古屋市中区	愛知県	12	0.5%
37	大島郡和泊町	鹿児島県	11	0.5%
38	倉敷市	岡山県	11	0.5%
39	川崎市川崎区	神奈川県	11	0.5%
40	大坂狭山市	大阪府	11	0.5%

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		2,397	100.0%
41	岡崎市	愛知県	11	0.5%
42	越谷市	埼玉県	11	0.4%
43	福岡市中央区	福岡県	10	0.4%
44	尼崎市	兵庫県	10	0.4%
45	堺市中央区	大阪府	10	0.4%
46	飯塚市	福岡県	10	0.4%
47	川崎市幸区	神奈川県	10	0.4%
48	福岡市東区	福岡県	10	0.4%
49	市原市	千葉県	10	0.4%
50	平塚市	神奈川県	10	0.4%
51	川崎市高津区	神奈川県	10	0.4%
52	大阪市西区	大阪府	10	0.4%
53	熊本市東区	熊本県	10	0.4%
54	海老名市	神奈川県	10	0.4%
55	別府市	大分県	10	0.4%
56	額田郡幸田町	愛知県	10	0.4%
57	福井市	福井県	10	0.4%
58	川西市	兵庫県	10	0.4%
59	刈谷市	愛知県	10	0.4%
60	名取市	宮城県	10	0.4%
61	大阪市北区	大阪府	10	0.4%
62	大泉町	群馬県	10	0.4%
63	笠岡市	岡山県	10	0.4%
64	福山市	広島県	10	0.4%
65	寝屋川市	大阪府	10	0.4%
66	福岡市西区	福岡県	10	0.4%
67	海南市	和歌山県	10	0.4%
68	八尾市	大阪府	10	0.4%
69	府中市	東京都	10	0.4%
70	品川区	東京都	10	0.4%
71	京都市伏見区	京都府	10	0.4%
72	藤沢市	神奈川県	10	0.4%
73	台東区	東京都	10	0.4%
74	北本市	埼玉県	10	0.4%
75	鎌倉市	神奈川県	10	0.4%
76	墨田区	東京都	10	0.4%
77	東広島市	広島県	10	0.4%
78	葛飾区	東京都	10	0.4%
79	吹田市	大阪府	10	0.4%
80	筑紫野市	福岡県	10	0.4%

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		2,397	100.0%
81	荒川区	東京都	10	0.4%
82	北区	東京都	10	0.4%
83	呉市	広島県	10	0.4%
84	佐世保市	長崎県	10	0.4%
85	茨木市	大阪府	10	0.4%
86	宮崎市	宮崎県	10	0.4%
87	熊本市南区	熊本県	10	0.4%
88	神戸市灘区	兵庫県	10	0.4%
89	日立市	茨城県	10	0.4%
90	久米郡久米南町	岡山県	10	0.4%
91	八千代市	千葉県	10	0.4%
92	習志野市	千葉県	10	0.4%
93	鳥取市	鳥取県	10	0.4%
94	姫路市	兵庫県	10	0.4%
95	印西市	千葉県	10	0.4%
96	千代田区	東京都	10	0.4%
97	名古屋市中区	愛知県	10	0.4%
98	半田市	愛知県	10	0.4%
99	横浜市中区	神奈川県	10	0.4%
100	朝霞市	埼玉県	10	0.4%
101	名古屋市中区	愛知県	10	0.4%
102	茅ヶ崎市	神奈川県	10	0.4%
103	堺市	大阪府	10	0.4%
104	川口市	埼玉県	10	0.4%
105	一宮市	愛知県	10	0.4%
106	札幌市北区	北海道	10	0.4%
107	栗山町	北海道	10	0.4%
108	枚方市	大阪府	10	0.4%
109	岩国市	山口県	10	0.4%
110	久留米市	福岡県	10	0.4%
111	名古屋市中区	愛知県	10	0.4%
112	八王子市	東京都	10	0.4%
113	西宮市	兵庫県	10	0.4%
114	大東市	大阪府	10	0.4%
115	津市	三重県	10	0.4%
116	横浜市中区	神奈川県	10	0.4%
117	所沢市	埼玉県	10	0.4%
118	大阪市東住吉区	大阪府	10	0.4%
119	文京区	東京都	10	0.4%
120	宮代町	埼玉県	10	0.4%



発地市区町村別 来訪者数・構成比

■2018年4~6月

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		478	100.0%
1	安城市	愛知県	11	2.3%
2	太田市	群馬県	11	2.3%
3	大阪狭山市	大阪府	10	2.1%
4	名古屋市中区	愛知県	10	2.1%
5	大和市	神奈川県	****	****
6	大分市	大分県	****	****
7	市川市	千葉県	****	****
8	東村山市	東京都	****	****
9	額田郡幸田町	愛知県	****	****
10	鳥取市	鳥取県	****	****
11	豊原市	大阪府	****	****
12	名取市	宮城県	****	****
13	神戸市灘区	兵庫県	****	****
14	港区	東京都	****	****
15	江戸川区	東京都	****	****
16	福山市	広島県	****	****
17	羽島市	岐阜県	****	****
18	練馬区	東京都	****	****
19	呉市	広島県	****	****
20	多賀城市	宮城県	****	****
21	豊田	愛知県	****	****
22	大田区	東京都	****	****
23	板橋区	東京都	****	****
24	豊川市	愛知県	****	****
25	尼崎市	兵庫県	****	****
26	新宿区	東京都	****	****
27	米子市	鳥取県	****	****
28	名古屋市中区	愛知県	****	****
29	釧路市	北海道	****	****
30	京都市中京区	京都府	****	****
31	一宮市	愛知県	****	****
32	諫早市	長崎県	****	****
33	横滨市保土ヶ谷区	神奈川県	****	****
34	川崎市宮前区	神奈川県	****	****
35	宮崎市	宮城県	****	****
36	吹田市	大阪府	****	****
37	奈良市	奈良県	****	****
38	大阪市東住吉区	大阪府	****	****
39	枚方市	大阪府	****	****
40	名古屋市中区	愛知県	****	****

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		478	100.0%
41	大島郡与論町	鹿児島県	****	****
42	目黒区	東京都	****	****
43	大阪府北区	大阪府	****	****
44	熊本市南区	熊本県	****	****
45	市原市	千葉県	****	****
46	羽村市	東京都	****	****
47	札幌市西区	北海道	****	****
48	西尾市	愛知県	****	****
49	久留米市	福岡県	****	****
50	和歌市	大阪府	****	****
51	伊丹市	兵庫県	****	****
52	名古屋市中川区	愛知県	****	****
53	足立区	東京都	****	****
54	松戸市	千葉県	****	****
55	印西市	千葉県	****	****
56	杉並区	東京都	****	****
57	春日部市	埼玉県	****	****
58	神戸市兵庫区	兵庫県	****	****
59	津市	三重県	****	****
60	朝霞市	埼玉県	****	****
61	八王子市	東京都	****	****
62	成田市	千葉県	****	****
63	八千代市	千葉県	****	****
64	三島市	静岡県	****	****
65	横浜市中区	神奈川県	****	****
66	佐世保市	長崎県	****	****
67	三田市	兵庫県	****	****
68	前橋市	群馬県	****	****
69	海老名市	神奈川県	****	****
70	福岡市西区	福岡県	****	****
71	筑紫野市	福岡県	****	****
72	遠賀郡遠賀町	福岡県	****	****
73	八戸市	福岡県	****	****
74	堺市堺区	大阪府	****	****
75	北名古屋市	愛知県	****	****
76	伊万里市	佐賀県	****	****
77	川崎市川崎区	神奈川県	****	****
78	福津市	福岡県	****	****
79	みよし市	愛知県	****	****
80	茨木市	大阪府	****	****

■2018年7~9月

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		699	100.0%
1	小金井市	東京都	12	1.7%
2	大島郡和泊町	鹿児島県	11	1.5%
3	板橋区	大阪府	10	1.5%
4	東大阪市	****	****	****
5	大田区	東京都	****	****
6	平塚市	神奈川県	****	****
7	相模原市南区	神奈川県	****	****
8	安城市	愛知県	****	****
9	足立区	東京都	****	****
10	練馬区	東京都	****	****
11	横浜市中区	神奈川県	****	****
12	横須賀市	神奈川県	****	****
13	守口市	大阪府	****	****
14	刈谷市	愛知県	****	****
15	北本市	埼玉県	****	****
16	相模原市中央区	神奈川県	****	****
17	豊中市	大阪府	****	****
18	奈良市	奈良県	****	****
19	別府市	大分県	****	****
20	久米郡久米町	岡山県	****	****
21	新宿区	東京都	****	****
22	千代田区	東京都	****	****
23	葛飾区	東京都	****	****
24	江戸川区	東京都	****	****
25	四街道市	千葉県	****	****
26	千葉市中央区	千葉県	****	****
27	熊本市東区	熊本県	****	****
28	栗山町	北海道	****	****
29	墨田区	東京都	****	****
30	杉並区	東京都	****	****
31	海老名市	神奈川県	****	****
32	文京区	東京都	****	****
33	倉敷市	岡山県	****	****
34	市原市	千葉県	****	****
35	岡崎市	愛知県	****	****
36	千葉市若葉区	千葉県	****	****
37	世田谷区	東京都	****	****
38	高松市	香川県	****	****
39	福岡市博多区	福岡県	****	****
40	福井市	福井県	****	****

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		699	100.0%
41	北九州市八幡西区	福岡県	****	****
42	笠岡市	岡山県	****	****
43	品川区	東京都	****	****
44	大津市	滋賀県	****	****
45	姫路市	兵庫県	****	****
46	町田市	東京都	****	****
47	結城市	茨城県	****	****
48	港区	東京都	****	****
49	藤沢市	神奈川県	****	****
50	半田市	愛知県	****	****
51	沼津市	静岡県	****	****
52	北区	東京都	****	****
53	東広島市	広島県	****	****
54	秦野市	神奈川県	****	****
55	福岡市中央区	福岡県	****	****
56	佐世保市	長崎県	****	****
57	柏江市	東京都	****	****
58	大垣市	岐阜県	****	****
59	市川市	千葉県	****	****
60	福岡市南区	福岡県	****	****
61	茅ヶ崎市	神奈川県	****	****
62	府中市	東京都	****	****
63	福生市	東京都	****	****
64	名古屋市守山区	愛知県	****	****
65	堺市	埼玉県	****	****
66	江東区	東京都	****	****
67	中野区	東京都	****	****
68	柏市	千葉県	****	****
69	川口市	埼玉県	****	****
70	尼崎市	兵庫県	****	****
71	新座市	埼玉県	****	****
72	下野市	栃木県	****	****
73	名古屋市南区	愛知県	****	****
74	さいたま市見沼区	埼玉県	****	****
75	京都市伏見区	京都府	****	****
76	松戸市	千葉県	****	****
77	川西市	兵庫県	****	****
78	吹田市	大阪府	****	****
79	名古屋市中区	愛知県	****	****
80	伊勢崎市	群馬県	****	****

発地市区町村別 来訪者数・構成比

■2018年10~12月

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	-	来訪者計	604	100.0%
1	大田区	東京都	20	3.3%
2	千葉市中央区	千葉県	13	2.2%
3	豊島区	東京都	12	2.0%
4	大阪市西区	大阪府	***	***
5	大泉町	群馬県	***	***
6	福岡市博多区	福岡県	***	***
7	堺市中区	大阪府	***	***
8	越谷市	埼玉県	***	***
9	四街道市	千葉県	***	***
10	堺町	茨城県	***	***
11	高槻市	大阪府	***	***
12	江戸川区	東京都	***	***
13	大東市	大阪府	***	***
14	大津市	滋賀県	***	***
15	新宿区	東京都	***	***
16	高松市	香川県	***	***
17	宮代町	埼玉県	***	***
18	横浜市鶴見区	神奈川県	***	***
19	浜松市南区	静岡県	***	***
20	鎌倉市	神奈川県	***	***
21	日立市	茨城県	***	***
22	福岡市南区	福岡県	***	***
23	福岡市東区	福岡県	***	***
24	浜中町	北海道	***	***
25	北九州市八幡西区	福岡県	***	***
26	港区	東京都	***	***
27	神戸市垂水区	兵庫県	***	***
28	福岡市中央区	福岡県	***	***
29	朝霞市	埼玉県	***	***
30	市川市	千葉県	***	***
31	大和市	神奈川県	***	***
32	習志野市	千葉県	***	***
33	袖ヶ浦市	千葉県	***	***
34	瑞穂市	岐阜県	***	***
35	世田谷区	東京都	***	***
36	中能登町	石川県	***	***
37	千歳市	北海道	***	***
38	豊田市	愛知県	***	***
39	鎌倉区	東京都	***	***
40	足立区	東京都	***	***

■2019年1~3月

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	-	来訪者計	616	100.0%
1	横須賀市	神奈川県	18	3.0%
2	江戸川区	東京都	12	1.9%
3	練馬区	東京都	***	***
4	川崎市幸区	神奈川県	***	***
5	板橋区	東京都	***	***
6	海南市	和歌山県	***	***
7	大阪市北区	大阪府	***	***
8	川崎市高津区	神奈川県	***	***
9	守口市	大阪府	***	***
10	飯塚市	福岡県	***	***
11	高槻市	大阪府	***	***
12	市川市	千葉県	***	***
13	足立区	東京都	***	***
14	八尾市	大阪府	***	***
15	相模原市中央区	神奈川県	***	***
16	東村山市	東京都	***	***
17	丹羽郡大口町	愛知県	***	***
18	千葉市中央区	千葉県	***	***
19	川西市	兵庫県	***	***
20	松戸市	千葉県	***	***
21	川崎市川崎区	神奈川県	***	***
22	杉並区	東京都	***	***
23	古河市	茨城県	***	***
24	東大和市	大阪府	***	***
25	荒川区	東京都	***	***
26	岩国市	山口県	***	***
27	横浜市青葉区	神奈川県	***	***
28	安城市	愛知県	***	***
29	防府市	山口県	***	***
30	福岡市博多区	福岡県	***	***
31	仙台市太白区	宮城県	***	***
32	伊勢市	三重県	***	***
33	筑紫野市	福岡県	***	***
34	福岡市南区	福岡県	***	***
35	相模原市南区	神奈川県	***	***
36	仙台市泉区	宮城県	***	***
37	世田谷区	東京都	***	***
38	福岡市東区	福岡県	***	***
39	豊中市	大阪府	***	***
40	笠岡市	岡山県	***	***

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	-	来訪者計	616	100.0%
41	北九州市小倉北区	福岡県	***	***
42	岡崎市	愛知県	***	***
43	新宿区	東京都	***	***
44	北区	東京都	***	***
45	東広島市	広島県	***	***
46	京都市伏見区	京都府	***	***
47	横浜市中区	神奈川県	***	***
48	狭山市	埼玉県	***	***
49	熊本市南区	熊本県	***	***
50	水戸市	茨城県	***	***
51	廿日市市	広島県	***	***
52	いなべ市	三重県	***	***
53	鹿児島市	鹿児島県	***	***
54	藤沢市	神奈川県	***	***
55	府中市	東京都	***	***
56	三鷹市	東京都	***	***
57	札幌市中央区	北海道	***	***
58	北九州市八幡西区	福岡県	***	***
59	大府市	愛知県	***	***
60	津市	三重県	***	***
61	横浜市新北区	神奈川県	***	***
62	神戸市兵庫区	兵庫県	***	***
63	大阪市大正区	大阪府	***	***
64	長崎市	長崎県	***	***
65	大田区	東京都	***	***
66	広島市安芸区	広島県	***	***
67	札幌市白石区	北海道	***	***
68	尼崎市	兵庫県	***	***
69	宝塚市	兵庫県	***	***
70	西東京市	東京都	***	***
71	厚木市	神奈川県	***	***
72	目黒区	茨城県	***	***
73	目黒区	東京都	***	***
74	小田郡矢掛町	岡山県	***	***
75	上越市	新潟県	***	***
76	八千代市	千葉県	***	***
77	三木市	兵庫県	***	***
78	豊田市	愛知県	***	***
79	大分市	大分県	***	***
80	所沢市	埼玉県	***	***

発地市区町村別 来訪者数・構成比

■2018年8月31日～9月2日

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計		52	100.0%
1	笠岡市	岡山県	****	****
2	倉敷市	岡山県	****	****
3	葛飾区	東京都	****	****
4	姫路市	兵庫県	****	****
5	中央区	東京都	****	****
6	港区	東京都	****	****
7	名古屋市中区	愛知県	****	****
8	名古屋市緑区	愛知県	****	****
9	釧路市	北海道	****	****
10	浜松市北区	静岡県	****	****
11	石岡市	茨城県	****	****
12	行橋市	福岡県	****	****
13	朝倉郡筑前町	福岡県	****	****
14	東広島市	広島県	****	****
15	横浜市中区	神奈川県	****	****
16	江東区	東京都	****	****
17	世田谷区	東京都	****	****
18	可児市	岐阜県	****	****
19	市川市	千葉県	****	****
20	八尾市	大阪府	****	****
21	中野区	東京都	****	****
22	松山市	愛媛県	****	****
23	八街市	千葉県	****	****
24	豊後高田市	大分県	****	****
25	京都府みやこ町	福岡県	****	****
26	高松市	香川県	****	****
27	筑紫野市	福岡県	****	****
28	福岡市博多区	福岡県	****	****
29	鉾田市	埼玉県	****	****
30	高崎市	群馬県	****	****
31	岡山市北区	岡山県	****	****
32	南九州市	鹿児島県	****	****
33	大阪市淀川区	大阪府	****	****
34	練馬区	東京都	****	****
35	松本市	長野県	****	****
36	桜井市	奈良県	****	****
37	岩国市	山口県	****	****
38	船橋市	千葉県	****	****
39	深谷市	埼玉県	****	****
40	木津川市	京都府	****	****
-	来訪者計		52	100.0%
41	仙台市若林区	宮城県	****	****
42	熊谷市	埼玉県	****	****
43	富谷市	宮城県	****	****
44	栗東市	滋賀県	****	****
45	大阪市港区	大阪府	****	****
46	東大阪市	大阪府	****	****
47	川辺郡猪名川町	兵庫県	****	****
48	大阪市城東区	大阪府	****	****
49	-	-	-	-
50	-	-	-	-
51	-	-	-	-
52	-	-	-	-
53	-	-	-	-
54	-	-	-	-
55	-	-	-	-
56	-	-	-	-
57	-	-	-	-
58	-	-	-	-
59	-	-	-	-
60	-	-	-	-
61	-	-	-	-
62	-	-	-	-
63	-	-	-	-
64	-	-	-	-
65	-	-	-	-
66	-	-	-	-
67	-	-	-	-
68	-	-	-	-
69	-	-	-	-
70	-	-	-	-
71	-	-	-	-
72	-	-	-	-
73	-	-	-	-
74	-	-	-	-
75	-	-	-	-
76	-	-	-	-
77	-	-	-	-
78	-	-	-	-
79	-	-	-	-
80	-	-	-	-

発地都道府県別 域内泊数分解分析



通年

期間別

発地都道府県別 域内泊数分解分析

順位	都道府県名	来訪者数		宿泊者数		宿泊率	宿泊人泊数			
							平均泊数	域内泊数	域内泊率	
1	東京都	387	376	97.3%	1,149	3.05	207	18.0%		
2	大阪府	247	***	***	708	***	135	19.1%		
3	神奈川県	244	***	***	822	***	128	15.5%		
4	愛知県	203	***	***	640	***	100	15.7%		
5	福岡県	168	***	***	414	***	69	16.7%		
6	千葉県	156	***	***	491	***	122	25.0%		
8	兵庫県	104	***	***	305	***	55	18.1%		
9	北海道	65	***	***	214	***	***	***		
10	茨城県	49	***	***	170	***	32	18.9%		
11	広島県	47	***	***	127	***	17	13.6%		
12	岡山県	49	***	***	166	***	23	14.0%		
13	群馬県	39	***	***	124	***	***	***		
15	京都府	37	***	***	109	***	12	11.3%		
16	岐阜県	36	***	***	119	***	25	20.9%		
17	宮城県	36	***	***	123	***	29	23.6%		
18	鹿児島県	34	***	***	105	***	***	***		
19	熊本県	32	***	***	80	***	***	***		
20	三重県	29	***	***	106	***	23	22.0%		
22	奈良県	27	***	***	75	***	***	***		
23	山口県	26	***	***	63	***	***	***		
24	滋賀県	23	***	***	71	***	11	15.2%		
25	長崎県	23	***	***	69	***	26	38.0%		
26	宮崎県	19	***	***	45	***	***	***		
27	長野県	18	***	***	54	***	12	23.1%		
29	鳥取県	17	***	***	61	***	***	***		
30	香川県	17	***	***	52	***	***	***		
31	和歌山県	15	***	***	49	***	***	***		
32	石川県	15	***	***	48	***	***	***		

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■ 県総合運動公園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	94	100.0%
1	神奈川県	22	23.3%
2	東京都	14	14.5%
3	福岡県	****	****
4	兵庫県	****	****
5	愛知県	****	****
6	大阪府	****	****
7	千葉県	****	****
8	滋賀県	****	****
9	山口県	****	****
10	埼玉県	****	****
11	静岡県	****	****
12	佐賀県	****	****
13	長崎県	****	****
14	宮崎県	****	****
15	岡山県	****	****
16	富山県	****	****
17	香川県	****	****
18	三重県	****	****
19	茨城県	****	****
20	宮城県	****	****
21	鹿児島県	****	****
22	熊本県	****	****
23	福井県	****	****
24	石川県	****	****
25	広島県	****	****
26	-	-	-
27	-	-	-
28	-	-	-
29	-	-	-
30	-	-	-

■ コザ運動公園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	104	100.0%
1	東京都	15	14.1%
2	広島県	14	13.0%
3	神奈川県	12	11.4%
4	愛知県	****	****
5	大阪府	****	****
6	茨城県	****	****
7	福岡県	****	****
8	山口県	****	****
9	千葉県	****	****
10	佐賀県	****	****
11	兵庫県	****	****
12	埼玉県	****	****
13	宮城県	****	****
14	鹿児島県	****	****
15	京都府	****	****
16	栃木県	****	****
17	石川県	****	****
18	長野県	****	****
19	三重県	****	****
20	愛媛県	****	****
21	香川県	****	****
22	静岡県	****	****
23	群馬県	****	****
24	長崎県	****	****
25	岡山県	****	****
26	滋賀県	****	****
27	北海道	****	****
28	富山県	****	****
29	-	-	-
30	-	-	-

■ 沖縄こどもの国

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	115	100.0%
1	神奈川県	18	15.9%
2	茨城県	10	8.9%
3	岡山県	****	****
4	大阪府	****	****
5	東京都	****	****
6	大分県	****	****
7	鳥取県	****	****
8	千葉県	****	****
9	埼玉県	****	****
10	北海道	****	****
11	愛知県	****	****
12	群馬県	****	****
13	福岡県	****	****
14	兵庫県	****	****
15	広島県	****	****
16	鹿児島県	****	****
17	熊本県	****	****
18	長野県	****	****
19	岐阜県	****	****
20	宮崎県	****	****
21	山形県	****	****
22	京都府	****	****
23	山口県	****	****
24	三重県	****	****
25	奈良県	****	****
26	高知県	****	****
27	滋賀県	****	****
28	栃木県	****	****
29	福島県	****	****
30	岩手県	****	****

■ 東南植物楽園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	191	100.0%
1	大阪府	21	11.1%
2	千葉県	16	8.2%
3	兵庫県	13	7.0%
4	東京都	13	6.7%
5	福岡県	13	6.6%
6	愛知県	11	5.9%
7	和歌山県	****	****
8	北海道	****	****
9	神奈川県	****	****
10	山口県	****	****
11	静岡県	****	****
12	石川県	****	****
13	茨城県	****	****
14	京都府	****	****
15	宮城県	****	****
16	広島県	****	****
17	奈良県	****	****
18	埼玉県	****	****
19	大分県	****	****
20	岡山県	****	****
21	長崎県	****	****
22	山形県	****	****
23	宮崎県	****	****
24	鹿児島県	****	****
25	鳥取県	****	****
26	熊本県	****	****
27	滋賀県	****	****
28	新潟県	****	****
29	青森県	****	****
30	秋田県	****	****

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■ 泡瀬漁港_バヤオ直売店

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	11	100.0%
1	北海道	****	****
2	大阪府	****	****
3	兵庫県	****	****
4	宮城県	****	****
5	愛知県	****	****
6	鹿児島県	****	****
7	滋賀県	****	****
8	-	-	-
9	-	-	-
10	-	-	-
11	-	-	-
12	-	-	-
13	-	-	-
14	-	-	-
15	-	-	-
16	-	-	-
17	-	-	-
18	-	-	-
19	-	-	-
20	-	-	-
21	-	-	-
22	-	-	-
23	-	-	-
24	-	-	-
25	-	-	-
26	-	-	-
27	-	-	-
28	-	-	-
29	-	-	-
30	-	-	-

■ プラザハウス

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	133	100.0%
1	神奈川県	19	14.6%
2	東京都	19	14.3%
3	群馬県	13	10.0%
4	大阪府	13	9.4%
5	愛知県	11	8.1%
6	兵庫県	****	****
7	岡山県	****	****
8	埼玉県	****	****
9	千葉県	****	****
10	北海道	****	****
11	福岡県	****	****
12	静岡県	****	****
13	岐阜県	****	****
14	和歌山県	****	****
15	広島県	****	****
16	長崎県	****	****
17	熊本県	****	****
18	石川県	****	****
19	香川県	****	****
20	新潟県	****	****
21	茨城県	****	****
22	鹿児島県	****	****
23	山口県	****	****
24	宮城県	****	****
25	福井県	****	****
26	京都府	****	****
27	-	-	-
28	-	-	-
29	-	-	-
30	-	-	-

■ ちゃんぶる〜市場

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	14	100.0%
1	愛知県	****	****
2	大阪府	****	****
3	福岡県	****	****
4	東京都	****	****
5	徳島県	****	****
6	千葉県	****	****
7	長崎県	****	****
8	-	-	-
9	-	-	-
10	-	-	-
11	-	-	-
12	-	-	-
13	-	-	-
14	-	-	-
15	-	-	-
16	-	-	-
17	-	-	-
18	-	-	-
19	-	-	-
20	-	-	-
21	-	-	-
22	-	-	-
23	-	-	-
24	-	-	-
25	-	-	-
26	-	-	-
27	-	-	-
28	-	-	-
29	-	-	-
30	-	-	-

■ コザ商店街周辺

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	164	100.0%
1	東京都	28	17.3%
2	大阪府	26	16.0%
3	福岡県	14	8.7%
4	千葉県	14	8.3%
5	岐阜県	12	7.3%
6	兵庫県	10	6.3%
7	愛知県	****	****
8	神奈川県	****	****
9	茨城県	****	****
10	宮城県	****	****
11	長野県	****	****
12	滋賀県	****	****
13	埼玉県	****	****
14	福井県	****	****
15	京都府	****	****
16	熊本県	****	****
17	鹿児島県	****	****
18	三重県	****	****
19	長崎県	****	****
20	新潟県	****	****
21	静岡県	****	****
22	奈良県	****	****
23	青森県	****	****
24	北海道	****	****
25	-	-	-
26	-	-	-
27	-	-	-
28	-	-	-
29	-	-	-
30	-	-	-

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■中の町周辺

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	253	100.0%
1	東京都	42	16.5%
2	神奈川県	33	12.9%
3	福岡県	28	10.9%
4	愛知県	24	9.5%
5	千葉県	19	7.4%
6	大阪府	12	4.8%
7	兵庫県	11	4.5%
8	岐阜県	10	4.1%
9	茨城県	****	****
10	北海道	****	****
11	三重県	****	****
12	埼玉県	****	****
13	長野県	****	****
14	宮城県	****	****
15	広島県	****	****
16	宮崎県	****	****
17	京都府	****	****
18	香川県	****	****
19	鹿児島県	****	****
20	熊本県	****	****
21	長崎県	****	****
22	奈良県	****	****
23	高知県	****	****
24	和歌山県	****	****
25	大分県	****	****
26	山梨県	****	****
27	静岡県	****	****
28	新潟県	****	****
29	滋賀県	****	****
30	秋田県	****	****

■グランメーラリゾート

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	181	100.0%
1	大阪府	32	17.6%
2	千葉県	26	14.2%
3	東京都	20	11.2%
4	神奈川県	14	7.5%
5	岡山県	12	6.6%
6	兵庫県	11	6.2%
7	愛知県	10	5.6%
8	福岡県	****	****
9	岐阜県	****	****
10	静岡県	****	****
11	埼玉県	****	****
12	佐賀県	****	****
13	広島県	****	****
14	福島県	****	****
15	茨城県	****	****
16	北海道	****	****
17	長崎県	****	****
18	京都府	****	****
19	大分県	****	****
20	長野県	****	****
21	宮城県	****	****
22	熊本県	****	****
23	山梨県	****	****
24	青森県	****	****
25	奈良県	****	****
26	三重県	****	****
27	栃木県	****	****
28	香川県	****	****
29	群馬県	****	****
30	山口県	****	****

2－3．スポーツキャンプ・合宿等のピーク期におけるデータ分析（ASE アナリティクス）

（１）調査目的

市内で大型スポーツキャンプやスポーツ合宿等が実施される期間において、市内外の人々がどのような動きをしているのかを確認することを目的に、携帯電話の GPS を活用した動態調査を実施した。

（２）調査概要

GPS を活用した動態調査として、株式会社フリークアウトが提供している ASE アナリティクスを利用した。ASE アナリティクスは、提携した大手スマートフォンアプリベンダーや位置情報データプラットフォーマーから位置情報を取得し、競合分析等を行うツールを提供するサービスである。

スマートフォン等に ASE アナリティクスと提携したアプリをインストールしたユーザーが予め指定した調査地点に入ると、来訪者としてカウントされる。ひとつの調査エリアをベースとして、8 エリアまで調査エリアを設定でき、調査エリア間の来訪者の直前・直後の立ち寄り状況を調べることができる。

【スポーツキャンプ・合宿等のピーク期におけるデータ分析（ASE アナリティクス）の概要】

調査対象	○沖縄市内外に設定した調査エリアの立ち寄り者 ※ASE アナリティクスと提携したアプリをインストールしたユーザー
調査方法	○提携した大手スマートフォンアプリベンダーや位置情報データプラットフォーマーから位置情報を取得し、競合分析等を行うツールである ASE アナリティクスを活用し分析を実施
調査期間 (データ取得期間)	令和元年 12 月 1 日～令和 2 年 2 月 28 日 ※沖縄市内における大型スポーツキャンプやスポーツ合宿の実施期間
対象データ数	145,102 人（延べ滞在者数）
分析項目	①延べ滞在者数：月別、曜日別、時間別 ②滞在者の基礎情報：性別・年齢・出身地 ③滞在者の行動：エリア間の立ち寄りの状況

(3) 調査エリア

本調査では、昨年度同様、プロ野球（広島東洋カープ）のキャンプ見学者を対象とした A グループ、スポーツ合宿の競技者や観戦者を対象とした B グループに分け分析を行った。

なお、一部の調査エリア（中の町周辺、パークアベニュー）については、範囲の見直しを行った。

■A グループ（プロ野球（広島東洋カープ）のキャンプ客を対象）

沖縄市にてキャンプを行う広島東洋カープの見学に訪れた同球団のファンの宿泊傾向、市内立ち寄り先を確認することを目的として調査エリアを設定した。なお、今年度の広島東洋カープ期間は、令和 2 年 2 月 1 日～2 月 26 日までである。

A グループについては、キャンプ利用施設であるコザ運動公園（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）を中心に分析を行った。

【A グループ調査エリア】

No.	エリア名	立ち寄り目的の想定
①	コザ運動公園（しんきんスタジアム・グリーンフィールド）	キャンプ利用施設
②	ホテルニューセンチュリー/サンライズホテル	市内での宿泊の有無を確認
③	ホテルコザ	//
④	中の町周辺	//
⑤	コザ・ミュージックタウン	ランチ・観光、夕食・飲み
⑥	パークアベニュー・ゲート通り周辺	夕食・飲み
⑦	プラザハウスショッピングセンター	ランチ
⑧	沖縄自動車道（沖縄南）出入口	市外の宿泊・観光、空港への移動

■B グループ（スポーツ合宿参加者を対象）

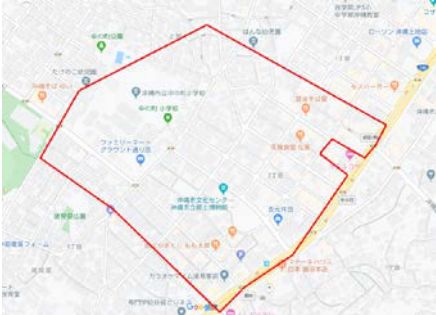
沖縄市にてスポーツ合宿に参加する競技者や観戦者の、合宿や観戦前後における市内外の立ち寄り傾向を確認することを目的として調査エリアを設定した。

B グループについては、合宿利用施設であるコザ運動公園（陸上競技場）、大会利用施設であるコザ運動公園（体育館）を中心に分析を行った。

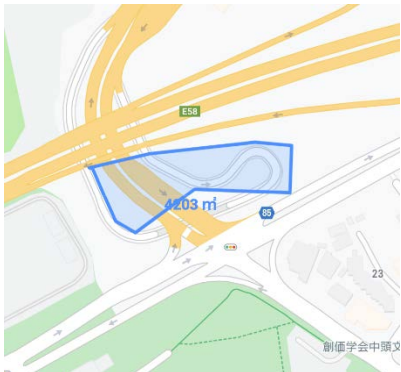
【B グループ調査エリア】

No.	エリア名	立ち寄り目的の想定
①	コザ運動公園（陸上競技場）	合宿利用施設
②	コザ運動公園（体育館）	大会利用施設
③	イオンモール沖縄ライカム	市外競合施設
④	美浜アメリカンビレッジ	市外競合施設
⑤	プラザハウスショッピングセンター	ランチ
⑥	パークアベニュー・ゲート通り周辺	観光、夕食・飲み
⑦	コザ・ミュージックタウン	ランチ・観光、夕食・飲み
⑧	沖縄自動車道（沖縄南）出入口	自宅等からの直行直帰

【A グループ（プロ野球（広島東洋カープ）のキャンプ客を対象）調査エリア位置図】

コザ運動公園（しんきんスタジアム・グリーンフィールド）	ホテルニューセンチュリー/サンライズホテル
	
ホテルコザ	中の町周辺
	
コザ・ミュージックタウン	パークアベニュー・ゲート通り周辺
	
プラザハウスショッピングセンター	沖縄自動車道（沖縄南）出入口
	

【B グループ（スポーツ合宿参加者を対象）調査エリア位置図】

コザ運動公園（陸上競技場）	コザ運動公園（体育館）
	
イオンモール沖縄ライカム	美浜アメリカンビレッジ
	
プラザハウスショッピングセンター	パークアベニュー・ゲート通り周辺
	
コザ・ミュージックタウン	沖縄自動車道（沖縄南）出入口
	

(4) 調査結果概要

■A グループ調査結果：プロ野球（広島東洋カープ）のキャンプ客を対象

（キャンプ利用施設であるコザしんきんスタジアム・グリーンフィールドを中心に分析）

- ・キャンプ会場であるコザしんきんスタジアム・グリーンフィールドにおける延べ滞在者数をみると、12月や1月の滞在者数は300人前後なのに対して、プロ野球のキャンプが行われる2月の滞在者数は1,132人とキャンプ前のおよそ4倍の数値となっており、昨年度同様、キャンプの集客力の大きさがうかがえる。

⇒なお、最も滞在者の多い2月23日はキャンプのオープン戦に該当する

- ・Aグループの各エリアの延べ滞在者数をみると、会場であるコザしんきんスタジアム・グリーンフィールド以外の各エリアへの流入はキャンプ前後においても、日々の増減はあるもののほぼ一定である。また、パークアベニュー通り周辺、中の町周辺の滞在の割合が多い。
- ・コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドに訪れ、直前・直後で、その他調査エリアに滞在しなかったユーザーの割合は、キャンプ期間前の令和2年12月・1月は34%、キャンプ期間中の令和2年2月では63%であった。

⇒キャンプ期間中は、キャンプ会場のみへの訪問が増加する傾向

- ・12月から2月にコザしんきんスタジアム・グリーンフィールドへの来訪者数（延べ滞在者数）の居住地（市町村）をみると、県内は約9割、県外客は約1割である。また、県外客（120人）のうち、約半数（52人）が広島県出身であった。

■B グループ調査結果：スポーツ合宿参加者を対象（陸上競技場、体育館を中心に分析）

- ・調査期間中に、調査地点である陸上競技場を訪れた延べ滞在者数は665人、体育館を訪れたのべ滞在者数は1,507人である。体育館への滞在者の方が陸上競技場より約2.2倍程度、多い。
- ・曜日別にみると、体育館の滞在は土日集中しており、バスケットボール等の公式戦観戦者によるものだと考えられる。
- ・陸上競技場及び体育館の滞在者（12月～2月）の居住地をみると、県内客は97%であり、県外客は3%であった。
- ・また、体育館の滞在者は、陸上競技場に比べ、市外居住者の割合が29ポイント高く、特に那覇市からの滞在者が多く確認できた。
- ・陸上競技場及び体育館の滞在者の直前・直後の訪問先は、イオンモール沖縄ライカム、パークアベニュー、美浜アメリカンビレッジが多い。

(5) 調査結果

(1) A グループの動向

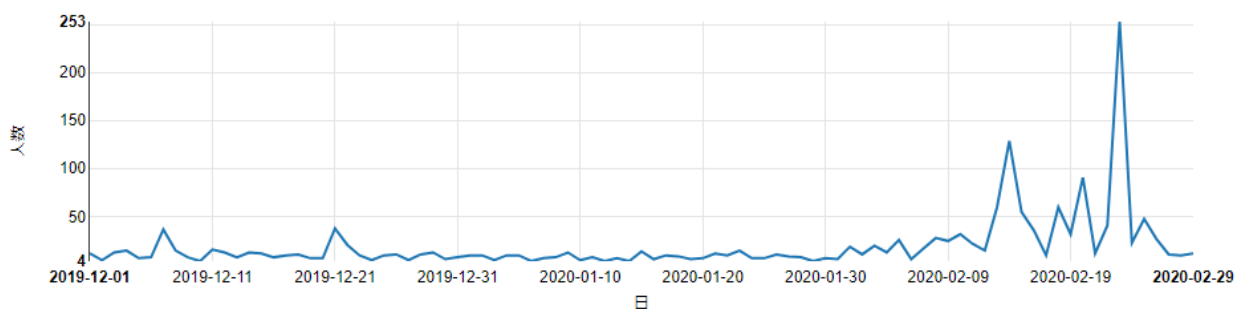
①「延べ滞在者数」の推移（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）

調査期間中に、調査地点であるコザ運動公園（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）を訪れた延べ滞在者数は、1,752 人である。

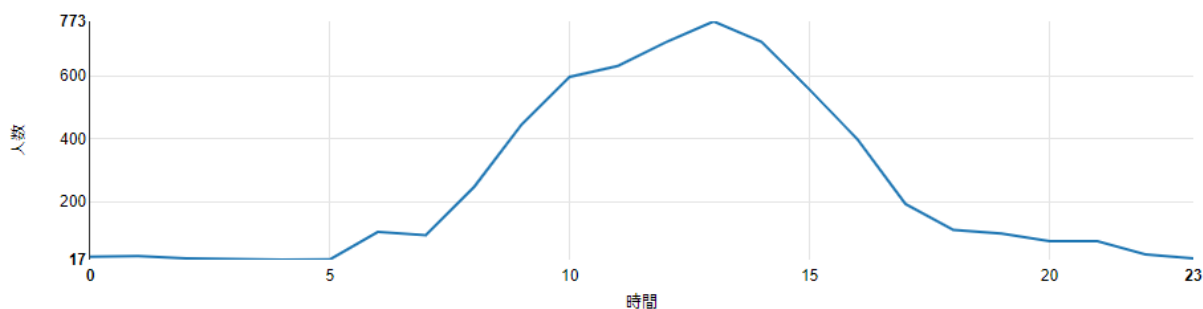
コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドにおける延べ滞在者数の推移をみると、12 月や 1 月の滞在者数が 300 人前後なのに対して、プロ野球のキャンプが行われる 2 月の滞在者数は 1,132 人とおよそ 4 倍の数値となっており、昨年度同様、キャンプの集客力の大きさがうかがえる。

⇒なお、最も滞在者の多い 2 月 23 日はキャンプのオープン戦に該当する

時間帯別でみると、8 時頃から滞在者が増え始め、14 時をピークとして 16 時頃までの訪問が中心となっている。



【調査期間中における延べ滞在者数の推移（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）】



【延べ滞在者数の時間帯別推移（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）】

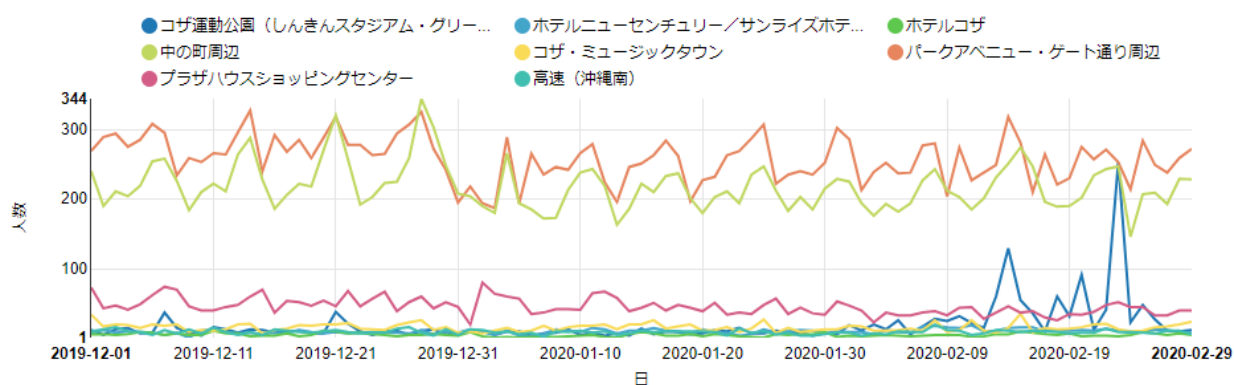
②「延べ滞在者数」の推移（Aグループ各エリア）

Aグループの各エリアの「延べ滞在者数」をみると、会場であるコザしんきんスタジアム・グリーンフィールド以外の各地域への流入はキャンプ前後においても、日々の増減はあるもののほぼ一定であることがわかる。

また、パークアベニュー通り周辺、中の町周辺の滞在が多い。

【Aグループ各エリアにおける月別延べ滞在者数の月別推移】

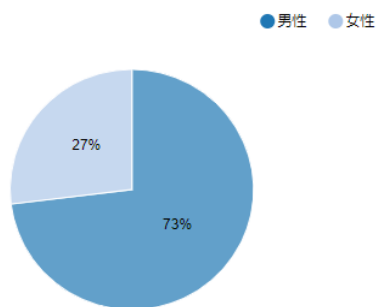
対象店舗	12月	1月	2月	合計
コザ運動公園(しんきんスタジアム・グリーンフィールド)	367	253	1,132	1,752
ホテルニューセンチュリー／サンライズホテル	259	296	337	892
ホテルコザ	188	127	142	457
中の町周辺	7,293	6,426	5,923	19,642
コザ・ミュージックタウン	524	452	431	1,407
パークアベニュー・ゲート通り周辺	8,583	7,609	7,038	23,230
プラザハウスショッピングセンター	1,627	1,437	1,057	4,121
高速(沖縄南)	300	260	262	822
合計	19,141	16,860	16,322	52,323



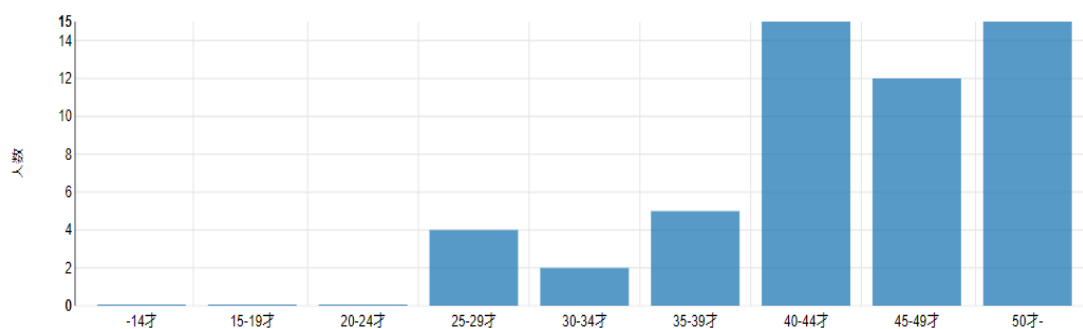
【Aグループ各エリアにおける延べ滞在者数の推移】

③性別・年齢（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）

コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドの滞在者の男女比率は、男性のほうが約 7 割と多い。年齢は 20 歳～50 歳以上まで分布しているが、40 歳以上が中心となっている。



【延べ滞在者の性別（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）】



【延べ滞在者の年齢層（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）】

④居住地（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド来訪者）

12月から2月にコザしんきんスタジアム・グリーンフィールドへの来訪者数（延べ滞在者数）の居住地（市町村）をみると、約9割（1,324人）が県内であり、約1割（120人）が県外客である。また、県外客のうち、約半数（52人）が広島県出身であった。

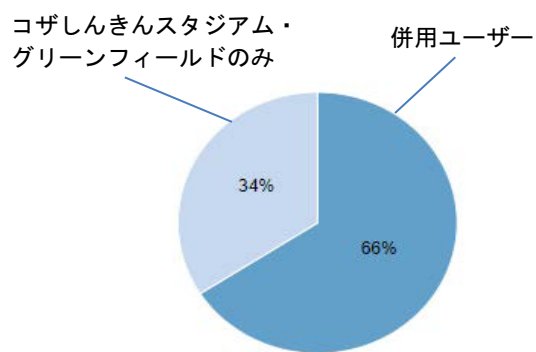
【コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドに訪れた方の出身地（市町村）】

順位	市町村	のべ滞在者数□人	ユニーク滞在者数□人	平均滞在時間□時間
1	沖縄県 沖縄市	567	520	2.13
2	沖縄県 那覇市	232	207	2.45
3	沖縄県 うるま市	119	113	2.38
4	沖縄県 宜野湾市	103	95	1.91
5	沖縄県 中頭郡北谷町	75	75	2.31
6	沖縄県 浦添市	39	36	2.66
7	沖縄県 中頭郡北中城村	24	22	1.99
8	沖縄県 糸満市	24	22	1.87
9	沖縄県 名護市	21	19	2.23
10	広島県 広島市安佐南区	21	18	2.04
11	沖縄県 国頭郡恩納村	17	17	2.26
12	沖縄県 中頭郡読谷村	16	15	2.69
13	広島県 広島市西区	16	10	2.41
14	広島県 広島市中区	15	13	2.66
15	沖縄県 豊見城市	14	13	2.33
16	沖縄県 中頭郡西原町	11	11	2.14
17	沖縄県 中頭郡嘉手納町	10	9	1.76
18	東京都 品川区	10	9	2.54
19	東京都 大田区	10	10	1.98
20	沖縄県 島尻郡南風原町	10	9	4.95
21	東京都 台東区	8	7	2.58
22	沖縄県 南城市	7	7	2.78
23	東京都 世田谷区	7	7	2.16
24	沖縄県 中頭郡中城村	6	6	1.55
25	沖縄県 国頭郡金武町	6	6	5.83
26	沖縄県 石垣市	6	6	2.62
27	東京都 江戸川区	5	5	2.57
28	沖縄県 島尻郡八重瀬町	5	5	1.85
29	福岡県 福岡市中央区	5	4	3.37
30	沖縄県 宮古島市	5	4	2.56
31	沖縄県 島尻郡与那原町	4	3	2.68
32	福岡県 福岡市早良区	4	3	2.68
33	東京都 渋谷区	3	3	2.28
34	東京都 調布市	3	2	0.00
35	福岡県 福岡市博多区	2	2	2.62
36	沖縄県 国頭郡宜野座村	2	2	0.00
37	東京都 港区	2	2	2.65
38	千葉県 船橋市	2	2	2.62
39	東京都 文京区	2	2	2.10
40	神奈川県 横須賀市	2	1	4.28
41	東京都 新宿区	2	1	2.68
42	沖縄県 国頭郡国頭村	1	1	2.68
43	長崎県 佐世保市	1	1	0.00

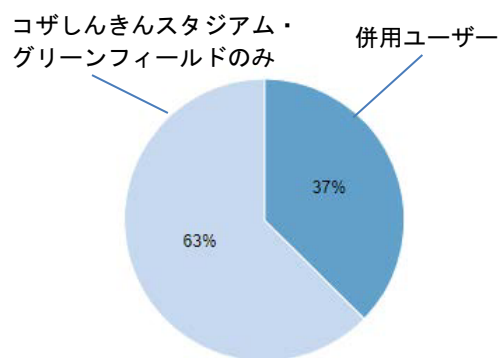
※黄色の網掛けは広島県、水色の網掛けは沖縄県内

⑤キャンプ期間前後のコザしんきんスタジアム・グリーンフィールドのみの滞在者の割合

コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドに訪れ、直前・直後で、その他調査エリアに滞在しなかったユーザーの割合は、キャンプ期間前の令和2年12月・1月は34%、キャンプ期間中の令和2年2月では、63%であった。キャンプ期間中にキャンプ会場であるコザしんきんスタジアム・グリーンフィールドへの来訪者は、その他エリアへ周遊しない場合が多いことが想定される。



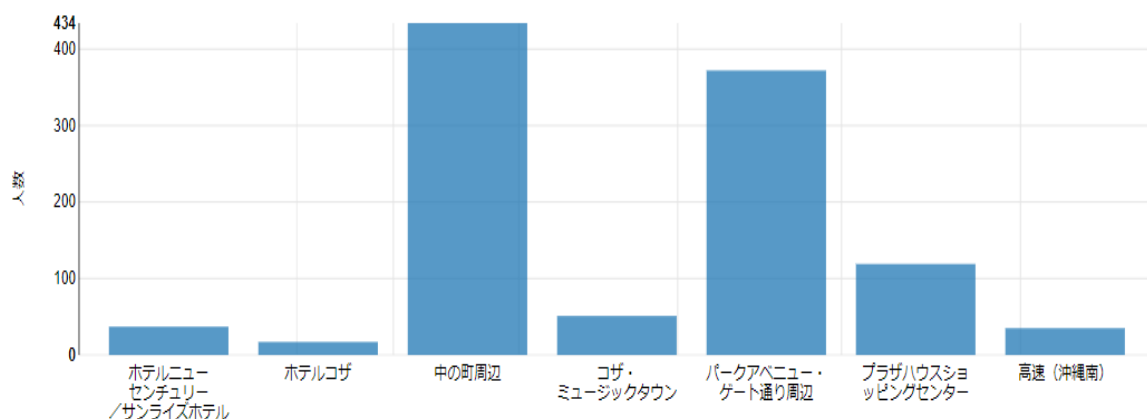
【12月・1月キャンプ期間前の併用ユーザーの割合】



【2月キャンプ期間中の併用ユーザーの割合】

⑥併用ユーザーの訪問先（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）

コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドを訪れ、かつその他調査エリアを訪れた滞在者の傾向は下図のとおりである。訪問先のうち多かった箇所は中の町周辺、パークアベニューであった。



【コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドを訪れ、その他調査エリアを訪れたユーザー（併用ユーザー）のエリア別のユーザー数】

⑦キャンプ期間前（12月・1月）のコザしんきんスタジアム・グリーンフィールド滞在者の
 その他エリアへの直前・直後の立ち寄り状況

キャンプ期間前（令和2年1月）にコザしんきんスタジアム・グリーンフィールド滞在者のうち、その他エリアへ直前・直後に立ち寄った状況を見ると、中の町、パークアベニューへの割合が高い。

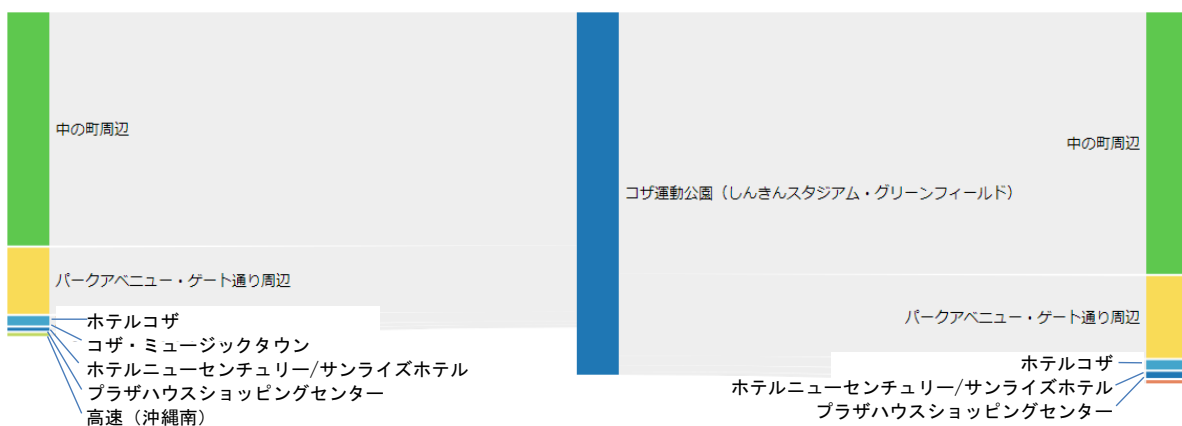
【キャンプ期間前（12月・1月）のコザしんきんスタジアム・グリーンフィールドに訪れ、
 直前・直後にその他調査エリアに立ち寄った滞在者の立ち寄り先別の人数】

no	エリア名	直前(N=227)	直後(N=263)
1	中の町周辺	71.8%	74.5%
2	パークアベニュー・ゲート通り周辺	22.5%	21.7%
3	ホテルコザ	2.2%	1.5%
4	コザ・ミュージックタウン	1.3%	0.0%
5	ホテルニューセンチュリー／サンライズホテル	0.9%	1.5%
6	プラザハウスショッピングセンター	0.9%	0.8%
7	高速（沖縄南）	0.4%	0.0%

直前の立ち寄り

対象施設

直後の立ち寄り



【キャンプ期間前（12月・1月）のコザしんきんスタジアム・グリーンフィールドに訪れ、
 直前・直後にその他調査エリアに立ち寄った滞在者の立ち寄り先の割合】

⑧キャンプ期間中（２月）のコザしんきんスタジアム・グリーンフィールド滞在者の
 その他エリアへの直前・直後の立ち寄り状況

キャンプ期間中（令和２年２月）においても、コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド滞在者のうち、その他エリアへ直前・直後に立ち寄った状況を見ると、中の町、パークアベニューへの割合が高い。

また、キャンプ期間中は中の町、パークアベニュー以外のエリアへの立ち寄りの割合がやや多くなる。

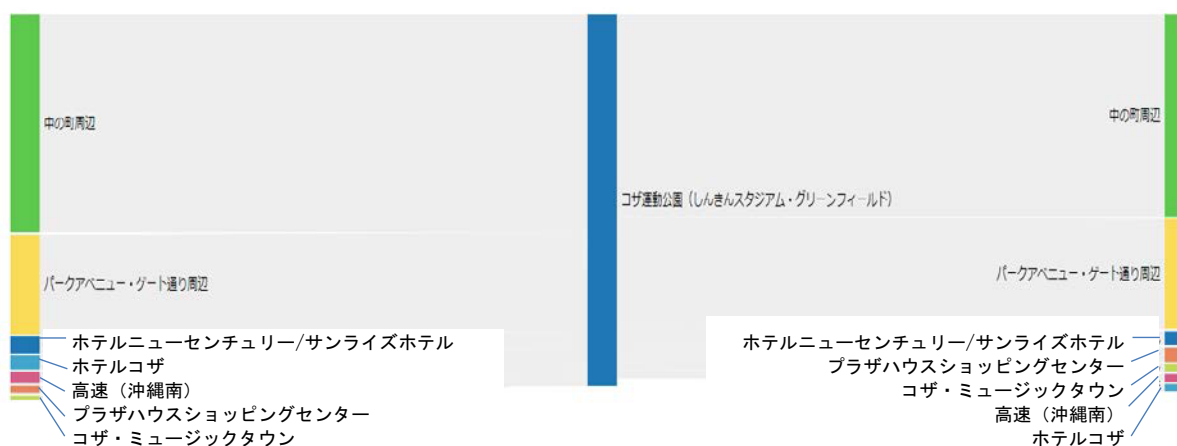
【キャンプ期間前（１月）のコザしんきんスタジアム・グリーンフィールドに訪れ、
 直前・直後にその他調査エリアに立ち寄った滞在者の立ち寄り先別の人数】

no	エリア名	直前(N=290)	直後(N=284)
1	中の町周辺	58.6%	55.6%
2	パークアベニュー・ゲート通り周辺	26.9%	30.3%
3	ホテルニューセンチュリー／サンライズホテル	4.5%	3.9%
4	ホテルコザ	3.8%	2.1%
5	高速（沖縄南）	3.1%	2.1%
6	プラザハウスショッピングセンター	2.1%	3.9%
7	コザ・ミュージックタウン	1.0%	2.1%

直前の立ち寄り

対象施設

直後の立ち寄り



【キャンプ期間前（１月）のコザしんきんスタジアム・グリーンフィールドに訪れ、
 直前・直後にその他調査エリアに立ち寄った滞在者の立ち寄り先の割合】

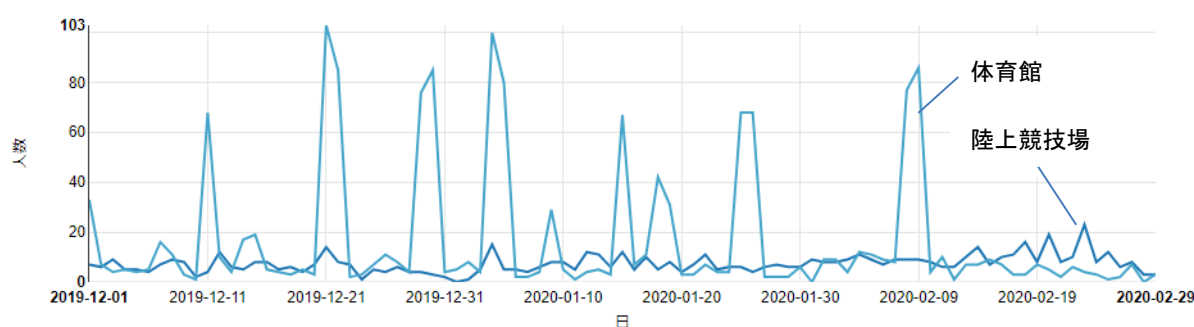
(2) B グループの動向

①「延べ滞在者数」の推移（陸上競技場及び体育館）

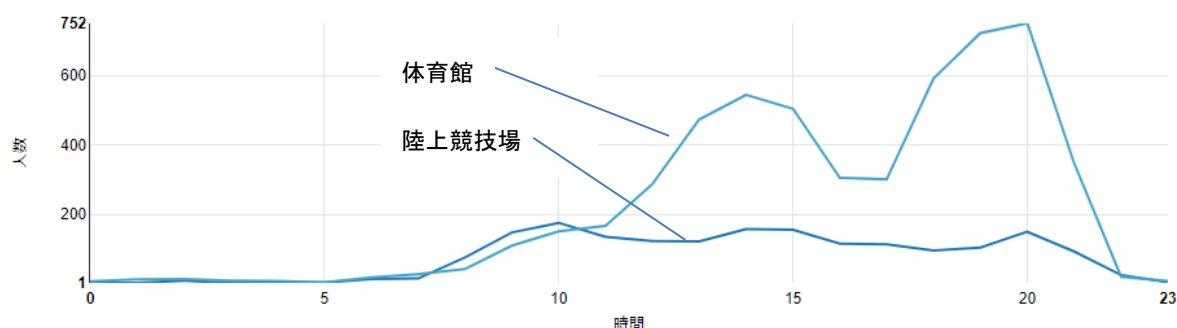
調査期間中に、調査地点であるコザ運動公園（陸上競技場）を訪れたのべ滞在者数は 665 人、コザ運動公園（体育館）を訪れたのべ滞在者数は 1,507 人である。

時間帯別では、陸上競技場が午前中（8 時頃～12 時頃）を中心に 20 時頃まで平均的に滞在があるのに対して、陸上競技場が午前中（8 時頃～12 時頃）を中心に 20 時頃まで平均的に滞在があるのに対して、体育館は 11 時頃～15 時頃の山と、17 時頃～21 時頃の山が見られる。

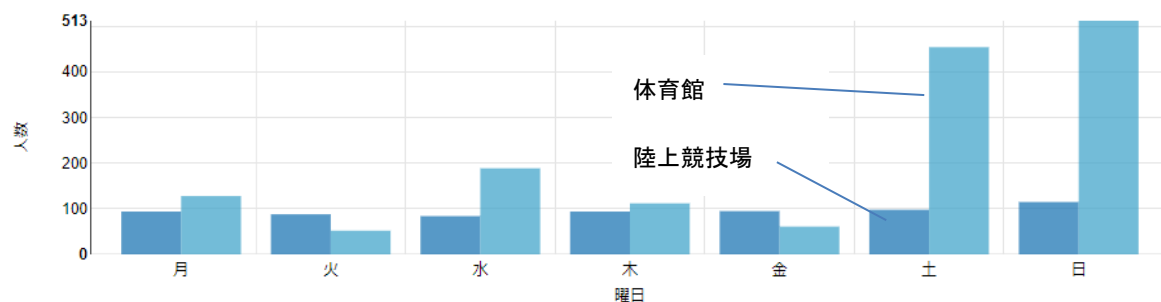
曜日別にみると、体育館の滞在は土日集中している。これは、バスケットボール等の公式戦観戦者によるものと考えられる。



【調査期間中における延べ滞在者数の推移（陸上競技場、体育館）】



【延べ滞在者数の時間帯別推移（陸上競技場、体育館）】



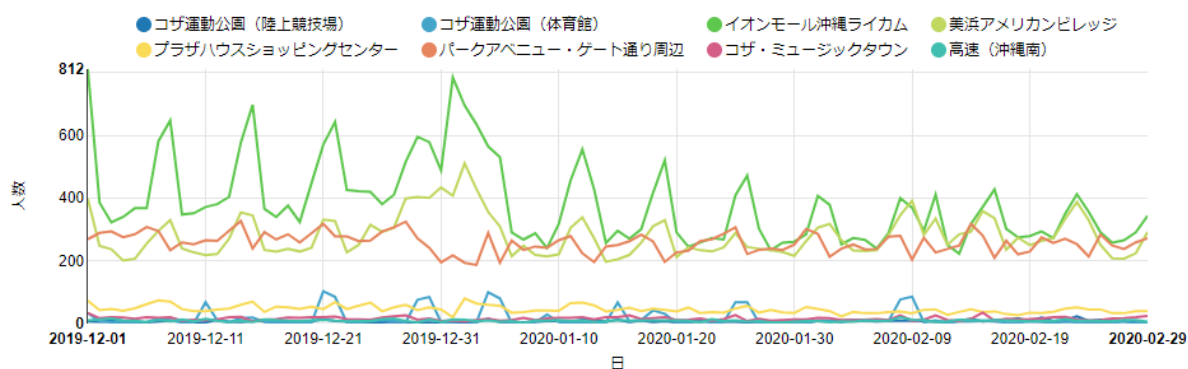
【延べ滞在者数の曜日別推移（陸上競技場、体育館）】

②「のべ滞在者数」の推移（Bグループ各エリア）

Bグループ各エリアの「延べ滞在者数」をみると、イオンモールライカム、パークアベニュー美浜アメリカンビレッジへの来訪がその他エリアと比べて多い。

【Bグループ各エリアにおける延べ滞在者数の月別推移】

対象店舗	12月	1月	2月	合計
コザ運動公園(陸上競技場)	185	208	272	665
コザ運動公園(体育館)	615	579	313	1,507
イオンモール沖縄ライカム	14,268	11,681	8,824	34,773
美浜アメリカンビレッジ	8,913	8,442	7,989	25,344
プラザハウスショッピングセンター	1,627	1,437	1,057	4,121
パークアベニュー・ゲート通り周辺	8,583	7,609	7,038	23,230
コザ・ミュージックタウン	524	452	431	1,407
高速(沖縄南)	300	260	262	822
合計	35,015	30,668	26,186	91,869

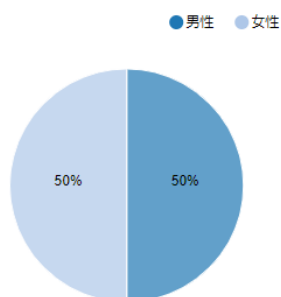


【Bグループ各エリアにおける延べ滞在者数の推移】

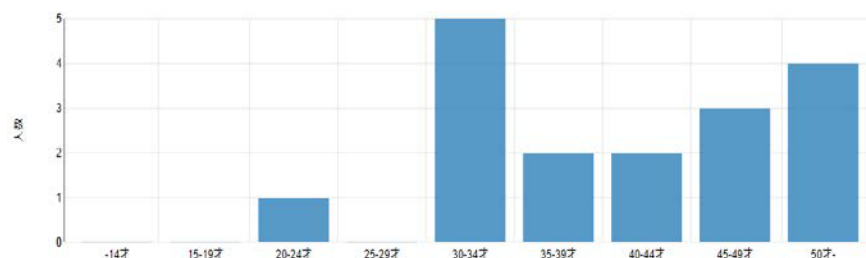
③性別・年齢（陸上競技場及び体育館）

◆陸上競技場

陸上競技場における滞在者の男女比率は、およそ半々である。30～34 歳が最も多い。



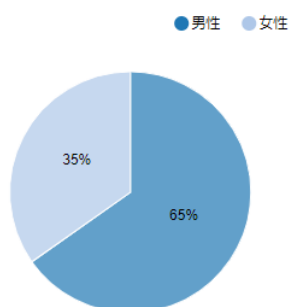
【延べ滞在者数の性別
（陸上競技場）】



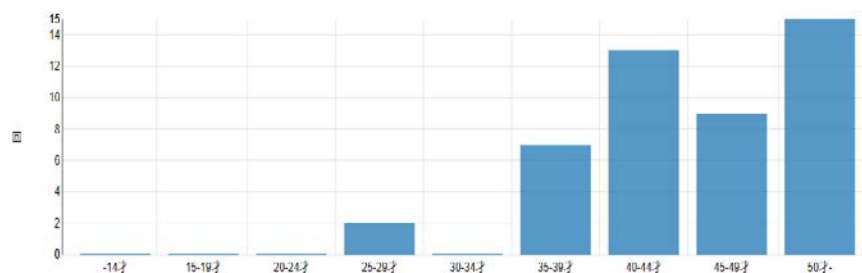
【延べ滞在者数の年齢（陸上競技場）】

◆体育館

体育館における滞在者の男女比率は、やや男性のほうが多くなっている。年齢は 35 歳から 50 歳上に分布している。



【延べ滞在者数の性別
（体育館）】

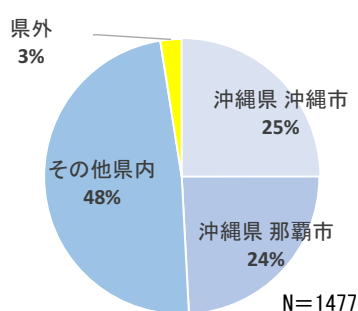


【延べ滞在者数の年齢（体育館）】

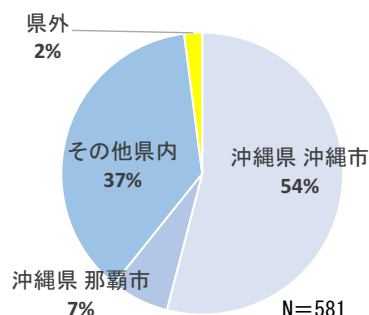
④居住地（体育館及び陸上競技場）

体育館及び陸上競技場の滞在者（12月～2月）の居住地を以下に示す。体育館及び陸上競技場のいずれも滞在者の居住地のうち、県外客の割合は3%であった。（県内客97%）

また、体育館は、陸上競技場に比べ、市外居住者の割合が29ポイント高く、特に那覇市からの滞在者が多く確認できた。



【体育館滞在者の居住地の割合】



【陸上競技場滞在者の居住地の割合】

【体育館あるいは陸上競技場滞在者の出身地（市町村）】

順位	市町村	体育館			陸上競技場		
		のべ滞在者数 (人)	ユニーク滞在者数 (人)	平均滞在時間 (時間)	のべ滞在者数 (人)	ユニーク滞在者数 (人)	平均滞在時間 (時間)
1	沖縄県 沖縄市	369	350	3.59	314	293	1.46
2	沖縄県 那覇市	357	315	3.02	39	39	0.85
3	沖縄県 うるま市	119	108	3.68	38	33	1.65
4	沖縄県 浦添市	104	100	3.39	10	10	0.00
5	沖縄県 宜野湾市	97	92	3.06	37	34	1.59
6	沖縄県 中頭郡北谷町	87	80	3.10	41	40	1.13
7	沖縄県 中頭郡読谷村	40	39	3.11	10	10	0.00
8	沖縄県 中頭郡北中城村	32	27	3.18	3	3	0.00
9	沖縄県 豊見城市	28	26	3.15	11	9	0.85
10	沖縄県 島尻郡南風原町	28	27	3.14	5	5	0.00
11	沖縄県 糸満市	27	27	3.20	3	3	0.00
12	沖縄県 中頭郡中城村	24	21	4.46	8	8	0.00
13	沖縄県 南城市	20	20	3.23	4	4	0.00
14	沖縄県 名護市	19	17	3.24	17	17	3.95
15	沖縄県 中頭郡西原町	17	17	2.95	0	0	0.00
16	沖縄県 島尻郡八重瀬町	11	11	2.20	6	5	0.00
17	沖縄県 宮古島市	10	9	2.62	0	0	0.00
18	沖縄県 中頭郡嘉手納町	9	7	3.28	7	6	0.00
19	沖縄県 島尻郡与那原町	9	9	2.64	6	6	1.65
20	沖縄県 国頭郡宜野座村	8	8	2.83	5	5	0.00
21	沖縄県 国頭郡金武町	8	8	2.31	4	4	0.53
22	東京都 品川区	8	8	2.08	1	1	0.00
23	沖縄県 国頭郡恩納村	8	7	6.93	0	0	0.00
24	兵庫県 西宮市	5	5	3.12	0	0	0.00
25	沖縄県 国頭郡本部町	4	4	2.63	1	1	0.00
26	東京都 世田谷区	4	3	0.66	1	1	0.00
27	東京都 港区	3	3	2.38	2	2	0.00
28	沖縄県 石垣市	3	3	2.50	0	0	0.00
29	千葉県 浦安市	2	2	2.15	3	2	0.00
30	東京都 新宿区	2	2	0.00	0	0	0.00
31	千葉県 船橋市	2	2	1.98	0	0	0.00
32	福岡県 福岡市中央区	2	2	3.21	0	0	0.00
33	東京都 板橋区	2	2	0.00	0	0	0.00
34	東京都 台東区	2	2	0.00	0	0	0.00
35	大阪府 大阪市北区	1	1	1.74	2	2	0.00
36	東京都 中央区	1	1	3.64	1	1	0.00
37	神奈川県 横浜市港北区	1	1	3.13	1	1	0.10
38	沖縄県 国頭郡今帰仁村	1	1	3.21	0	0	0.00
39	沖縄県 国頭郡国頭村	1	1	3.64	0	0	0.00
40	東京都 江東区	1	1	3.13	0	0	0.00
41	鹿児島県 鹿児島市	1	1	1.98	0	0	0.00

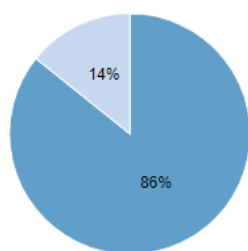
※水色の網掛けは沖縄県内

⑤併用ユーザーの割合及び訪問地（陸上競技場及び体育館）

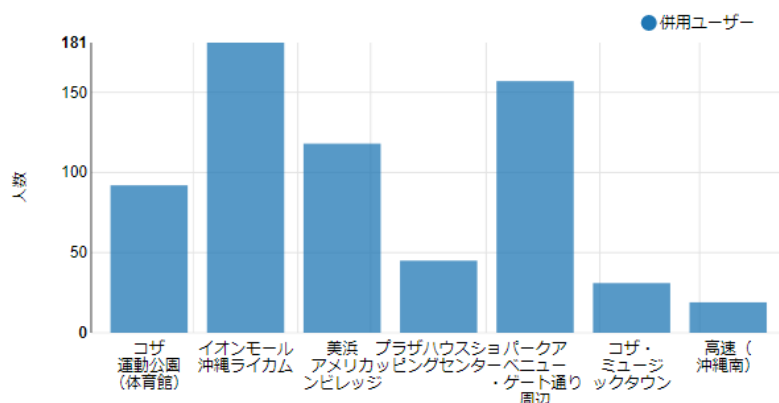
◆陸上競技場

陸上競技場の滞在者のうち陸上競技場以外の調査エリアを訪れた滞在者（併用ユーザー）の割合は、80%である。訪問したその他エリアは、イオンモール沖縄ライカムが最も多く、次いでパークアベニュー、美浜アメリカンビレッジが多い。

●併用ユーザー
●コザ運動公園（陸上競技場）のみ利用



【併用ユーザーの割合
（陸上競技場）】

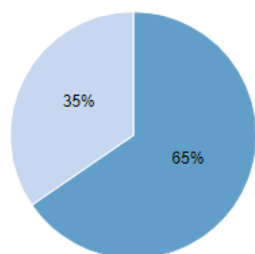


【陸上競技場に訪れその他調査エリアに訪れたユーザー
（併用ユーザー）のエリア別のユーザー数】

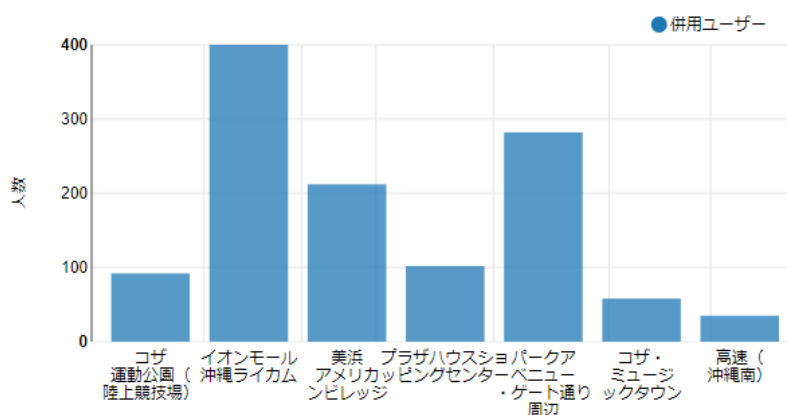
◆体育館

体育館の滞在者のうち体育館以外の調査エリアを訪れた滞在者（併用ユーザー）の割合は、65%である。併用ユーザーの割合は、陸上競技場より低い傾向にある。訪問したその他エリアは、イオンモール沖縄ライカムが最も多く、次いでパークアベニュー、美浜アメリカンビレッジが多い。

●併用ユーザー
●コザ運動公園（体育館）のみ利用



【併用ユーザーの割合
（体育館）】



【体育館に訪れその他調査エリアに訪れたユーザー
（併用ユーザー）のエリア別のユーザー数】

⑥陸上競技場滞在者のその他エリアへの直前・直後の立ち寄り状況

陸上競技場滞在者は、直前、直後ともにパークアベニュー、体育館への立ち寄りが多い。次いで、市外施設の美浜アメリカンビレッジ、イオンモール沖縄ライカムへの立ち寄りが多い。

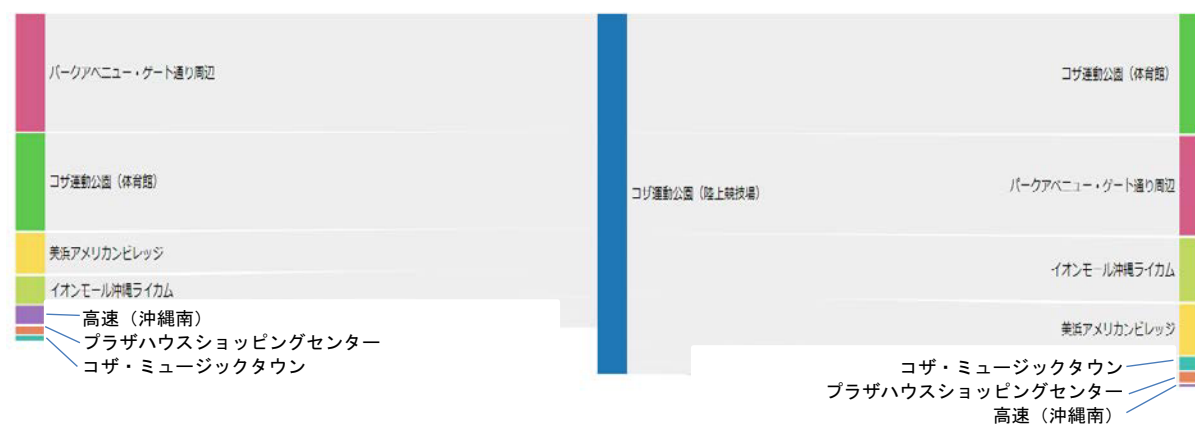
【陸上競技場に訪れ、直前・直後にその他調査エリアに立ち寄った滞在者の立ち寄り先別人数】

no	エリア名	直前 (N=120)	直後 (N=141)
1	パークアベニュー・ゲート通り周辺	38.3%	27.7%
2	コザ運動公園(体育館)	30.8%	33.3%
3	美浜アメリカンビレッジ	12.5%	14.2%
4	イオンモール沖縄ライカム	9.2%	17.7%
5	高速(沖縄南)	5.0%	0.7%
6	プラザハウスショッピングセンター	2.5%	2.8%
7	コザ・ミュージックタウン	1.7%	3.5%

直前の立ち寄り

対象施設

直後の立ち寄り



【陸上競技場に訪れ、直前・直後にその他調査エリアに立ち寄った滞在者の立ち寄り先別の割合】

⑦体育館滞在者の直前・直後の立ち寄り状況

直前・直後ともにイオンモール沖縄ライカム、パークアベニューへの立ち寄りが多い。次いで、陸上競技場、美浜アメリカンビレッジへの立ち寄りが多い。

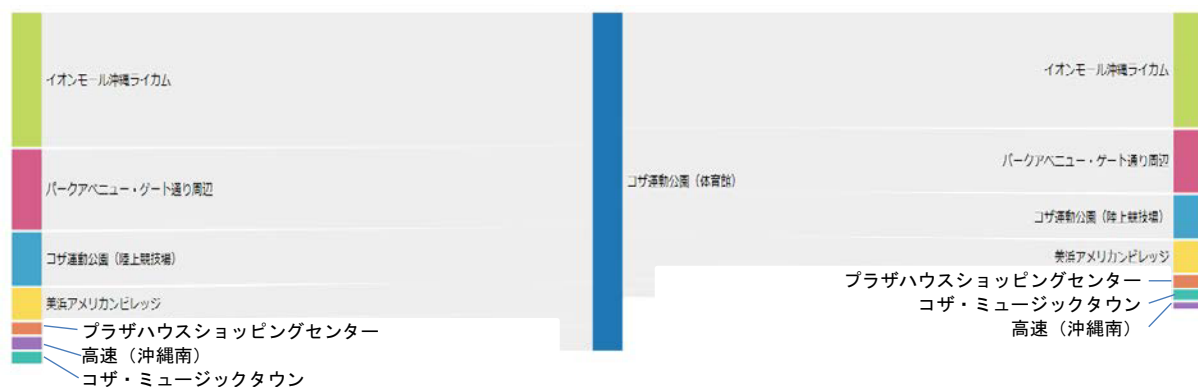
【体育館に訪れ、直前・直後にその他調査エリアに立ち寄った滞在者の立ち寄り先別人数】

no	エリア名	直前 (N=293)	直後 (N=245)
1	高速(沖縄南)	3.4%	2.4%
2	プラザハウスショッピングセンター	3.8%	4.5%
3	美浜アメリカンビレッジ	9.6%	11.4%
4	イオンモール沖縄ライカム	39.9%	40.4%
5	コザ・ミュージックタウン	3.4%	3.7%
6	パークアベニュー・ゲート通り周辺	23.9%	22.4%
7	コザ運動公園(陸上競技場)	16.0%	15.1%

直前の立ち寄り

対象施設

直後の立ち寄り



【体育館に訪れ、直前・直後にその他調査エリアに立ち寄った滞在者の立ち寄り先別の割合】

第3章 継続的なデータ取得に向けた仕組みの構築

3-1. 旅行サイトの口コミ分析（トリップアドバイザー）

（1）調査目的

旅行情報・投稿 WEB サイトのトリップアドバイザーにおいて「沖縄市内の観光スポットランキング」に掲載されている観光施設（19 施設）及び主要な飲食施設（1 施設）の計 20 施設に対する口コミを対象に定量的な視点を用いて分析を行った。

なお、昨年度、【平成 25 年～平成 30 年 5 月】を対象期間として、577 件の口コミを分析している。本年度は、【平成 30 年 6 月～令和元年 10 月】を対象期間として 201 件の口コミを分析し、前年度調査結果との比較を行った。

調査対象	○トリップアドバイザーに投稿されている沖縄市内の主要な観光施設、飲食施設に対する評価・口コミ・投稿者の属性 等 ⇒ 平成 30 年 6 月～令和元年 10 月に投稿された 201 件の口コミを対象
対象施設	①東南植物楽園(69) ②沖縄こどもの国(35) ③ちゃんぷる～市場(4) ④泡瀬漁港食堂/泡瀬漁港パヤオ直売所(14) ⑤プラザハウスショッピングセンター(11) ⑥コザゲート通り(10) ⑦コザ銀天街(5) ⑧沖縄市観光物産振興協会(5) ⑨泡瀬ビジュアル/泡瀬神社(6) ⑩沖縄市役所展望台(2) ⑪沖縄市戦後文化資料展示室 ヒストリート(8) ⑫比謝川(5) ⑬知花城跡(3) ⑭中部農連市場(3) ⑮沖縄市音楽資料館おんがく村(1) ⑯コザしんきんスタジアム(4) ⑰サンシティ(4) ⑱一番街商店街(5) ⑲アーケイド(4) ⑳沖縄市立郷土博物館(3) ※（ ）は投稿数
分析項目	①投稿者の属性（性別・世代・居住地・言語） ②投稿者の旅行者タイプ ③観光地ごとの評価（点数及びコメントの傾向） ④キーワード分析（出現頻度の高いキーワード、関連性を整理）

(2) 調査結果概要

本調査の結果概要を以下に述べる。

1) 属性・評価について

- ◆ 口コミの投稿数は、昨年度同様、「東南植物楽園」(35%)、「沖縄こどもの国」(17%)で沖縄市全体の投稿の約5割を占めていた。
- ◆ 沖縄市全体の投稿の言語をみると、約7割が日本人であり、次いで英語の17%、中国語の9%であった。なお、海外客のコメントの割合が最も高かったのは、「パヤオ直売店」で14件中12件が海外客のコメントであった。
- ◆ 旅行者のタイプをみると、「ファミリー」が昨年度同様に最も割合が多いが、「カップル」の割合が昨年度より約10ポイント多くなっている。
- ◆ 評価をみると、昨年度より、「5」(最も良い)の割合が10ポイントほど高くなっている。特に「東南植物楽園」の「5」の評価が約4割から約6割と伸びている。
- ◆ 国内・海外別に評価をみると、昨年度同様に海外は国内に比べ高い評価であった。また、沖縄こどもの国のみ、昨年度同様に国内客の評価が高かった。
- ◆ 男女別に評価をみると、今年度は昨年度と比べて、全体的に女性の評価が高かった。

2) コメントについて

① 東南植物楽園

- ◆ 「東南植物楽園」では、「ガイドをお願いして正解」など、ガイド関連の高評価のコメントが昨年度より多く散見された。特に「ガイドのダニエルさん」を高評価するコメントは国内外ともに多く、14件確認できた。その他も、昨年度までの投稿とは異なりガイドの個人名や各個人の特技等について、高評価するコメントが散見された。
- ◆ その他、「東南植物楽園」では、国内外ともに「イルミネーション」を評価するコメントが見受けられた。

② 沖縄こどもの国

- ◆ 海外客のほうが、国内客より評価の低かった「沖縄こどもの国」では、海外客のうち評価の低いコメントからは「ケージの狭さ」や、「飼育環境の衛生問題」等が散見された。(20件中8件であり、ほぼ英語のコメント)
- ◆ 一方、国内客からは飼育環境に対するコメントはなく、「近い距離でみることができる」や「沖縄原産の動物と触れ合える」といった好意的なコメントがほとんどであった。

③ その他の観光地(一番街、アーケイド等)

- ◆ 「一番街」や「アーケイド」等の市街地に関するコメントでは、日中は閑散としているといったコメントが多い一方で、夕方以降には、新しい飲食店が出店し、にぎやかになりつつあるコメントが散見された。なお、市街地に関するコメントは国内客がほとんどであった。

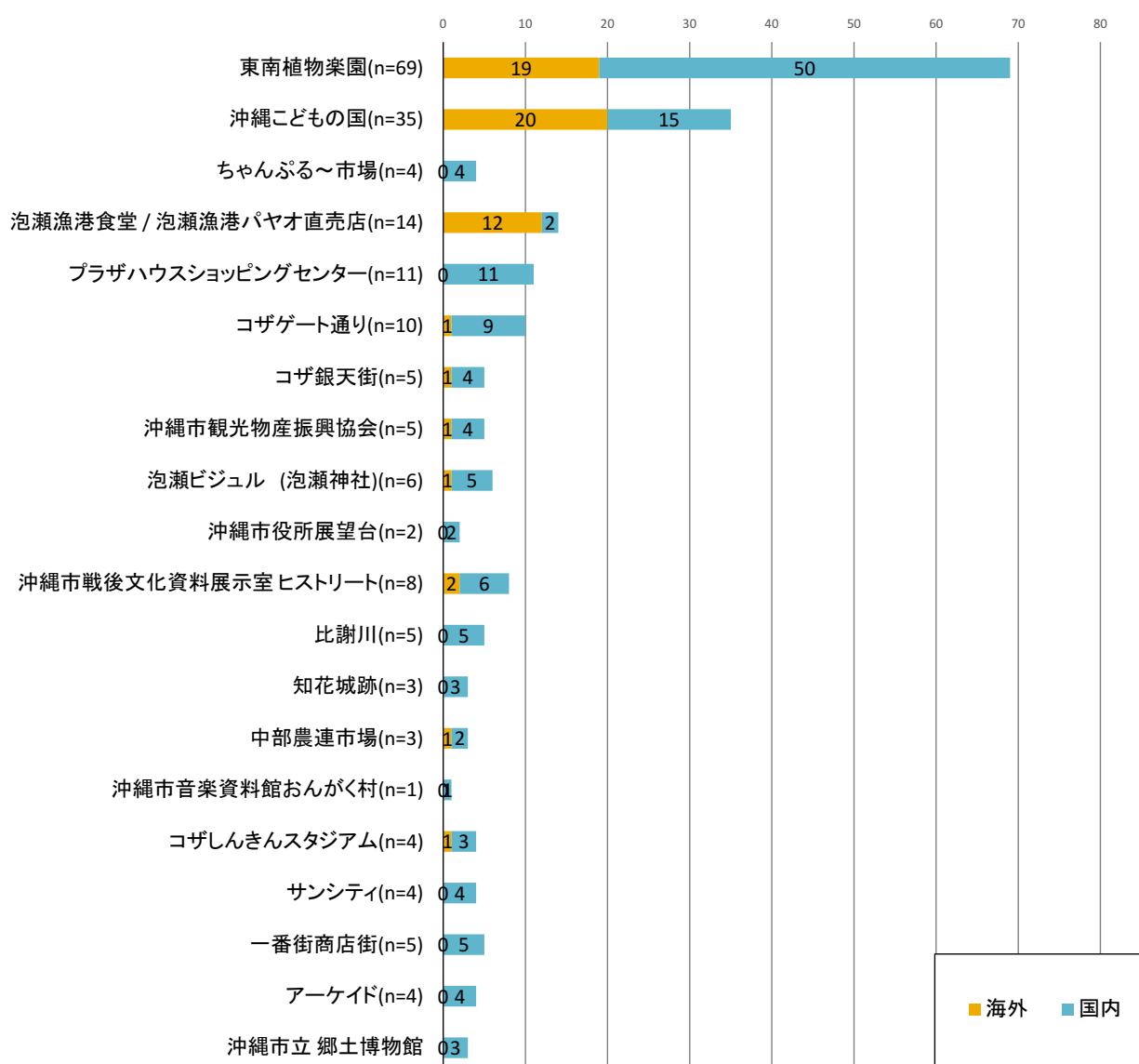
(3) 調査結果

本調査では「沖縄市内の観光スポットランキング」に表示される 20 位までの観光地に対する投稿 201 件を対象とした。対象施設（20 施設）とその投稿数については、下図の通りである。

東南植物楽園（69 件）、沖縄こどもの国（35 件）の 2 施設の投稿が多く、その他施設は 3 ～10 件程度の投稿数であった。

また、海外客のコメントの割合が最も高かったのは、「パヤオ直売店」で 14 件中 12 件が海外客のコメントであった。

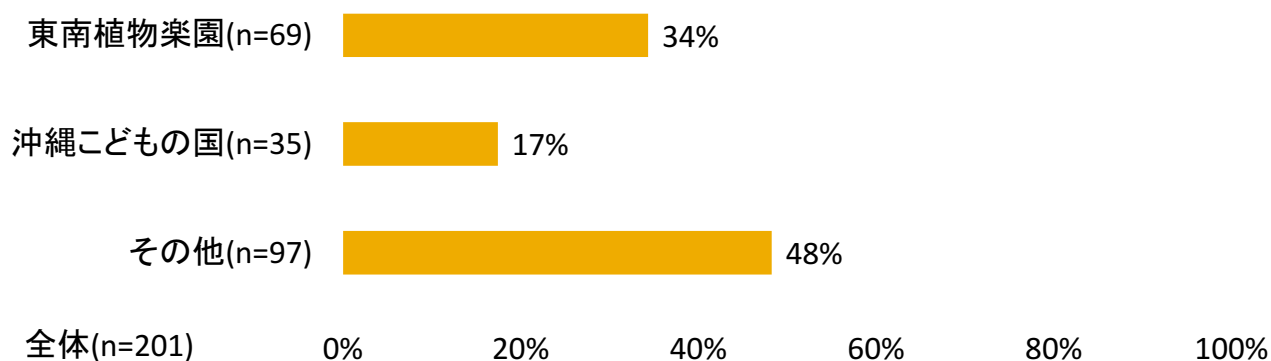
＜平成 30 年 6 月～令和元年 10 月の投稿＞（※今年度対象施設一覧）



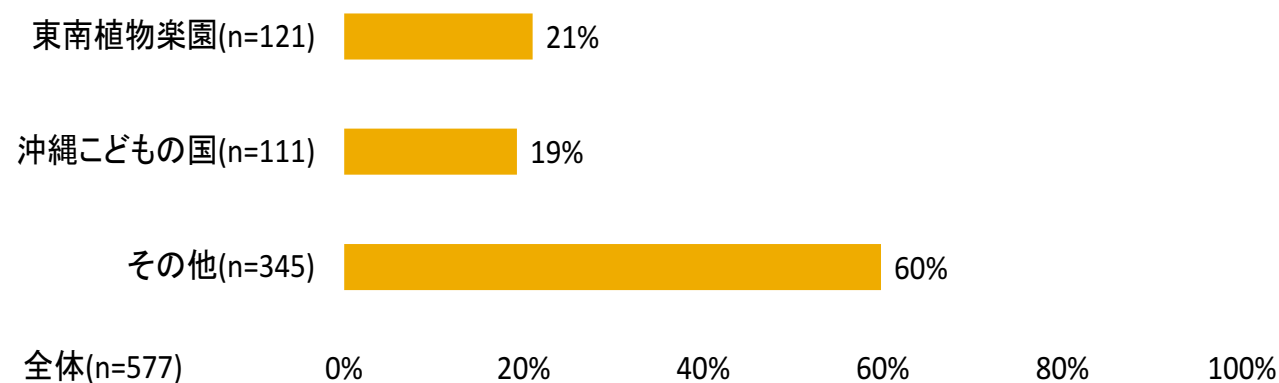
今年度調査では、東南植物楽園、沖縄こどもの国の施設以外の投稿は、小規模であったため、「その他」（97 件）として合算し、以下に示すようなグラフにて分析を行った。

また、過年度との比較を行うため、以降のページでは、昨年度の実施結果も下段に掲載した。

＜平成 30 年 6 月～令和元年 10 月の投稿＞（※今年度実施）



＜平成 25 年～平成 30 年 5 月の投稿＞（※昨年度実施）

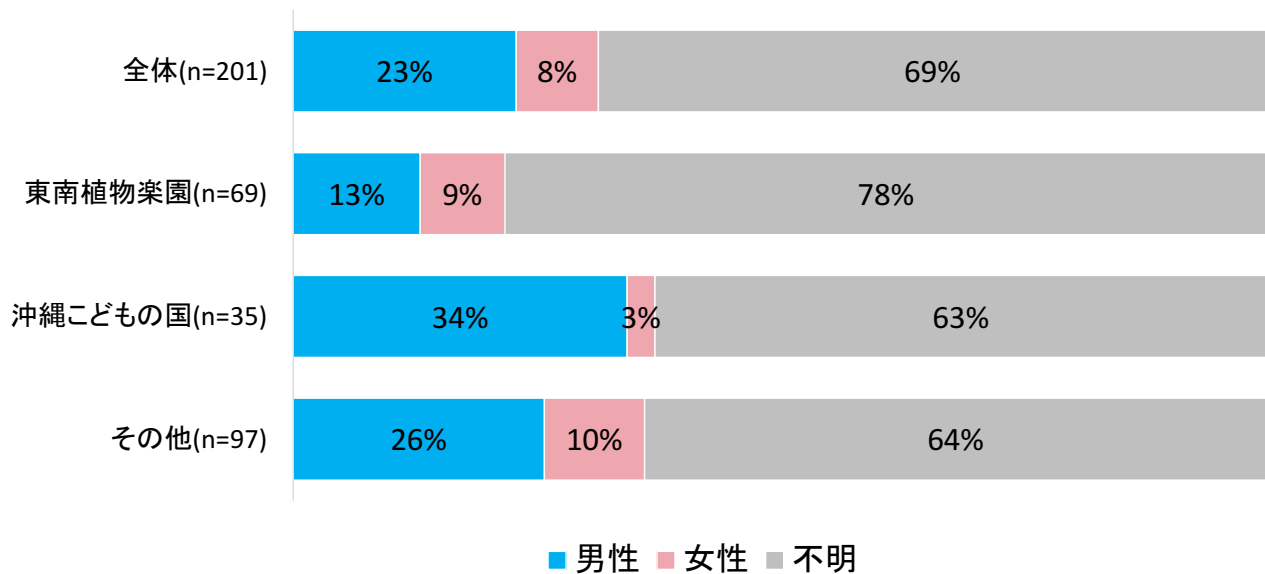


①投稿者の属性について

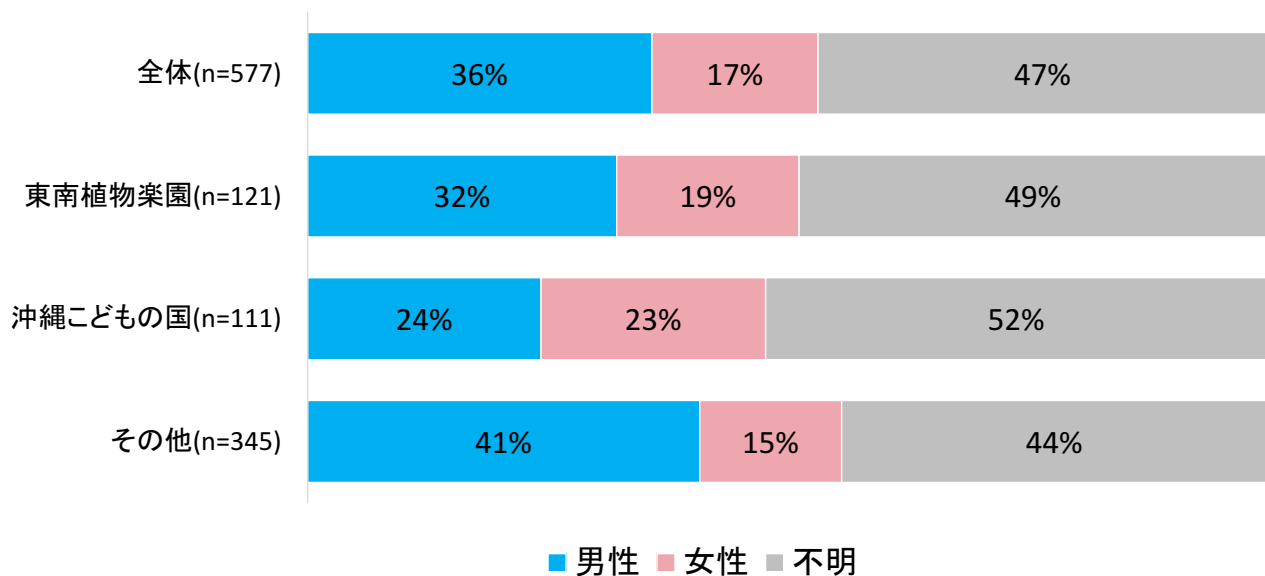
1) 性別について

○トリップアドバイザーでは、性別の選択は必須ではないため、「不明」が69%と最も高い。
○選択したなかでは、すべて「男性」が「女性」より多い。

＜平成30年6月～令和元年10月の投稿＞（※今年度実施）



＜平成25年～平成30年5月の投稿＞（※昨年度実施）

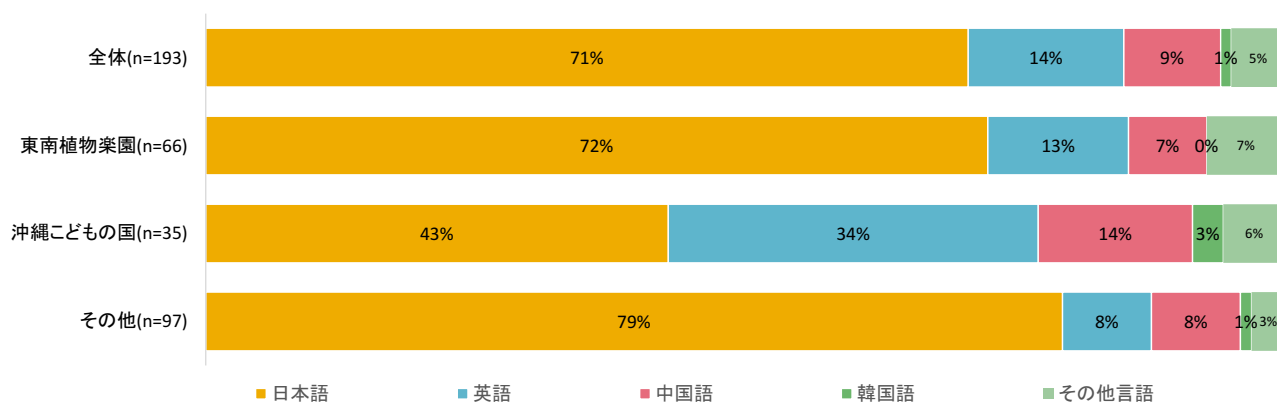


2) 言語について

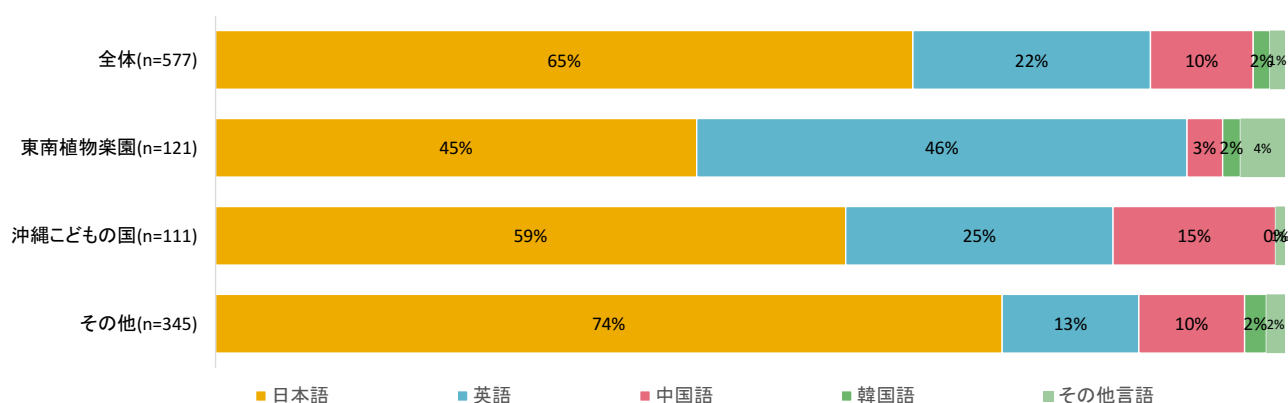
○沖縄市全体でみると、71 %が日本語、15%が英語、9%が中国語、残り 6%が韓国語などの
 その他言語であった。

○東南植物楽園は、日本語が昨年度 45%から今年度 72%となり、国内客の割合が多くなっている。対して、沖縄こどもの国は、昨年度 59%から今年度 43%となり、外国人観光客の割合が多くなっている。その他の観光地は昨年度、今年度ともに同様の傾向であった。

＜平成 30 年 6 月～令和元年 10 月の投稿＞（※今年度実施）



＜平成 25 年～平成 30 年 5 月の投稿＞（※昨年度実施）

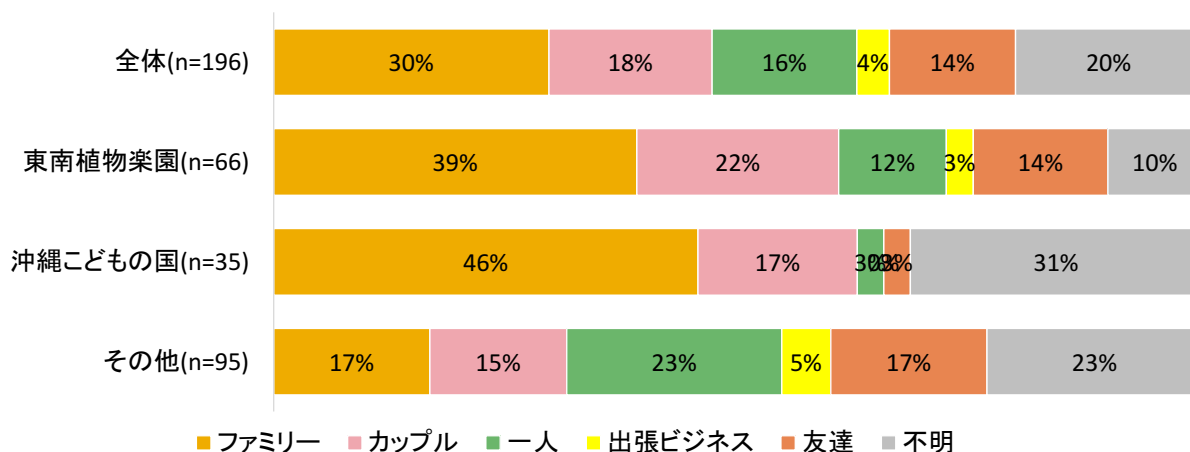


3) 旅行者のタイプ

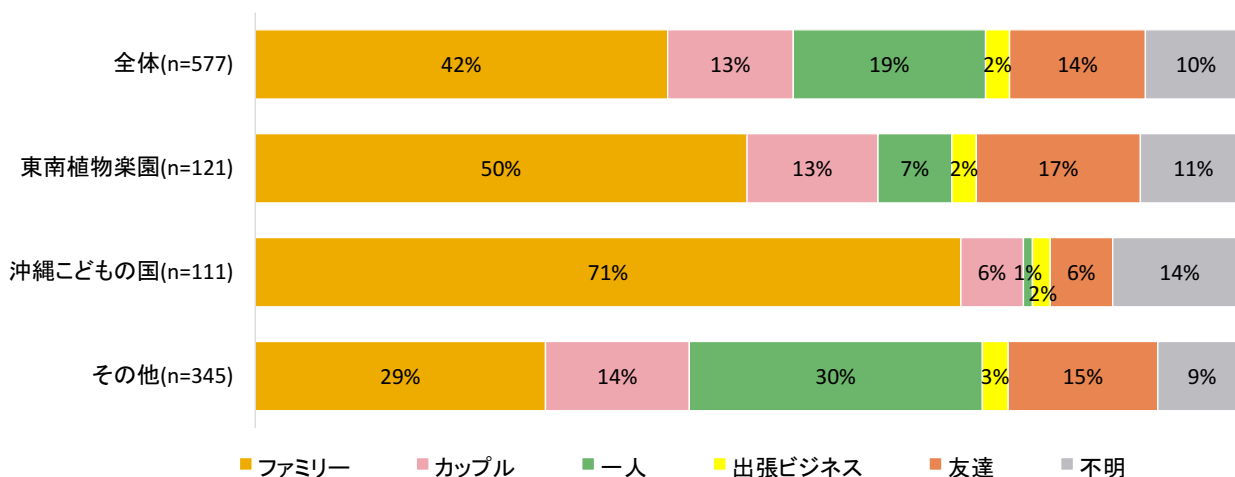
○沖縄市内全体でみると、「ファミリー」の30%が最も多く、次いで「カップル」の18%、「一人」の16%、「友達」の14%であった。

○観光地別でみると、「沖縄こどもの国」、「東南植物楽園」のいずれも昨年度より今年度のほうが「ファミリー」の割合はそれぞれ約10%、20%低くなり、その分「カップル」の割合が多くなっている。

＜平成30年6月～令和元年10月の投稿＞（※今年度実施）



＜平成25年～平成30年5月の投稿＞（※昨年度実施）



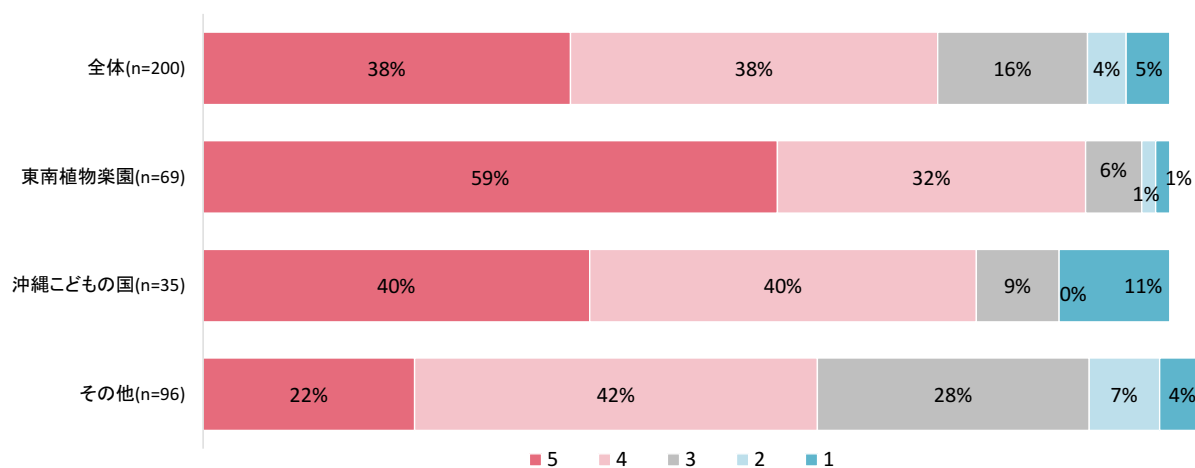
②評価について

○沖縄市内全体でみると、今年度の評価は、「5」が38%、「4」が38%、「3」が16%と昨年度に比べ、高評価であった。

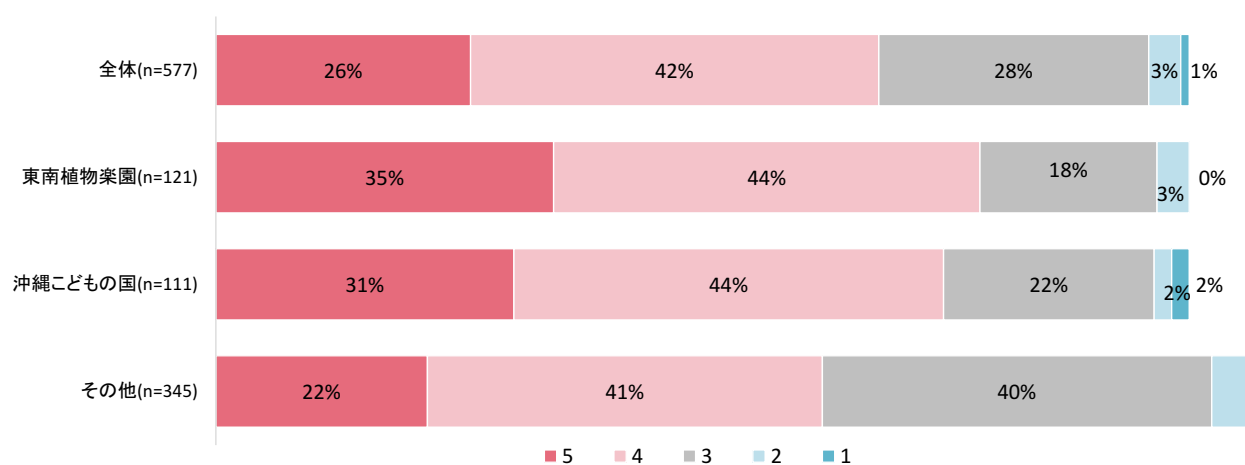
○東南植物楽園、沖縄こどもの国のいずれも昨年度から「5」の割合が高くなっている。

○その他は、昨年度と同様の割合であった。

<平成30年6月～令和元年10月の投稿>（※今年度実施）



<平成25年～平成30年5月の投稿>（※昨年度実施）

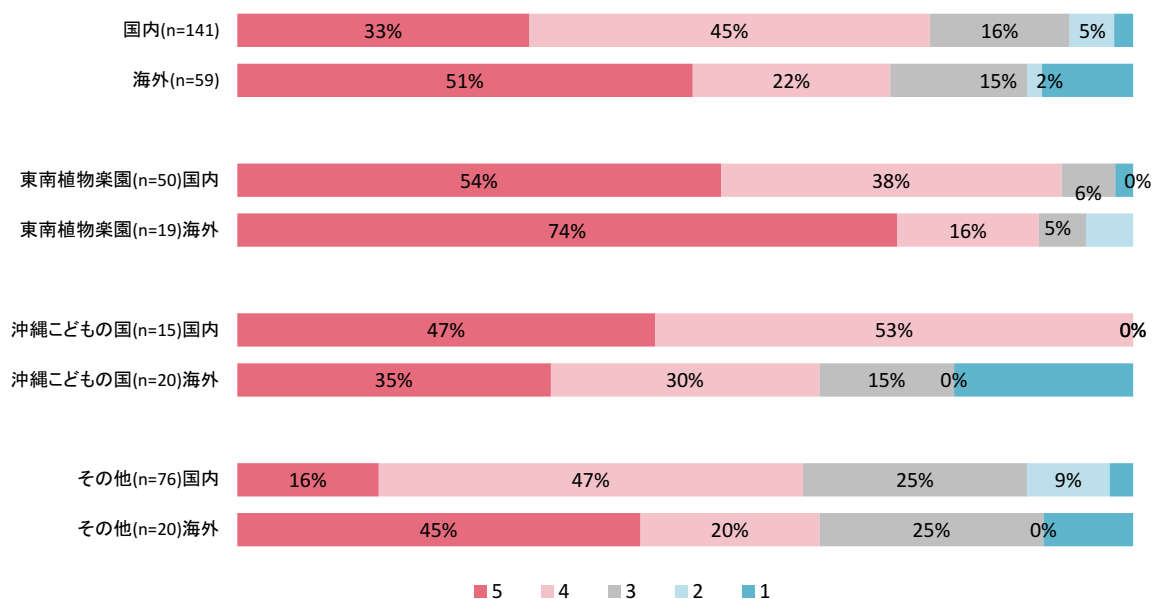


◆国内・海外別の評価

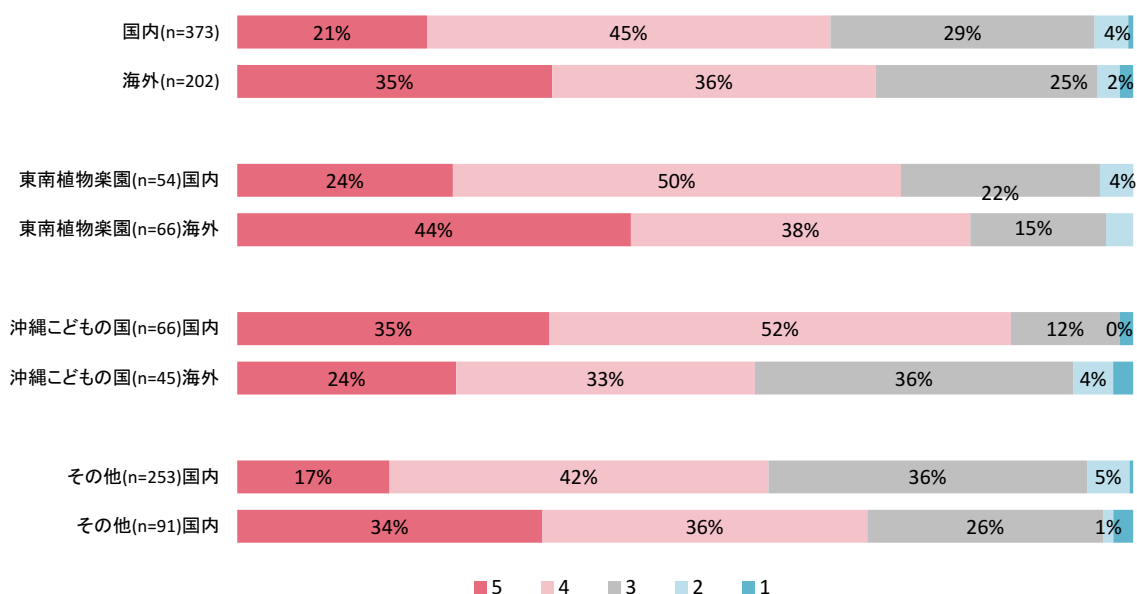
○昨年度同様、海外は国内より高評価とする傾向がある。海外の「5」の評価は、全体で国内よりも2割程度高かった。

○一方、「沖縄こどもの国」については、昨年度同様、国内のほうが海外より高評価であった。

<平成30年6月～令和元年10月の投稿>（※今年度実施）



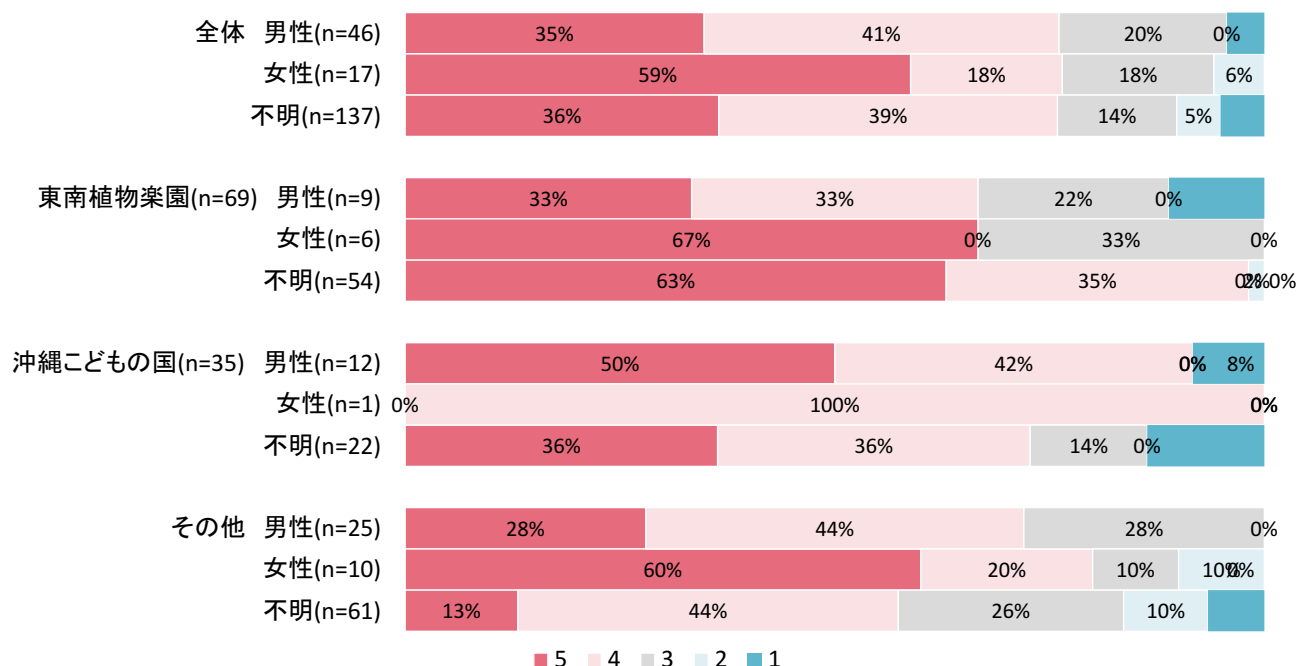
<平成25年～平成30年5月の投稿>（※昨年度実施）



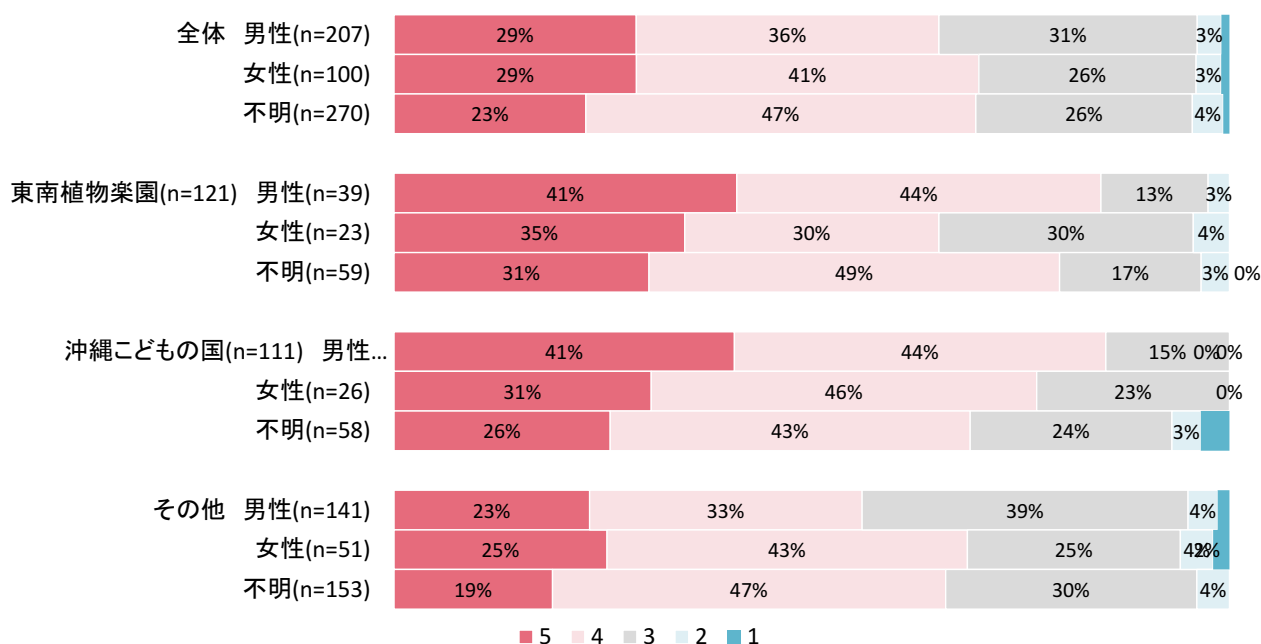
◆性別による評価

○性別による評価では、昨年度は、全体では、男女同様の評価であったのに対し、今年度は、2割ほど女性が男性より「5」の評価が多い。

<平成 30 年 6 月～令和元年 10 月の投稿>（※今年度実施）



<平成 25 年～平成 30 年 5 月の投稿>（※昨年度実施）



③コメントについて（代表的なコメント・キーワード）

1）東南植物楽園（69 件）

◆「東南植物楽園」では、「ガイドをお願いして正解」など、ガイド関連の高評価のコメントが昨年度より多く散見された。特に「ガイドのダニエルさん」を高評価するコメントは国内外ともに多く、14 件確認できた。その他も、昨年度までの投稿とは異なりガイドの個人名や各個人の特技等について、高評価するコメントが散見された。

2）沖縄こどもの国（35 件）

◆海外客のほうが、国内客より評価の低かった「沖縄こどもの国」では、海外客のうち評価の低いコメントからは「ケージの狭さ」や、「飼育環境の衛生問題」等が散見された。

（20 件中 8 件であり、ほぼ英語のコメント）

◆一方、国内客からは飼育環境に対するコメントはなく、「近い距離でみることができる」や「沖縄原産の動物と触れ合える」といった好意的なコメントがほとんどであった。

3）泡瀬漁港／泡瀬漁港パヤオ直売店（14 件）

◆昨年度同様、海外客からのコメントがほとんど（14 件中 12 件が海外）である。国内客からは、「割高」と評価されているが、海外客からは、「ロブスター以外は手ごろ」「安く新鮮」といった評価が多い。

4）プラザハウスショッピングセンター（11 件）

◆昨年度同様、国内客から、「海外のショッピングモールのような雰囲気」や「珍しい商品がある」といったコメントがあった。

◆また、イベント「安室奈美恵展」に関するコメントも確認できた。（1 件）

◆なお、今年度は、国内客からのコメントのみ。

5）コザしんきんスタジアム（4 件）

◆「カープ目的で訪れた」が 3 件、「エイサー」が 1 件であった。いずれも「多くの人でにぎわっていた」とのコメントがあった。

◆また、球場環境については、「きれい」「みやすい」といった好意的なコメントがほとんどであった。

6) 一番街商店街 (5 件)

- ◆「以前のなにもないシャッター通りから面白い雰囲気になってきた」や「若者ががんばっている」「今後に期待」「今後は泊まりたい」など、好意的なコメントがあった。
- ◆一方で、「駐車場にお金がかかるのがネック」とのコメントがあった。

7) アークエイド (4 件)

- ◆「シャッター街」と指摘するコメントがある一方で、「夕方になると賑やか」「若者向けのお店も増えている」等のコメントもある。

8) コザゲート通り (10 件)

- ◆昨年度同様、日中のみ訪れたと思われる方からは、「閑散としていた」「夜は怖そう」等といったコメントがほとんどであった。
- ◆一方で、「平日ではなく週末がおすすめ」や「今でもロックなバーやクラブがある」、「地元のランドマーク (英語)」といったコメントがみられた。

9) コザ銀天街 (5 件)

- ◆昨年度同様に、「往年の活気がない」・「シャッターストリート」等のコメントが半数 (3 件) であった。
- ◆また、「若手が事業展開してがんばっているが駐車場が不便」(1 件) や「一番街のほう頑張っている」(1 件) といったコメントがあった。
- ◆昨年度までは、「コザ十字路の壁画」に関するコメントがあったが、今年度は確認することができなかった。

10) サンシティ (4 件)

- ◆「閉まっている店が多い」一方で、「隠れた名店がある」(2 件) と評価されている。

11) 沖縄市戦後文化資料展示室ヒストリート (8 件)

- ◆「コンパクト」に「コザや沖縄の歴史がよくわかる」場所として、コメントされている。
- ◆また、外国人からは、「貴重な資料である一方で、一部日本語で読めなかった」といったコメントがあった。

12) 沖縄市観光物産振興協会 (6 件)

- ◆昨年度同様、「職員が親切」(3 件)、「リーフレット等の情報が揃っている」(2 件) 等のコメントがあり、評価も 4~5 と高評価であった。

1 3) 泡瀬ビジュアル（泡瀬神社）（5 件）

◆昨年度同様、「安産のご利益がある」、「地域の神社」等に関する好意的なコメントがほとんどであった。

◆「イベント時は混む」（1 件）といったコメントがあった。なお、昨年度も「駐車場が 2、3 台しかない」といったコメントがあった。

1 4) ちゃんぷる〜市場（4 件）

◆昨年度同様にコメント数は 4 件と少ないものの、「地域の食材を楽しめる」という好意的なコメントがほとんどであった。

1 5) 中部農連市場（3 件）

◆昨年度同様に、「観光客向けではなく、地元の方のための場所」といったコメントがあった。

1 6) 知花城跡（3 件）

◆昨年度同様に、「たどり着くまでが大変」「何もない」といったコメントであった。

1 7) 沖縄市音楽資料館おんがく村（1 件）

◆「てるりん展」を目的として、訪れたコメントが 1 件。

1 8) 沖縄市役所展望台（2 件）

◆昨年度同様、「駐車場が無料で利用」であり、「晴れの日是一望できる」場所として評価されている。

■トリップアドバイザー投稿の例（東南植物楽園）



投稿者名

熊本市, 熊本県

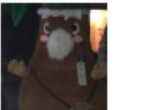
264 143

ココミを投稿：2017年9月29日 モバイル経由

昔来た時の思い出の場所

30年前に父親と母親に連れて来て貰った思い出が有り、久しぶりに寄ってみたら全く覚えてなかったです！
昔はゲゲゲの鬼太郎の家みたいなのが有ったと思ったのですがなかった様に思います！
広い敷地で半日位楽しめます！
ランチセットで入ったのでお得でした、子供は喜んでいました！
妻は疲れたと言っていました！



[東南植物楽園について質問する](#)

1 役に立った

ココミは投稿者の個人的見解に基づきます。TripAdvisor LLCの見解ではありません。

ココミ (156)

5マイル JAL

ココミを書く

旅行者の評価	旅行者のタイプ	投稿時期	言語
☐ とても良い 26	☐ ファミリー	☐ 3月 ~ 5月	☐ すべての言語
☐ 良い 39	☐ カップル・夫婦	☐ 6月 ~ 8月	☒ 日本語 (81)
☐ 普通 13	☐ 一人	☐ 9月 ~ 11月	☐ 英語 (62)
☐ 悪い 2	☐ 出張・ビジネス	☐ 12月 ~ 2月	☐ 中国語 (簡) (28)
☐ とても悪い 1	☐ 友達		その他の言語

投稿者名

レベル 6 の貢献メンバー

2018年よりトリップアドバイザーメンバー
熊本市, 熊本県35-48 男性

262 件の投稿
143 人が「役に立った」と評価

74 都市に訪問済み
97 枚の写真

グルメ 現地を味わいたい 歴史好き ナイトライフを楽しみたい

すべてを表示する

ココミ評価

とても良い	238
良い	17
普通	9
悪い	0
とても悪い	0

3-2. WEB アンケートシステムを活用した来訪者調査の実施

(1) 調査目的

観光客の満足度やニーズ、観光動向、消費金額を把握することを目的として、昨年度構築した WEB アンケートシステムを用いて、観光客へのアンケート調査を実施した。

(2) 調査概要

市内の宿泊施設、観光施設等の協力のもと、アンケートページへの QR コードを掲載した名刺サイズのカードを観光客へ配布し、調査を行った。次年度以降の継続的なデータ取得を視野に沖縄市観光物産振興協会と連携し実施した。

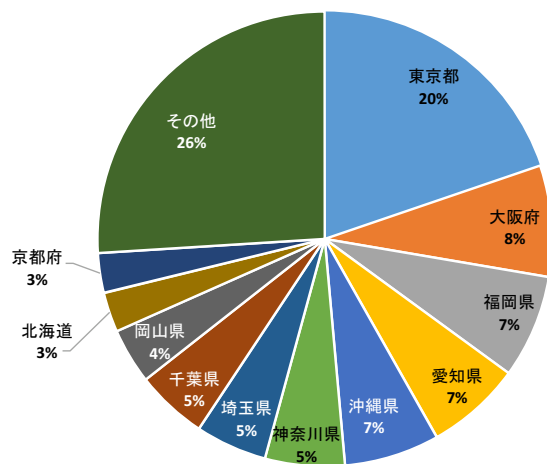
調査対象	○調査期間中に沖縄市内宿泊施設に宿泊した観光客
調査期間	○令和元年 8 月 21 日より宿泊施設にて配布開始
調査箇所	①オキナワグランメールリゾート ②ホテルニューセンチュリー ③クラウンホテル ④デイゴホテル ⑤ホテルシャララ ⑥ホテルコザ ⑦サンライズ観光ホテル ⑧ホテルタイムリッチ ⑨デイリーウィークリーマンズリーマンション（ぷらり）
回収結果	国内客 178 票 海外客 5 票
調査方法	 宿泊客に QR コードを記載した名刺サイズのカードを配布 ➔  言語（日本語・英語）を選択し、アンケートに回答
質問項目	①来訪目的・観光行動：行程／目的／情報源／訪問箇所／移動手段 ②消費行動：市内での消費額（ツアー・宿泊・交通・食事 等） ③沖縄市の評価：満足度／再訪意向／推薦意向 ④基本属性：居住地（国籍）／性別・年齢・職業／来訪経験 ⑤その他

(3) 調査結果

①投稿者の属性について

1) 都道府県について

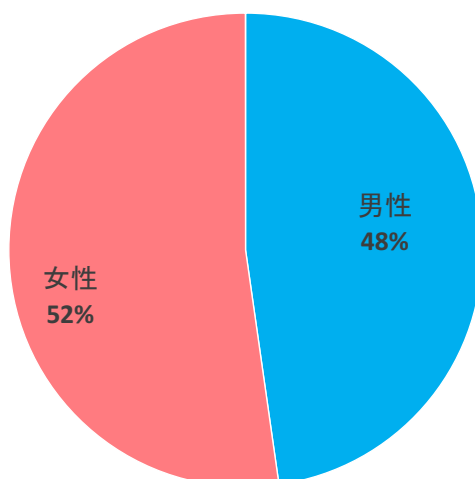
○都道府県は「東京都」が20%と最も多く、次いで「大阪府」が8%、「福岡県」7%となっている。



N=178

2) 性別について

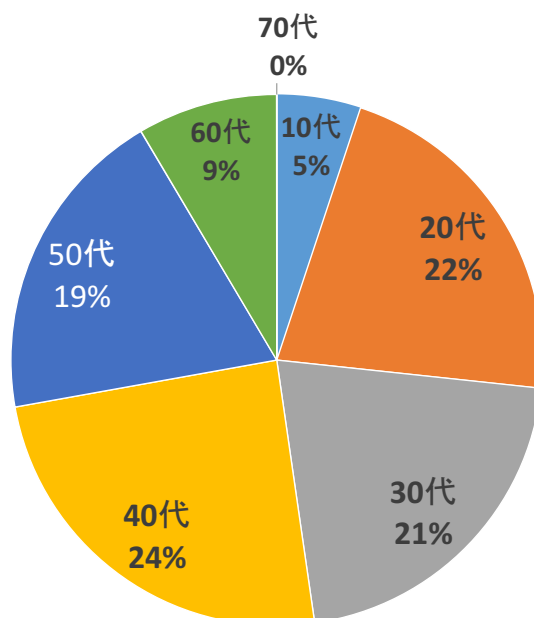
○性別は「女性」が52%と最も多く、次いで「男性」が48%となっている。



N= 178

3) 年齢について

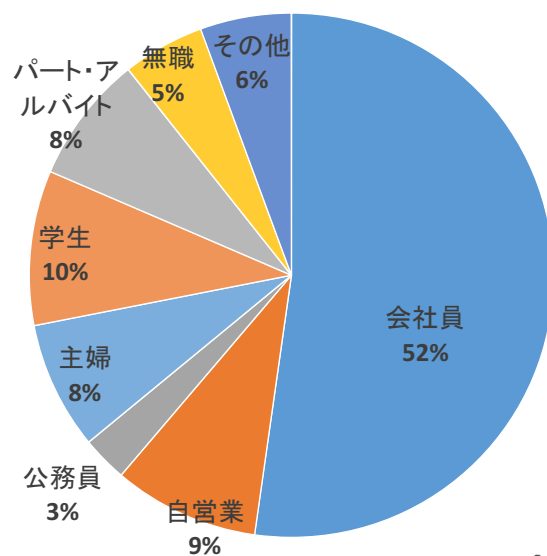
○年齢は「40代」が24%と、最も多く、次いで「20代」が22%、「30代」が21%となっている。



N= 176

4) 職業について

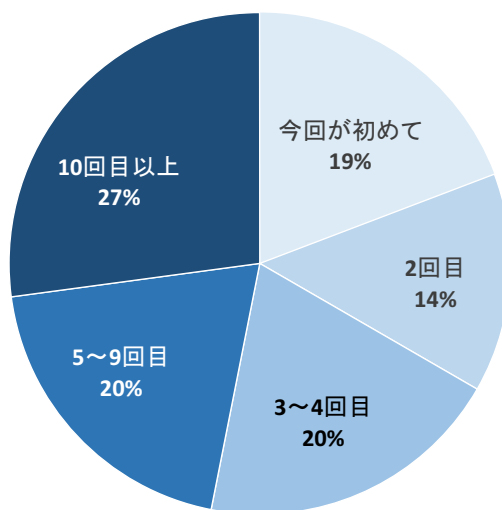
○職業は「会社員」が52%と最も多く、次いで「学生」10%、「自営業」が9%となっている。



N= 178

5) 沖縄県への来訪回数（今回含む）について

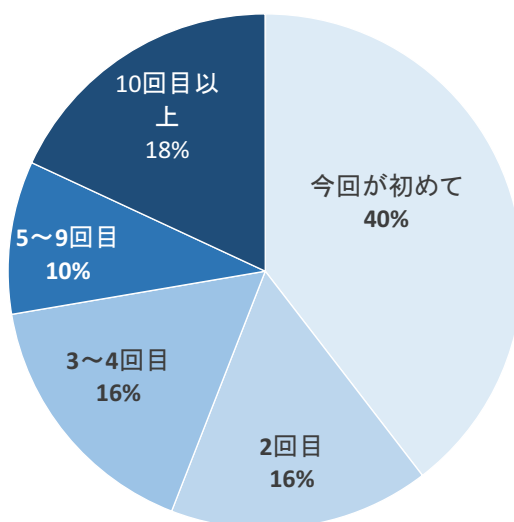
○沖縄県への来訪回数は、今回の来訪も含めて、「10回以上」が27%で最も多く、次いで「3～4回目」、「5～9回目」が20%、「今回が初めて」が19%となっている。



N= 177

6) 沖縄市への来訪経験（今回含む）について

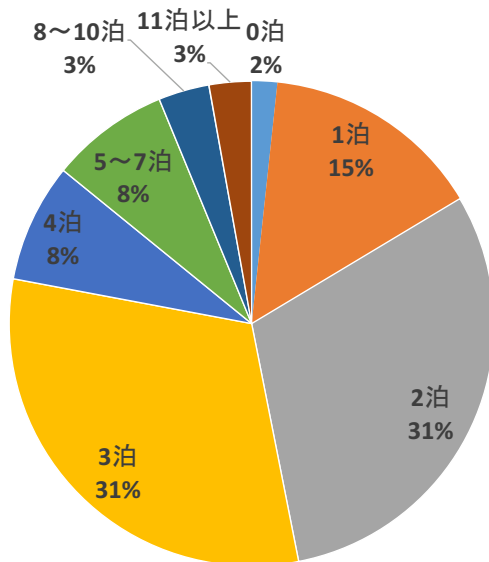
○沖縄市への来訪回数は、今回の来訪も含めて、「今回が初めて」が40%で最も多く、次いで「10回以上」が18%、「2回目」、「3～4回目」がそれぞれ16%となっている。



N= 177

7) 今回の旅行全体の宿泊数について

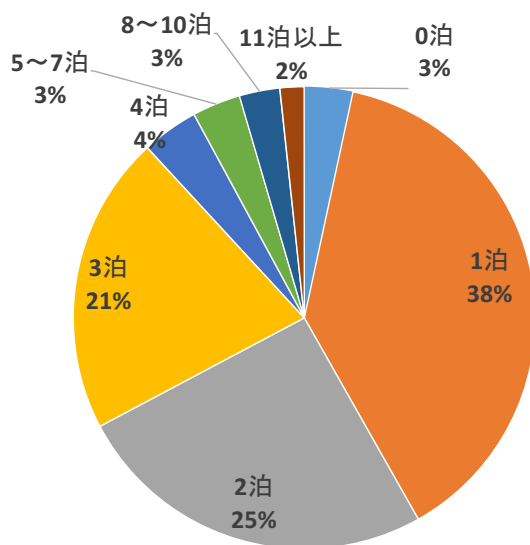
○今回の旅行全体の宿泊数は「2泊」、「3泊」が31%と最も多く、次いで「1泊」が15%、「4泊」、「5～7泊」が8%となっている。



N= 177

8) 沖縄市内の宿泊数について

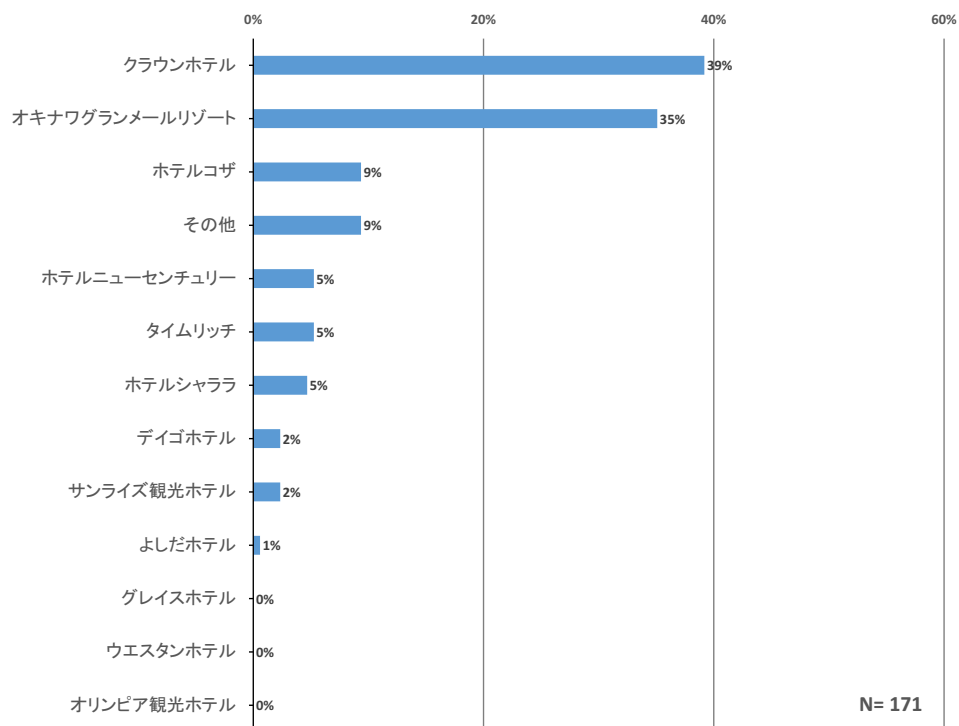
○沖縄市内の宿泊数には、「1泊」が38%と最も多く、次いで「2泊」が25%、「3泊」が21%となっている。



N= 177

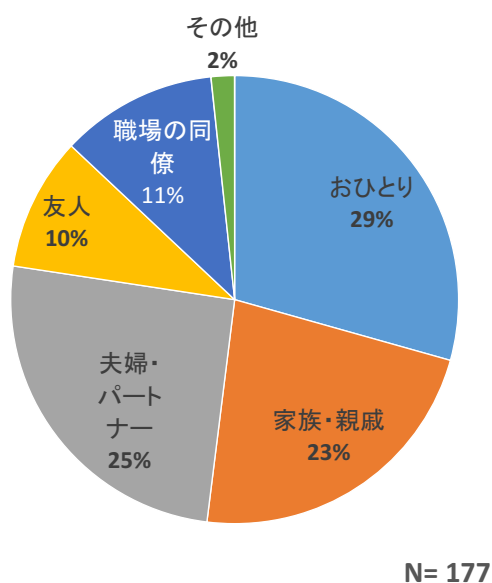
9) 沖縄市内の宿泊施設について

○沖縄市内の宿泊施設については、「クラウンホテル」が39%と最も多く、次いで「沖縄グランメールリゾート」が35%、「ホテルコザ」が9%となっている。



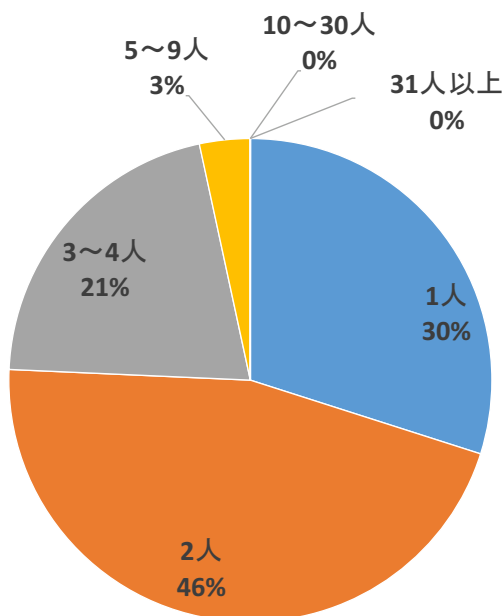
10) 旅行の同行者について

○沖縄市内の宿泊数については、「1泊」が38%と最も多く、次いで「2泊」が25%、「3泊」が21%となっている。



1 1) 合計人数

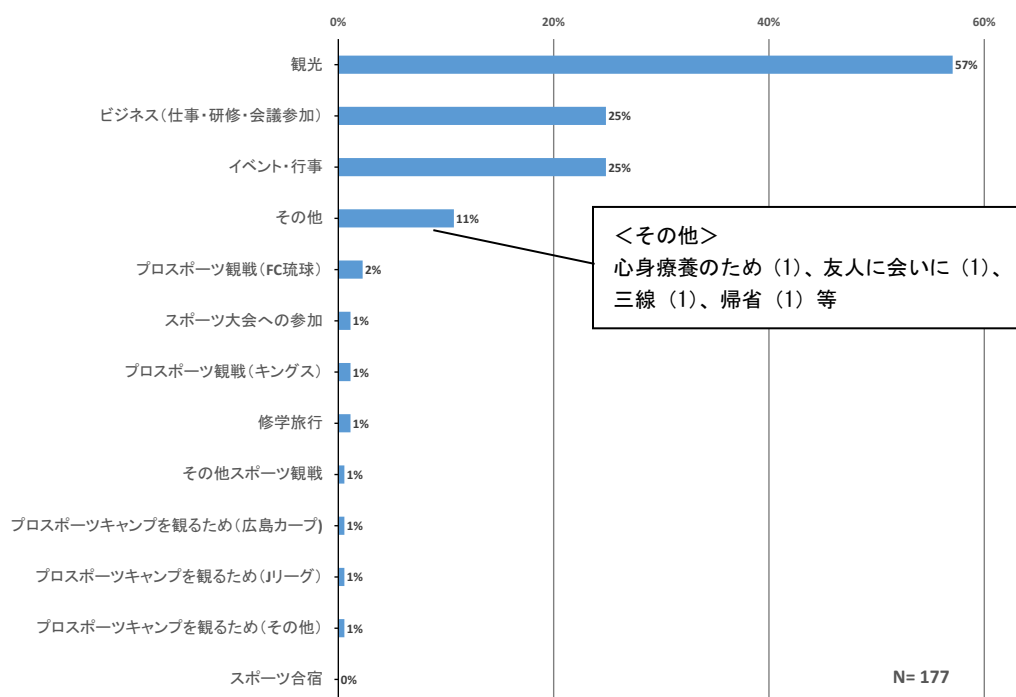
○合計人数は「2人」が46%と最も多く、次いで「1人」が30%、「3～4人」が21%となっている。



N= 177

1 2) 沖縄市内を訪れた理由

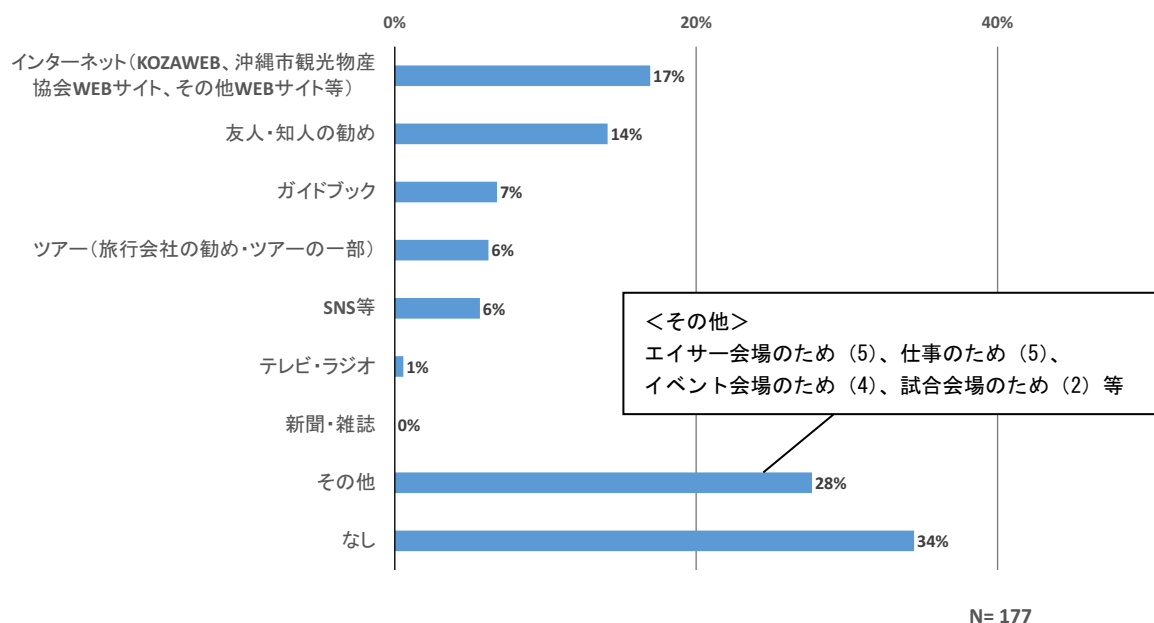
○沖縄市内を訪れた理由は「観光」が57%と最も多く、次いで仕事・研修・会議参加などの「ビジネス」と、「イベント・行事」が25%、「その他」が11%となっている。



N= 177

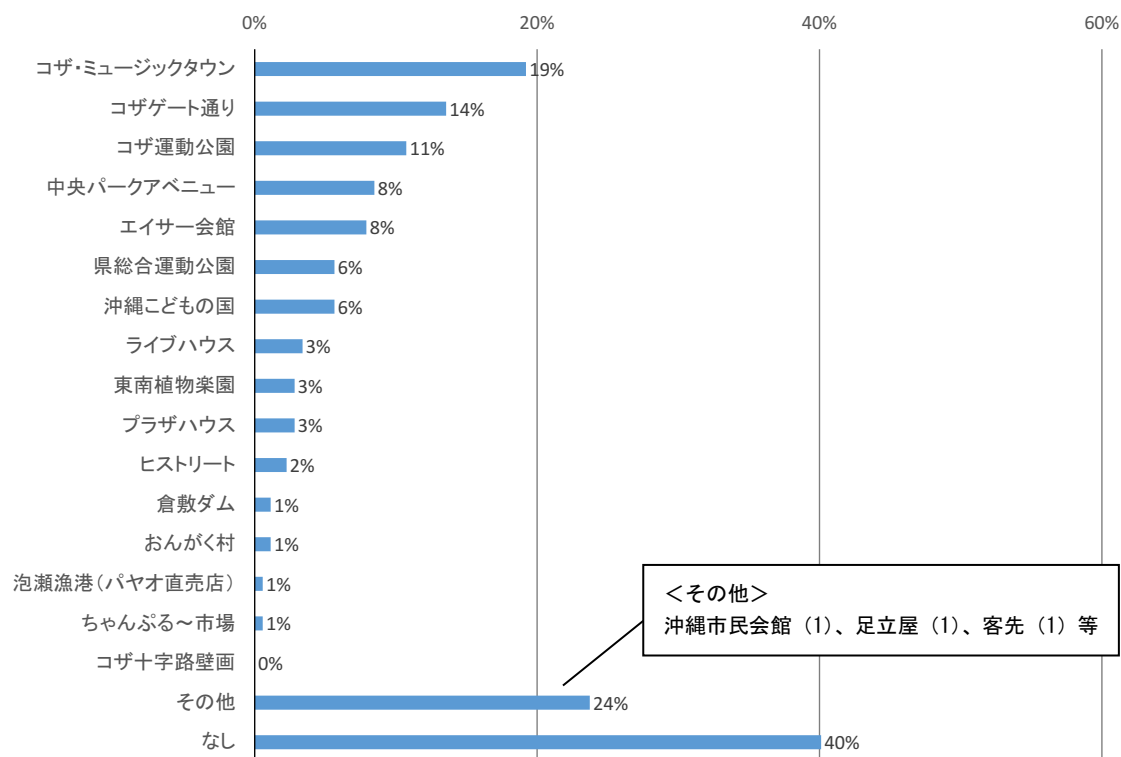
1 3) 沖縄市を訪れるきっかけとなった情報源・媒体

○沖縄市を訪れるきっかけとなった情報源や媒体は、「なし」が34%と最も多く、次いで「その他」が28%、KOZAWEB、沖縄市観光物産協会WEBサイト、その他WEBサイト等の「インターネット」が17%となっている。



1 4) 今回の旅行中に沖縄市内で訪れた場所

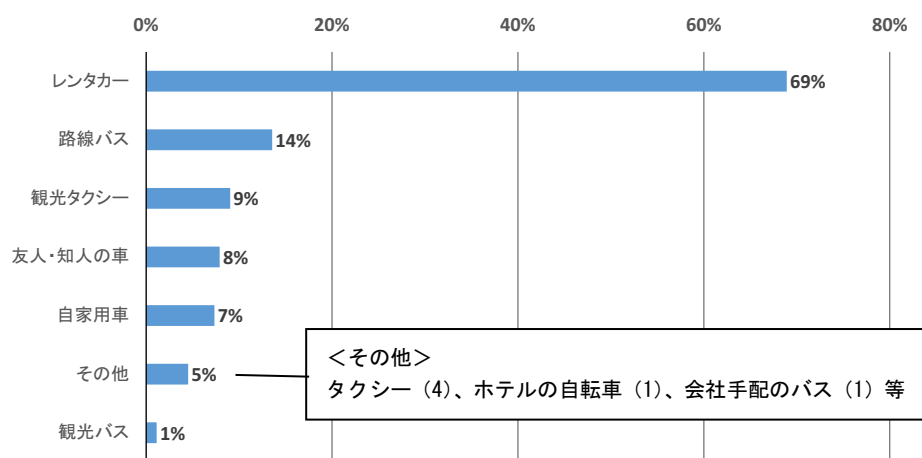
○今回の旅行中に沖縄市内で訪れた場所は「なし」が37%と最も多く、次いで「その他」が24%、「コザ・ミュージックタウン」が19%となっている。



N= 177

1 5) 沖縄市内で使用した交通手段

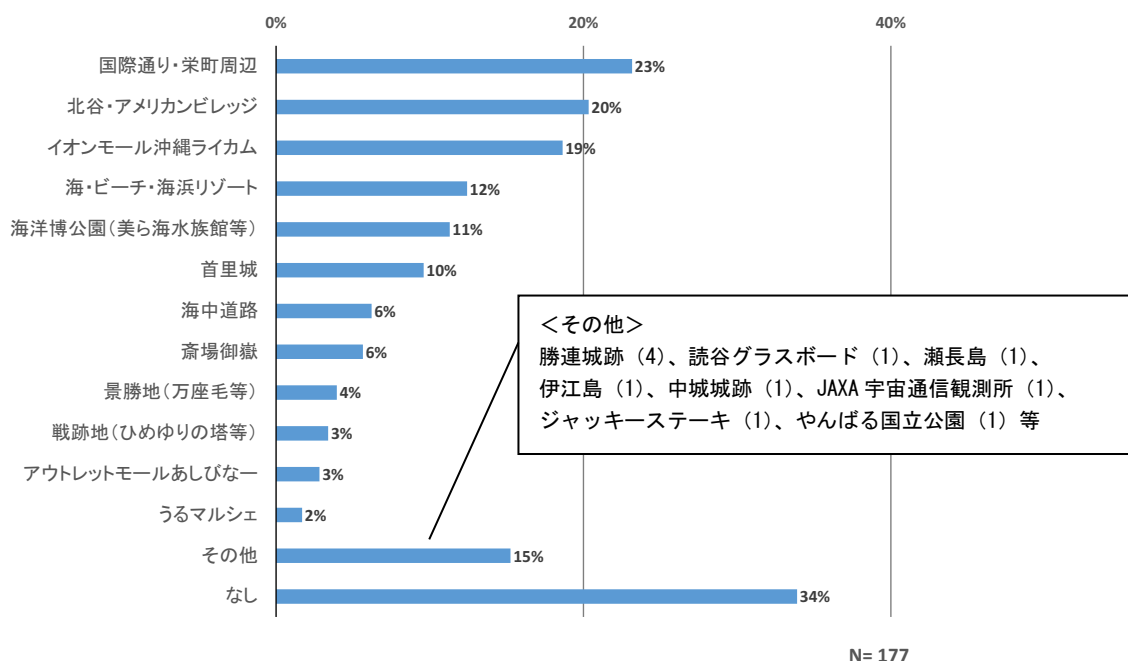
○沖縄市内で使用した交通手段は、「レンタカー」が69%と最も多く、次いで「路線バス」14%、「観光タクシー」がそれぞれ9%となっている。



N= 177

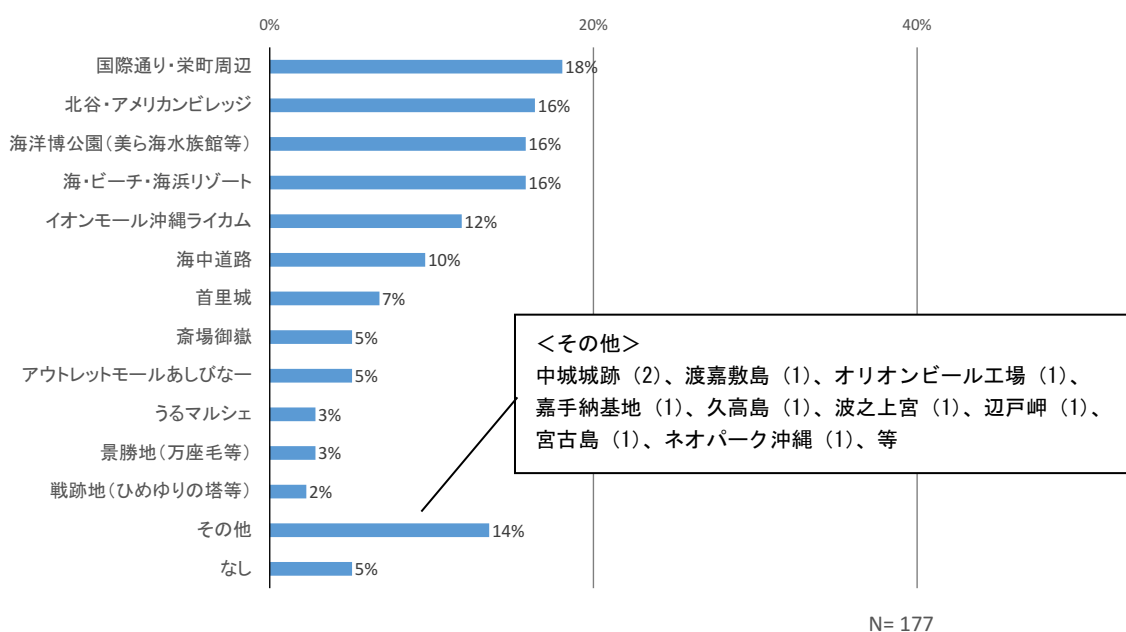
1 5) 沖縄市の「前」に訪れた場所

○沖縄市の「前」に訪れた場所は、「なし」が34%と最も多く、次いで「国際通り・栄町周辺」が23%、「その他」が15%となっている。



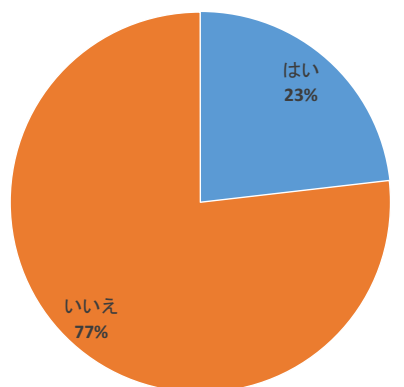
1 6) 沖縄市の「後」に訪れる予定の場所

○沖縄市の「後」に訪れる予定の場所は「国際通り・栄町周辺」が23%と最も多く、次いで「北谷・アメリカンビレッジ」、「海洋博公園(美ら海水族館等)」、「海・ビーチ・海浜リゾート」がそれぞれ16%となっている。



16) 今回の旅行はパッケージツアーであるか？

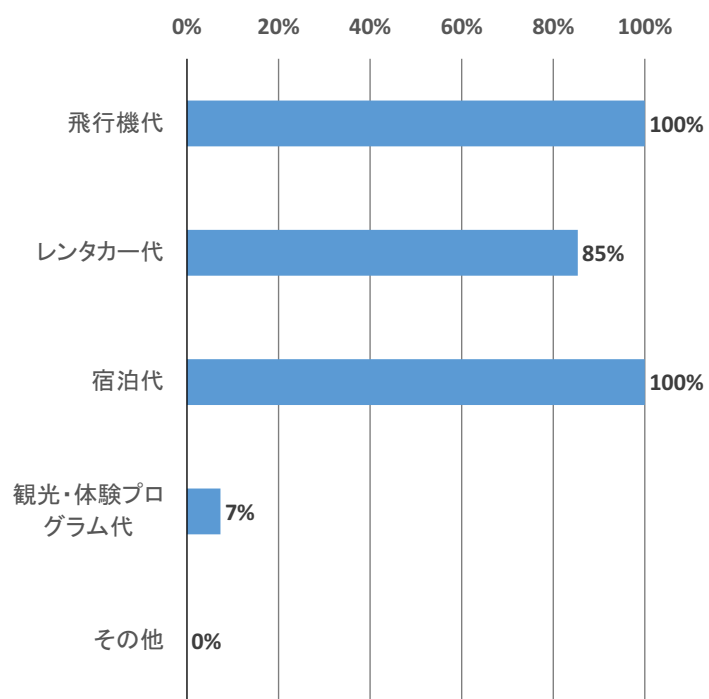
○今回の旅行はパッケージツアーであるかの問いは、「いいえ」と回答した割合が77%であった。



N= 177

17) パッケージツアーに含まれている代金

○パッケージツアーに含まれている代金は「飛行機代」、「宿泊代」がともに100%であり、「レンタカー代」は85%、観光・体験プログラム代は7%であった。



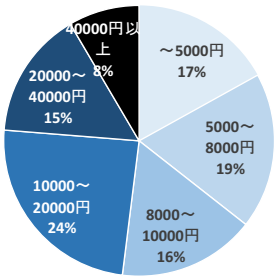
N= 41

18) ひとりあたりの消費額について

〇ひとりあたりの消費額として、①宿泊費、②交通費、③食事代、④お酒・ナイトエンターテインメント代、⑤お土産・買い物代、⑥施設入場料・レジャー・体験料、⑦その他の項目について、確認を行った。

① ひとりあたりの宿泊費

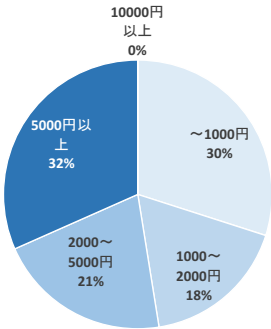
1万～2万が最も多く24%



N= 177

② ひとりあたりの交通費

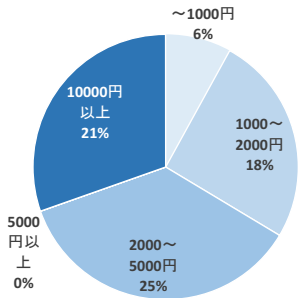
5千円以上が最も多く32%



N= 177

③ ひとりあたりの食事代

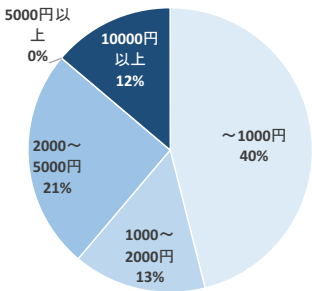
2千～5千円が最も多く25%



N= 177

④ ひとりあたりのお酒・エンターテインメント代

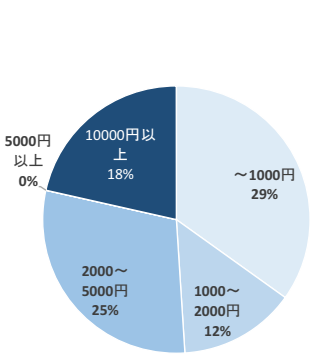
千円未満が最も多く40%



N= 177

⑤ ひとりあたりのお土産・買い物代

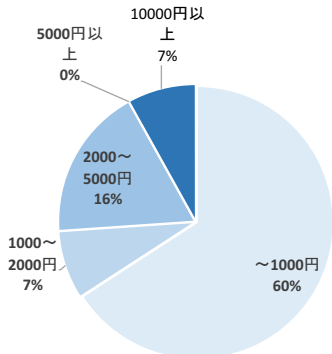
千円未満が最も多く29%



N= 177

⑥ ひとりあたりの施設入場料、レジャー・体験料

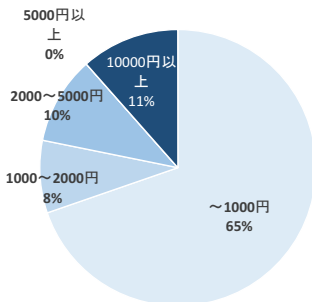
千円未満が最も多く60%



N= 177

⑦ その他

千円未満が最も多く65%

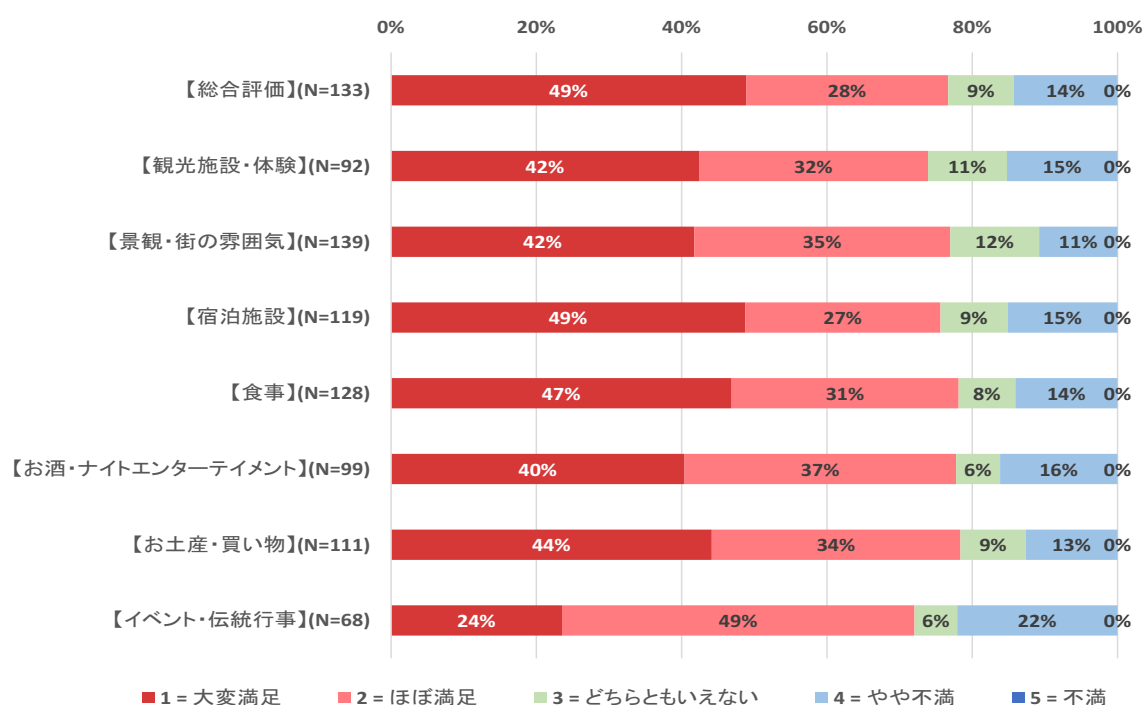


N= 177

19) 沖縄市内に滞在中の満足度 ※各項目の「該当しない」は除外

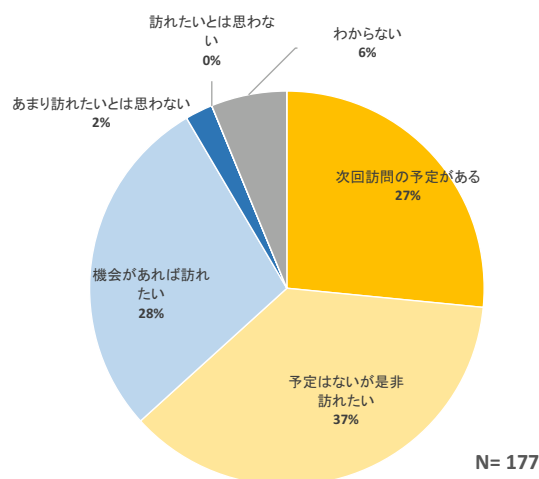
○沖縄市在中の満足度（総合評価）は、「大変満足」または「ほぼ満足」と回答した割合が77%となっている。

○個別の項目ごとにみると、「宿泊施設」の「大変満足」または「ほぼ満足」と回答した割合が76%最も高く、次いで「お土産・買い物」78%、「景観・街の雰囲気」が62%となっている。



20) 沖縄市への再訪意向

○沖縄市への再訪意向は、「予定はないが是非訪れたい」が37%と最も多く、次いで「機会があれば訪れたい」が28%、「次回訪問予定がある」が27%となっている。



2 1) 自由記述

【エイサーに関すること】

- エイサー祭りの熱気、演者の方々の努力が伝わり最高でした。
- エイサー良かったです。
- エイサーが最高です。
- エイサーの日程公開を早めにしていただけると助かります。開催日に次年度の予定を掲載したパンフレット頂けると旅程を組みやすいです。
- エイサーの観客が青森のねぶた祭り等の全国的なお祭りに比べ少なく、ゆっくりと見られることができた。もっとPRしても良いと思う反面、エイサー会場から徒歩圏内のホテルで良いのがない。渋滞解消も含めアクセスの検討が必要かと思います。
- 道ジュネーについては、エリア制にしてはいかがだろうか。

【情報発信に関すること】

- 番組コザの裏側は良い情報源。
- 他の地域の情報が多いため目がそっちに行きがちで、沖縄市の観光や良さを把握できていなかったのもっともっとたくさん沖縄市の情報を発信してほしいです。
- SNS で情報収集してから動き出すことがほとんどなので、もっと活用してほしいです。
- Google マップで自分が行きたい場所の通り道に何があるかを確認→その最中にも気になるお店があれば立ち寄りスタイルの旅なので、ネット上で情報収集出来なかった場合は必ず現地に向かいます。しかし、収集した情報と違う場面もありました。

【街並み・景観に関すること】

- 那覇市とは異なる雰囲気が良いです。
- 異国情緒ある路地やお店に心が弾みました。ホテルの雰囲気もちょっと外国の映画に出てくるような趣があって、チャーリー多幸寿さんと Zazou さんに立ち寄りましたがどちらも美味しく店員さんも素敵でぜひまた訪れたいと思いました。
- 2 度目のエイサー祭りで訪れました。街は古くて雰囲気のあるお店もありましたが、開いているお店が少なく残念です。DA PUMP の ISSA さんのファンなので、ISSA さんオススメのお店にも行きました。
- アメリカの雰囲気が感じられる街並みに興味が有ります。何度も訪れてみたい街です。
- 今から 15 年ほど前、タコスの店巡りをしている時に初めて沖縄市を訪問しました。その時は活気があって、楽しい街だという印象でした。何年か後に来た時は閉まった店が増えてしまい、寂しくなったものです。今も夜になれば歓楽街の居酒屋などは賑わっていますが、昼間は開いていない店が多くて訪問しようと思いにくいです。特に、胡屋やコザのアーケード街が活性化されたら、と思います。
- 基地が近いからか、異国の人の多さにビックリでした。まるで海外にいるようでした。ただ、気軽に入れる飲食店が少なかったように思います。味で集客できるお店がもう少しあるといいかと

思います。CMをしなくても、今はSNSでどこでもお客が来ます。本部のてつこのそばへいきましたがとても美味しく、その点上手だと思いました。沖縄市は若い人が住んで働いて、英会話が自然に身につく。それが可能な街だなと思いました。

- 前回来た時にバンドのベースの方達がよく来る際に、お店はよくお休みになると聞いていたが、本当に土日お休みのお店が多くて残念でした。ミュージックタウンに行く途中の商店街のお店はほぼお休みでシャッター商店街のようで、少し寂しいです。
- 仕事で平日しか訪れていないが、市役所周辺の中心部に活気がないように思う。特に商店街が飲み屋さん以外閉まっている店が多く、活気がない印象を受けました。

【アクセスに関すること】

- 沖縄市は那覇と異なり、レンタカーや高速バスを駆使すれば本島の色々な場所へ行けることが利点だと思います。
- もっと色々なお店をめくりたいと思いましたが、市内移動の手段がなかったように思います。レンタサイクル等があればうれしいです。
- 那覇空港からのバス便を充実させてください。
- インター出口の渋滞緩和をお願いします。
- 好きになりました。まだいろいろ知りたいですし、ぜひ来たいと思います。希望があるとすれば、レンタカーでの移動なのでもう少し道路標識がわかりやすければいいな、と思いました。
- 無料の駐車場。

【宿泊施設に関すること】

- 観光に利便性と快適性に優れていると感じている為、グランメールリゾートさんにいつも宿泊させていただいています、今後とも快適な宿泊施設であり続けてほしいと願っております。
- 沖縄が大好きです。ホテルの受付の方も好印象。
- とても素敵なホテルでした。
- 落ち着いて夜などは過ごしやすいです。
- 仕事で来ているのでほぼホテルと会社の行き来のみですが、コンビニまでの道の雰囲気やクラウンホテルの従業員の皆様の親切さにとても癒されています。機会があれば、次はプライベートでゆっくり来てみたいと思いました。
- グスクめぐりの途中の宿泊地として利用させていただきました。
- 宿泊施設の充実を期待したいです。
- IC 近くにももう少し宿泊施設がほしいです。プラザハウスに宿泊施設が欲しい。

【イベント・ライブ・音楽に関すること】

- 沖縄市民会館には、ホールの神様・音楽の神様が確実に住んでらっしゃるので、ちゃんと音楽を鳴らし続けてほしいです。次回の山下達郎さんの沖縄でのライブも、確実に沖縄市民会館で行われます。先日のライブでも、「ここでしか演奏しない！」と高らかに宣言されていました。会場の貸出料も、音楽イベント利用と会議利用と変動させてもいいのではとも思います。(音楽イベ

ント利用時は安く、会議利用時は高く等)

- コザは独特の音楽文化(エイサー等)に特化してカッコいいイメージがある。旅行者でも気軽に寄れるライブハウスや民謡酒場が栄えてほしい。

【その他に関すること】

- 沖縄市の皆さんの元気の良さ、人の温かさに感動しました。
- 毎年沖縄に来ています。来年もまた来ます。
- 沖縄に来てよかったです。
- 今回もゆっくりできました。
- とても楽しい旅行になりました。
- まわり切れないほど行きたいところがある。
- コンビニが少ないです。
- キャッシュレスを進めてほしいです。
- 米軍基地について、地元の人に聞いて勉強になりました。
- 沖縄市内の無料 wifi が満遍なく繋がると助かります。
- 沖縄市内での夜の食事では日本人が入れるお店が少なく店を探すのに一苦労でした。
- 今回はレキシ(アーティスト名)のライブで訪れましたので、市内を見て回ることはできませんでした。
- アクセスが良いので宿泊先として選びました。訪れた場所が沖縄市であったか、認識はありませんでした。

3-3. 沖縄市における宿泊実績の把握

(1) 調査目的

昨年度業務で確立した手法により、沖縄市観光物産振興協会及び市内主要宿泊施設と連携し、宿泊実績の把握を目的として、各市内宿泊施設の月別の延べ宿泊客数、実人数等の基礎情報の集計・分析を行った。

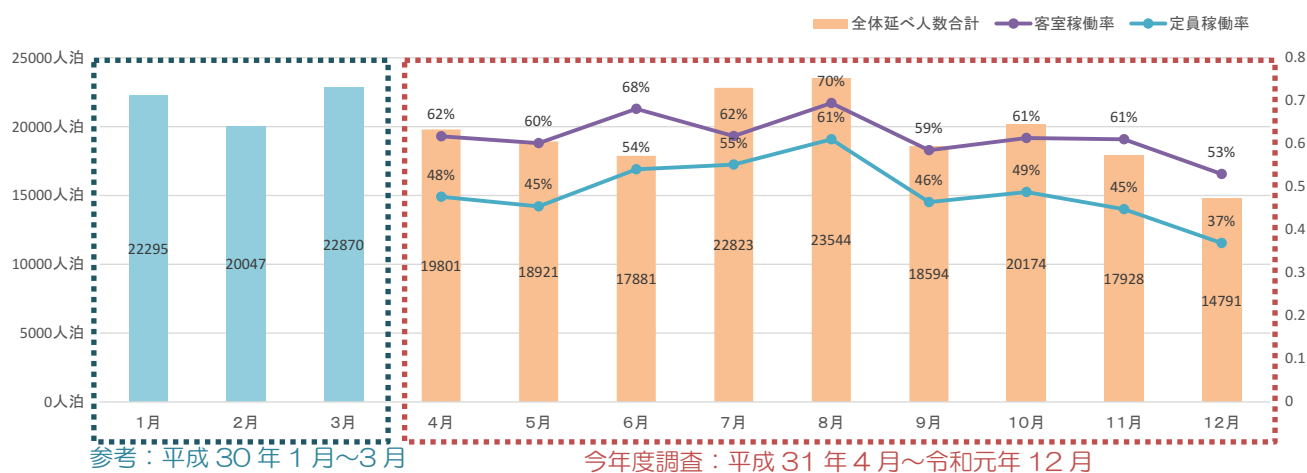
調査期間	平成31年4月～令和元年12月
調査対象施設	①クラウンホテル/②ホテルシャララ/③ホテルコザ/ ④サンライズ観光ホテル/⑤ホテルタイムリッチ/ ⑥デリーマンスリーマンションぷらり/ ⑦オキナワグランメールリゾート/⑧ホテルパームツリーヒル ⑨ホテルニューセンチュリー/⑩デイゴホテル/ ⑪オリンピア観光ホテル ※⑨～⑪は年間延べ宿泊客数のみ取得
把握方法	①沖縄市観光物産振興協会より、各宿泊施設へ「調査票」(Excel)を月ごとに配布 ②各月の指定日までに、各宿泊施設にて、「調査票」を記入し、協会担当者へ送付 ③送付いただいた調査結果をもとに、とりまとめ・分析を行い、適宜結果を報告
入力票及び集計表	○宿泊グループごとにチェックイン日、居住地、宿泊者数、部屋数、泊数を記入（客室数、収容人数は変更があれば適宜集計） 入力票に宿泊グループごとに記入 自動的に集計

(2) 調査結果

1) 月別延べ宿泊客数・客室稼働率・定員稼働率について

○平成31年4月～令和元年12月では、8月が延べ宿泊客数、客室稼働率、定員稼働率のいずれも最も高い。なお、ボトム期は、6月と12月である。

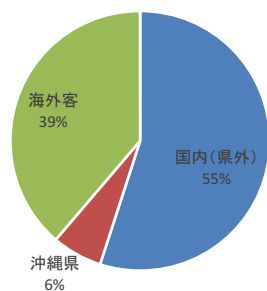
○なお、参考として、平成30年1月～3月の延べ宿泊数を掲載している。



【月別の延べ宿泊客数（棒グラフ）、客室稼働率・定員稼働率（折れ線）】

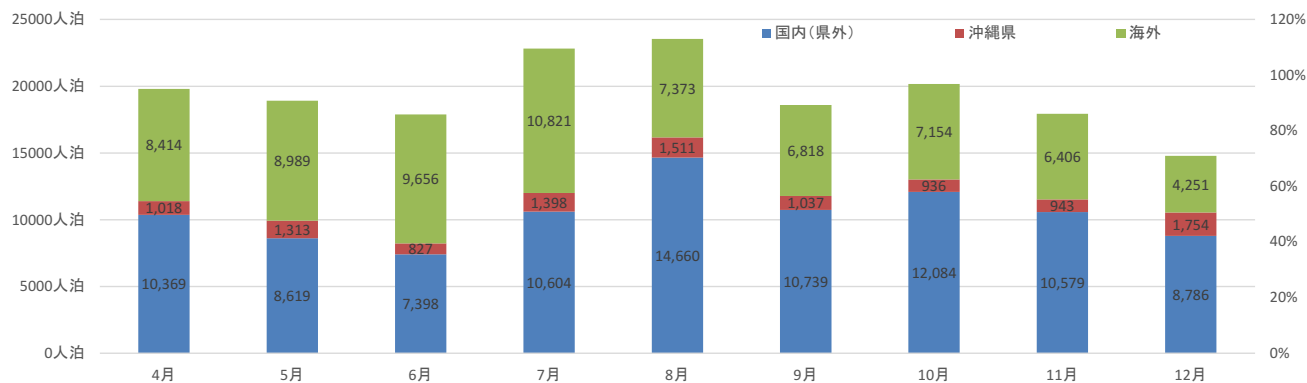
2) 県内客・県外客・海外客の割合について（月別のべ宿泊者数）

○宿泊客のうち、国内（県外）客は、55%、沖縄県は6%、海外客は39%であった。



N=77,549

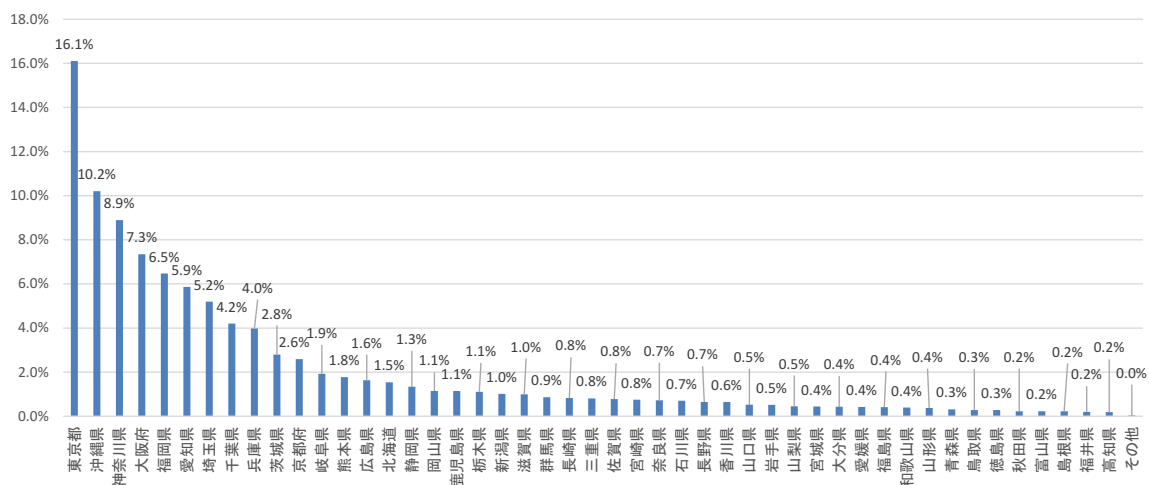
【平成31年4月～令和元年12月の国内外の割合】



【月別の県内客、県外客、海外客の割合（平成 31 年 4 月～令和元年 12 月）】

3) 国内客：宿泊者の都道府県について（降順）

○沖縄県を含める国内客の出身地は、東京都が最も高く 16.1%、次いで沖縄県の 10.1%、神奈川県、大阪府、福岡県であった。



【国内宿泊客の都道府県の割合】

4) 国内客：月別の都道府県ごとの延べ宿泊客数について

○平成 31 年 4 月～令和元年 12 月の月別の都道府県ごとの宿泊客数について、各都道府県ごとに上位 3 月をオレンジ塗とした表を以下に示す。

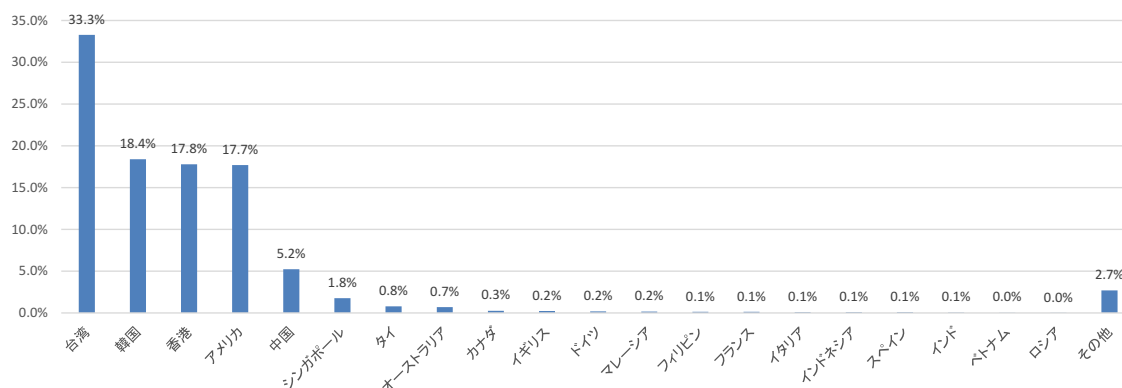
○本表から、全体では 7、8、9 月が最も高いが、各都道府県では、4～5 月、10～12 月に多く訪れる地域もある。

	全体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東京都	19,225	2,447	2,126	1,477	1,731	2,676	1,744	1,600	1,479	1,192
沖縄県	12,185	1,018	1,313	827	1,398	1,511	1,037	936	943	1,698
神奈川県	10,618	795	715	531	1,115	1,166	1,226	1,884	1,536	706
大阪府	8,773	841	615	860	880	1,274	1,274	680	594	351
福岡県	7,725	793	641	409	748	701	830	659	635	1,172
愛知県	7,003	640	302	1,335	520	950	393	672	759	764
埼玉県	6,200	440	400	281	583	725	635	1,063	860	666
千葉県	5,013	493	412	247	694	747	390	726	308	268
兵庫県	4,750	468	603	285	590	601	655	391	382	244
茨城県	3,344	186	124	94	120	276	228	653	1,037	184
京都府	3,089	264	186	139	194	275	715	209	475	200
岐阜県	2,299	73	41	57	152	173	83	918	390	316
熊本県	2,113	173	87	58	250	478	117	136	142	461
広島県	1,953	146	126	66	122	540	131	84	168	87
北海道	1,839	257	163	119	234	147	179	165	99	109
静岡県	1,606	172	200	70	110	448	142	92	110	82
岡山県	1,367	289	85	175	297	244	80	41	45	19
鹿児島県	1,365	103	175	54	100	155	228	73	202	151
栃木県	1,326	81	382	33	67	88	41	480	54	64
新潟県	1,207	47	185	30	14	234	16	216	56	50
滋賀県	1,190	391	51	66	112	89	94	95	136	54
合計		11,387	9,932	8,225	12,002	16,171	11,776	13,020	11,522	10,202

【月別の都道府県ごとの延べ宿泊客数（各都道府県上位 3 月をオレンジ塗）】

5) 海外客：宿泊者の国籍について （降順）

○台湾が最も割合が高く、3 割程度であり、次いで、韓国、香港、アメリカが多い傾向であった。



【海外宿泊客の国籍の割合】

6) 海外客：月別の国籍ごとの延べ宿泊客数について

○平成 31 年 4 月～令和元年 12 月の各月の国別の宿泊客数について、各国籍上位 3 月をオレンジ塗とした表を以下に示す。

○本表から、全体では 5、6、7 月が最も高い傾向となった。

○最も多い台湾については、7 月、9 月、10 月がピークである。

	全体		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
台湾	25,799	33.3%	2,799	2,760	2,965	3,459	2,091	3,046	3,042	1,921	1,456
韓国	14,270	18.4%	1,779	1,955	2,108	3,018	1,499	408	360	234	252
香港	13,808	17.8%	1,349	1,387	1,815	2,096	1,581	1,153	1,108	1,231	1,141
アメリカ	13,724	17.7%	1,553	1,814	1,714	1,190	1,027	1,349	1,612	1,522	755
中国	4,058	5.2%	432	353	433	356	564	357	370	777	160
シンガポール	1,384	1.8%	104	8	296	71	54	119	190	245	160
タイ	624	0.8%	30	118	43	106	36	77	86	31	45
オーストラリア	553	0.7%	89	174	42	44	25	34	65	21	3
カナダ	216	0.3%	11	8	9	38	28	1	26	46	36
イギリス	187	0.2%	31	4	0	16	28	16	28	37	16
ドイツ	146	0.2%	36	8	32	0	27	2	17	3	15
マレーシア	126	0.2%	20	25	10	8	5	13	10	20	12
フィリピン	109	0.1%	5	27	0	4	4	6	9	40	14
フランス	108	0.1%	2	5	12	0	3	2	2	45	20
イタリア	85	0.1%	0	12	0	53	16	0	0	0	4
インドネシア	82	0.1%	18	22	6	18	0	2	0	16	0
スペイン	76	0.1%	0	0	20	27	23	0	0	0	4
インド	43	0.1%	0	0	4	5	12	6	0	16	0
ベトナム	25	0.0%	0	0	0	2	6	4	11	0	0
ロシア	20	0.0%	0	0	0	8	0	0	6	6	0
その他	2,106	2.7%	156	309	147	302	344	223	212	195	103
全体	77,549		8,414	8,989	9,656	10,821	7,373	6,818	7,154	6,406	4,196

【月別の国籍ごとの延べ宿泊客数（各国上位 3 月をオレンジ塗）】

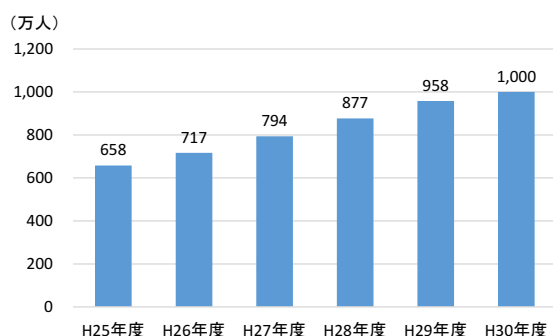
第4章 マーケティング分析

4-1. 今年度調査結果の概要

① 沖縄県内および沖縄市内の入込客数は？

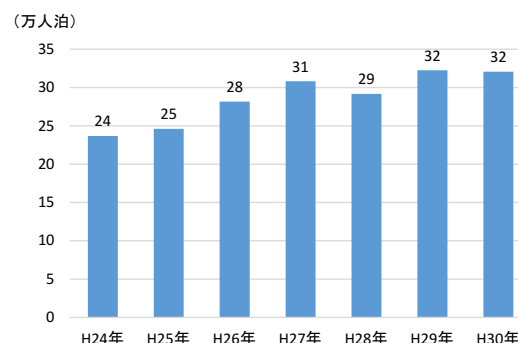
- ◆ 沖縄県を訪れる観光客数は年間約 1,000 万人（平成 30 年度）と増加傾向にあり、平成 25 年度の約 1.52 倍となっている。
- ◆ 沖縄市内の主要ホテルにおける宿泊のべ人数は、年間約 32 万人と平成 24 年からは増傾向であったが、平成 29 年度と比べるとほぼ横ばいである。
- ◆ 市内主要宿泊施設へののべ宿泊者数の割合は、国内県外客は 55%、海外客は 39%、県内は 6%であった。なお、昨年度の携帯 GPS 調査より、日帰りを含めると、沖縄市への観光客のうち県内客が占める割合は、約 9 割である。

【沖縄県の観光入込客数】



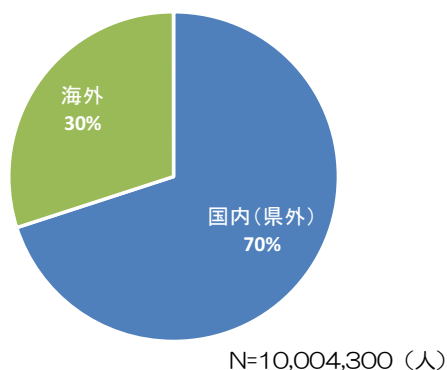
出典：沖縄県観光要覧（H25 年度～H30 年度）

【沖縄市ののべ宿泊人数】



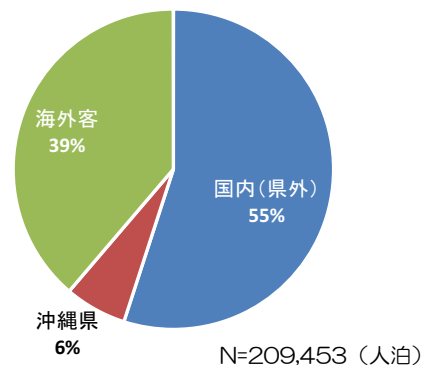
出典：沖縄市観光振興課（H24 年～H30 年）（暦年）

【沖縄県観光入込客数における国内・海外の割合】



出典：沖縄県観光要覧（H30 年度）

【沖縄市のべ宿泊人数における県外・海外・県内客の割合】



出典：沖縄市宿泊実績把握調査（R 元年 4 月～12 月）

* 沖縄県全体では、上記の通り、観光入込客数は、増加傾向であるため、今後、沖縄県の観光振興と連携することで、宿泊客の拡大が期待される。

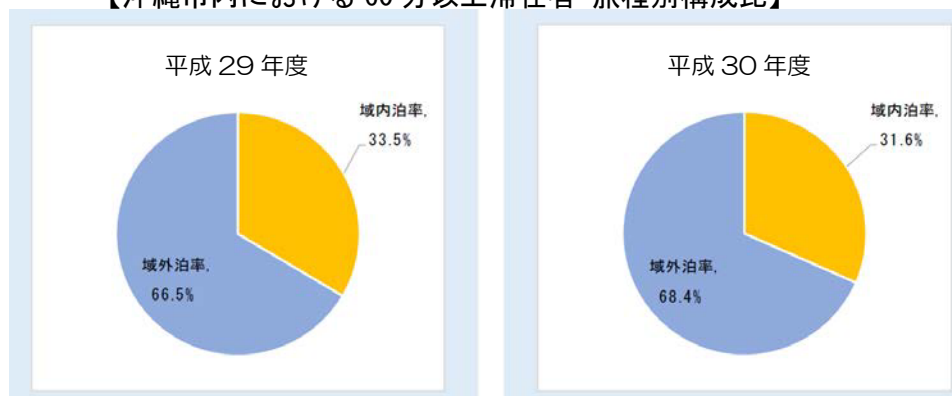
②沖縄市に訪れる県外客の宿泊実態は？

1) 沖縄市に訪れる県外客のうち市内にて宿泊は約 3 割、市外にて宿泊は約 7 割

◆携帯 GPS 調査により、沖縄市を訪れる県外客のうち、約 3 割が市内にて宿泊、約 7 割が市外にて宿泊していることが確認された。(60 分以上の滞在者。平成 29 年度、平成 30 年度ともに)

◆平成 29 年度、平成 30 年度の市内に宿泊した割合（域内泊率）は減少（33.5%⇒31.6%）しているが、平成 29 年度、平成 30 年度の市内宿泊人泊客数は、いずれも約 32 万人泊と横ばいであるため、沖縄市に訪れる県外客は増加しており、増加した県外客は市外へ宿泊していると考えられる。

【沖縄市内における 60 分以上滞在者 旅程別構成比】



出典：携帯 GPS 調査（令和元年度）

2) 沖縄市に訪れる県外客のうち、市内に宿泊した延べ宿泊客数は 17.6 万人泊（推計）

◆今年度実施した市内主要宿泊施設を対象とした宿泊実績の把握結果より、市内延べ宿泊客数における県外客の割合（令和元年 4 月～12 月の平均値）は約 55%であった。

◆平成 30 年の沖縄市における県外客のうち市内に宿泊した延べ宿泊客数については、県外客の割合が今年度と一定（55%）と仮定すると、

【市内延べ宿泊客数（32 万人泊）×県外客割合 55%】より、17.6 万人泊と算出。

3) 沖縄市に訪れる県外客のうち市外に宿泊した実人数は約 10.2 万人（推計）

◆沖縄市に訪れる県外客のうち市外に宿泊した延べ宿泊客数は、携帯 GPS 調査結果である域外泊率 68.4%より、【市内における県外客の宿泊客数（17.6 万人）÷域内泊率（31.6%）×域外泊率（68.4%）】より、約 38.2 万人泊と算出。

◆なお、約 38.2 万人泊は「人泊数」であるため、「沖縄市に訪れる県外客のうち市外に宿泊した実人数」については、沖縄県における国内客の平均泊数 3.73 泊より、約 10.2 万人。（＝38.2 万人泊÷3.73 泊）

◆同様の算出方法にて、平成 29 年度分の沖縄市に訪れる県外客のうち市外に宿泊した実人数を算出すると、約 9.4 万人となる。（平成 30 年度は約 8 千人増、8.4 ポイント増）

* 今後、沖縄市に訪れたが市外での宿泊を選択した県外客に対し、市内宿泊につながるよう市内周遊やナイトエンターテイメント等の取組が重要である。

③沖縄市に訪れる観光客はどこから来ている？

- ◆県外客は、東京、大阪、神奈川、愛知、福岡といった国内主要都市からの来訪が多い。
- ◆国内の主要都市であり、距離的優位性のある福岡県からの来訪者は、通年の都道府県別で見ると5位である。
- ◆カープキャンプ期間（2月）では、昨年度同様、他期間と比べて、広島県からの来訪は増加。（次頁参照）
- ◆全期間を通じて、県外客全体のうち、広島県からの来訪者の占める割合は微増しており、昨年度調査では、17位（1.7%）、今回調査では11位（1.9%）であった。

【発地都道府県別 来訪者数・構成比】

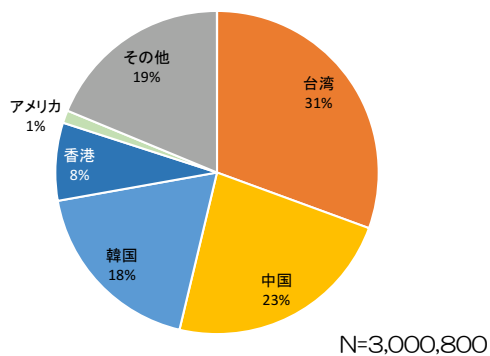
順位	発地 都道府県	通年		2018年4~6月		2018年7~9月		2018年10~12月		2019年1~3月		2018年8月31日~9月2日						
		来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比			
1	東京都	377	15.7%	2	57	11.9%	1	149	21.4%	1	79	13.1%	1	91	14.8%	1	10	19.5%
2	大阪府	244	10.2%	3	49	10.3%	3	64	9.1%	2	65	10.8%	3	66	10.7%	5	****	****
3	神奈川県	243	10.2%	4	34	7.1%	2	87	12.4%	5	43	7.2%	2	80	12.9%	14	****	****
4	愛知県	200	8.3%	1	67	14.1%	4	57	8.2%	6	34	5.6%	5	42	6.7%	4	****	****
5	福岡県	164	6.8%	7	24	5.1%	6	38	5.4%	3	54	8.9%	4	48	7.8%	3	****	****
6	千葉県	153	6.4%	6	26	5.5%	5	44	6.3%	4	49	8.1%	6	34	5.6%	7	****	****
7	埼玉県	103	4.3%	8	16	3.4%	7	35	5.0%	7	29	4.9%	8	23	3.8%	8	****	****
8	兵庫県	101	4.2%	5	28	5.8%	8	20	2.9%	8	27	4.4%	7	27	4.4%	6	****	****
9	北海道	64	2.7%	10	15	3.2%	11	16	2.3%	10	16	2.7%	10	17	2.7%	9	****	****
10	茨城県	48	2.0%	22	****	****	16	****	****	9	19	3.2%	12	15	2.4%	11	****	****
-	その他	699	29.2%	-	****	****	-	****	****	-	188	31.2%	-	173	28.1%	-	21	40.0%

通年構成比 +1%

出典：令和元年度携帯 GPS 調査結果

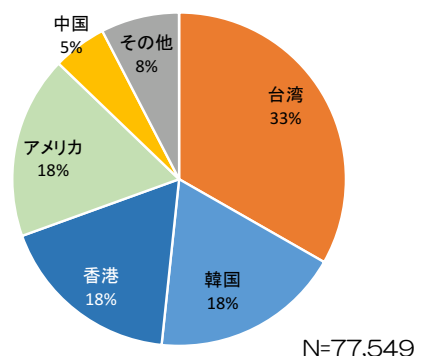
- ◆外国人客の宿泊のべ人数の割合は、台湾（33%）が最も多く、次いで韓国（18%）、香港（18%）、アメリカ（18%）が多い。
- ⇒アメリカについては、沖縄県が1%、沖縄市が18%
- ⇒韓国については、日韓対立による影響のため9月以降大幅に減少（県全体も同様）

【沖縄県国籍構成】（平成30年度）



出典：観光要覧（沖縄県）

【沖縄市国籍構成】（令和元年）



出典：沖縄市宿泊実績把握調査

- * 沖縄市は国内主要都市からの来訪が多く、距離的優位性のある福岡県に対し、引き続き誘客を行うことが効果的と考えられる。
- * 広島県に対してはキャンプ期間を中心とした取組を引き続き実施するとともに、今後は、キャンプ期間外の訪問にもつながる取組が重要である。
- * 海外客については、台湾を主要ターゲットとしつつ、公共交通の周知等によりレンタカー利用が困難な中国本土に対しても誘客を行うことにより、宿泊の拡大につながると考えられる。

発地都道府県別 来訪者数・構成比

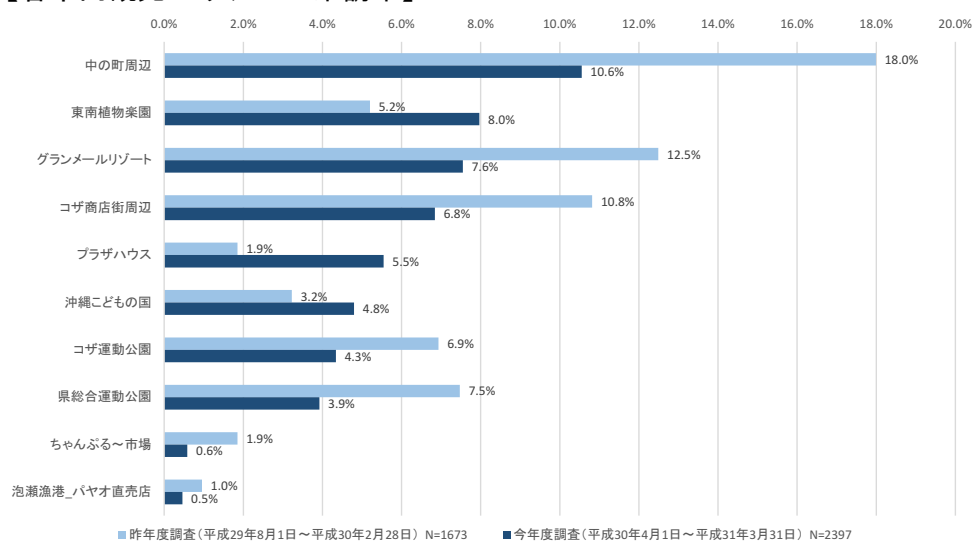
■通年				■2018年4～6月				■2018年7～9月				■2018年10～12月				■2019年1～3月				■2018年8月31日～9月2日			
順位	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	来訪者計	2,397	100.0%	-	来訪者計	478	100.0%	-	来訪者計	699	100.0%	-	来訪者計	604	100.0%	-	来訪者計	616	100.0%	-	来訪者計	52	100.0%
1	東京都	377	15.7%	1	愛知県	67	14.1%	1	東京都	149	21.4%	1	東京都	79	13.1%	1	東京都	91	14.8%	1	東京都	10	19.5%
2	大阪府	244	10.2%	2	東京都	57	11.9%	2	神奈川県	87	12.4%	2	大阪府	65	10.8%	2	神奈川県	80	12.9%	2	岡山県	****	****
3	神奈川県	243	10.2%	3	大阪府	49	10.3%	3	大阪府	64	9.1%	3	福岡県	54	8.9%	3	大阪府	66	10.7%	3	福岡県	****	****
4	愛知県	200	8.3%	4	神奈川県	34	7.1%	4	愛知県	57	8.2%	4	千葉県	49	8.1%	4	福岡県	48	7.8%	4	愛知県	****	****
5	福岡県	164	6.8%	5	兵庫県	28	5.8%	5	千葉県	44	6.3%	5	神奈川県	43	7.2%	5	愛知県	42	6.7%	5	大阪府	****	****
6	千葉県	153	6.4%	6	兵庫県	26	5.5%	6	福岡県	38	5.4%	6	愛知県	34	5.6%	6	千葉県	34	5.6%	6	兵庫県	****	****
7	埼玉県	103	4.3%	7	福岡県	24	5.1%	7	埼玉県	35	5.0%	7	埼玉県	29	4.8%	7	埼玉県	27	4.4%	7	千葉県	****	****
8	兵庫県	101	4.2%	8	埼玉県	16	3.4%	8	兵庫県	20	2.9%	8	兵庫県	27	4.4%	8	兵庫県	27	4.4%	8	埼玉県	****	****
9	北海道	64	2.7%	9	宮城県	15	3.2%	9	岡山県	20	2.9%	9	茨城県	19	3.2%	9	埼玉県	23	3.8%	9	北海道	****	****
10	茨城県	48	2.0%	10	北海道	15	3.2%	10	鹿児島県	16	2.3%	10	北海道	16	2.7%	10	北海道	20	3.3%	10	静岡県	****	****
11	広島県	46	1.9%	11	群馬県	14	3.0%	11	北海道	16	2.3%	11	静岡県	16	2.6%	11	山口県	17	2.7%	11	茨城県	****	****
12	岡山県	39	1.6%	12	広島県	13	2.7%	12	大分県	13	1.8%	12	群馬県	15	2.4%	12	茨城県	15	2.4%	12	宮城県	****	****
13	群馬県	39	1.6%	13	大分県	12	2.4%	13	奈良県	13	1.8%	13	岐阜県	12	2.1%	13	三重県	15	2.4%	13	広島県	****	****
14	静岡県	37	1.6%	14	鳥取県	11	2.2%	14	熊本県	11	1.5%	14	熊本県	12	1.9%	14	宮城県	13	2.2%	14	神奈川県	****	****
15	京都府	36	1.5%	15	京都府	****	****	15	静岡県	****	****	15	滋賀県	****	****	15	京都府	10	1.7%	15	岐阜県	****	****
16	岐阜県	35	1.5%	16	宮崎県	****	****	16	茨城県	****	****	16	鹿児島県	****	****	16	岡山県	10	1.7%	16	愛媛県	****	****
17	宮城県	35	1.5%	17	岐阜県	****	****	17	京都府	****	****	17	佐賀県	****	****	17	和歌山県	****	****	17	大分県	****	****
18	鹿児島県	33	1.4%	18	静岡県	****	****	18	広島県	****	****	18	三重県	****	****	18	岐阜県	****	****	18	香川県	****	****
19	熊本県	32	1.3%	19	奈良県	****	****	19	岐阜県	****	****	19	長野県	****	****	19	熊本県	****	****	19	群馬県	****	****
20	三重県	29	1.2%	20	長崎県	****	****	20	福井県	****	****	20	岡山県	****	****	20	滋賀県	****	****	20	鹿児島県	****	****
21	大分県	29	1.2%	21	熊本県	****	****	21	滋賀県	****	****	21	京都府	****	****	21	群馬県	****	****	21	長野県	****	****
22	奈良県	27	1.1%	22	茨城県	****	****	22	長崎県	****	****	22	石川県	****	****	22	新潟県	****	****	22	奈良県	****	****
23	山口県	25	1.1%	23	鹿児島県	****	****	23	香川県	****	****	23	香川県	****	****	23	静岡県	****	****	23	山口県	****	****
24	滋賀県	23	1.0%	24	佐賀県	****	****	24	栃木県	****	****	24	香川県	****	****	24	鹿児島県	****	****	24	京都府	****	****
25	長崎県	23	0.9%	25	山形県	****	****	25	群馬県	****	****	25	愛媛県	****	****	25	長崎県	****	****	25	滋賀県	****	****
26	宮崎県	19	0.8%	26	長野県	****	****	26	三重県	****	****	26	栃木県	****	****	26	奈良県	****	****	26	-	-	-
27	長野県	17	0.7%	27	山口県	****	****	27	宮崎県	****	****	27	鳥取県	****	****	27	佐賀県	****	****	27	-	-	-
28	佐賀県	17	0.7%	28	石川県	****	****	28	宮城県	****	****	28	福島県	****	****	28	香川県	****	****	28	-	-	-
29	鳥取県	17	0.7%	29	高知県	****	****	29	長野県	****	****	29	奈良県	****	****	29	長野県	****	****	29	-	-	-
30	香川県	16	0.7%	30	和歌山県	****	****	30	山口県	****	****	30	広島県	****	****	30	石川県	****	****	30	-	-	-
31	和歌山県	15	0.6%	31	三重県	****	****	31	徳島県	****	****	31	山形県	****	****	31	栃木県	****	****	31	-	-	-
32	石川県	15	0.6%	32	愛媛県	****	****	32	青森県	****	****	32	新潟県	****	****	32	新潟県	****	****	32	-	-	-
33	栃木県	15	0.6%	33	香川県	****	****	33	福島県	****	****	33	宮崎県	****	****	33	香川県	****	****	33	-	-	-
34	福島県	12	0.5%	34	福島県	****	****	34	山梨県	****	****	34	山口県	****	****	34	山梨県	****	****	34	-	-	-
35	福島県	10	0.4%	35	岡山県	****	****	35	和歌山県	****	****	35	宮崎県	****	****	35	徳島県	****	****	35	-	-	-

出典：令和元年度携帯 GPS 調査

④沖縄市を訪れる観光客の行動は？

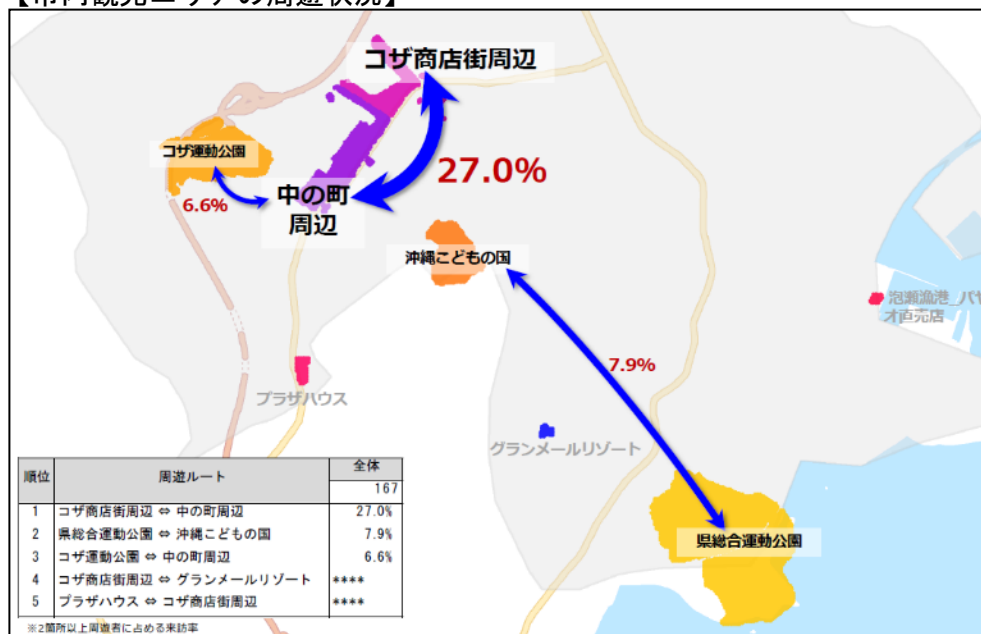
- ◆携帯 GPS 調査より、来訪率が多い観光エリアは、「中の町周辺」、「東南植物楽園」、「グランメールリゾート」、「コザ商店街周辺」であった。
- ◆また、今年度調査は昨年度調査と比べ、「東南植物楽園」(5.2%⇒8.0%)、「プラザハウス」(1.9%⇒5.5%)、「沖縄こどもの国」(3.2%⇒4.8%) は来訪率が増加している。
- ◆市内観光エリアにおいて、周遊の多かったルートは、「中の町周辺⇄コザ商店街周辺」(27.0%)、「沖縄こどもの国⇄県総合運動公園」(7.9%)、「中の町周辺⇄コザ運動公園」(6.6%)、「コザ商店街周辺⇄グランメールリゾート」(****)、「プラザハウス⇄コザ商店街周辺」(****) であった。
- ◆なお、単独では来訪率の多かった「東南植物楽園」「プラザハウス」は一箇所のみ来訪率が高く、他の観光エリアへの周遊傾向は低い。

【各市内観光エリアへの来訪率】



出典：令和元年度携帯 GPS 調査

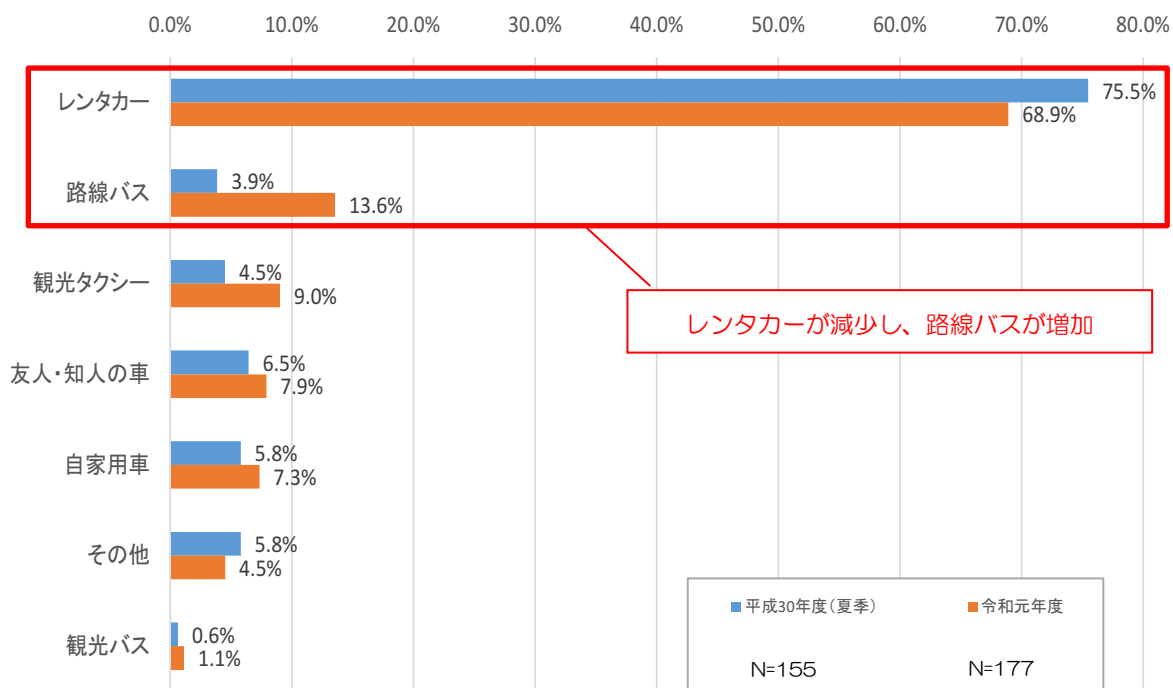
【市内観光エリアの周遊状況】



出典：令和元年度携帯 GPS 調査

◆沖縄市内で使⽤した交通手段は、昨年度調査と比較すると、レンタカーの割合が6.6ポイント減少し、路線バスの割合が9.7ポイント増加した。

【沖縄市内で使⽤した交通手段】（平成30年度・令和元年度比較）



出典：令和元年度 WEB アンケート

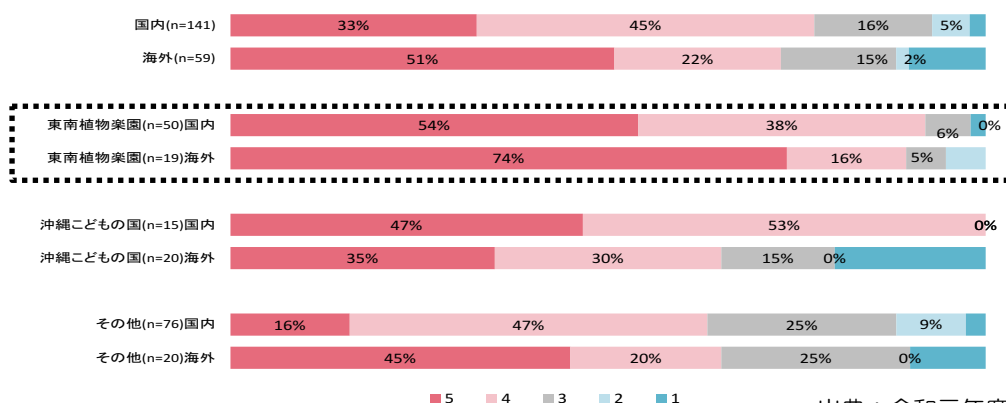
- * 市内主要観光エリアである「中の町周辺」、「東南植物楽園」、「グランメールリゾート」、「コザ商店街」を拠点とした市内周遊促進が課題である。
- * 交通手段の路線バスの割合増加については、近年実施された基幹急行バスの運行開始や、Google マップでの経路検索開始等の影響と考えられる。今後も各種取組と連携し、公共交通利用について、PR していくことが重要である。

⑤沖縄市の魅力をどこに感じている？沖縄市を訪れる観光客の満足度は？

◆旅行サイトへの口コミは昨年度と同様に、全体的な傾向として国内客よりも海外客からの評価が高い。なお、施設別では、「東南植物楽園」の評価 5（最も高評価）が昨年度（国内 24%、海外 44%）より、国内、海外ともに 30 ポイント増加しており、高い評価を受けている。

⇒ 口コミの内容からガイドツアー等の取組が人気の理由と推察される

【国内・海外別の口コミサイトでの評価】（令和元年）



⇒ 東南植物楽園は昨年度より評価5が国内 30 ポイント、海外 30 ポイント増

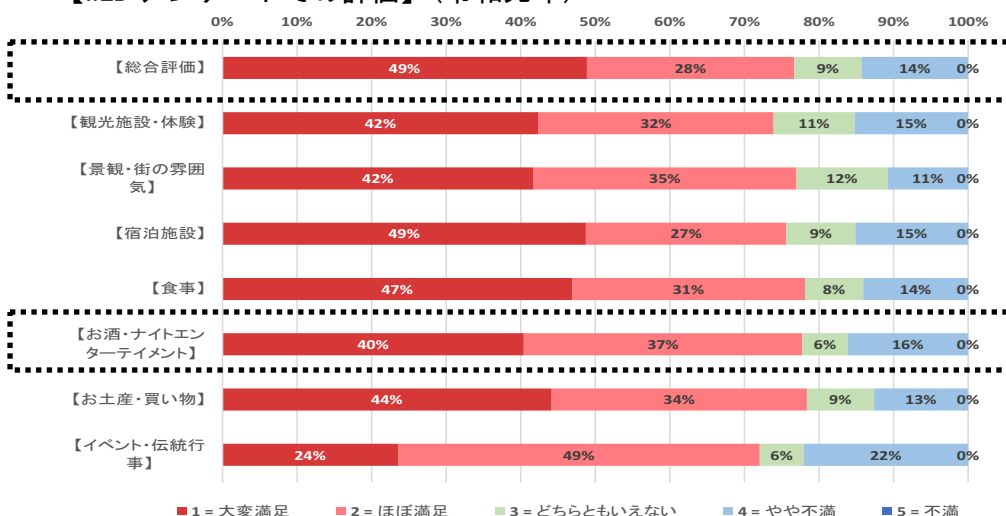
出典：令和元年度口コミ分析

◆WEB アンケートでは、沖縄市における観光全体の満足度のうち「大変満足」の割合は、昨年度の 34%より約 15 ポイント増加。

◆また、昨年度アンケートにおいて、評価の低かった「夜の楽しみ」の「大変満足の割合」は、昨年度 25%から 15 ポイントと増加。

⇒旅行サイトへの口コミにおいても、「一番街商店街」等に対し、「面白い雰囲気になってきた」「夕方になると賑やか」等、夕方以降の賑わいを評価するコメントも確認された
⇒その他、「ISSA おすすめのお店を訪れにきた」等のコメントも確認された

【WEB アンケートでの評価】（令和元年）



⇒ 「大変満足」の割合は 15 ポイント増

⇒ 「大変満足」の割合は 15 ポイント増

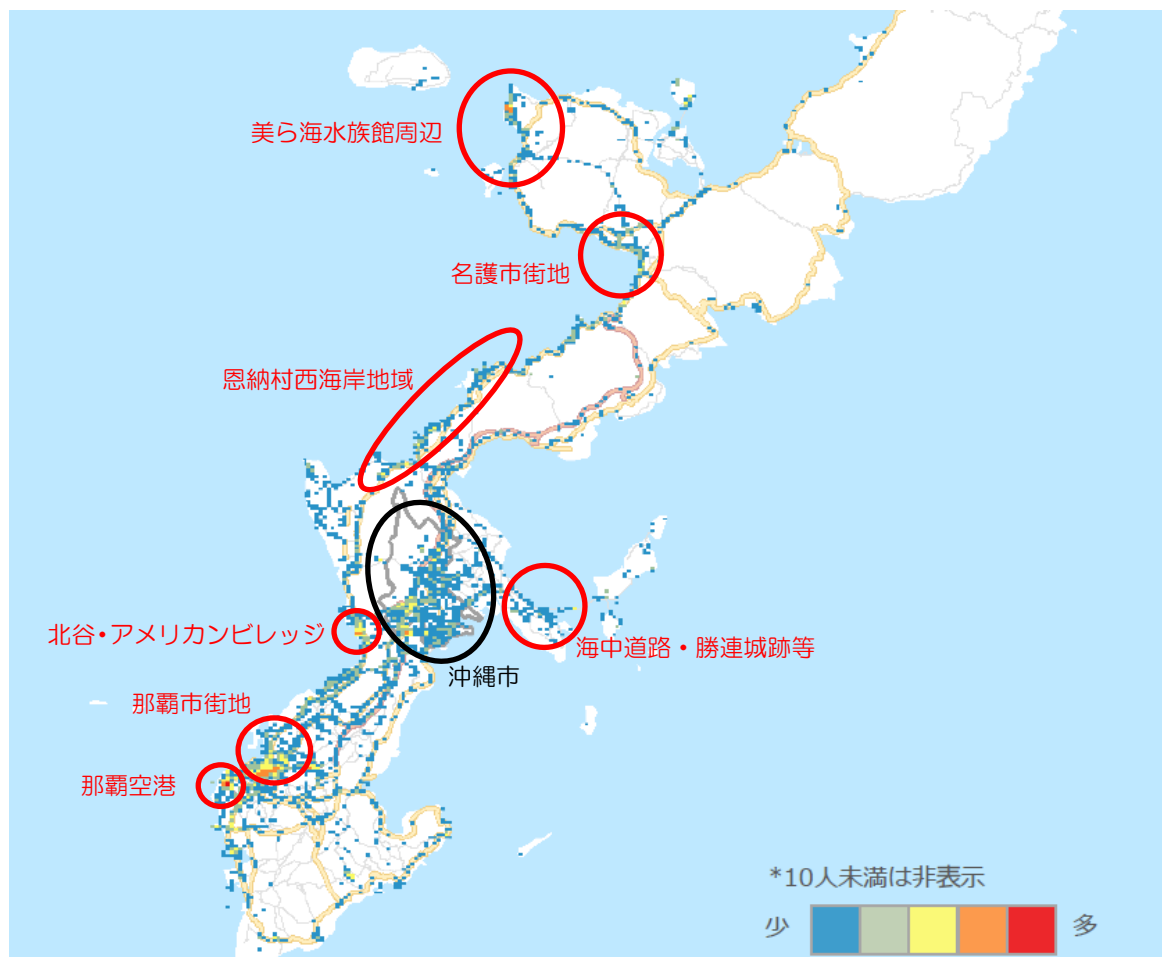
出典：令和元年度 WEB アンケート調査

* 各観光施設における独自の取組や、飲み歩き等のイベントの成果が反映されていると推察される。今後も継続した各主体における取組が重要である。

⑥沖縄市を訪れる観光客の前後行動は？

◆今年度の携帯 GPS 調査より、市町村別では、昨年度同様に、那覇市、本部町、恩納村、名護市、北谷町、うるま市、北中城村等への立ち寄りが多い。

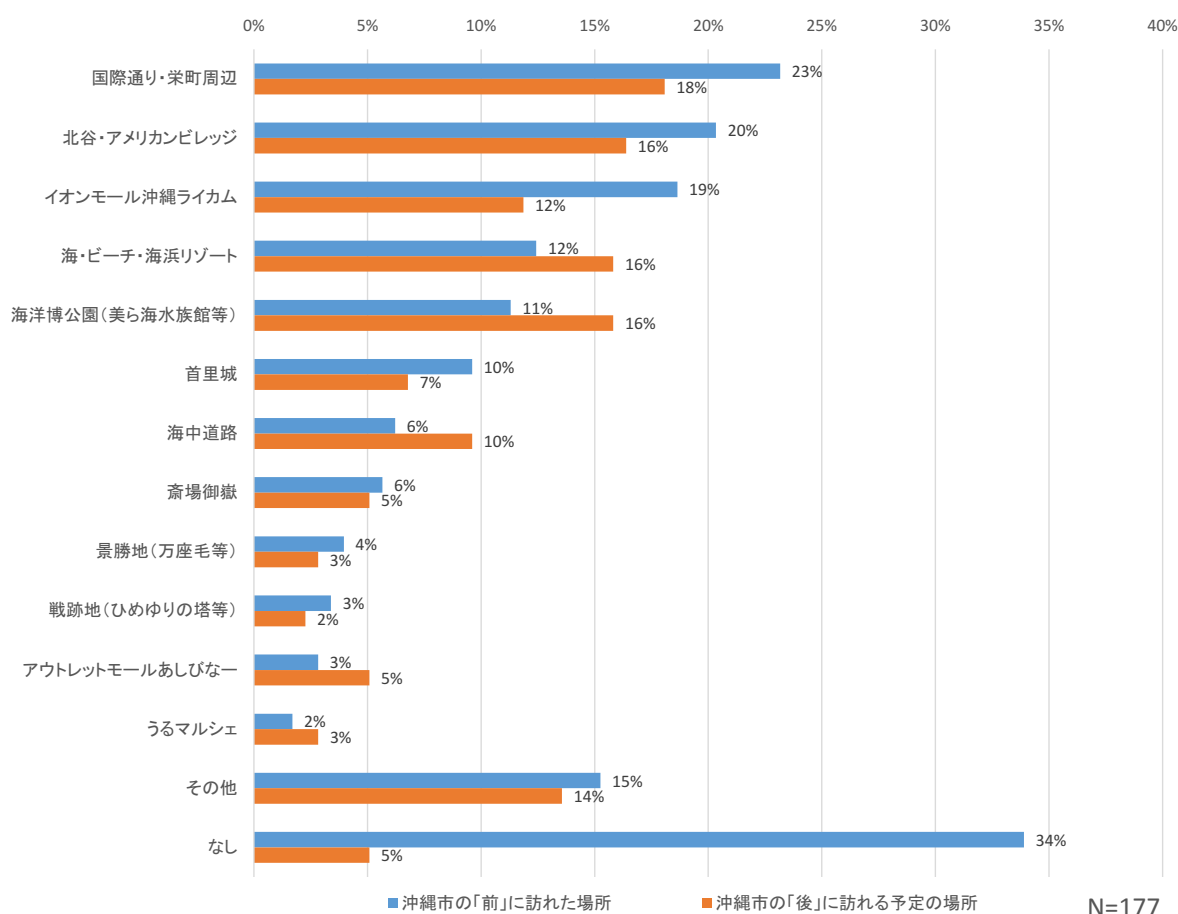
【通過ヒートメッシュ】



出典：令和禎年度携帯 GPS 調査

- ◆WEB アンケート調査より、市外の観光地別の立ち寄りについては、「国際通り・栄町」が最も多く、次いで、「北谷・アメリカンビレッジ」「イオンモール沖縄ライカム」「海・ビーチ・海浜リゾート」「海洋博公園」が多い。なお、「海洋博公園」は後に立ち寄る観光地としての割合が高い。
- ◆なお、沖縄市は、沖縄旅行全体の訪問のタイミングとしては、最後よりも最初の目的地として、立ち寄られる割合が高い。

【沖縄市に訪れる前後の立ち寄り地の割合】



出典：令和元年度 WEB アンケート調査

- * 市外の主要立ち寄り施設や地域と連携した誘客等の取組が重要である。
- * 現状、沖縄市は、沖縄旅行において、最初の立ち寄り地として選択されているが、最終の立ち寄り地として PR していくことも重要である。

4-2. 各施策の効果の検証

沖縄市でこれまで取り組んできた施策について、関連調査結果から効果を検証し、改善方策等について検討を行った。

なお、検討した施策は、「①メディアプロモーション/動画プロモーション」、「②観光情報誌制作・配布」、「③エイサーまつり」、「④スポーツキャンプ・合宿」、「⑤広島県プロモーション」、「⑥福岡県プロモーション」、「⑦飲み歩きイベント」を対象とした。

①メディアプロモーション/動画プロモーションについて

1) 関連調査結果からの施策の効果検証
◆WEB アンケート調査より、訪れるきっかけとなった媒体は、「インターネット」の17%が最も多く、昨年度のオフシーズン（18%）と同程度であった。（ハイシーズンは27%） ⇒自由記述にて「KOZAWEB」、「エイサーまつり」等を記述した割合は全体の2.2% ⇒「KOZAWEB」内の「コザの裏側」を参考に訪れているリピーター県外客も確認され、メディアプロモーションの効果が確認できた ⇒エイサーまつり目的の来訪者はイベント開催期間の確認のために沖縄市の各種公式HPを確認している傾向があった ◆一方で、「SNS」の割合は6%（昨年度10%）に留まったが、自由記述より、「SNSを活用した情報発信を期待」等の声が確認された。 ◆「その他」あるいは「なし」を選択した観光客は、「イベント・行事（音楽ライブ）」、「ビジネス」を目的として訪れている場合が多かった。
2) 今後の改善方策
◆リピーターや、エイサーまつり目的来訪者は、KOZAWEB等の沖縄市の公式HPより情報収集を行っているため、今後も継続的な情報公開が重要である。 ⇒県外客に対してもKOZAWEB内の「コザの裏側」等のディープな情報を発信することにより、次回来訪の情報を効果的に提供することが可能と考えられる ◆来訪のきっかけとして、SNSは6%程度だったが、発信を望む声もあるため、今後、SNSを活用した情報発信強化の検討が必要である。 ◆音楽ライブ等のイベントを目的とした来訪者に対しては、イベントと連携した旅マエの情報発信（メディアプロモーション）が考えられる。

②観光情報誌制作・配布について

1) 関連調査結果からの施策の効果検証
◆WEB アンケートの自由記述より、「ISSA 紹介のお店に入った」等のように市内発行の観光情報誌等を参考にしたと考えられる声を確認でき、観光情報誌の効果が確認できた。 ◆一方で、「気軽に立ち寄れるお店が分からなかった」「土日に訪れたが閉まっていた」等の声があげられた。 ◆「イベント・行事」目的の来訪者については、ライブを目的としているため、イベント会場のみで、その他市内観光施設を周遊していない場合も見受けられた。 ◆また、来訪予定の割合が高い「ビジネス」目的の来訪者については、市街地・市内観光地に立ち寄る割合は低い。
2) 今後の改善方策
◆観光情報雑誌を参考に市内店舗を周遊する観光客が確認できる一方で、気軽に立ち寄れる店舗や、開店時間を把握していない場合があるため、引き続き、周遊促進となるようなパンフレット等による情報提供が必要である。 ◆「イベント」、「ビジネス」目的の来訪者に対しては、宿泊施設と連携し市内周遊を促進するような観光情報雑誌の配布等が考えられる。

③エイサーまつりについて

1) 関連調査結果からの施策の効果検証
◆エイサーまつり期間中は、携帯 GPS 調査より、地域別では東京および中国発地者、性別年代別では男性 50 歳以上が他期間より多くなる傾向。 ◆立ち寄りについては、本部町、北谷町、名護市への立ち寄りが他期間に比べて高い傾向。 ◆WEB アンケートの自由記述では、エイサーまつり目的の来訪者は、公式 HP に掲載されている開催日程を確認し旅程を決めているため、HP での早期の日程公開を求める声があげられた。その他、イベント期間中に次年度の日程を掲載したパンフレット配布があれば、次回の旅程が組みやすいとの意見が挙げられた。 ◆エイサー期間中の受入課題としては、WEB アンケートより、「イベント期間中の駐車場の確保」、「インターチェンジ周辺の渋滞の解消」等が挙げられた。
2) 今後の改善方策
◆エイサーまつり目的の来訪者は、公式サイトやパンフレット等を確認し旅マエの旅程を立てるため、スケジュールの早期公開および周辺施設について、効果的に周知し、次年度以降の再訪につなげていくことが考えられる。 ◆受入課題としての駐車場やインターチェンジ等のアクセス課題についても検討していく必要がある。

④スポーツキャンプ・スポーツ合宿誘致（1～2月）について

1) 関連調査結果からの施策の効果検証
◆2月のカープキャンプ期間中は、ASE アナリティクスの結果より、会場であるコザ運動公園への来訪者は、キャンプ期間外と比べ6倍の滞在者となっている。（最もピークとなるのは、2月23日のオープン戦）
◆上記の通り、キャンプ期間中は、コザ運動公園への立ち寄りが多くなる一方で、コザ運動公園以外の市内その他施設へ訪れる割合は低くなる。
2) 今後の改善方策
◆キャンプ期間中は、引き続きコザナイト（KOZANIGHT）等のように、会場であるコザ運動公園から市内周遊を促進するような取組を進めていく必要がある。

⑤広島県向けプロモーション

1) 関連調査結果からの施策の効果検証
◆広島県からの来訪者の割合は微増。昨年度調査では、17位、今回調査では11位。 ⇒ 2018年度（昨年度調査）：1.7%、2018年度（今年度調査）：1.9%
◆また、カープキャンプの期間では、昨年度同様に広島県からの来訪は増加。
2) 今後の改善方策
◆引き続きキャンプ期間中の誘客を図るとともに、来訪者に対しては、コザナイト等のイベントや、情報提供を進めていくことで、今後、キャンプ期間外の見学にも寄与するものと考えられる。

⑥福岡県向けプロモーション

1) 関連調査結果からの施策の効果検証
◆福岡県からの来訪者の割合は、通年の都道府県別でみると、5位（昨年度は4位）。最も来訪が多くなる時期は、10～12月。
2) 今後の改善方策
◆今後、ピーク期の属性等を明らかにしていきつつ、効果的な施策を明らかにしていく必要がある。

⑦飲み歩きイベント

1) 関連調査結果からの施策の効果検証
◆昨年度アンケートにおいて、評価の低かった「夜の楽しみ」について、「大変満足の割合」は、15.5ポイントと増加 ⇒旅行サイトへの口コミにおいても、「一番街商店街」等に対し、「面白い雰囲気になってきた」「夕方になると賑やか」等、夕方以降の賑わいを評価するコメントも確認された ⇒その他、「ISSA おすすめのお店を訪れにきた」等のコメントも確認された
2) 今後の改善方策
◆今後も引き続き、コザナイト等の飲食店やライブハウスを周遊な取組を進めていくことが重要である。

4-3. 季節ごとのターゲットと取組イメージ

これまでの調査結果に基づき季節ごと、属性ごとのターゲット設定の考え方を検討し、主な取組を整理した。

季節ごと・属性ごとのターゲット設定の考え方

①県外観光客	a. 個人旅行者 *ハイシーズン ⇒ 「子供連れの家族」での旅行、「初めて来訪する方」 *オフシーズン ⇒ 「ひとり旅」や「夫婦・パートナー」での旅行、「リピーター」 + ビジネスも微増 【取組イメージ】 ①WEB、SNSを活用した情報発信。リピーター向けの充実した情報も発信。 ②主要観光施設である沖縄子どもの国、東南植物楽園と連携し、市内周遊を促進 ③前後行動で結びつきの強い観光地でのPR ④市内宿泊施設先と連携し市内観光・飲食店等の情報をまとめた冊子を配布 b. イベント・スポーツ・伝統行事 *全島エイサー開催時は、「県外居住者」の訪問が増加 *広島カープのキャンプ期間中は広島県が増加 *市内会場の音楽イベント、スポーツ観戦目的の一定数は市内宿泊施設を利用 【取組イメージ】 ①イベントと連携したプロモーション（SNS、WEB、各種紙媒体等） ②イベント開催時における駐車場対策。駐車場の空き情報や確保等 ③イベント開催と連携した飲み歩き等のナイトエンターテインメントの拡充 ④混雑・渋滞対策を目的とした公共交通利用の周知 c. 団体・グループ旅行者 *4～6月の中学校修学旅行、9～1月の高校生修学旅行 *1月～6月のスポーツ合宿 【取組イメージ】 ①教育機関への営業等 ②修学旅行を対象とした体験プログラムの拡充 ③スポーツ合宿を対象として、市内周遊促進を目的としたパンフレット等の配布 d. エリア別 *来訪者の主要な居住地は、「東京都」、「神奈川県」、「福岡県」など ⇒ プロ野球キャンプの時期は、「広島県」も主要なターゲット 【取組イメージ】 ①広島県を対象としたキャンプ期間外の来訪誘致 ②主要ターゲットである福岡県は引き続き属性等を把握
②県内観光客	*通年 ⇒ 「家族連れ」での来訪、目的は「ショッピング」や「ドライブ」等 *イベント・伝統行事を目的とした来訪が多く、満足度が高い *キングスやFC琉球の試合開催時の立寄り確認 【取組イメージ】 ①那覇市等の県内都市圏域を対象としたプロモーションの実施 ②沖縄子どもの国等の市内主要観光施設と連携した市内周遊促進 ③各種イベントと連携したプロモーション
③海外観光客	*泡瀬漁港への立寄り、グランメール周辺への滞在が多い *東南植物楽園、ちゃんぶる〜市場、泡瀬ビジュアル等の口コミ評価が高い *全県の傾向として、国籍は台湾、中国、韓国、香港、アメリカ 【取組イメージ】 ①多言語によるプロモーション WEB、SNS等による発信

【季節ごとのターゲットと取組イメージ】

大分類	中分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	取組イメージ
① 県外観光客	a. 個人旅行者	ひとり／夫婦・パートナー 【リピーター】			子ども連れ家族 【はじめて】		学生旅行 (大学生)			ひとり／夫婦・パートナー 【リピーター】		ビジネス客	学生旅行 (大学生)	①WEB・SNS発信 ②前後行動と結び つきの強い市外 観光地と連携 ③市内主要観光施設 と連携したPR ④宿泊先における 観光情報誌の配布 ⑤公共交通の周知
	b. イベント スポーツ 伝統行事			イベント・伝統行事								スポーツキャンプ (広島県)		①イベントと連携 したPR ⇒SNS、紙媒体等 ②駐車場対策 ⇒情報発信 ⇒駐車場確保 ③ナイトエンター テインメントの拡充 ⇒イベントと連携 ④公共交通の周知
	c. 団体 グループ 旅行者	修学旅行 (中学生)						修学旅行 (高校生)				スポーツ合宿		①教育機関への営業 ②体験プログラムの 拡充 ③市内周遊促進の パンフレット配布
	d. エリア別											広島県		①キャンプ期間外 の訪問に向けたPR (広島県) ②属性の把握と対策 (福岡県)
② 県内観光客		家族連れ ショッピング・ドライブ イベント・伝統行事 ナイトエンターテインメント (ライブ・飲み歩き) スポーツ観戦 (琉球ゴールデンキングス：10～4月、FC琉球：2～11月)												①那覇市等都市圏域 を対象としたPR ⇒WEB, SNS等 ②市内主要観光施設 と連携した市内 周遊促進 ⇒子どもの国、 東南植物楽園等 ③イベントと連携 したPR
③ 海外観光客		香港・台湾・韓国・中国・アメリカ												①多言語PR ②WEB・SNS発信

➡：調査結果をもとに検討 ➡：沖縄市観光プロモーション推進プランより

観光統計調査業務
報告書

令和 2 年 3 月

沖縄市

〔受託事業者〕 株式会社オリエンタルコンサルタンツ